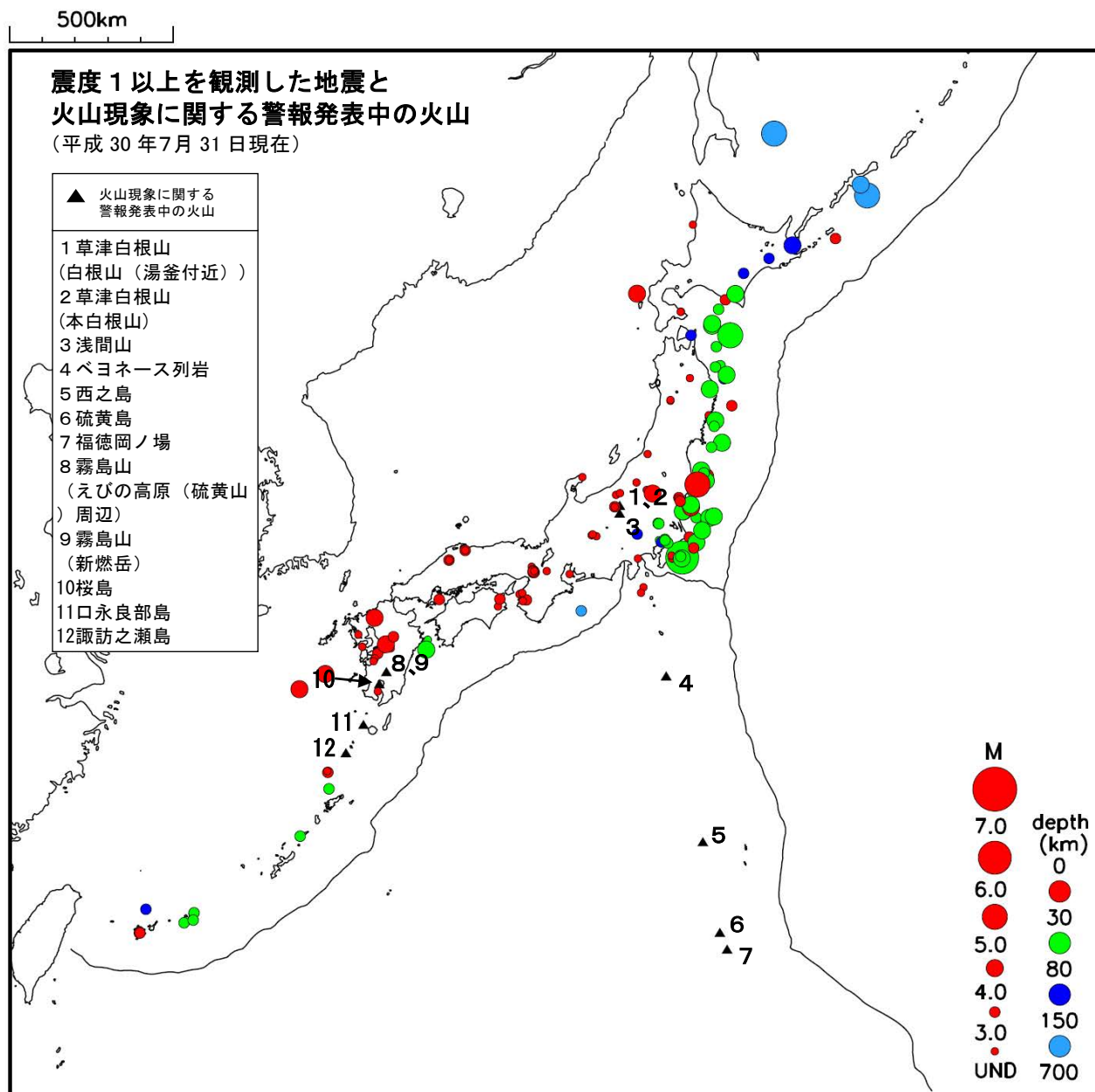


平成 30 年 7 月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2018



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成30年7月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注**平成30年7月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M－T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使った地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	7
東北地方の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	13
近畿・中国・四国地方の地震活動	17
九州地方の地震活動	18
沖縄地方の地震活動	20
その他の地域の地震活動	21
● 南海トラフ周辺の地殻活動	22
● 日本の主な火山活動	46
北海道地方の火山活動	57
東北地方の火山活動	59
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	61
近畿・中国・四国地方の火山活動	65
九州地方の火山活動	66
沖縄地方の火山活動	70
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	71
● 世界の主な地震	73
● 世界の主な火山活動	74
● 付録	75
1. 震度1以上を観測した地震の表	75
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	100
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	101
4. 緊急地震速報の提供状況	102
5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	105

●日本及びその周辺での主な地震活動

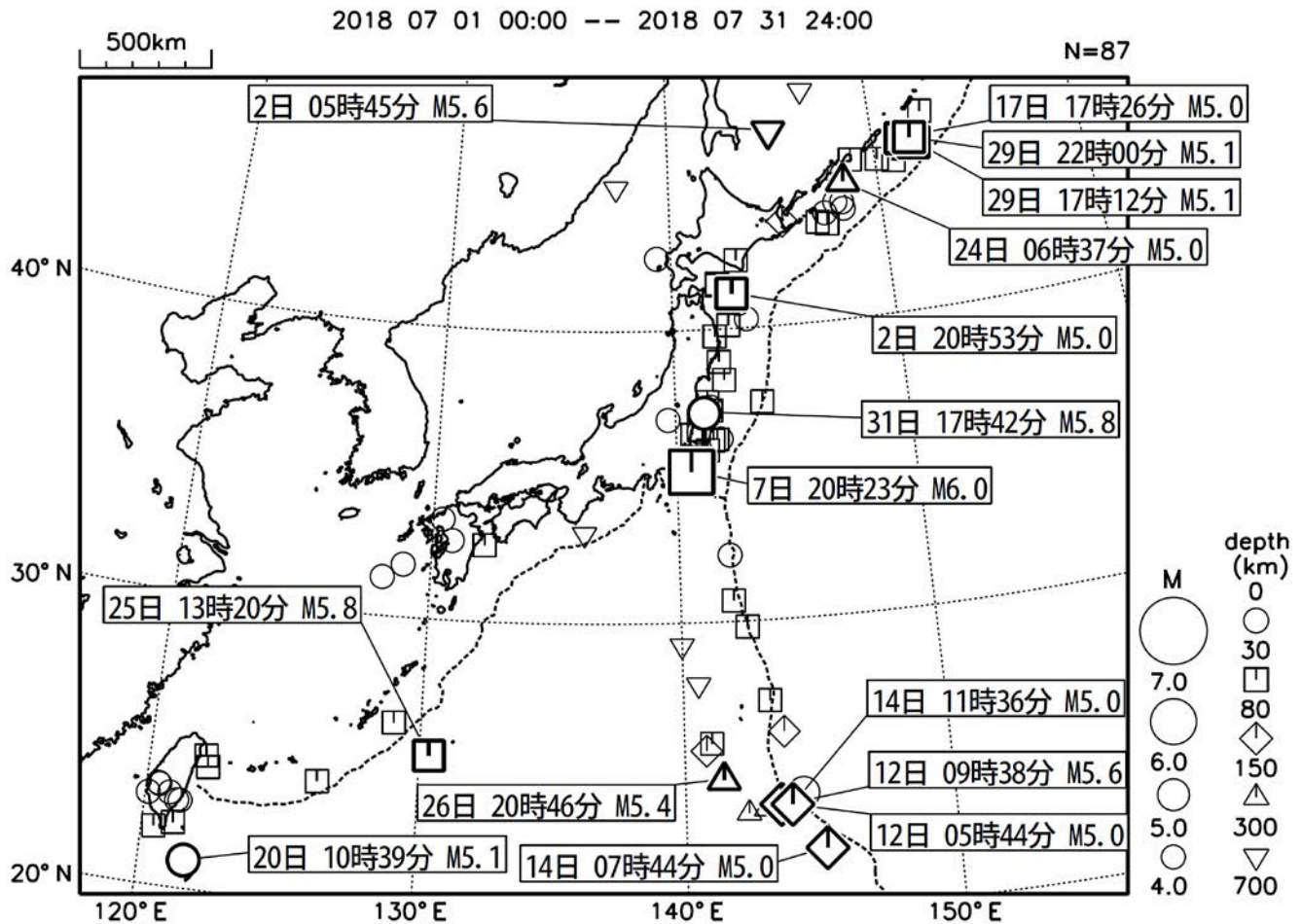


図1 平成30年7月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である)

7月7日20時23分に千葉県東方沖の深さ57kmでM6.0の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報(警報)を発表した。この地震により、千葉県長南町で最大震度5弱を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から中部地方にかけて震度4～1を観測した。

平成30年(2018年)7月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は6回(6月は7回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は87回(6月は74回)であった(図1)。7月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。7月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった(6月は震度5弱以上を観測した地震が2回、津波を観測した地震はなかった)。

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

表 1 平成 30 年 7 月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注 1) (注 2) (注 3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等 (注 6)	掲載 ページ
1	7 2 2 27	青森県東方沖	4.9	5.0	・ ・ S ・	4 : 青森県 東通村砂子又沢内 *	4、10
2	7 2 20 53	青森県東方沖	5.0	5.0	・ ・ ・ ・	3 : 青森県 野辺地町田挾沢 * 野辺地町野辺地 * 七戸町森ノ上 * 青森南部町平 * むつ市川内町 * 東通村砂子又沢内 *	11
3	7 7 20 23	千葉県東方沖	6.0	5.9	M ・ S ・	5 弱 : 千葉県 長南町長南 * 緊急地震速報 (警報) を発表	5、14
4	7 16 2 13	日高地方東部	4.9	5.1	・ ・ S ・	4 : 北海道 浦河町潮見 幕別町忠類錦町 *	6、8
5	7 17 4 34	茨城県沖	4.8	4.7	・ ・ S ・	4 : 茨城県 水戸市金町 水戸市千波町 * 日立市十王町友部 * 常陸太田市高柿町 * 茨城町小堤 * 鉾田市汲上 *	6、15
6	7 25 7 31	熊本県熊本地方	4.4	4.1	・ ・ S ・	4 : 熊本県 御船町御船 * 嘉島町上島 * 益城町惣領	6、19
7	7 29 9 58	栃木県北部	4.5	—	・ ・ ・ ・	3 : 福島県 檜枝岐村上河原 * 南会津町滝原 * 栃木県 日光市鬼怒川温泉大原 * 日光市日蔭 * 日光市藤原庁舎 * 那須塩原市塩原庁舎 *	6、16
8	7 31 17 42	福島県沖	5.8	5.5	・ ・ S ・	4 : 宮城県 宮城加美町中新田 * 色麻町四竈 * 涌谷町新町裏 大崎市古川三日町 大崎市松山 * 大崎市田尻 * 岩沼市桜 * 東松島市矢本 * 天栄村下松本 * 相馬市中村 * 双葉町両竹 * 新地町谷地小屋 * 南相馬市鹿島区西町 *	6、12

- (注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注 4) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。
- (注 5) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注 6) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

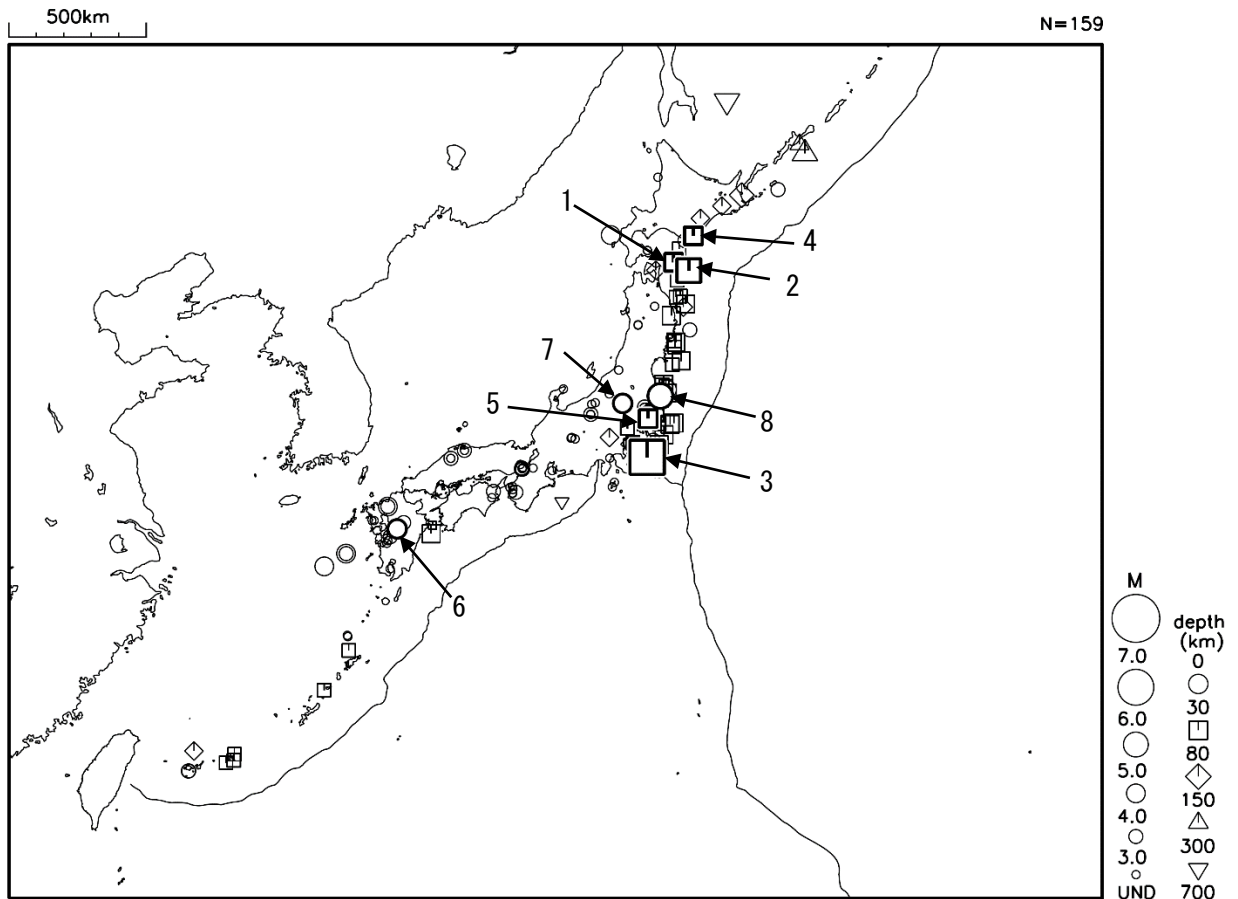


図2 平成30年7月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

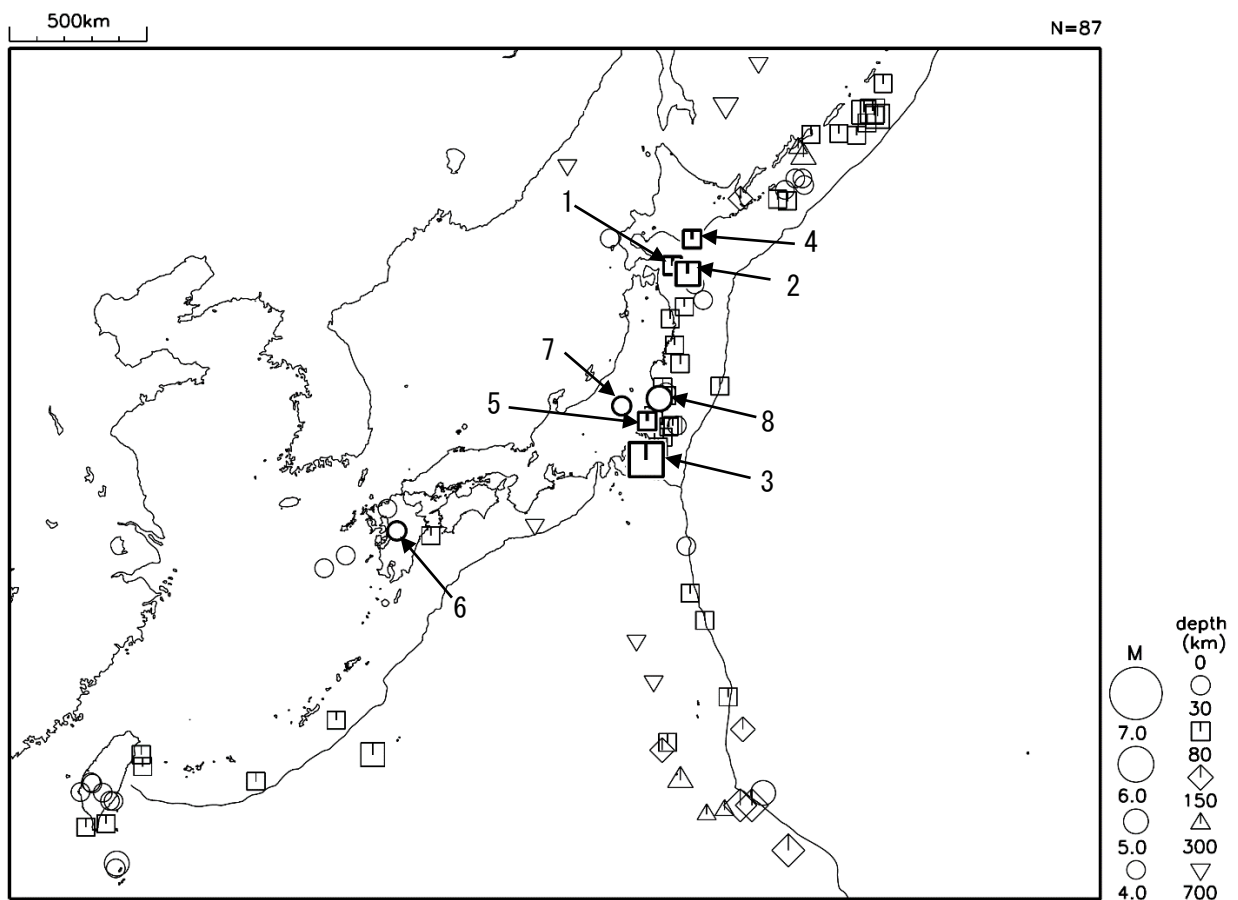
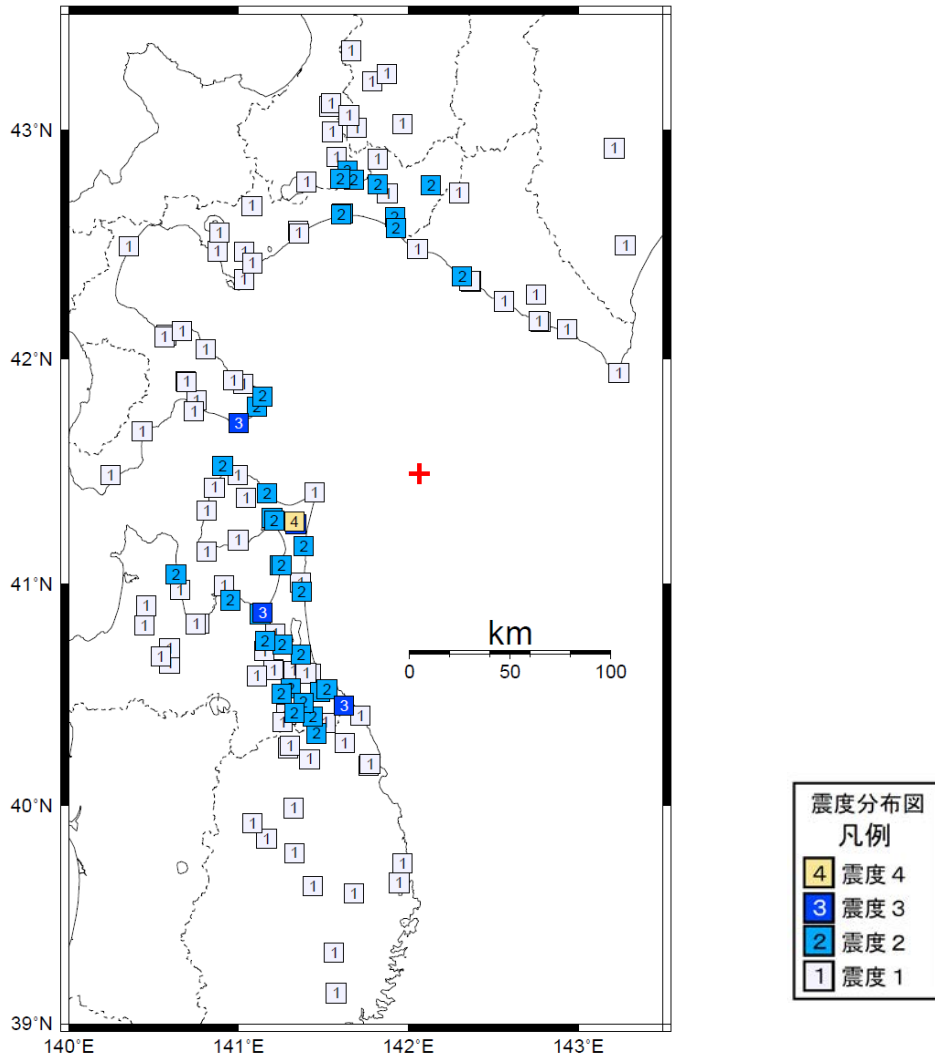
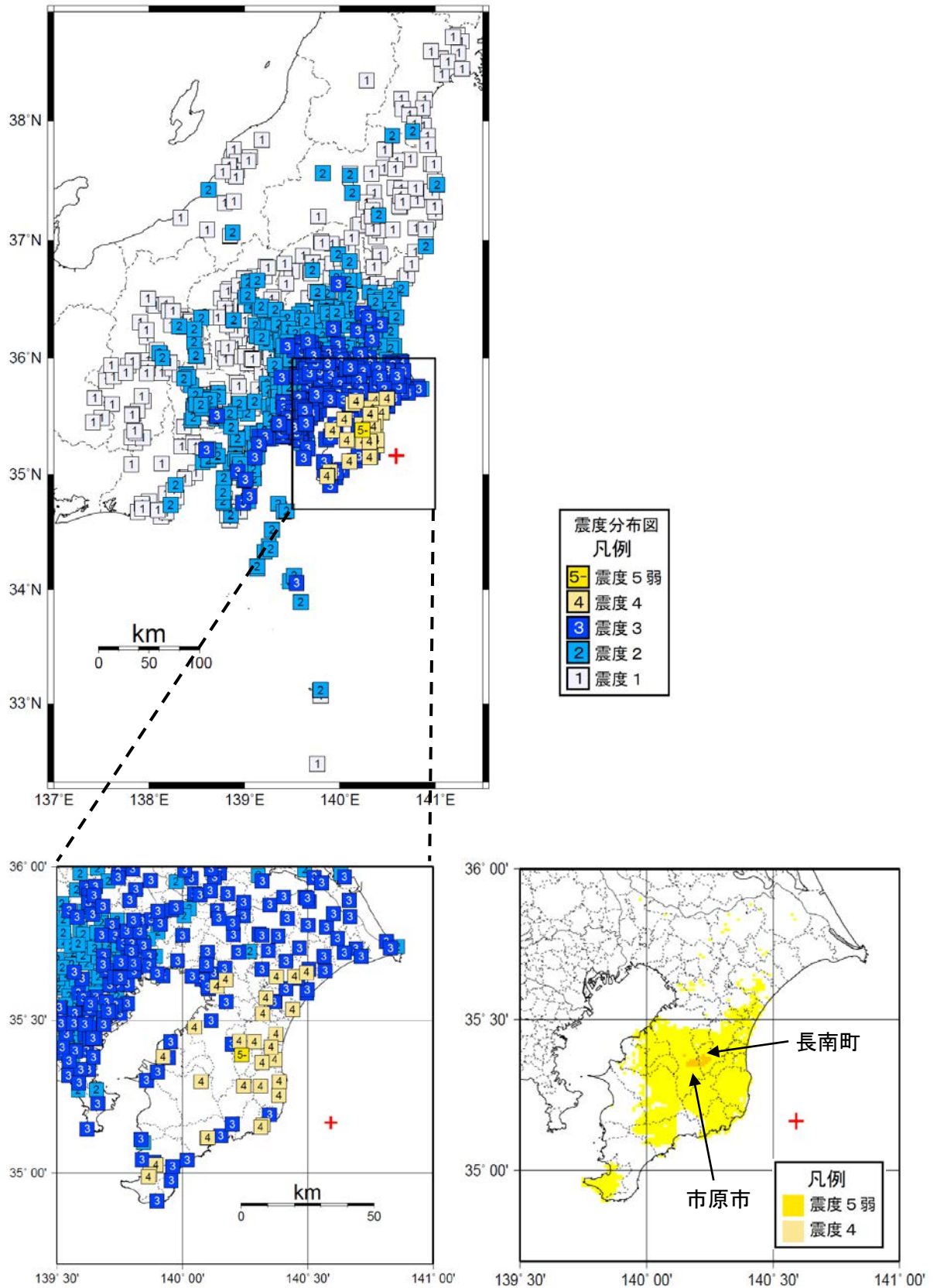


図3 平成30年7月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

1 7月2日02時27分 青森県東方沖
(M4.9、深さ64km、最大震度4)



3 7月7日 20時23分 千葉県東方沖
(M6.0、深さ57km、最大震度5弱)

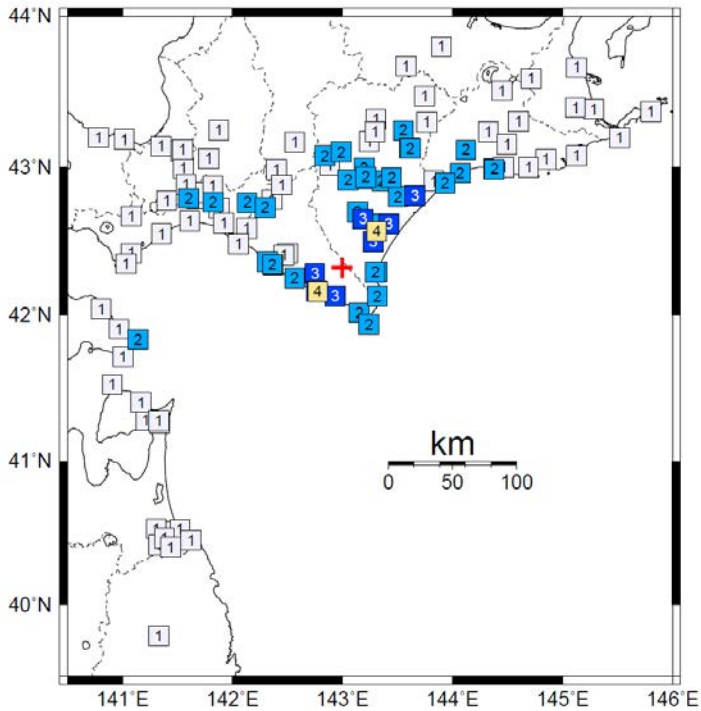


<推計震度分布図について>

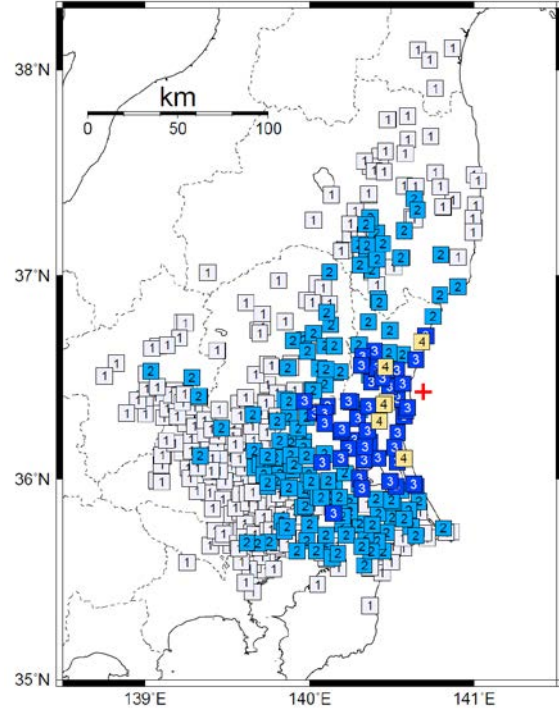
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

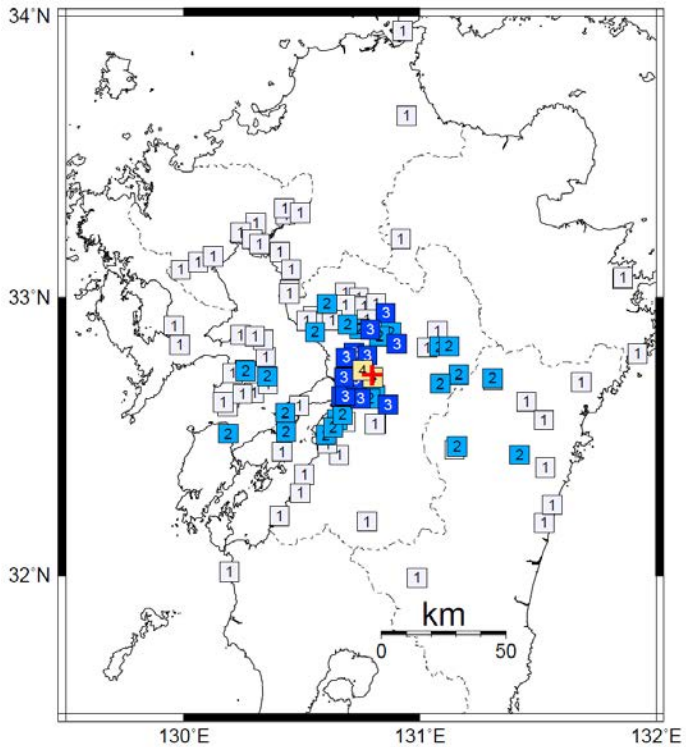
4 7月16日02時13分 日高地方東部
(M4.9、深さ55km、最大震度4)



5 7月17日04時34分 茨城県沖
(M4.8、深さ52km、最大震度4)



6 7月25日07時31分 熊本県熊本地方
(M4.4、深さ5km、最大震度4)



8 7月31日17時42分 福島県沖
(M5.8、深さ21km、最大震度4)

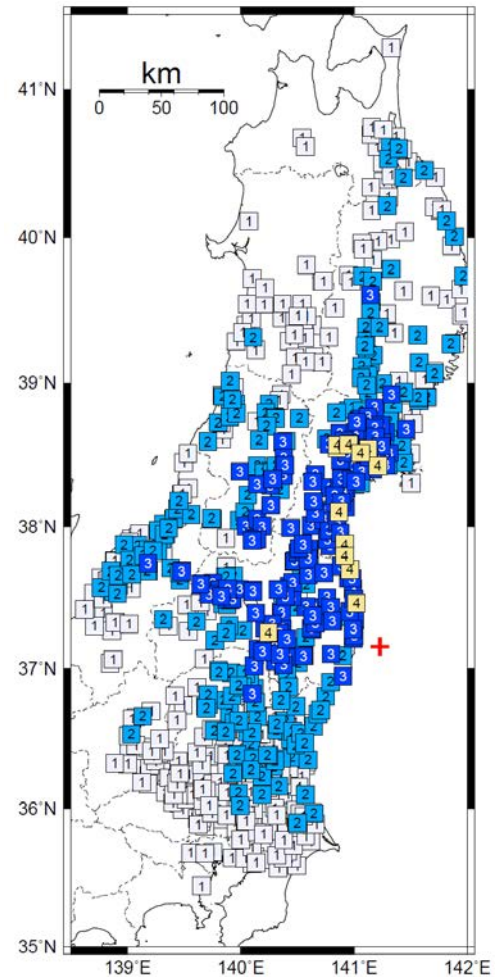


図4 震度分布図及び推計震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

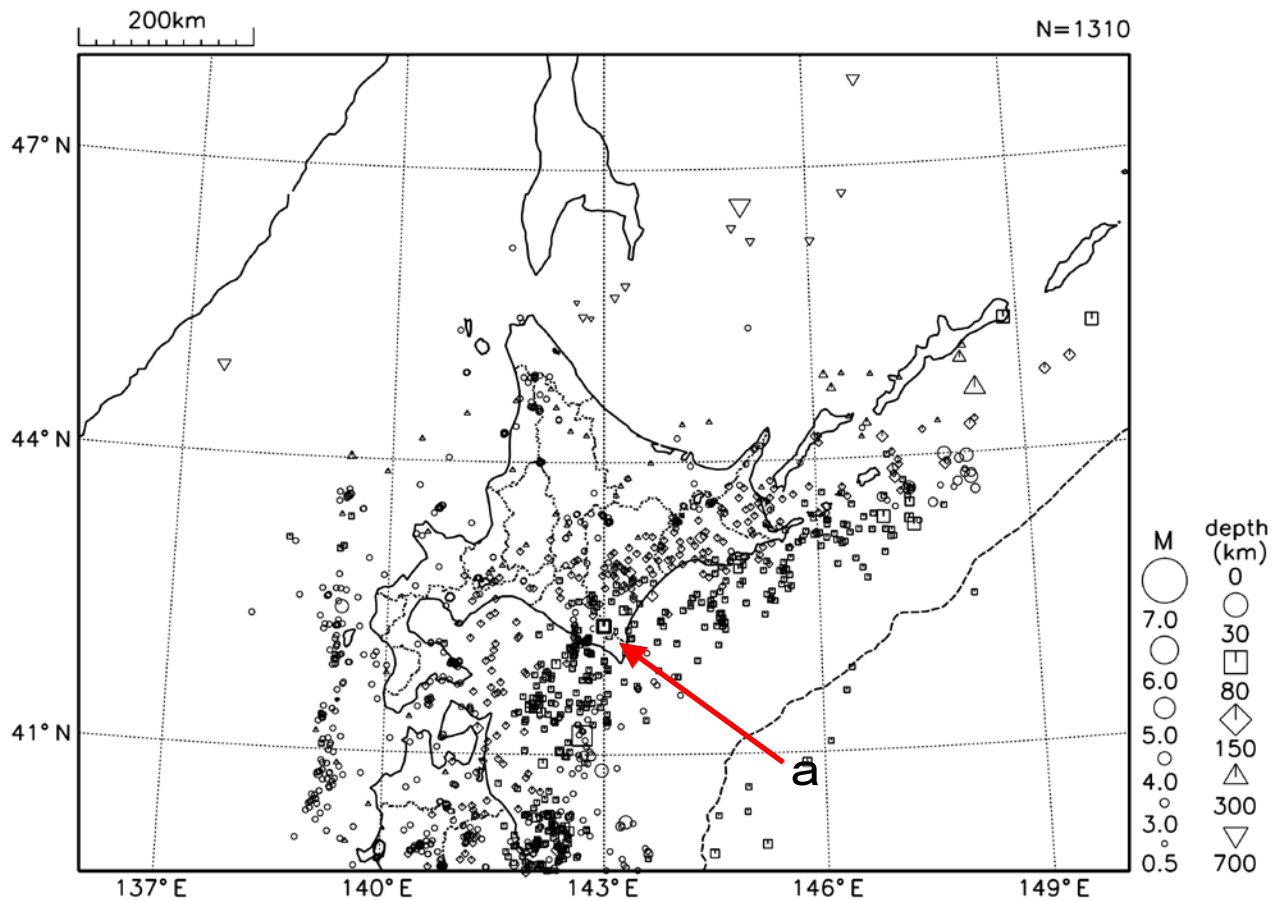


図5 北海道地方の震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は18回（6月は11回）であった。
7月中の主な地震活動は次のとおりである。

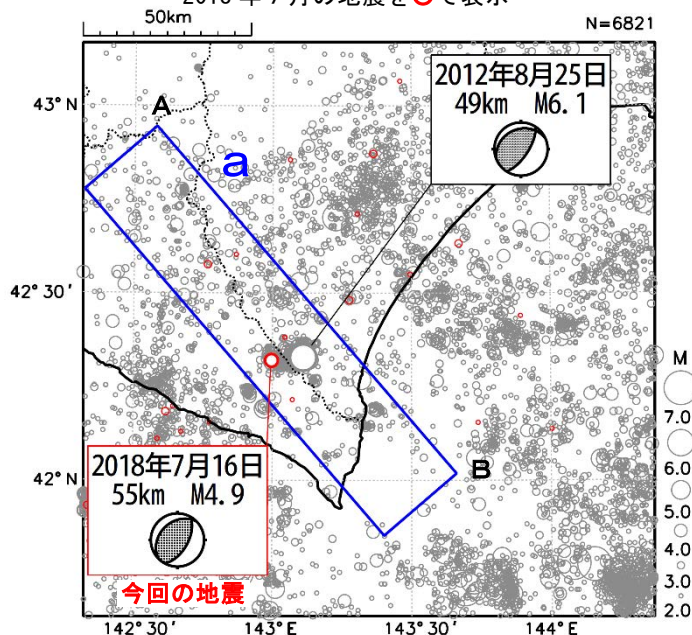
16日02時13分に日高地方東部の深さ55kmでM4.9の地震（図5中のa）が発生し、北海道浦河町と幕別町で震度4を観測したほか、北海道と青森県、岩手県で震度3～1を観測した（p6、8参照）。

7月16日 日高地方東部の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2018年7月の地震を○で表示



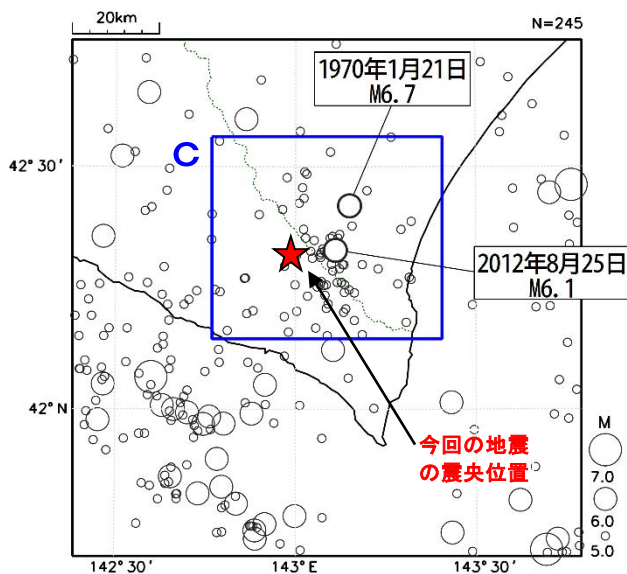
2018年7月16日02時13分に日高地方東部の深さ55kmでM4.9の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。2012年8月25日にはM6.1の地震 (最大震度5弱) が発生した。

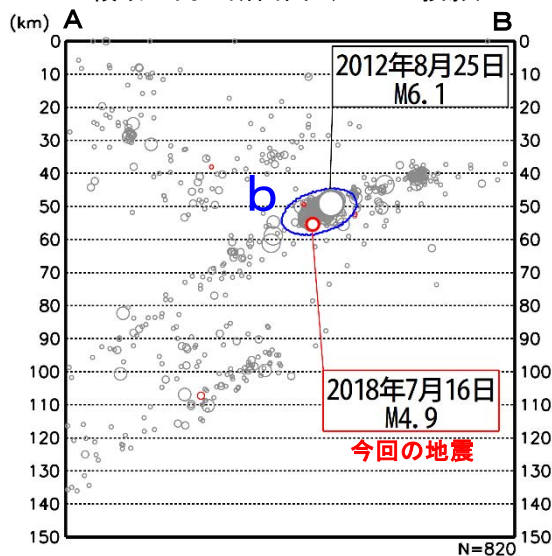
1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1970年1月21日に発生したM6.7の地震 (最大震度5) により、負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じている (「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

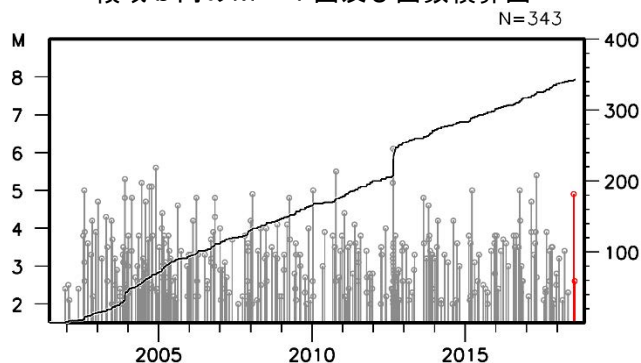
(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



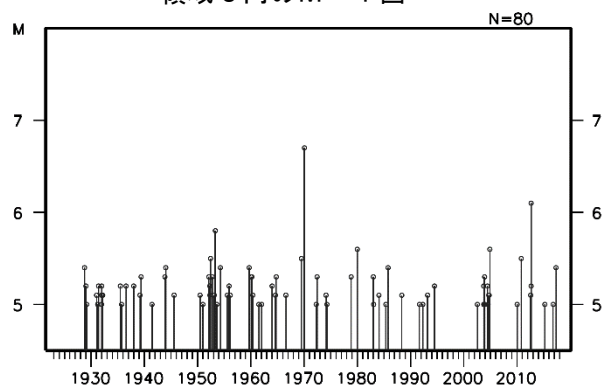
領域a内の断面図 (A-B投影)



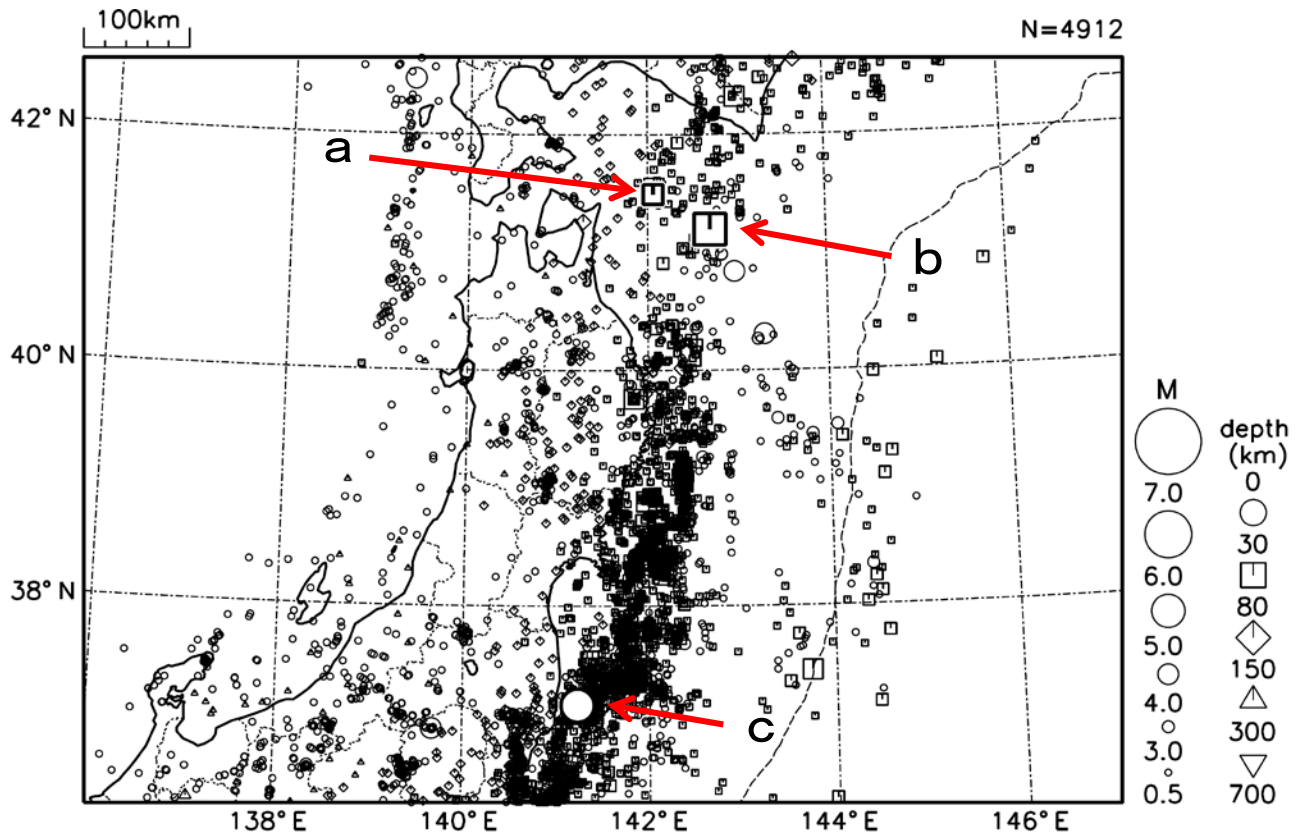
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○東北地方の地震活動

図6 東北地方の震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$)

〔概況〕

7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は40回（6月は30回）であった。
7月中の主な活動は次の通りである。

2日02時27分に青森県東方沖の深さ64kmでM4.9の地震（図6中のa）が発生し、青森県東通村で震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度3～1を観測した（p4、10参照）。

2日20時53分に青森県東方沖の深さ39kmでM5.0の地震（図6中のb）が発生し、青森県で震度3を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した（p11参照）。

31日17時42分に福島県沖の深さ21kmでM5.8の地震（図6中のc）が発生し、福島県、宮城県で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方及び新潟県にかけて震度3～1を観測した（p6、12参照）。

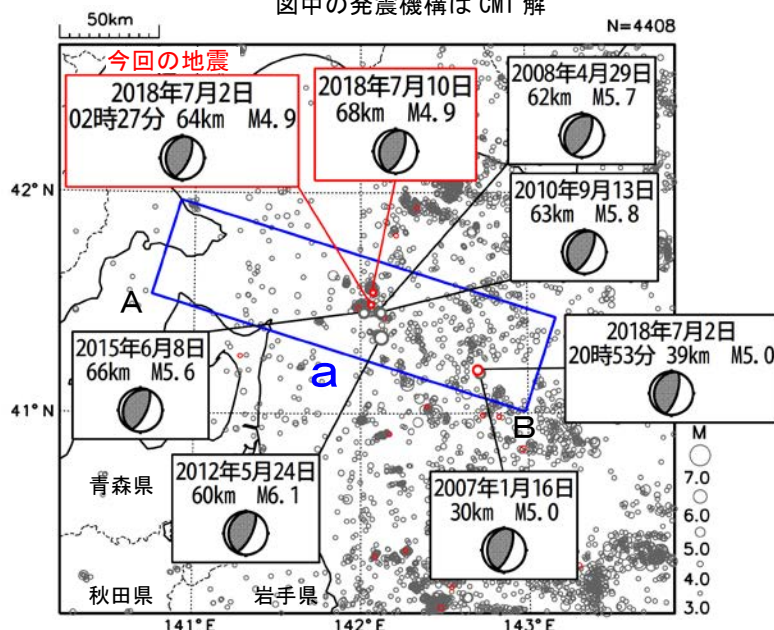
7月2日02時27分 青森県東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2018年7月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解



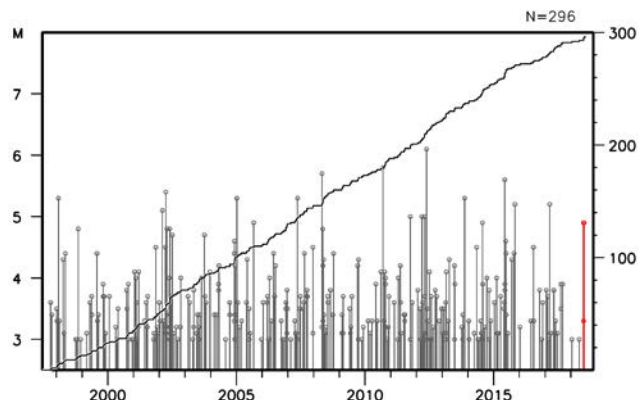
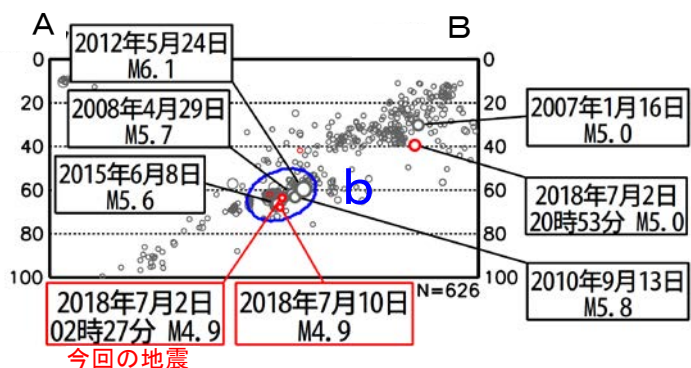
2018年7月2日02時27分に青森県東方沖の深さ64kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。また、同月10日13時55分に今回の地震の震源付近(領域b)でM4.9の地震(最大震度3)が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2012年5月24日にM6.1の地震(最大震度5強)が発生するなど、M5.0以上の地震が15回発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」(M7.9、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、M7.0以上の地震が6回発生している。

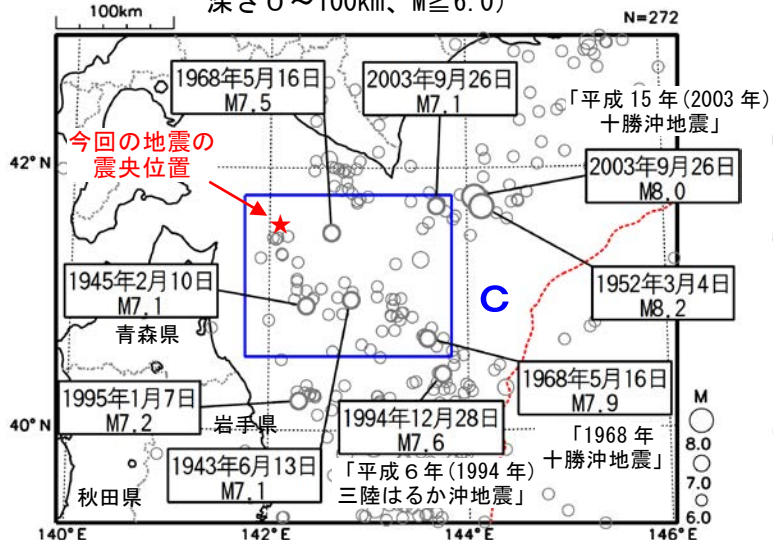
領域b内のM-T図及び回数積算図

領域a内の断面図(A-B投影)

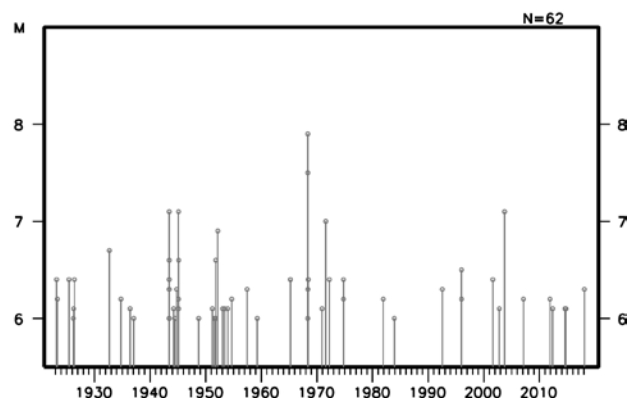


震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM-T図



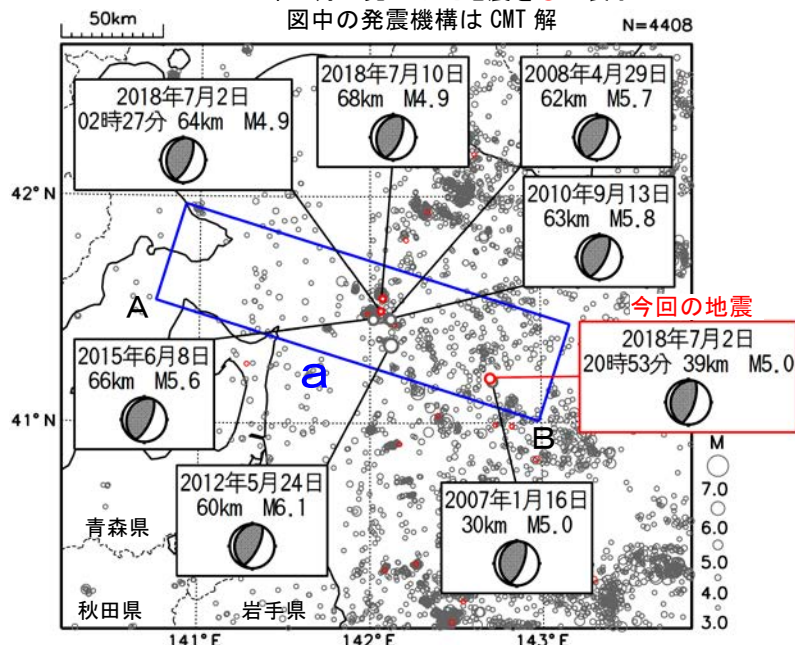
7月2日 20時53分 青森県東方沖の地震

震央分布図

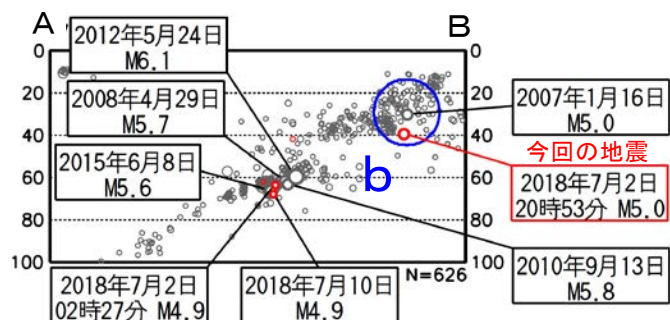
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2018年7月に発生した地震を○で表示

図中の発震機構はCMT解

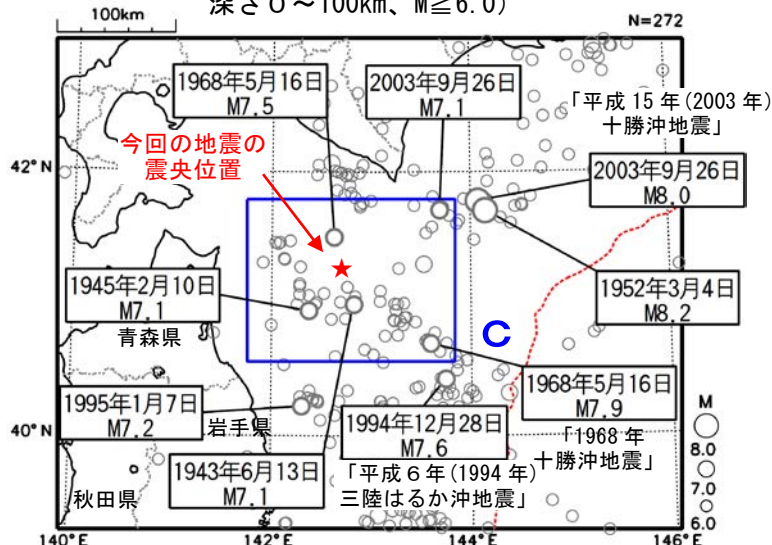


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

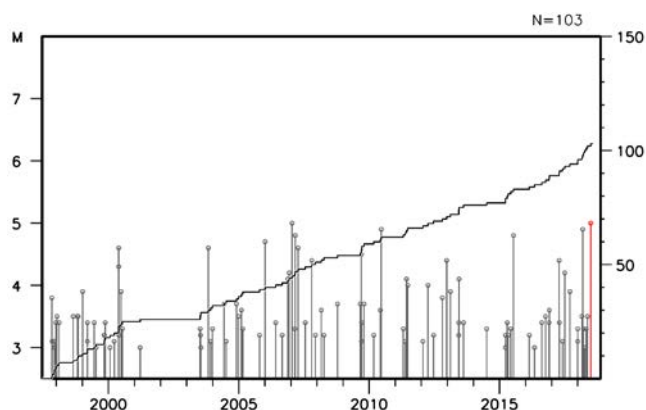


2018年7月2日 20時53分に青森県東方沖の深さ39kmで $M5.0$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

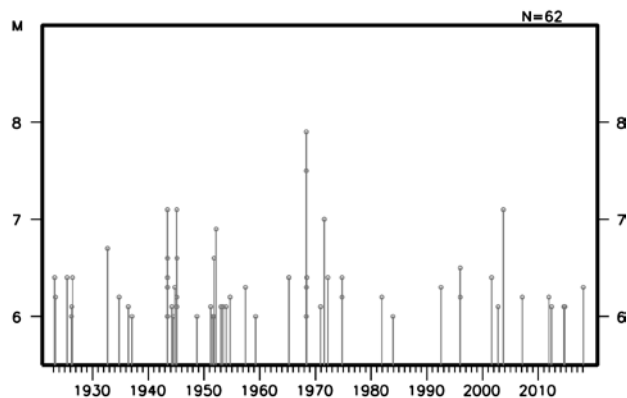
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2007年1月16日に $M5.0$ (最大震度2)の地震が発生するなど、 $M4.0$ 以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1968年十勝沖地震」($M7.9$ 、最大震度5)により、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟等の被害が生じる(被害は「日本被害地震総覧」による)など、 $M7.0$ 以上の地震が6回発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

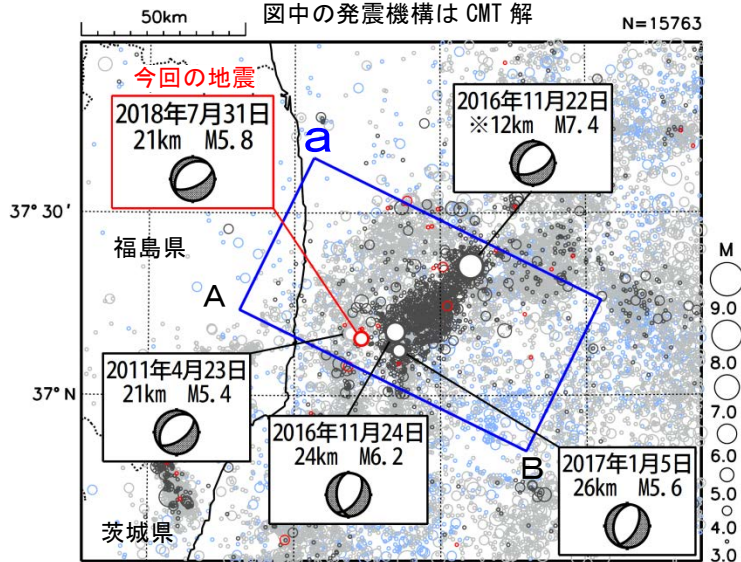


7月31日 福島県沖の地震

震央分布図

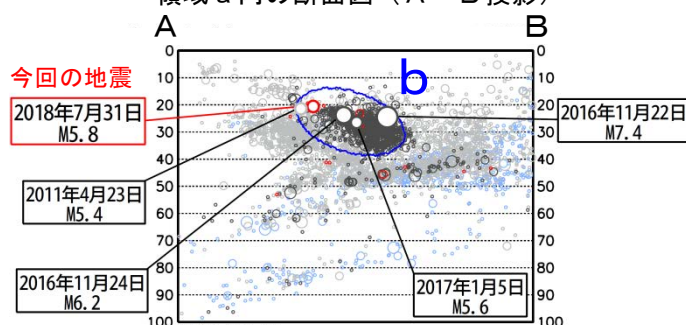
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2016年11月22日以降に発生した地震を濃い○、
2018年7月に発生した地震を○で表示
図中の発震機構はCMT解



※2016年11月22日の地震 ($M7.4$) の深さはCMT解による。

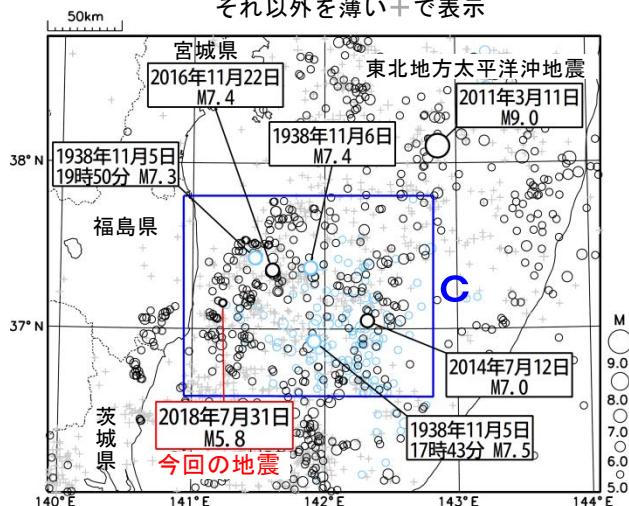
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○、
それ以外を薄い+で表示

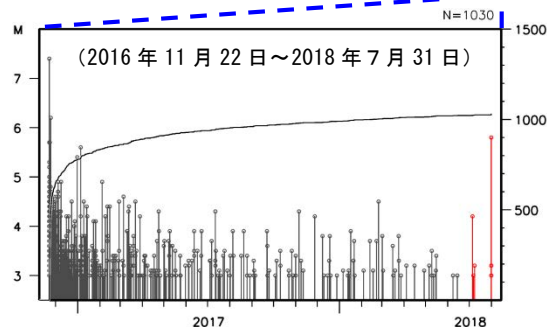
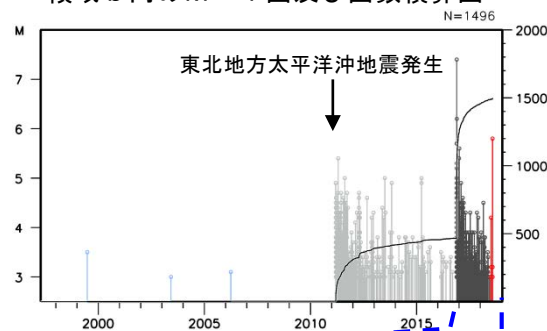


2018年7月31日17時42分に福島県沖の深さ21kmで $M5.8$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT解) は北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

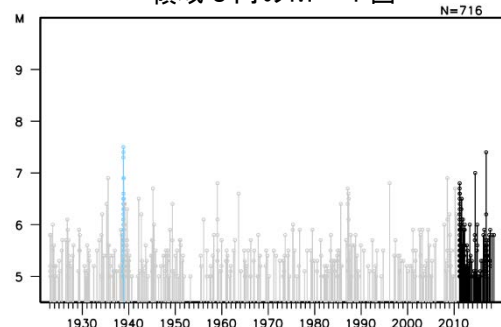
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震と記す) の発生以降、地震活動が活発化した。地震活動が減衰傾向にあった中で、2016年11月22日に $M7.4$ の地震が発生し、地震活動が再び活発となったが、その後徐々に低下してきている。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日に $M7.5$ の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測された (「験震時報第10巻」による)。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までに $M6.0$ 以上の地震が25回発生した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

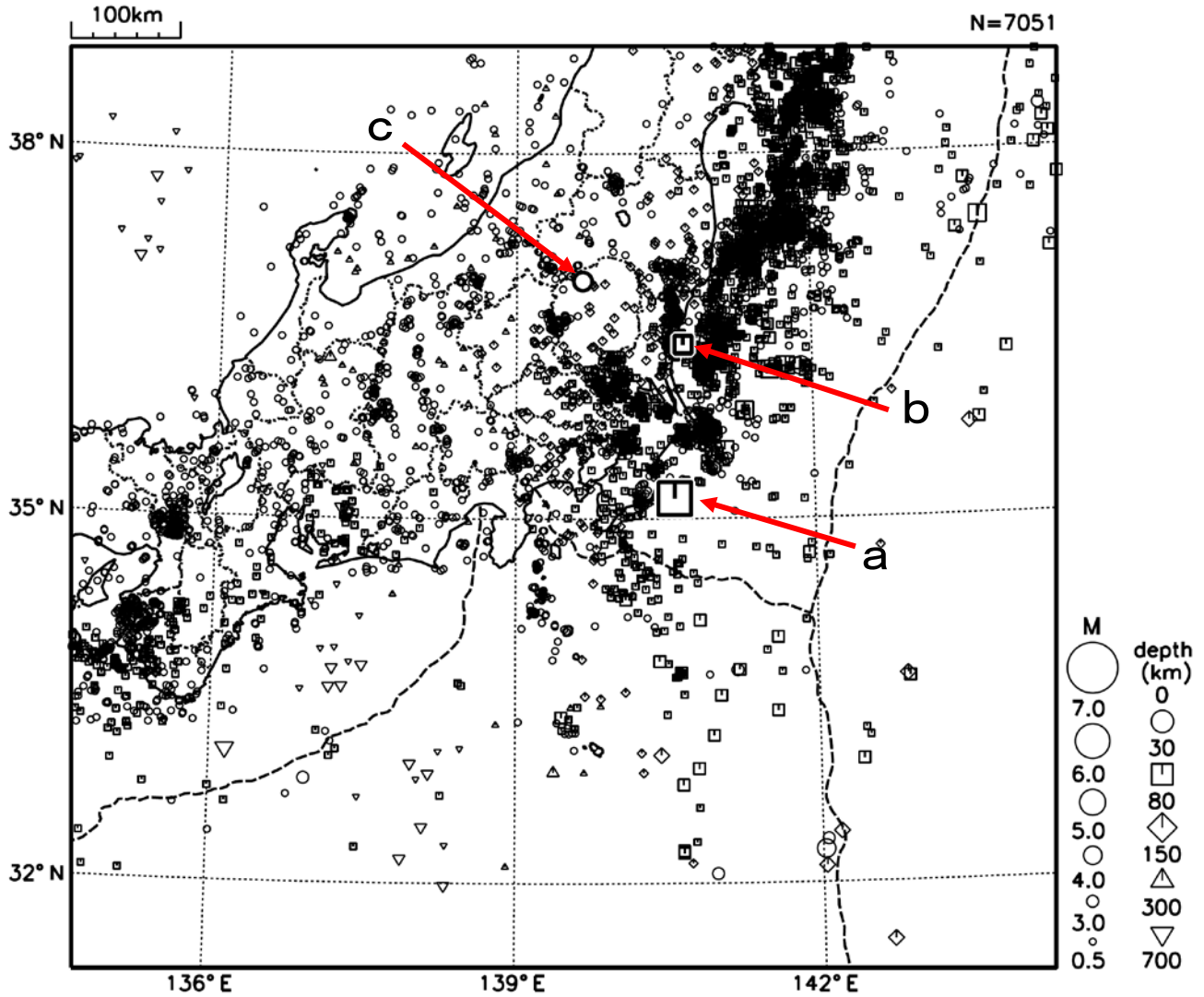


図7 関東・中部地方の震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は62回（6月は71回）であった。7月中の主な活動は次のとおりである。

7日20時23分に千葉県東方沖の深さ57kmでM6.0の地震（図7中のa）が発生し、千葉県長南町で最大震度5弱を観測したほか、関東地方を中心に東北地方南部から中部地方にかけて震度4～1を観測した（p5、14参照）。

17日04時34分に茨城県沖の深さ52kmでM4.8の地震（図7中のb）が発生し、茨城県で最大震度4を観測したほか、東北地方南部から関東地方にかけて震度3～1を観測した（p6、15参照）。

29日09時58分に栃木県北部の深さ7kmでM4.5の地震（図7中のc）が発生し、栃木県と福島県で震度3を観測したほか、関東地方及び新潟県で震度2～1を観測した（p16参照）。

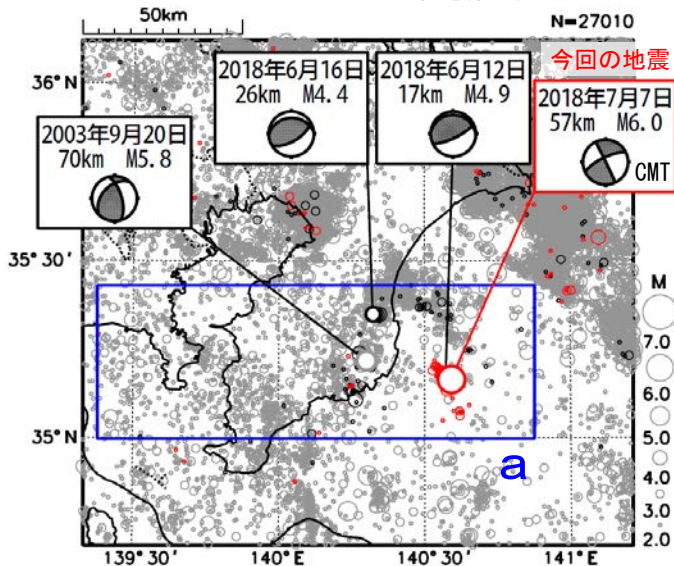
7月7日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

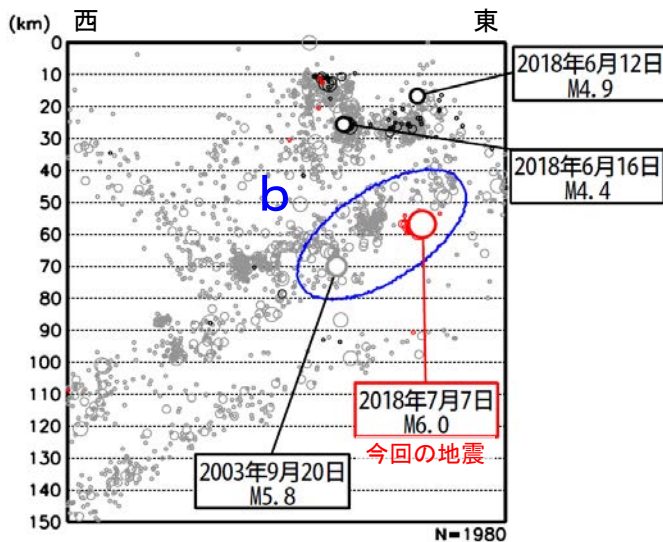
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)

2018年6月1日～7月6日の地震を濃く表示

2018年7月7日以降の地震を赤く表示

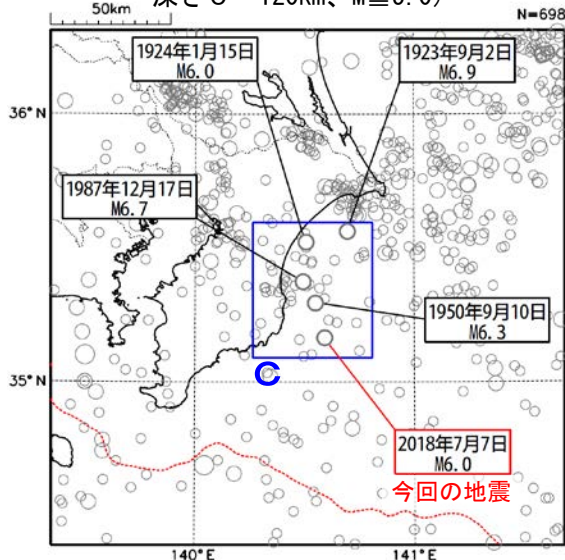


領域a内の断面図 (東西投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



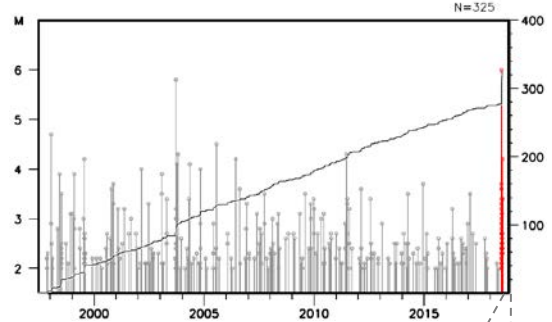
2018年7月7日20時23分に千葉県東方沖の深さ57kmでM6.0の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、6月3日からまとまった地震活動がみられ、6月12日にM4.9の地震 (最大震度3)、同16日にM4.4の地震 (最大震度4) が発生しているが、これらとは深さが30～40km程度異なっている。

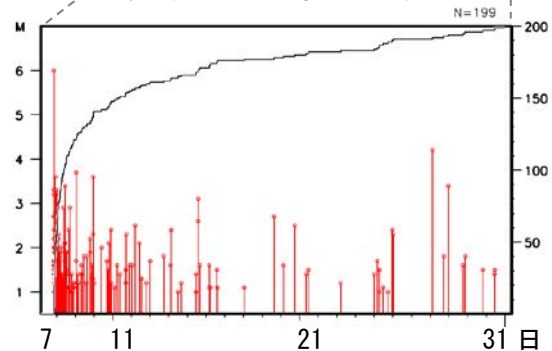
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2003年9月20日にM5.8の地震 (最大震度4) が発生し、負傷者8人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域c) では、M6.0以上の地震が4回 (今回の地震を除く) 発生しており、このうち1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震 (M6.7、最大震度5) では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家一部破損7万余棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

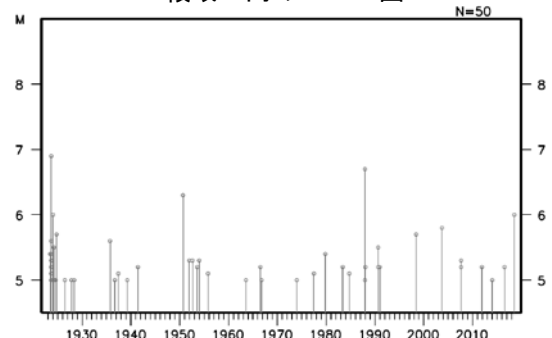
領域b内のM-T図及び回数積算図



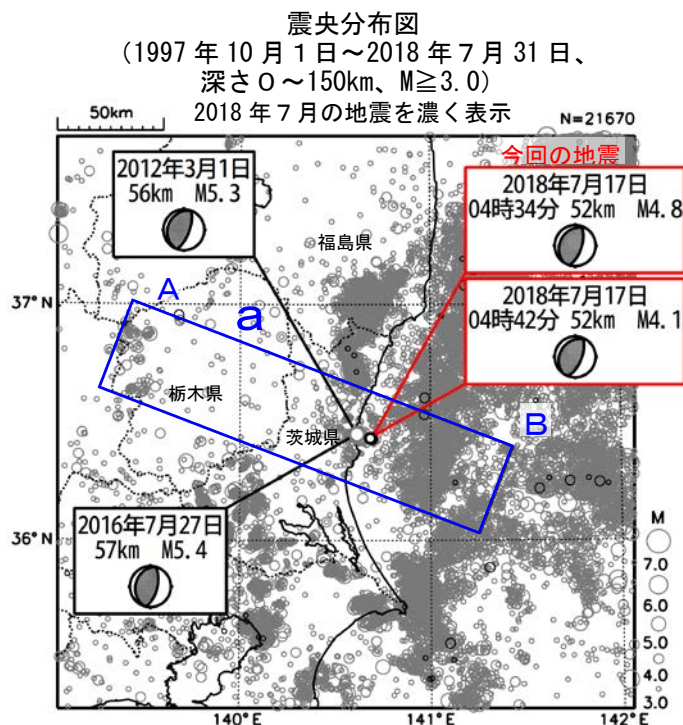
(2018年7月7日12時～31日、 $M \geq 1.0$)



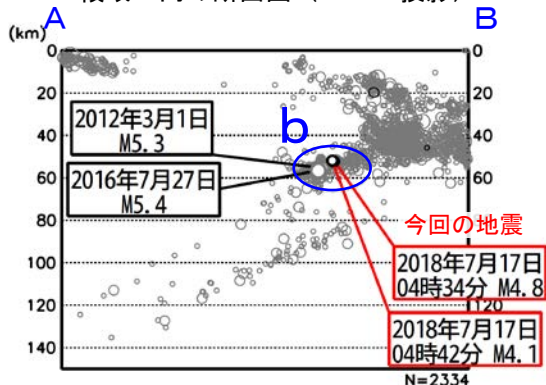
領域c内のM-T図



7月17日 茨城県沖の地震

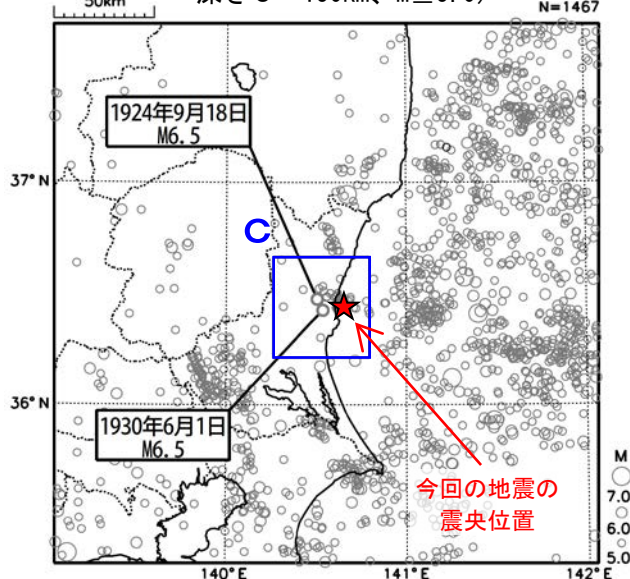


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

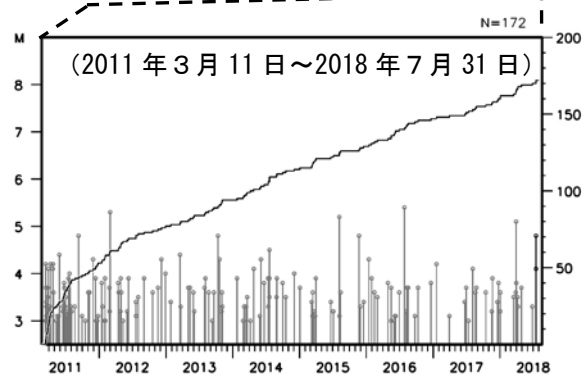
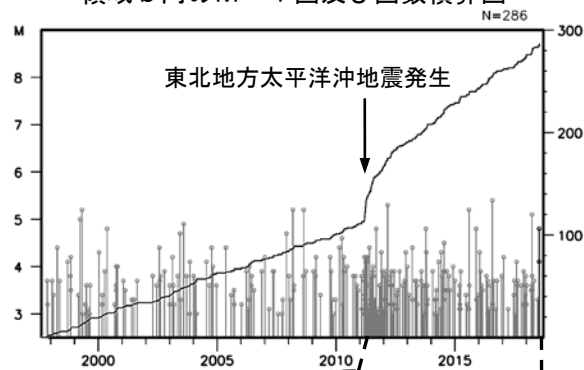


2018年7月17日04時34分に茨城県沖の深さ52kmでM4.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の発生以降、同日04時42分にM4.1の地震(最大震度3)が発生した。

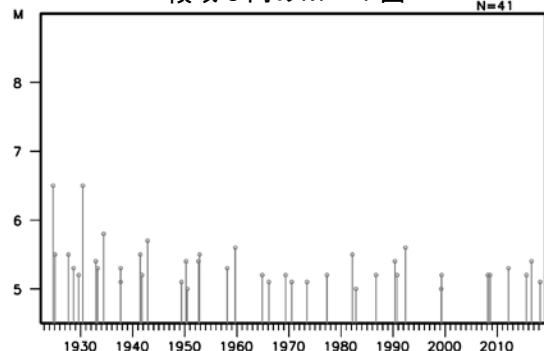
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M5.0以上の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、活動がより活発になっており、2012年3月1日にはM5.3の地震(最大震度5弱)、2016年7月27日にはM5.4の地震(最大震度5弱)が発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域c)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、このうち、1930年6月1日に発生したM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



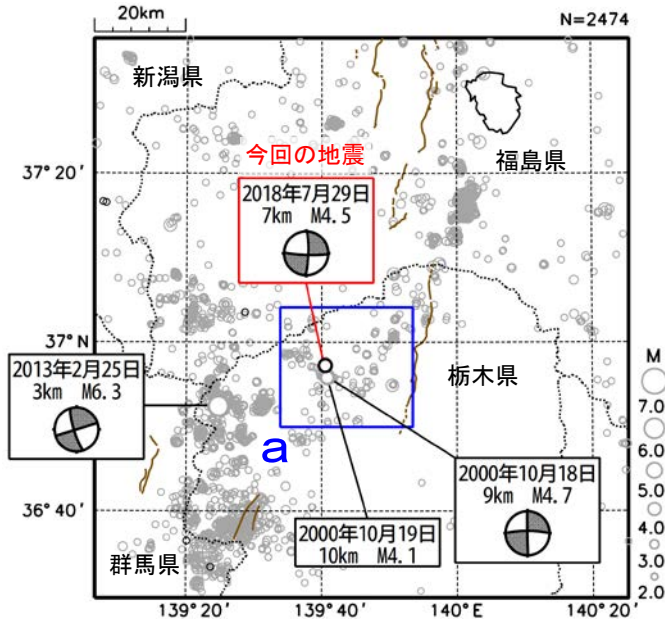
領域c内のM-T図



7月29日 栃木県北部の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2018年7月以降の地震を濃く表示

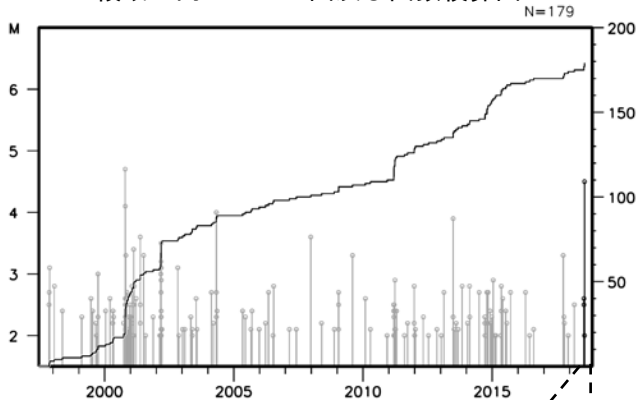


2018年7月29日09時58分に栃木県北部の深さ7kmでM4.5の地震（最大震度3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生以降、一時的にややまとまった地震活動がみられた。

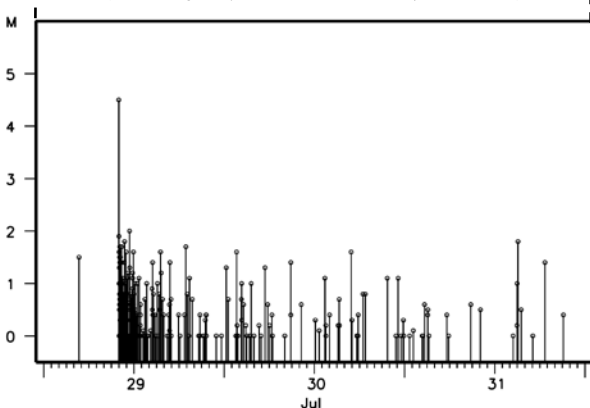
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、ややまとまった地震活動が時々みられており、2000年には、10月18日にM4.7の地震、翌19日にM4.1の地震（いずれも最大震度4）が発生した。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）では、M6.0以上の地震が3回発生している。最近では、2013年2月25日にM6.3の地震（最大震度5強）が発生した。また、1949年12月26日には、08時17分と08時24分にそれぞれM6.2とM6.4の地震が短い時間で連続して発生し（今市地震）、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟、非住家全壊618棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



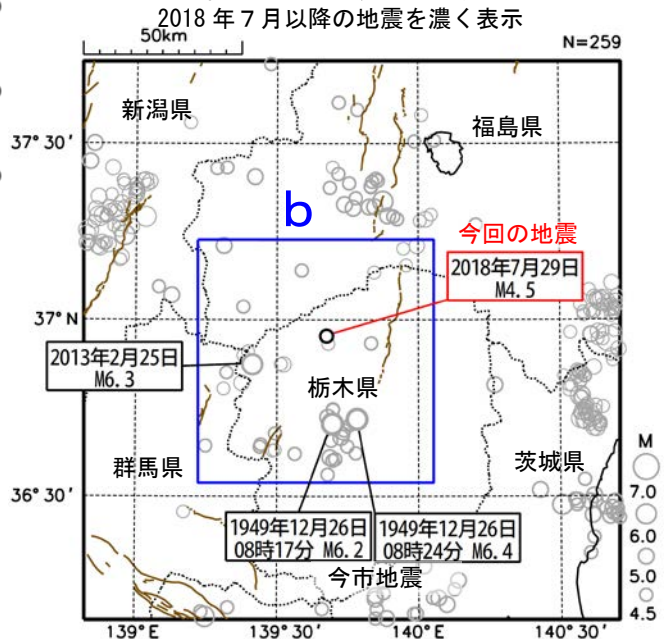
領域a内のM-T図 (2018年7月29日～31日、M全て)



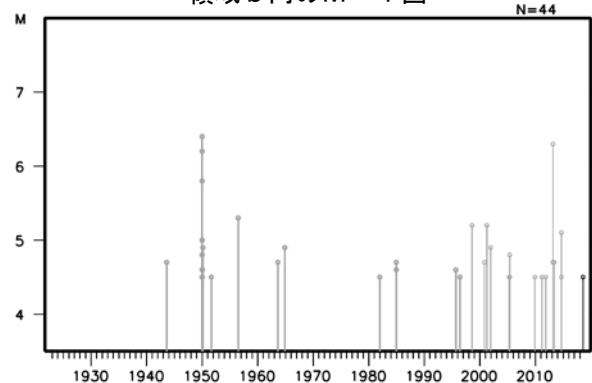
震央分布図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.5$)
2018年7月以降の地震を濃く表示



領域b内のM-T図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

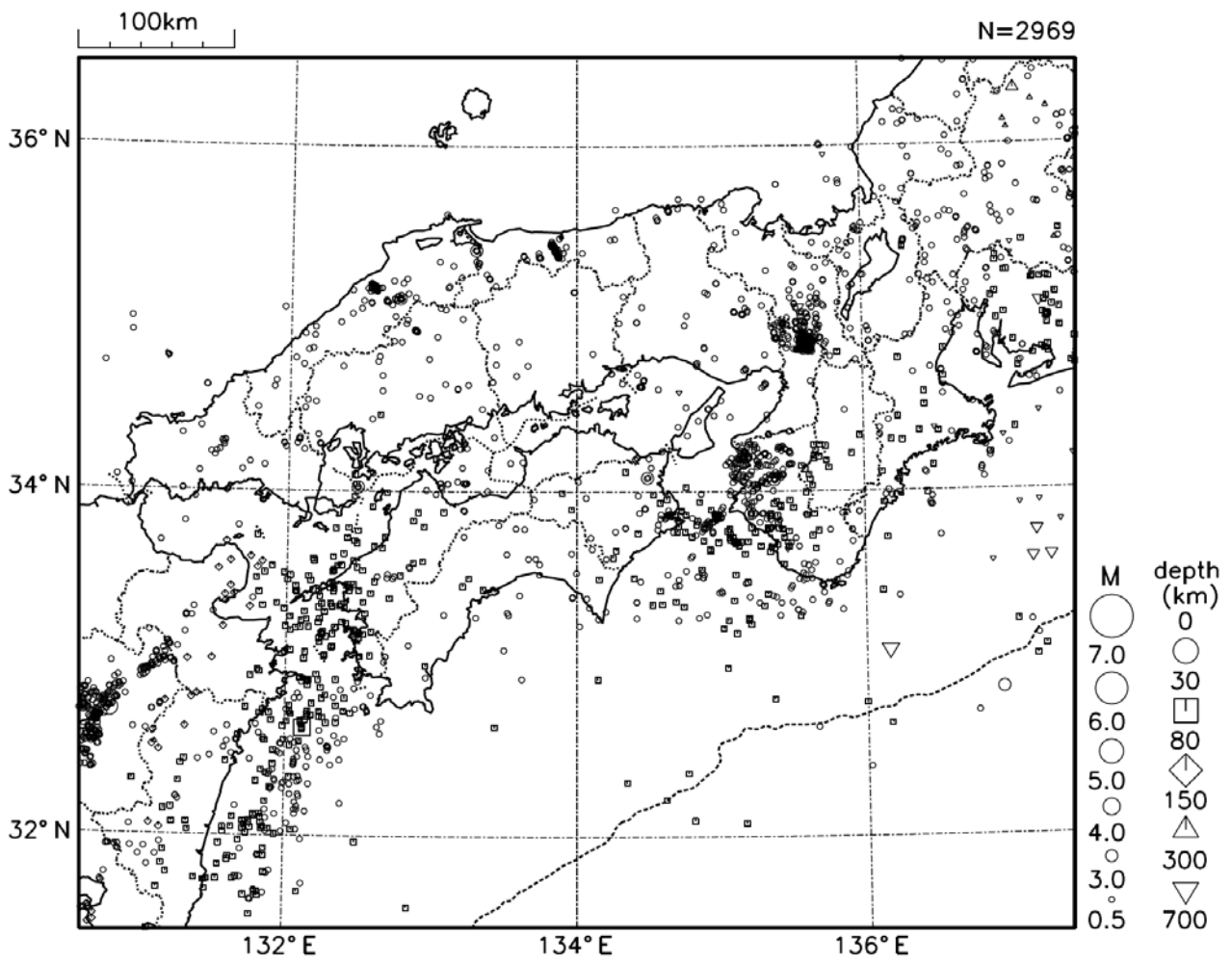


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

7月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は32回（6月は63回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

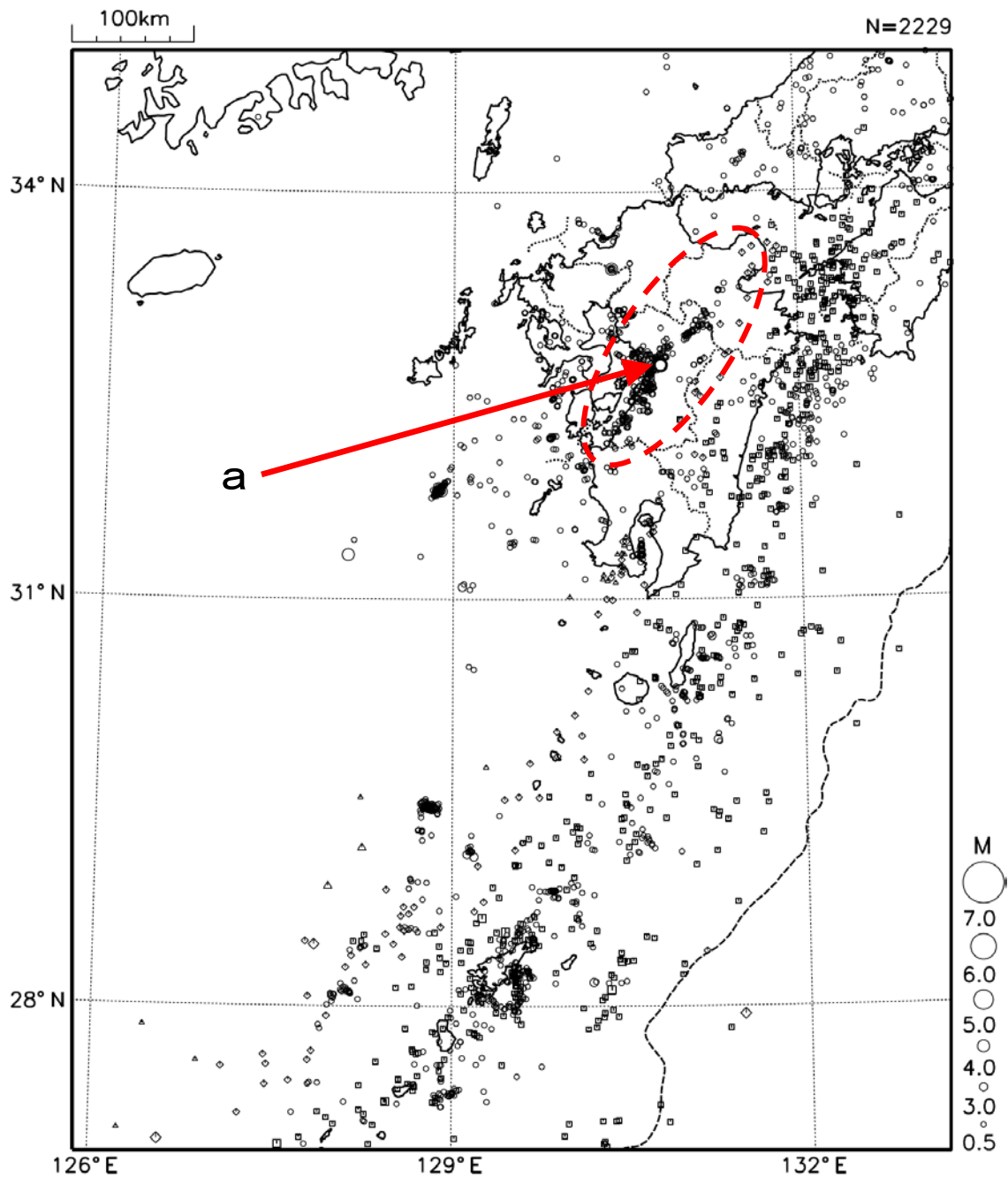


図9 九州地方の震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は23回（6月は27回）であった。
7月中の主な活動は次のとおりである。

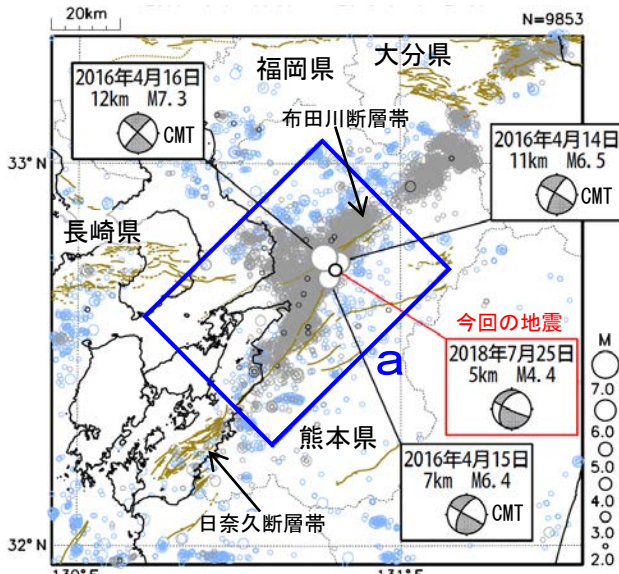
25日07時31分に熊本県熊本地方の深さ5 kmで $M4.4$ の地震（図9中のa）が発生し、熊本県御船町、嘉島町、益城町で震度4を観測したほか、熊本県を中心に九州地方及び山口県で震度3～1を観測した。この地震は、「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域（図9中の破線）内で発生した（p6、19参照）。

7月25日 熊本県熊本地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を薄い○、
2018年7月に発生した地震を濃い○で表示

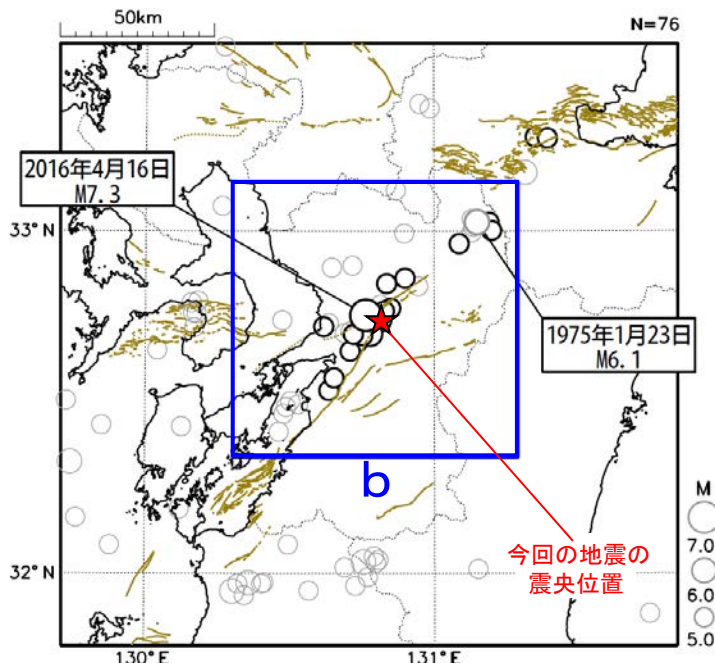


図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

震央分布図

(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を薄い○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を濃い○で表示



★は今回の地震の震央位置

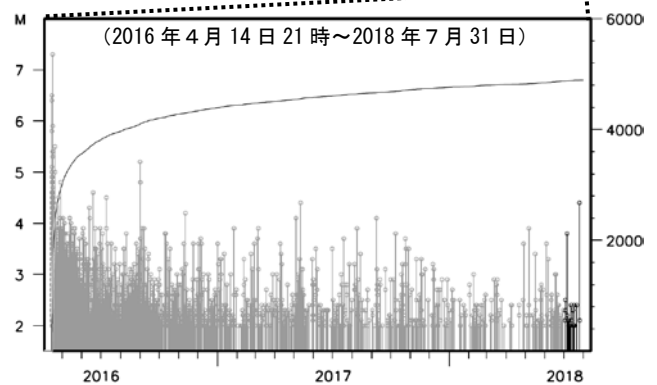
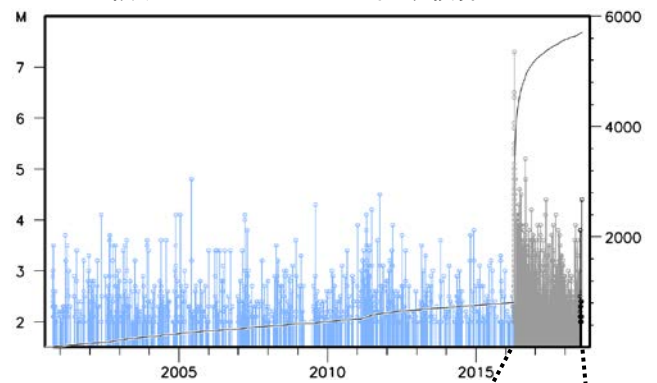
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

2018年7月25日07時31分に、熊本県熊本地方の深さ5kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震は「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域内で発生した地殻内の地震である。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型である。

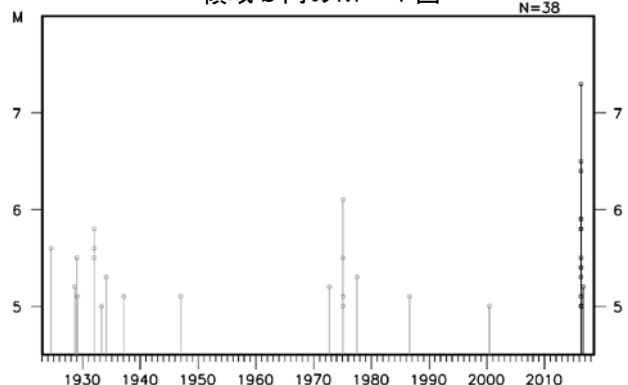
「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。この活動により死者269人などの被害が生じた（2018年7月17日現在、総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。1975年1月には、熊本県阿蘇地方で地震活動が活発となり、同月22日から25日にかけてM5.0以上の地震が4回発生し、負傷者10人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図と回数積算図



領域b内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

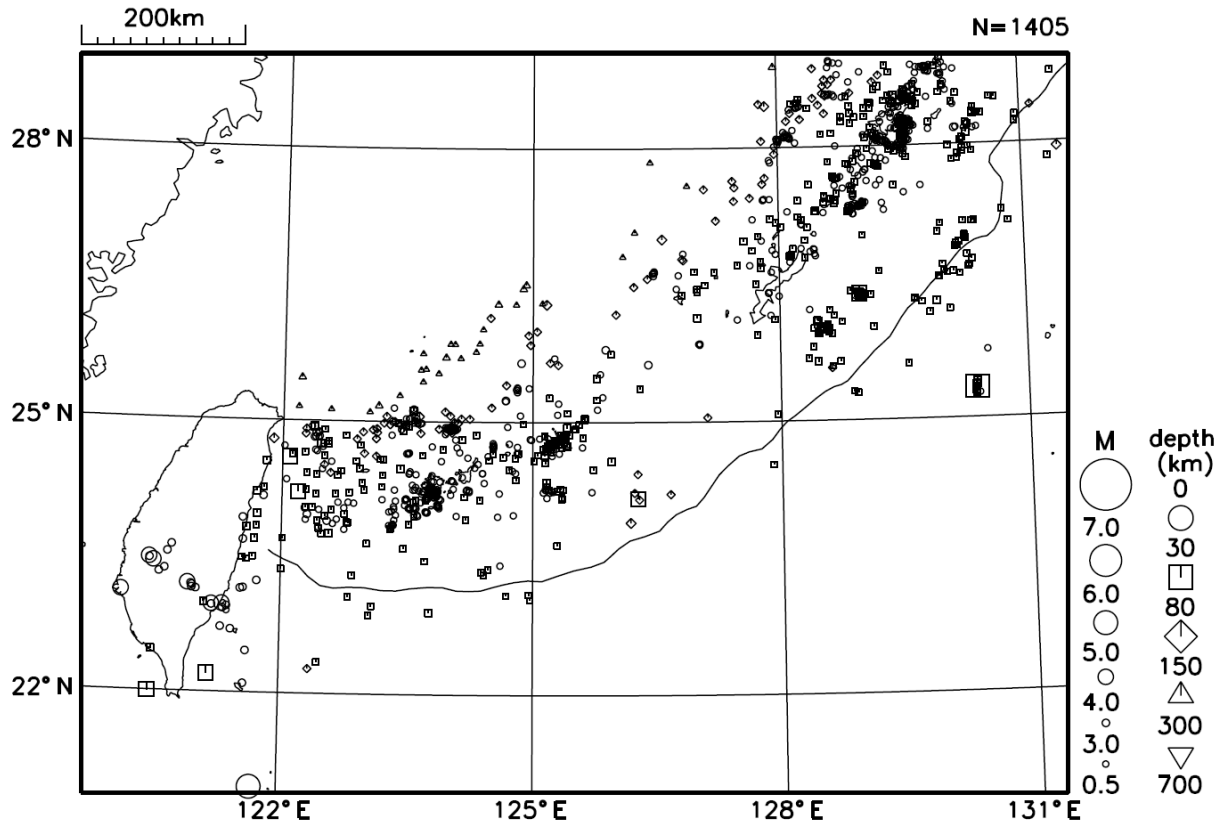


図10 沖縄地方の震央分布図（2018年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（6月は12回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

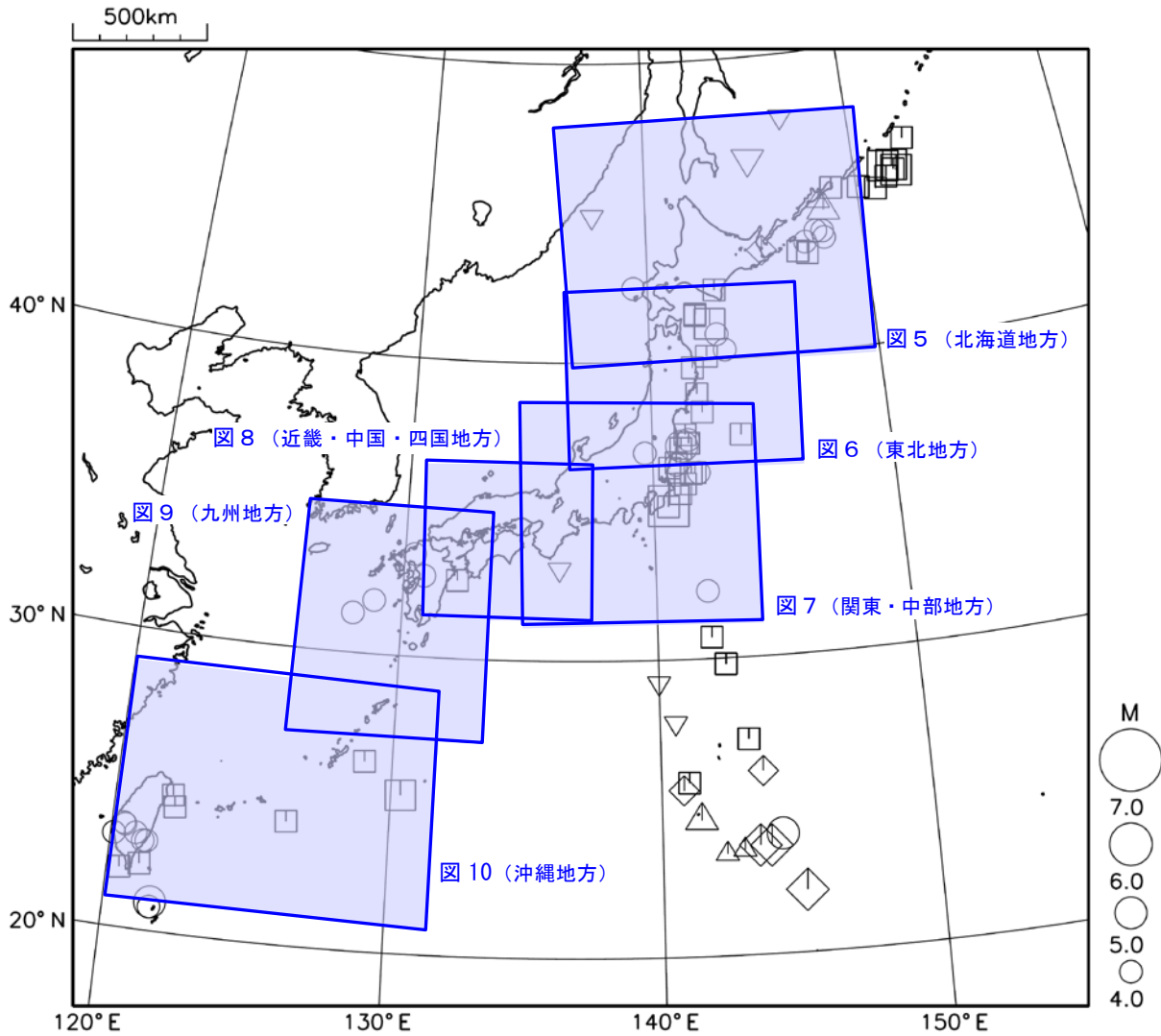


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2018 年 7 月 1 日～7 月 31 日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

7 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 1 回であった（6 月は 1 回）。

7 月中、図 5～10 の領域外で特に目立った活動はなかった。

●南海トラフ沿いの地震活動

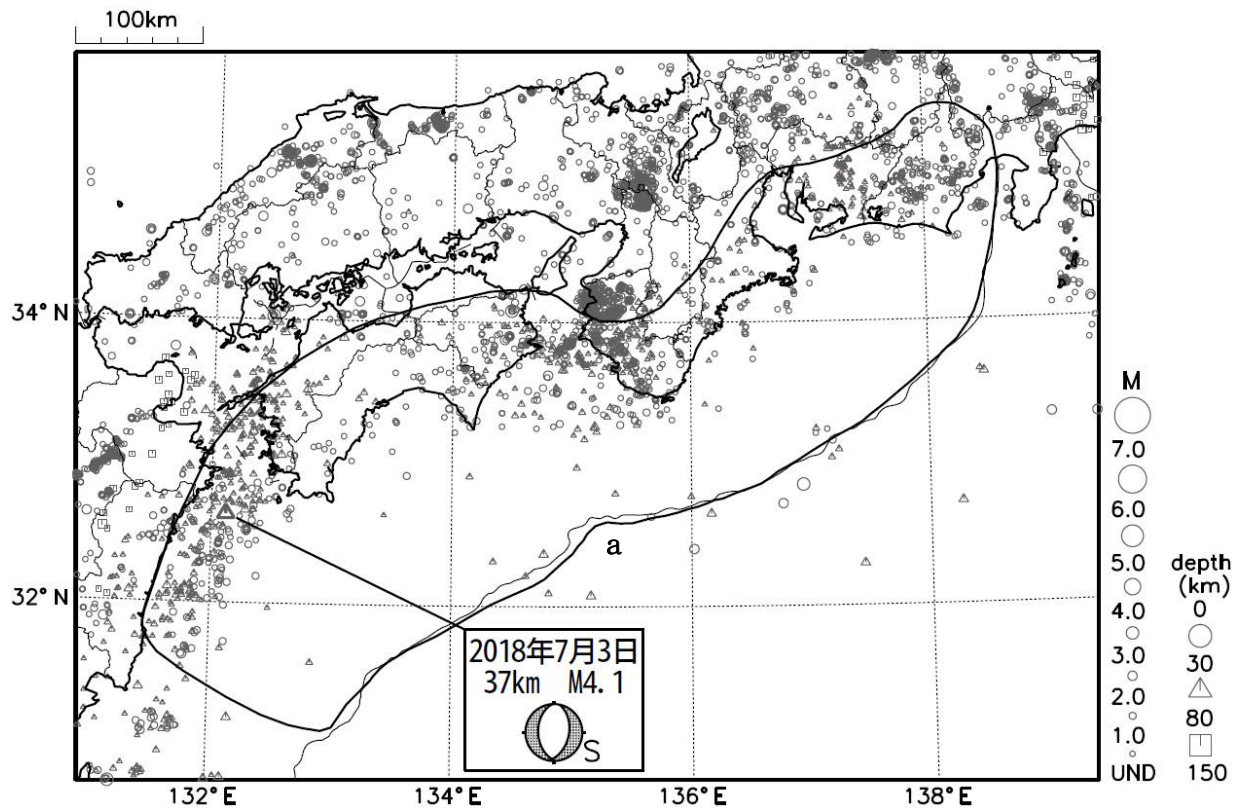


図1 震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、深さ0～150km、Mすべて)

- ・ 図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域（領域a内）で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外（領域a内以外）の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震。
- ・ 震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・ 発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
7/3	20:38	日向灘	37	4.1	3	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震(微動)活動期間

四国	紀伊半島	東海
■香川県東部、香川県西部 7月19日 ■徳島県北部 (特段の活動はなかった) ■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予 7月12日～16日、7月28日～30日 ■愛媛県東予、瀬戸内海中部 7月14日、7月20日 ■愛媛県南予、伊予灘 7月3日 ■愛媛県中予、愛媛県南予 ■愛媛県南予、伊予灘 <u>7月10日～28日</u>・・・・・・・・(1) 7月30日 ■愛媛県南予、豊後水道 7月10日～11日、7月15日 <u>7月18日～20日</u>・・・・・・・・(2)	■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月30日～(継続中) ■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月2日～3日 7月20日 7月26日～27日 ■奈良県 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 7月7日～8日 7月12日～13日 7月20日～22日 7月29日～30日	■長野県南部 (特段の活動はなかった) ■愛知県東部、愛知県西部 7月3日～4日 7月7日～8日 7月13日～15日 7月23日 7月26日～27日

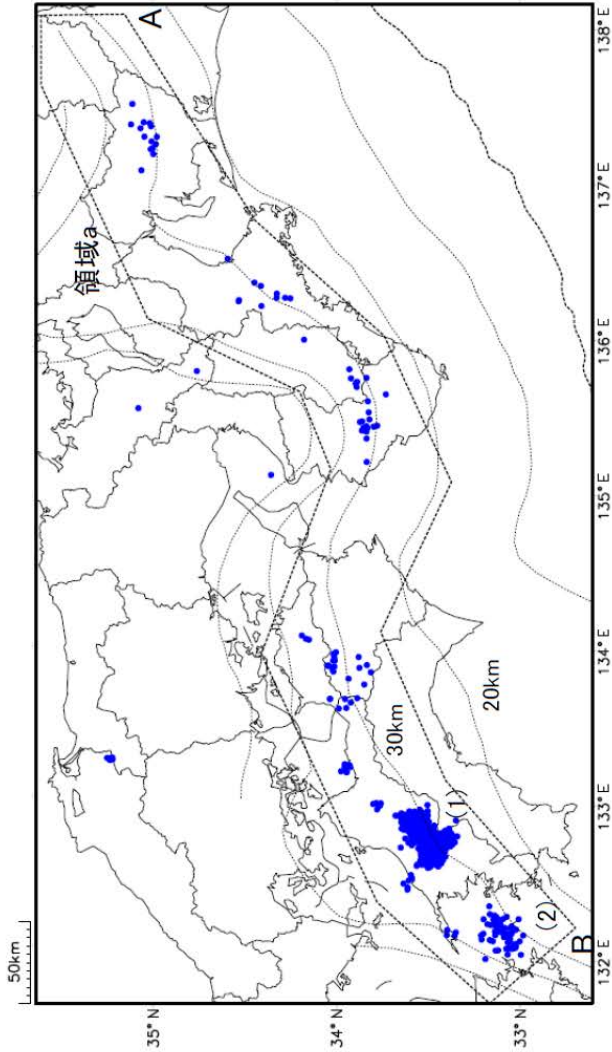
※深部低周波地震(微動)活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動(継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの)について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震(微動)活動を赤字で示す。

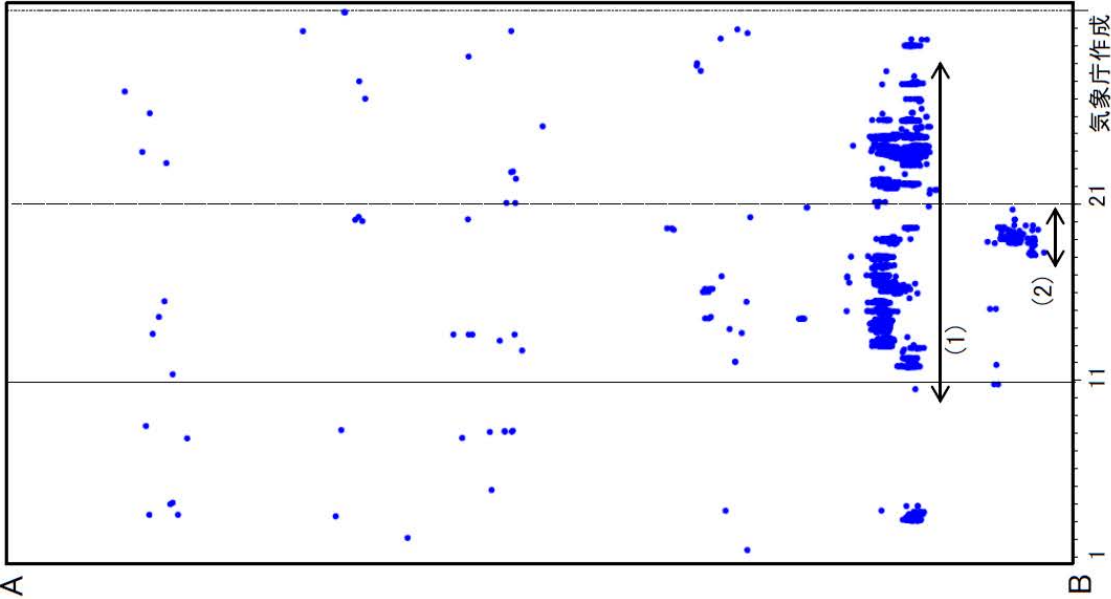
※上の表中(1)(2)を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震(微動)活動として取り上げたもの。

深部低周波地震(微動)活動

深部低周波地震(微動)の震央分布図(2018年7月1日～7月31日)



領域a(点線矩形)内の時空間分布図
(A-B投影)



主な活動

番号	活動場所	期間
(1)	愛媛県中予から愛媛県南予	7月10日～7月28日
(2)	豊後水道	7月18日～7月20日

●: 深部低周波地震(微動)の震央

点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

図2 深部低周波地震活動 (2018年7月1日～2018年7月31日)

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」について

平成30年8月7日に気象庁において第10回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第388回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表した。これに関連する資料をp26～p45に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

プレート境界付近を震源とする主な深部低周波地震(微動)を以下の領域で観測しました。

- (1) 愛媛県中予から愛媛県南予：7月10日から28日
- (2) 豊後水道：7月18日から20日

2. 地殻変動の観測状況

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。

一方、GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

なお、2018年5月まで実施したGNSS-音響測距観測によると、紀伊水道沖で通常とは異なる変化を2017年末頃から観測しています。

3. 地殻活動の評価

上記(1)、(2)の深部低周波地震(微動)及びひずみ観測点で観測した地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した「短期的ゆっくりすべり」に起因すると推定しています。

GNSS-音響測距観測で観測されている紀伊水道沖の通常とは異なる変化は、紀伊水道沖における非定常地殻変動によるものである可能性があります。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていないと考えられます。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表している。

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ：cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、通常地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

平成30年7月1日～平成30年8月7日09時の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
7/3	20:38	日向灘	37	4.1	3	フィリピン海プレート内部
8/3	23:38	和歌山県南方沖	-	3.9	-	

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■香川県東部、香川県西部 7月19日 8月2日～3日、8月5日～6日 ■徳島県北部 (特段の活動はなかった) ■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予 7月12日～16日、7月28日～30日 ■愛媛県東予、瀬戸内海中部 7月14日、7月20日、8月3日 8月6日～(継続中) ■愛媛県南予、伊予灘 7月3日 ■愛媛県中予、愛媛県南予 ■愛媛県南予、伊予灘 <u>7月10日～28日</u>・・・・・・(1) 7月30日、8月1日～2日 8月6日～(継続中) ■愛媛県南予、豊後水道 7月10日～11日、7月15日 <u>7月18日～20日</u>・・・・・・(2)	■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月30日～8月1日 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月2日～3日 7月20日 7月26日～27日 ■奈良県 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 7月7日～8日 7月12日～13日 7月20日～22日 7月29日～30日 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 8月5日～(継続中)	■長野県南部 (特段の活動はなかった) ■愛知県東部、愛知県西部 7月3日～4日 7月7日～8日 7月13日～15日 7月23日 7月26日～27日

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

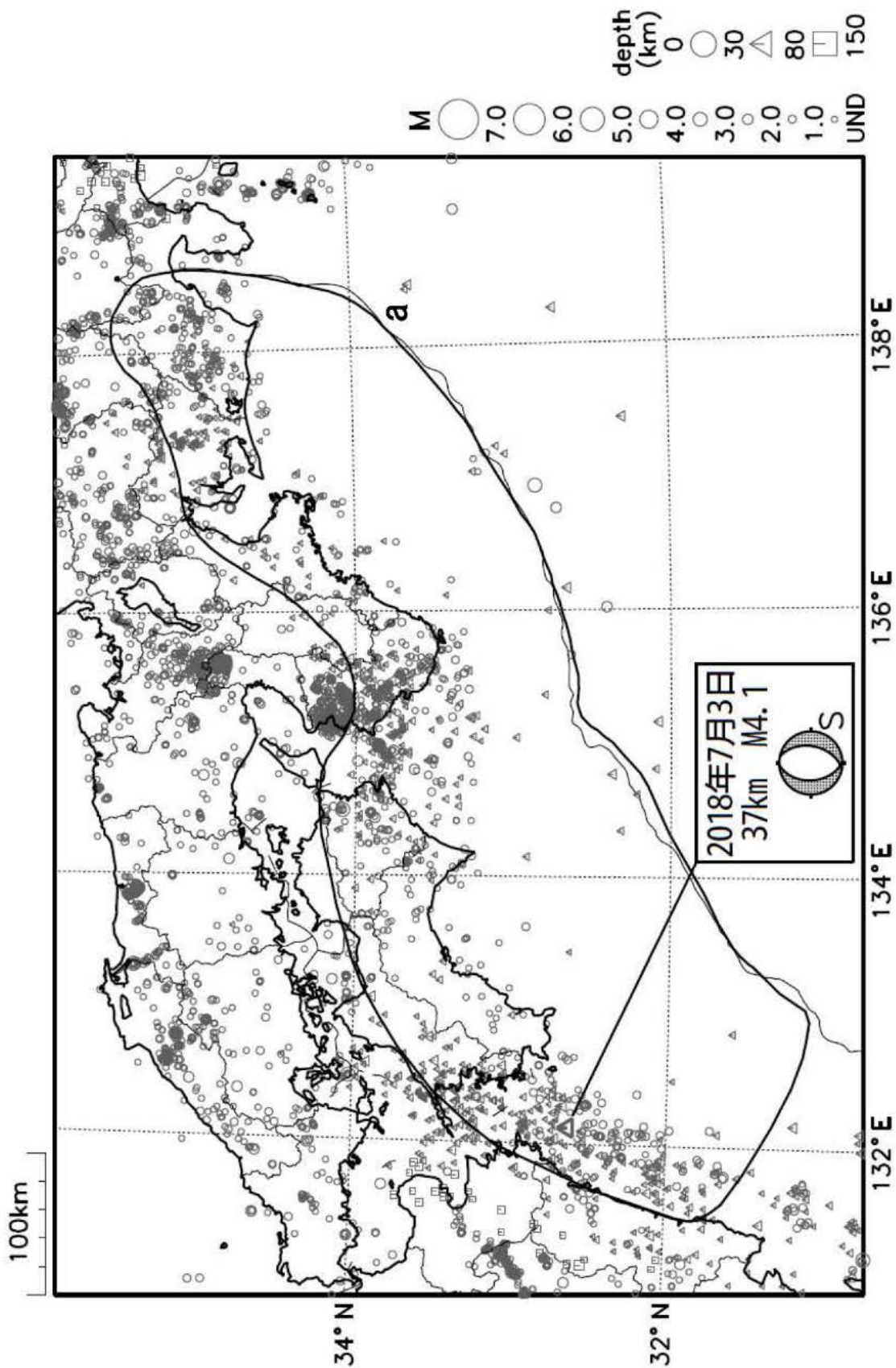
※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※上の表中（1）（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

※8月6日以降の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

南海トラフ沿いとその周辺の広域地震活動(2018年7月1日～2018年7月31日)

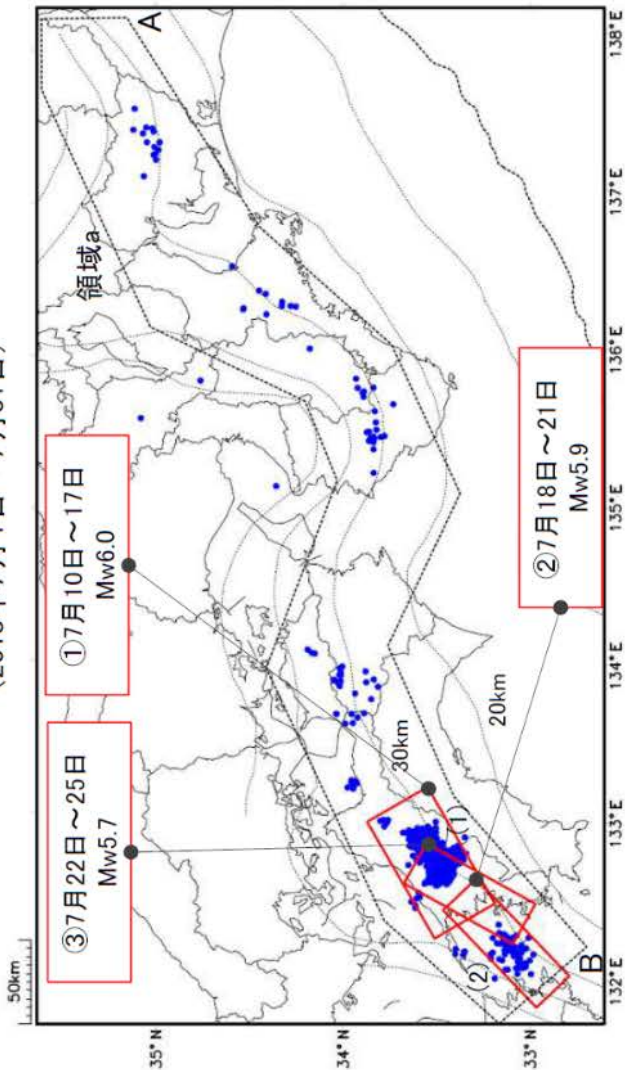


- ・図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域(領域a内)で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外(領域a内以外)の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の他の主な地震。
- ・震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

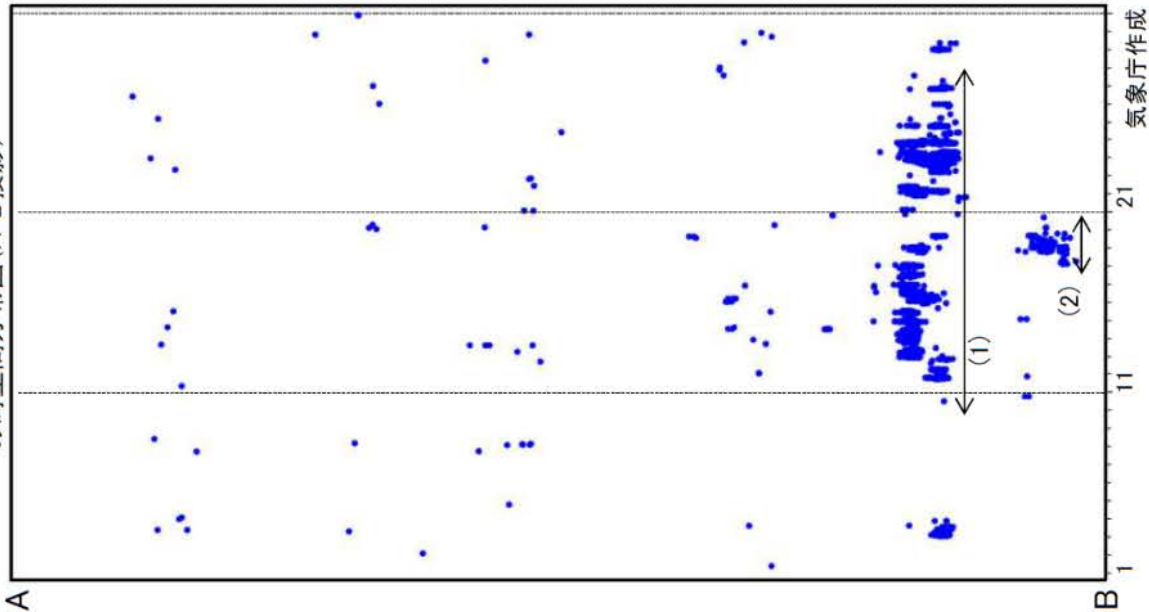
深部低周波地震(微動)の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
(2018年7月1日～7月31日)



主な深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべり

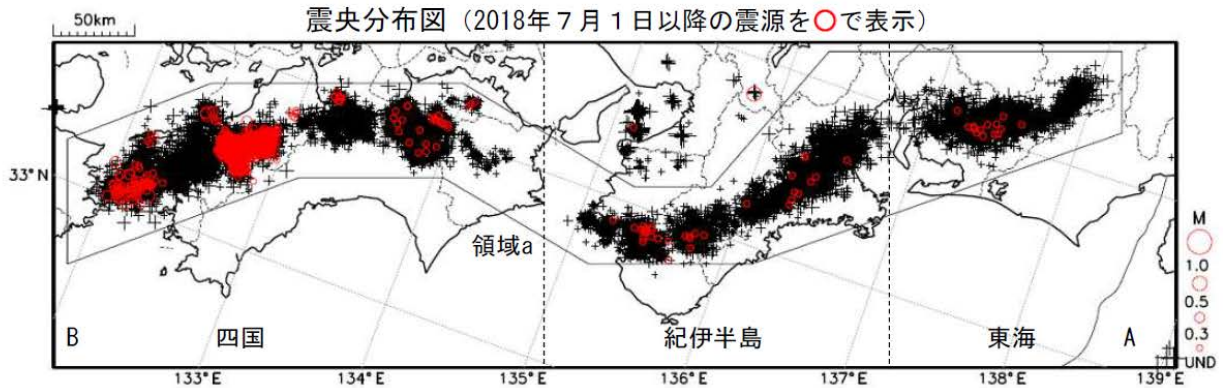
深部低周波地震(微動)活動			地殻変動を観測した期間と短期的ゆっくりすべりの規模
番号	活動場所	活動の期間	
(1)	愛媛県中予から愛媛県南予	7月10日～28日	①7月10日～17日:Mw6.0 ③7月22日～25日:Mw5.7
(2)	豊後水道	7月18日～20日	②7月18日～21日:Mw5.9

●: 深部低周波地震(微動)の震央(気象庁の解析結果を示す)
□: 短期的ゆっくりすべりの断層モデル(産業技術総合研究所の解析結果を示す)
点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10km)ごとの等深線を示す。

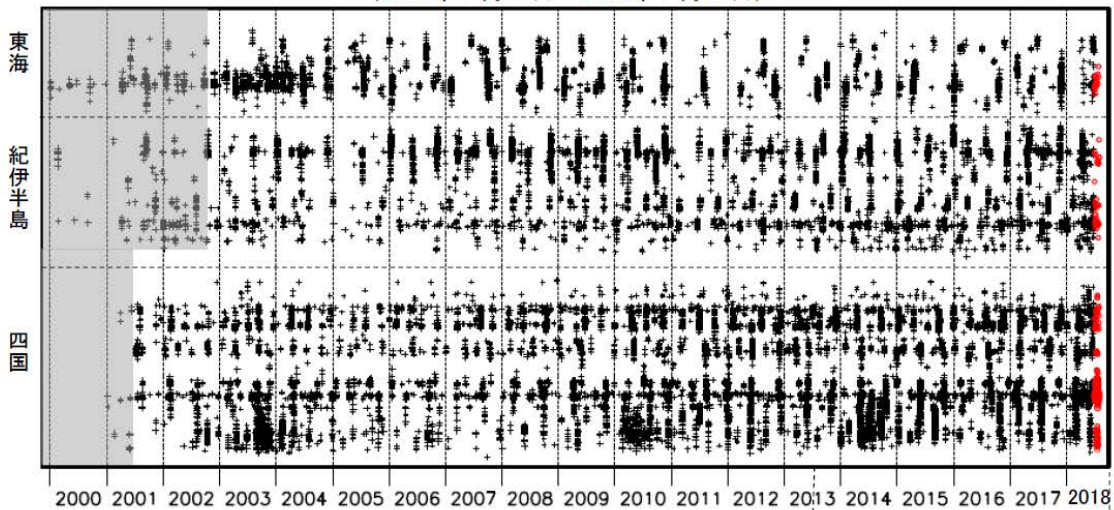


深部低周波地震（微動）活動（2000年1月1日～2018年7月31日）

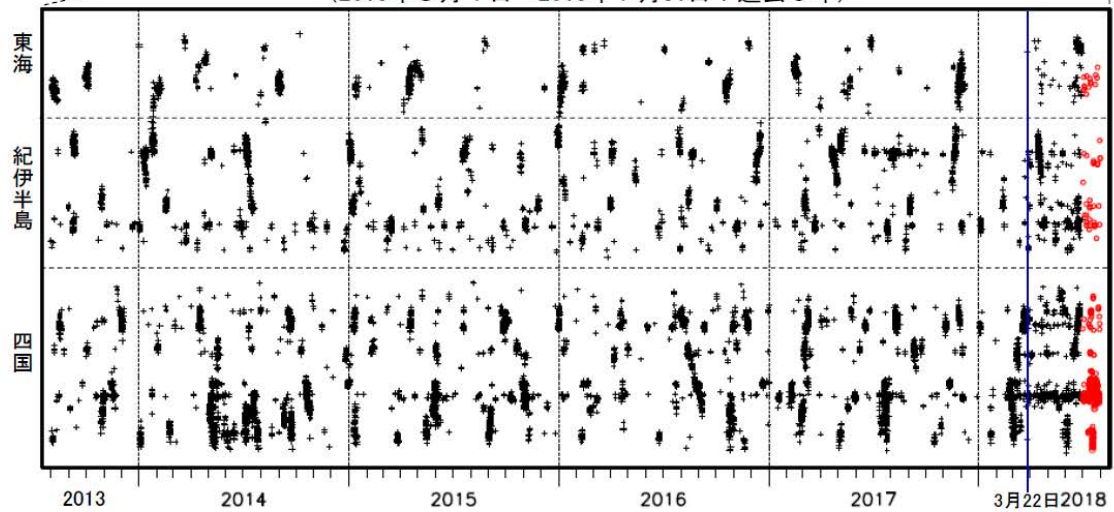
深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）
（2000年1月1日～2018年7月31日）



（2013年8月1日～2018年7月31日：過去5年）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

※時空間分布図中、灰色の期間は、それ以降と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。

気象庁作成

徳島県から豊後水道の深部低周波地震(微動)活動

7月10日から28日に、愛媛県中予から南予にかけて深部低周波地震(微動)を観測した。7月18日から20日には豊後水道でも活動がみられた。

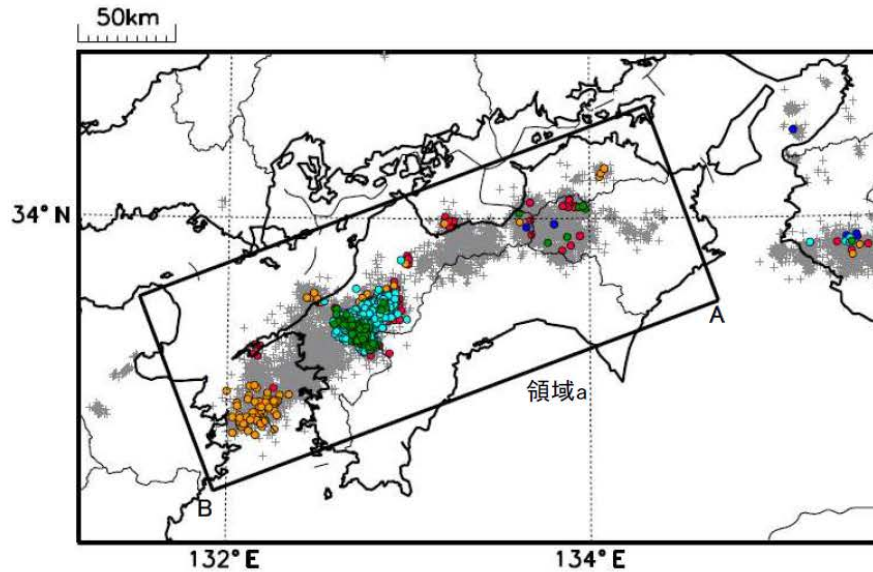
深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、愛媛県と高知県に設置されている複数のひずみ計でわずかな変化を観測した。

震央分布図

(2010年1月1日～2018年7月31日、深さ0～60km、Mすべて)

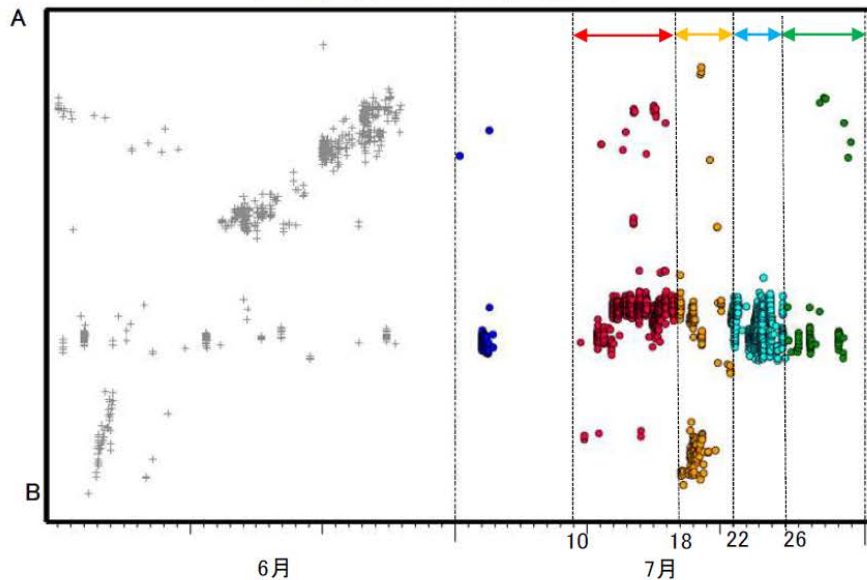
灰:2010年1月1日～2018年6月30日 青:2018年7月1日～7月9日

赤:7月10日～7月17日 黄:7月18日～7月21日、水色:7月22日～7月25日、緑:7月26日以降



震央分布図の領域a内の時空間分布図(A-B投影)

(2018年6月1日～2018年7月31日)



気象庁作成

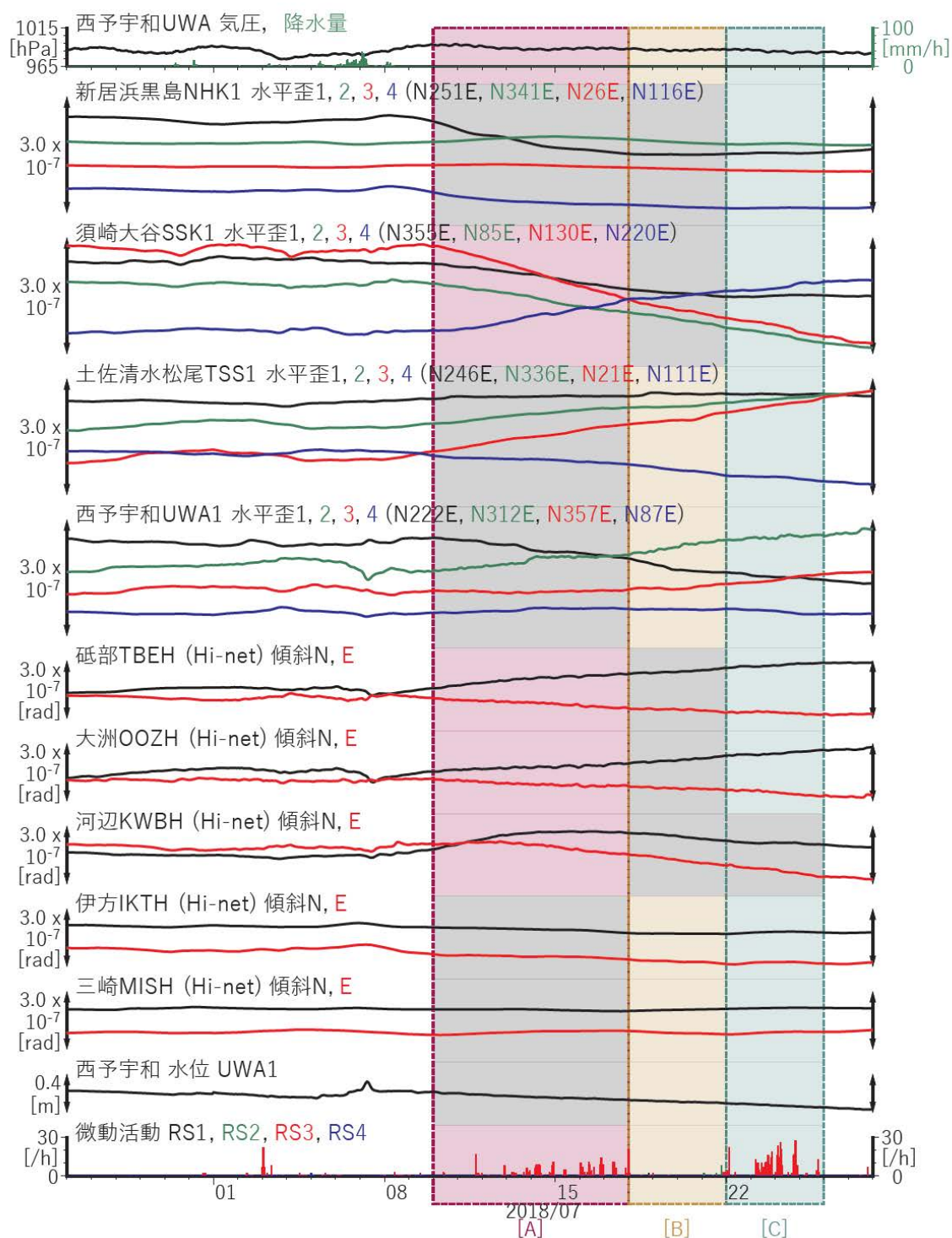
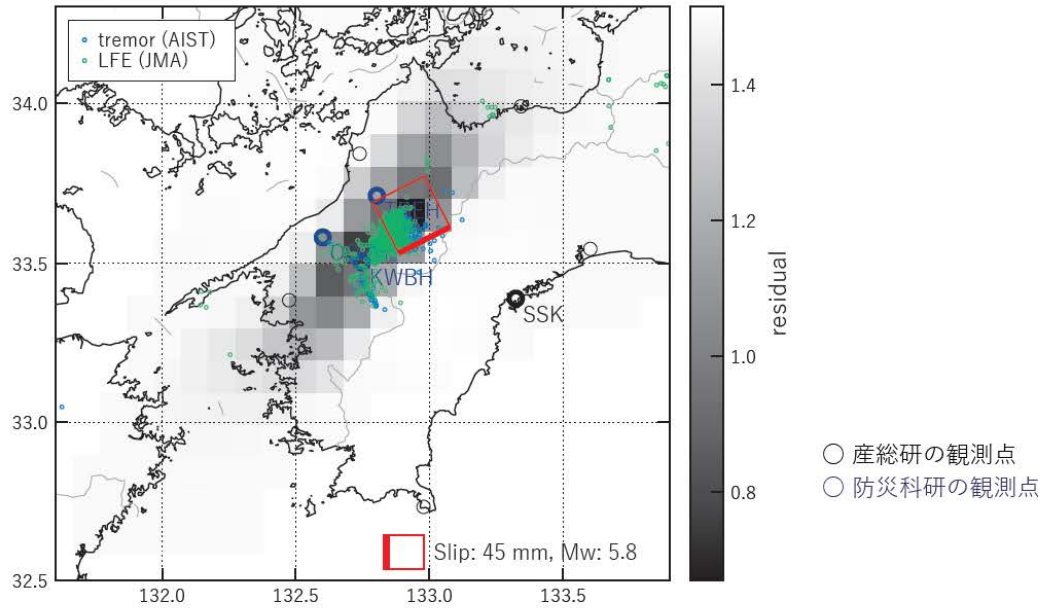


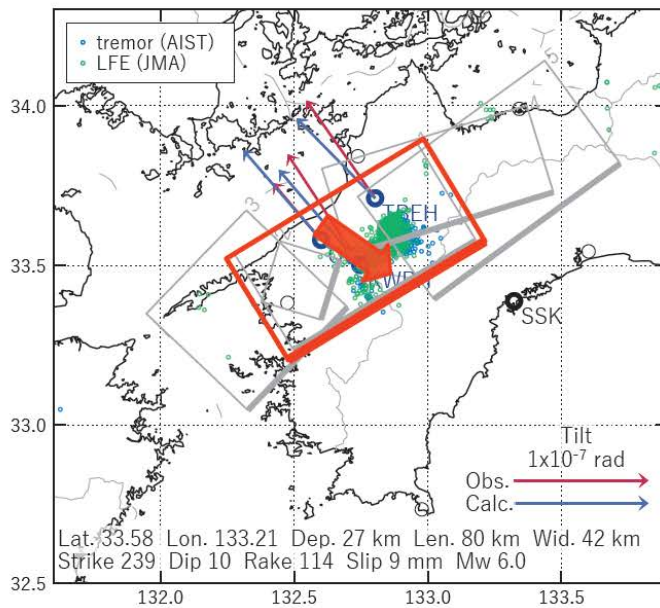
図2 四国地方における歪・傾斜・地下水観測結果 (2018/06/25 00:00 - 2018/07/28 00:00 (JST))

[A] 2018/07/10-17

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

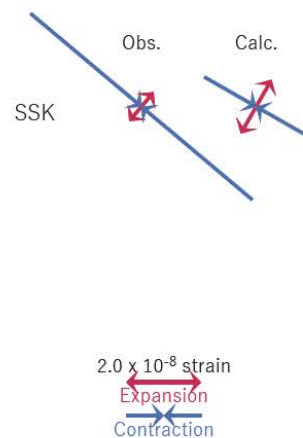


図3 2018/07/10-17の歪・傾斜変化 (図2[A]) を説明する断層モデル。

- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面 (赤色矩形) と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
- 1: 2018/02/21-25 (Mw5.9), 2: 2018/02/26-28 (Mw5.6), 3: 2018/03/01-05 (Mw5.9), 4: 2018/03/06-09 (Mw5.9), 5: 2018/03/10-17 (Mw6.1)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B] 2018/07/18-21

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布

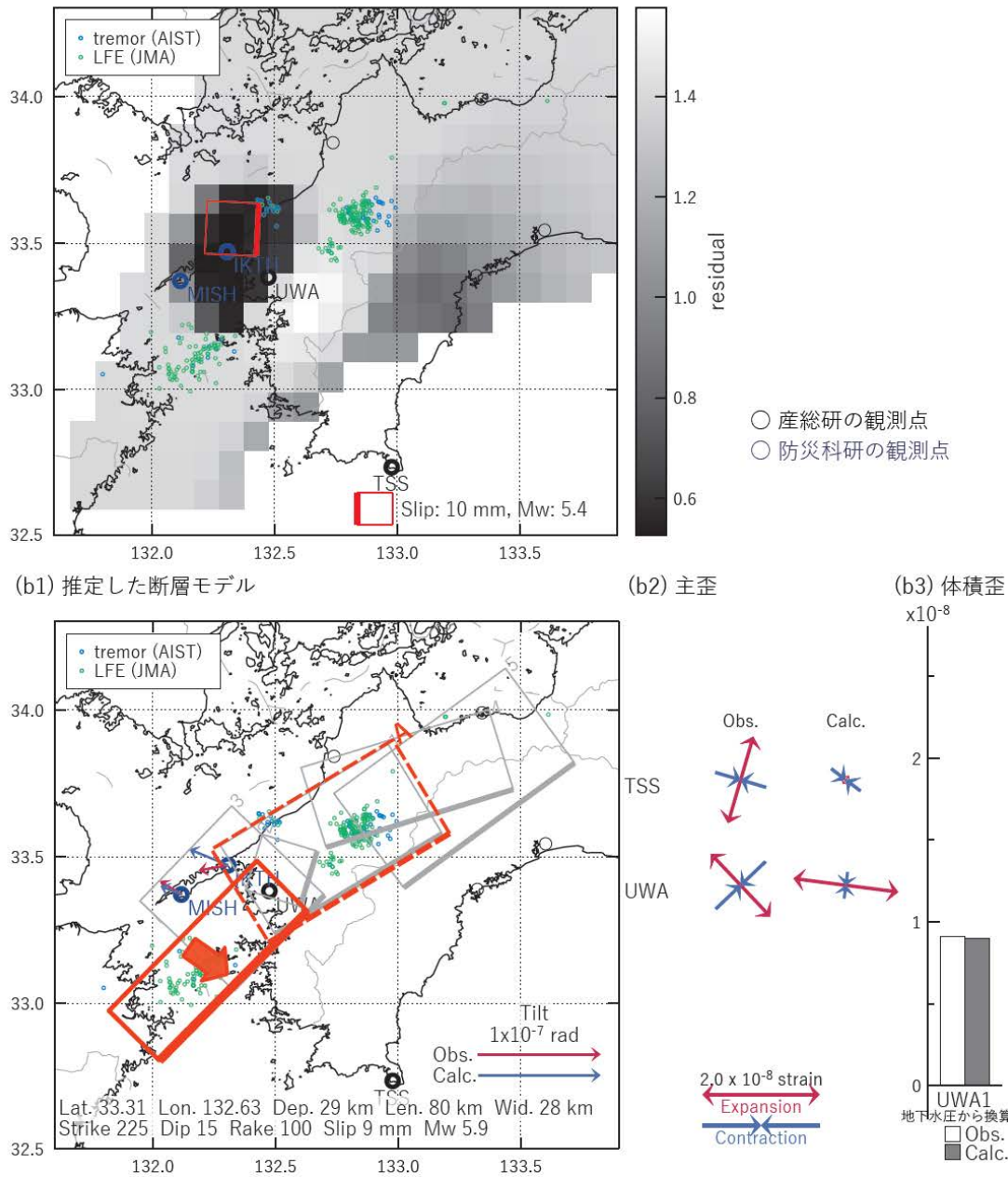
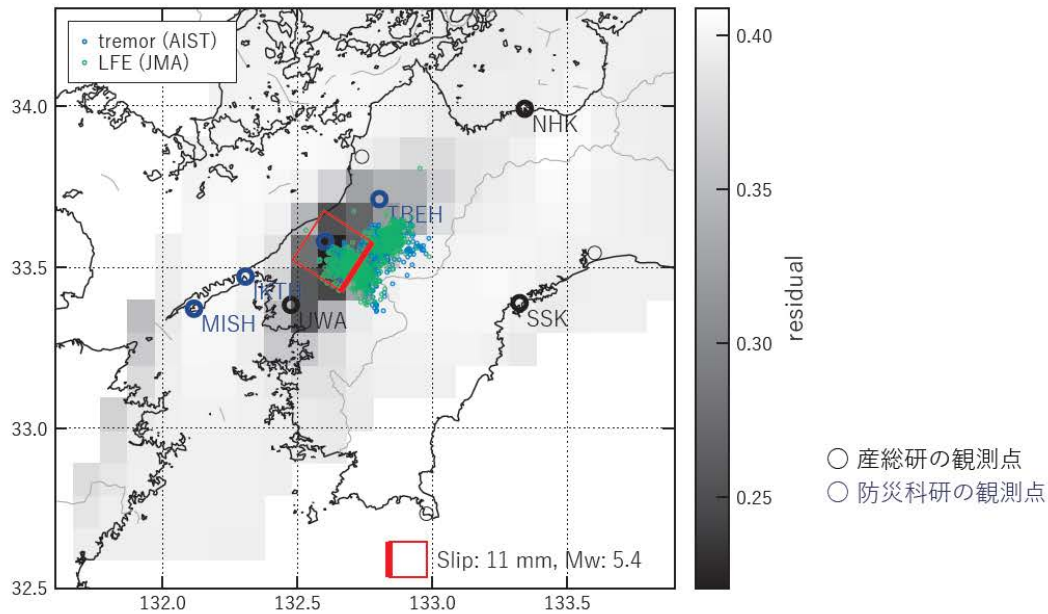


図4 2018/07/18-21 の歪・傾斜・地下水変化 (図2[B]) を説明する断層モデル。

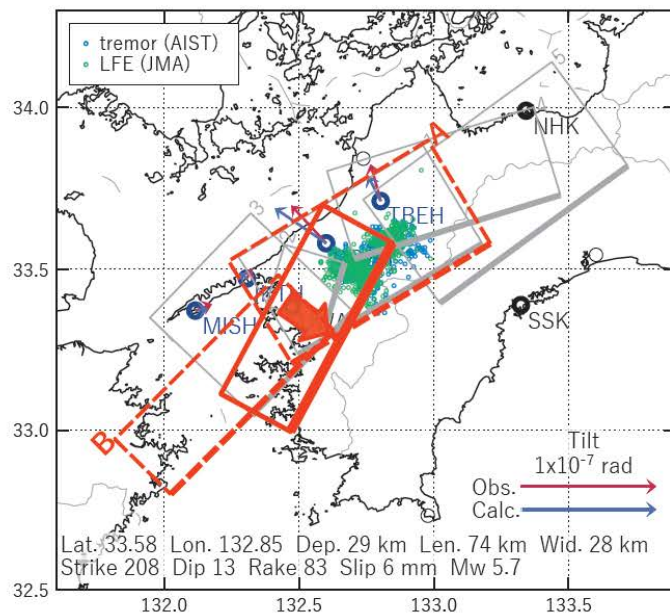
- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。赤色破線矩形Aは今回の一連のイベント、灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
- 1: 2018/02/21-25 (Mw5.9), 2: 2018/02/26-28 (Mw5.6), 3: 2018/03/01-05 (Mw5.9), 4: 2018/03/06-09 (Mw5.9), 5: 2018/03/10-17 (Mw6.1), A: 2018/07/10-17 (Mw6.0)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。
- (b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[C] 2018/07/22-25

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

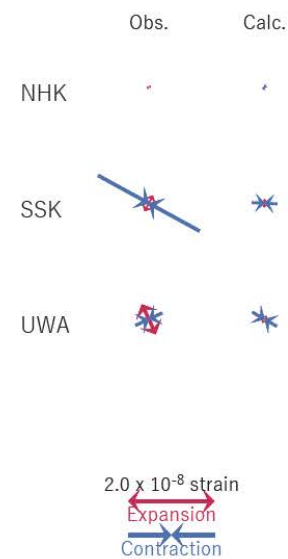
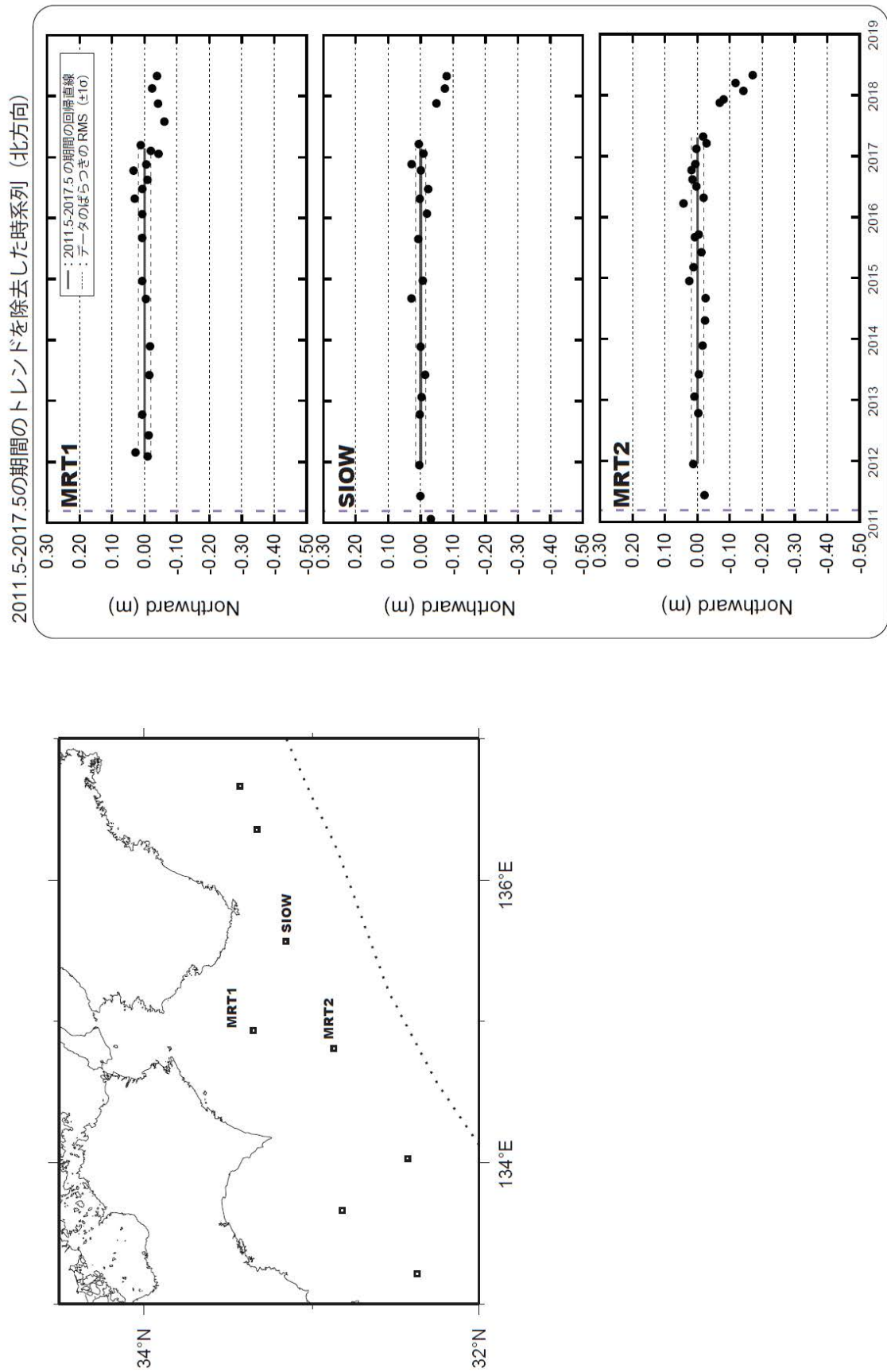


図4 2018/07/22-25 の歪・傾斜変化 (図2[C]) を説明する断層モデル。

- (a) プレート境界面に沿って20 x 20 km の矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小にするすべり量を選んだときの、対応する残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。
- (b1) (a)の断層面付近をグリッドサーチして推定した断層面 (赤色矩形) と断層パラメータ。赤色破線矩形Aは今回の一連のイベント、灰色矩形は最近周辺で発生した短期的SSEの推定断層面。
- 1: 2018/02/21-25 (Mw5.9), 2: 2018/02/26-28 (Mw5.6), 3: 2018/03/01-05 (Mw5.9), 4: 2018/03/06-09 (Mw5.9), 5: 2018/03/10-17 (Mw6.1), A: 2018/07/10-17 (Mw6.0), B: 2018/07/18-21 (Mw5.9)
- (b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

<参考> 紀伊水道沖における非定常変動の可能性 (暫定)



海上保安庁

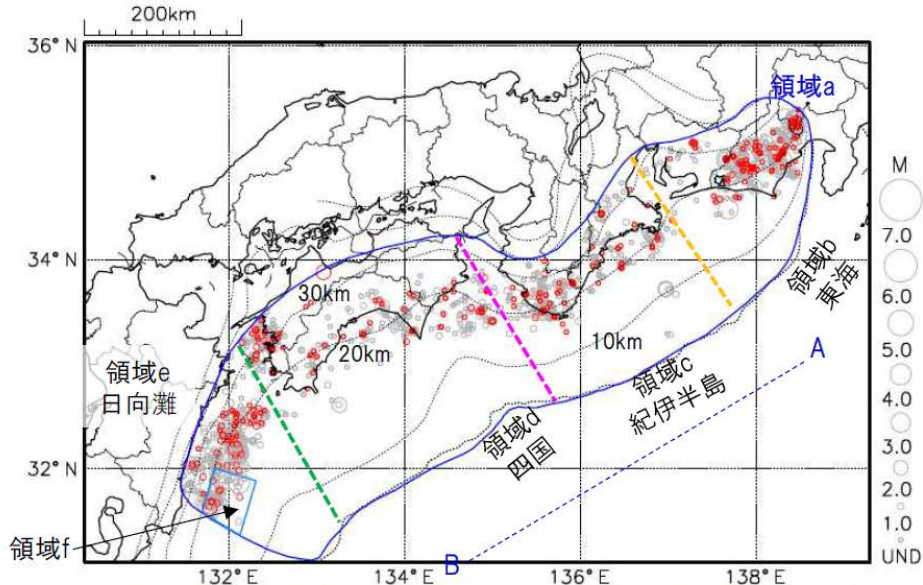
※ 「第9回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会 (H30.7.6)」 報告資料の再掲

プレート境界とその周辺の地震活動

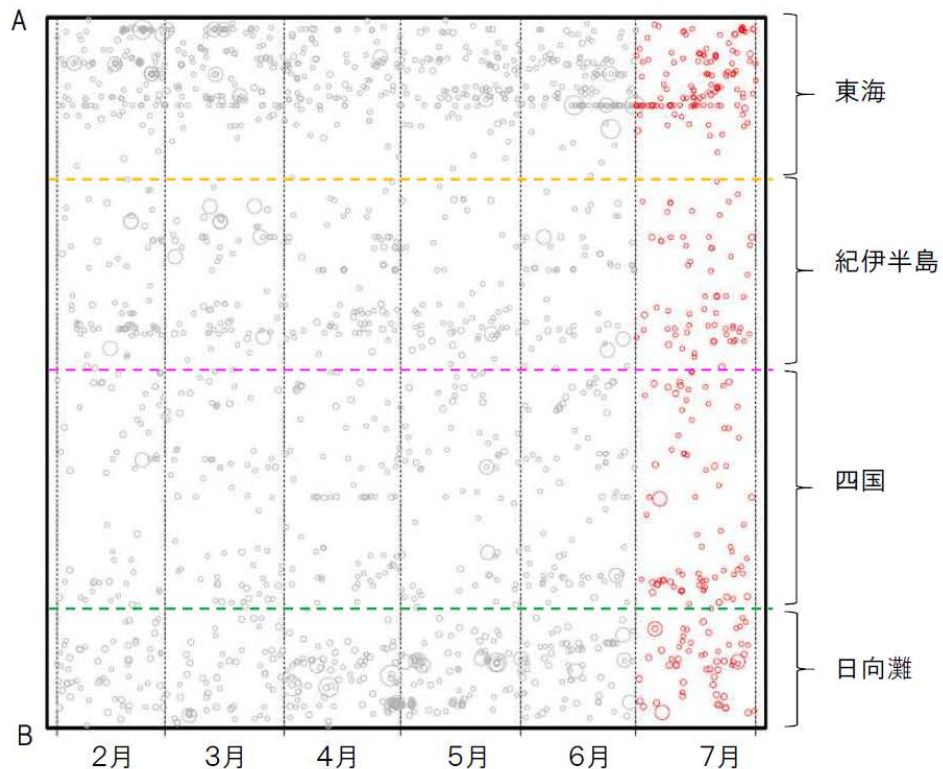
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2018年2月1日～2018年7月31日、M全て、2018年7月の地震を赤く表示)



領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図(A-B投影)



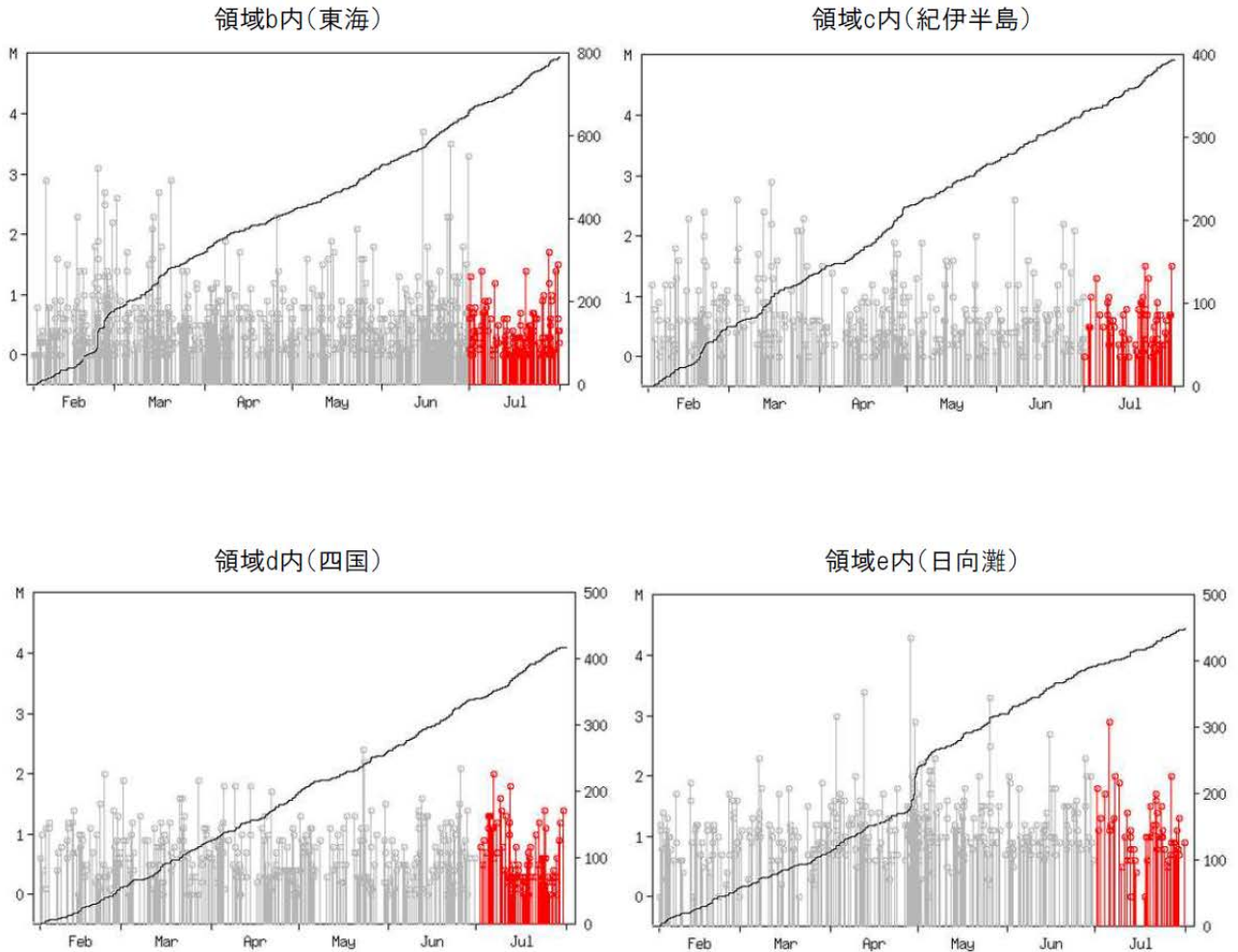
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

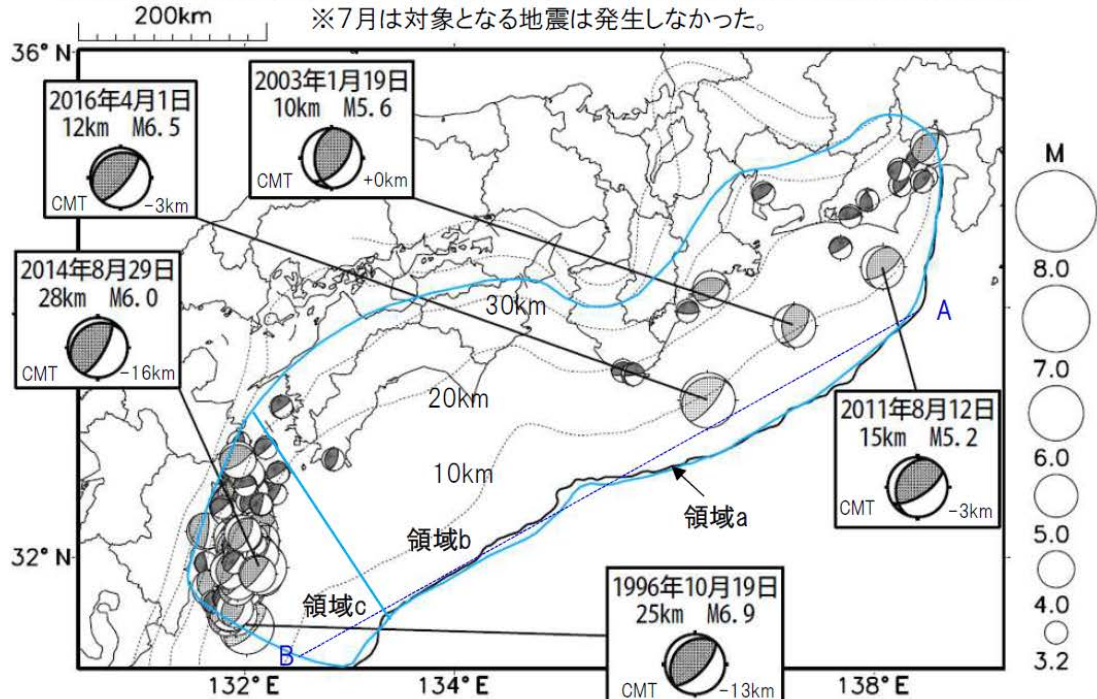


※回数積算図は参考として表記している。M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図の傾きと実際の地震活動の活発化・静穏化とは必ずしも一致しないことがある。

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2018年7月31日、M $\geq$ 3.2、2018年7月の地震を赤く表示)

※7月は対象となる地震は発生しなかった。



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

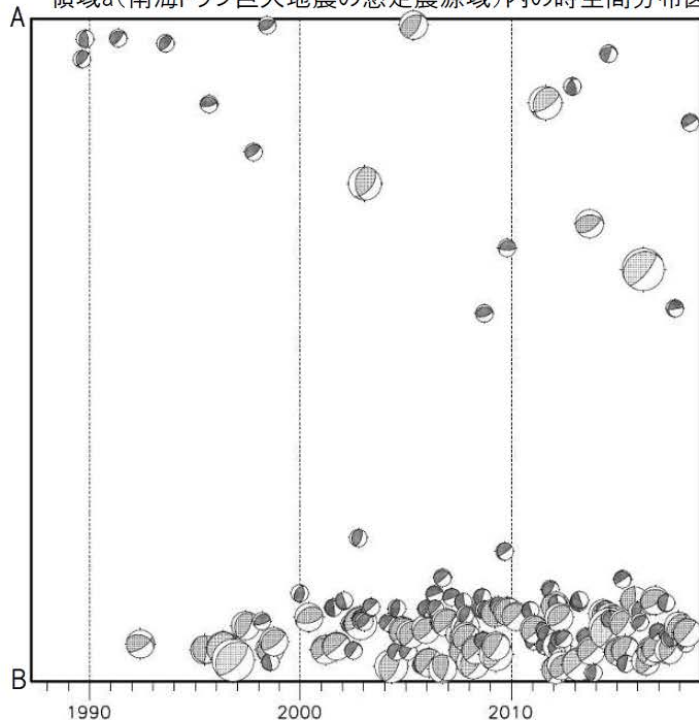
・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域b)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域c)は、+10km～-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2018年7月31日

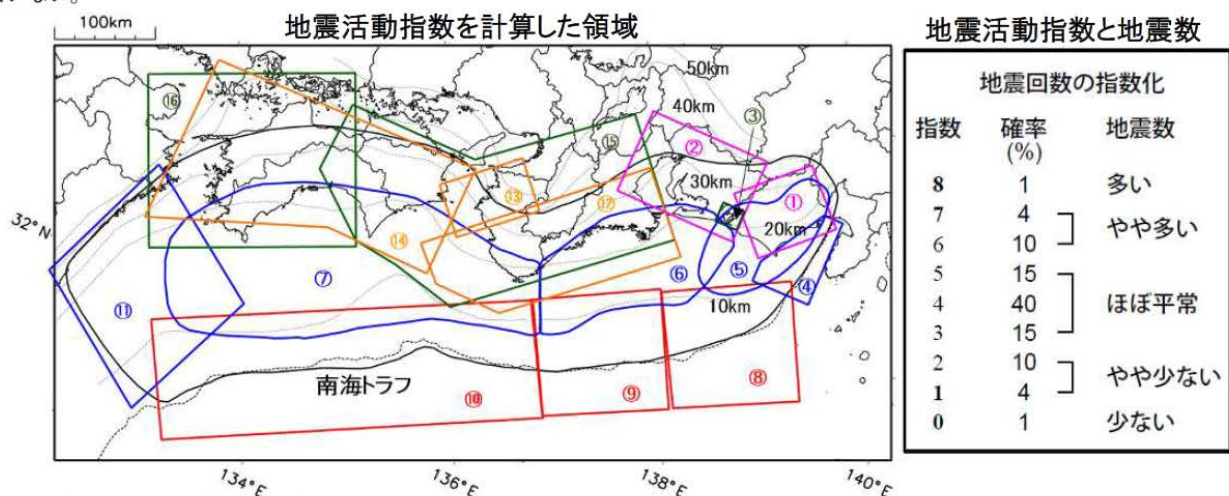
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	3	3	6	3	1	2	6	4	2
平均回数	16.2	18.3	26.4	13.6	12.9	13.3	18.2	20.0	21.4
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側						
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	4	4	3	3	4	3	4	4
平均回数	11.4	15.1	20.5	23.0	42.4	29.9	27.6	28.0
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

*基準期間は、全領域1997年10月1日～2018年7月31日

*領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

*⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



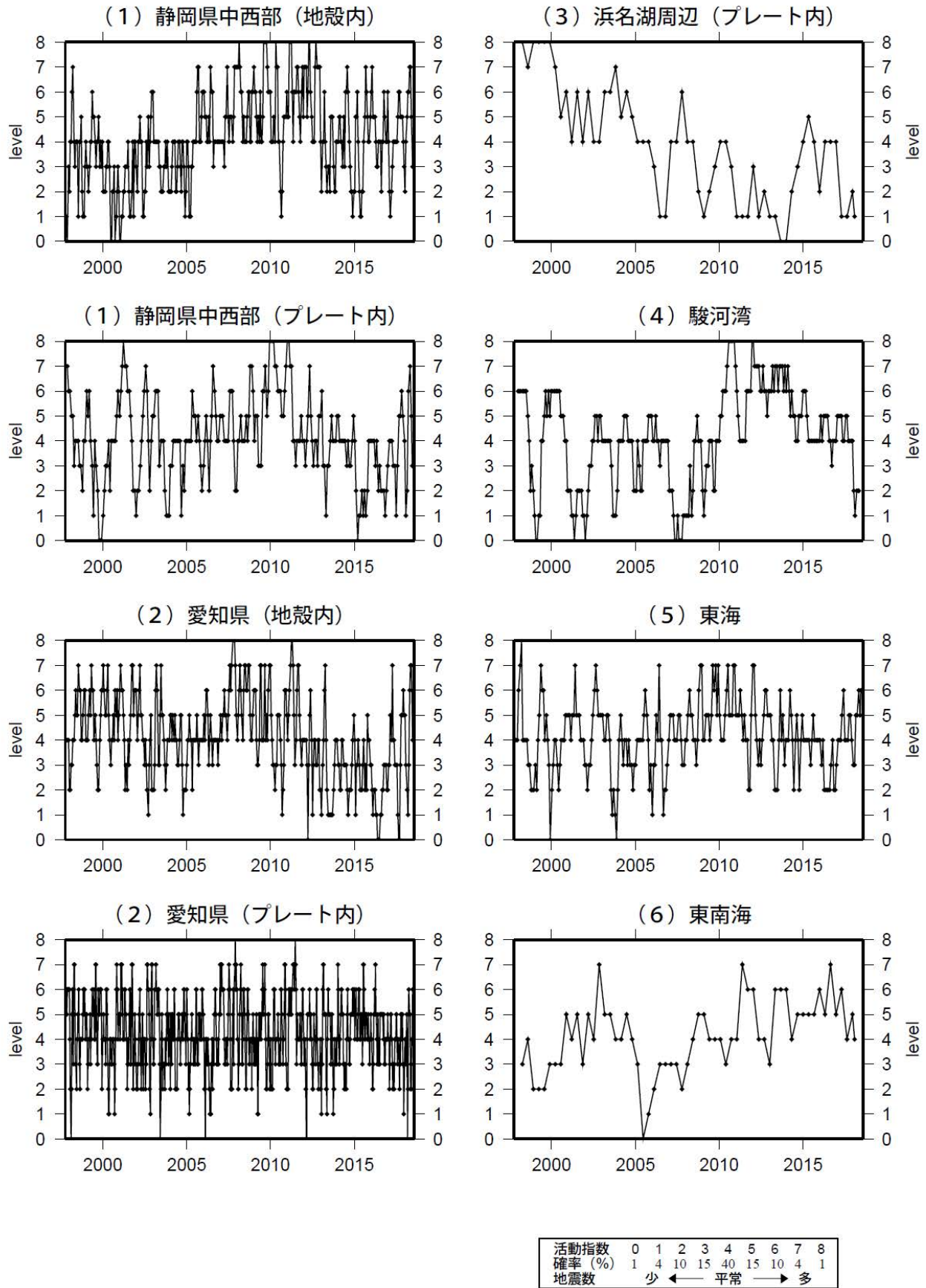
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

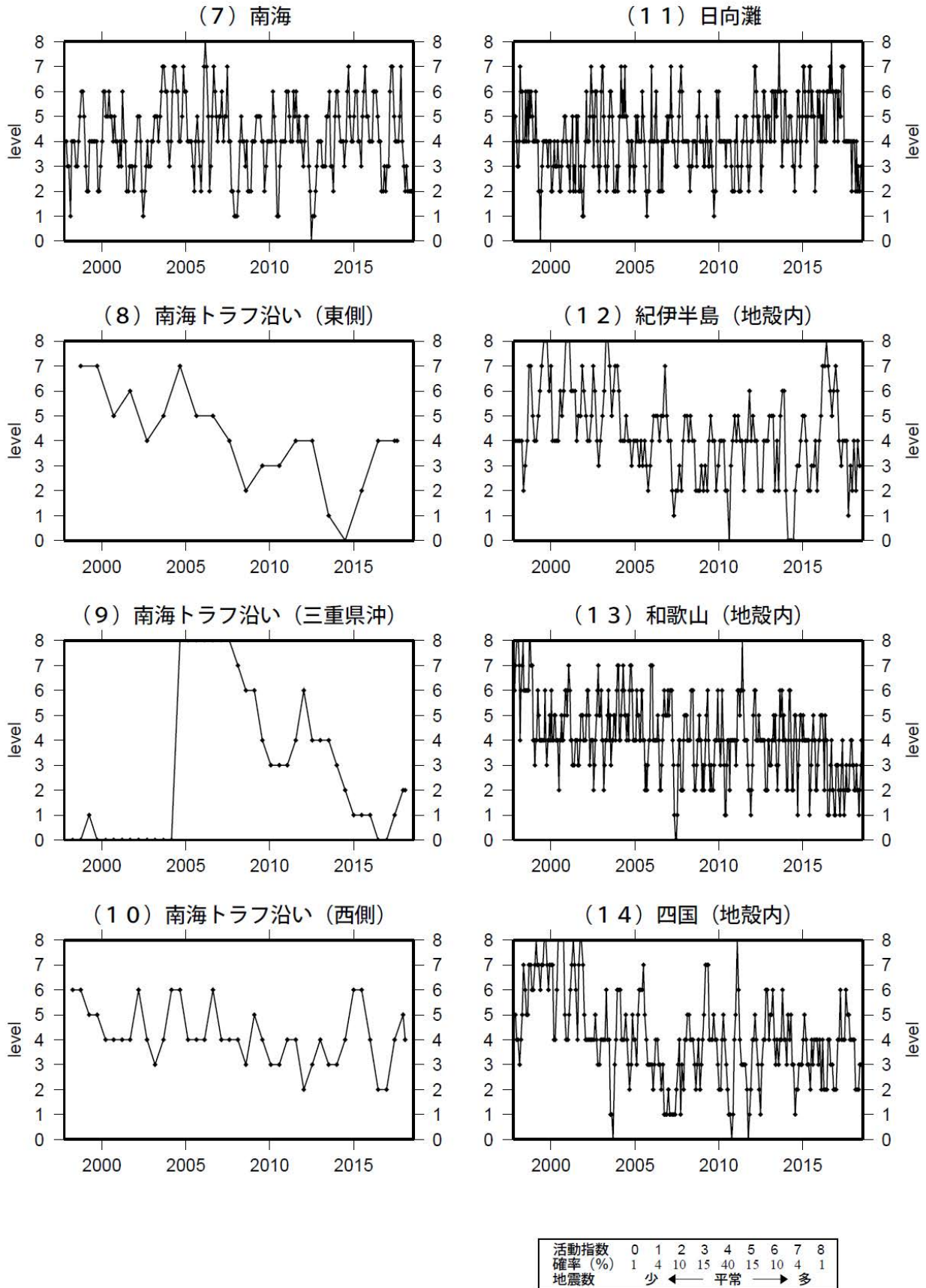
2018年07月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

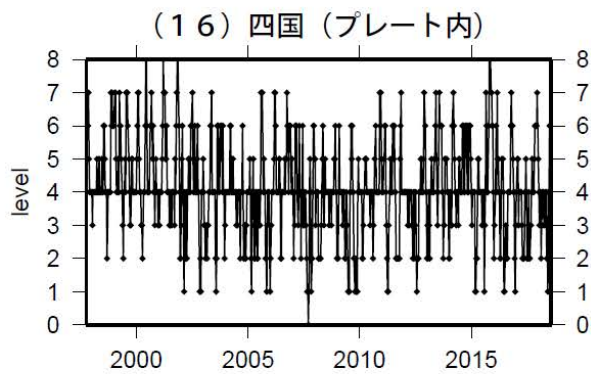
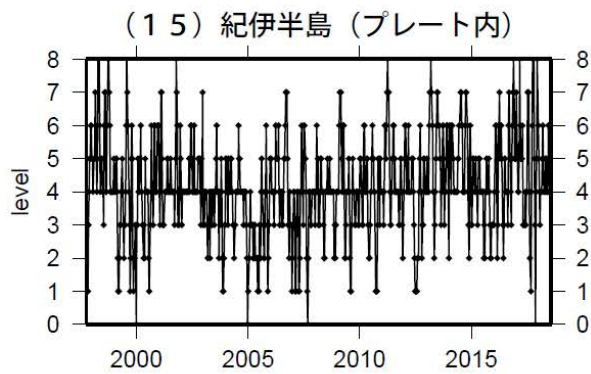
2018年07月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年07月31日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	←	平常	→	多				

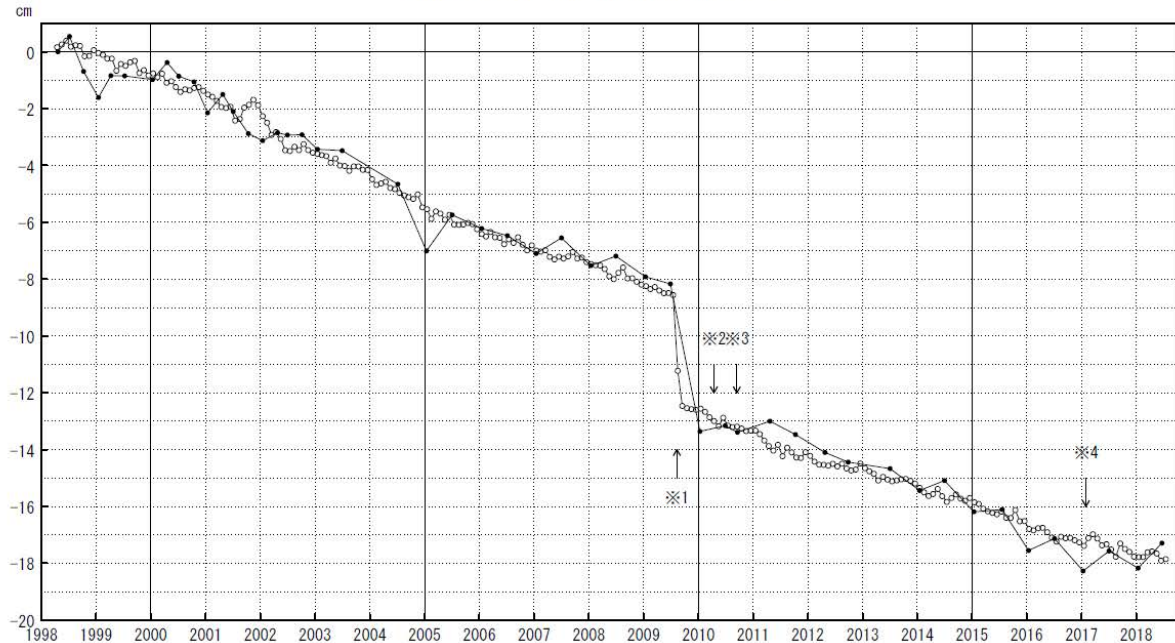
気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

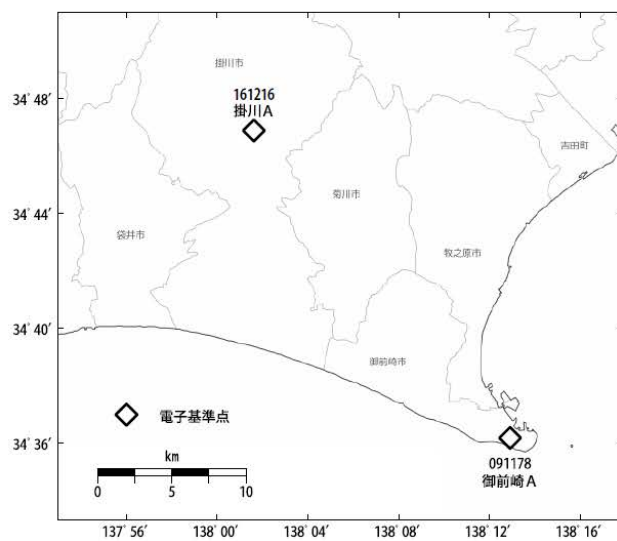
掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

・ 最新のプロット点は 07/01～07/14 の平均。

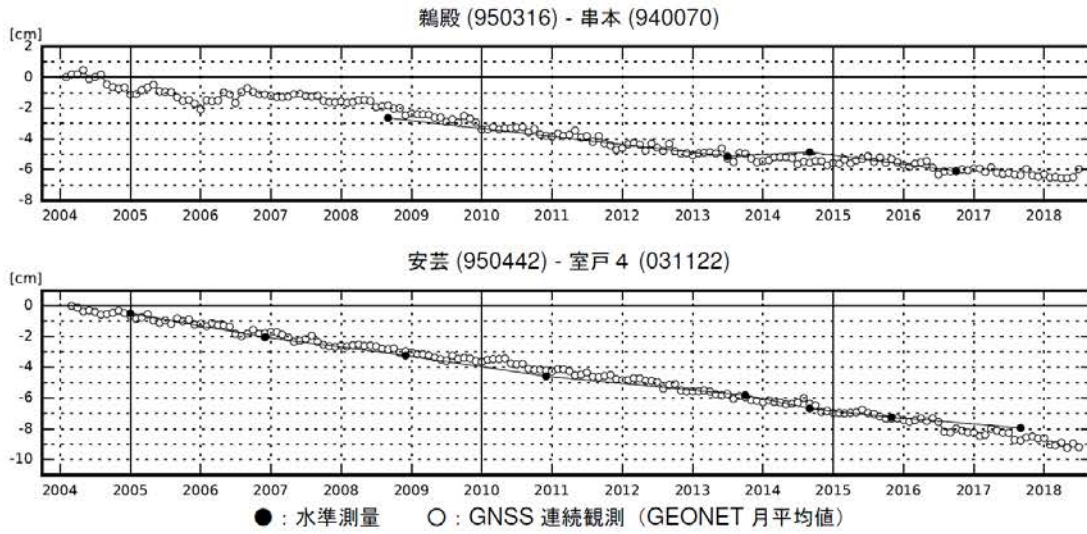
- ※1 電子基準点「御前崎」は2009年8月11日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010年4月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる2010年9月から表示している。
- ※4 2017年1月30日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川A」のデータを接続して表示している。



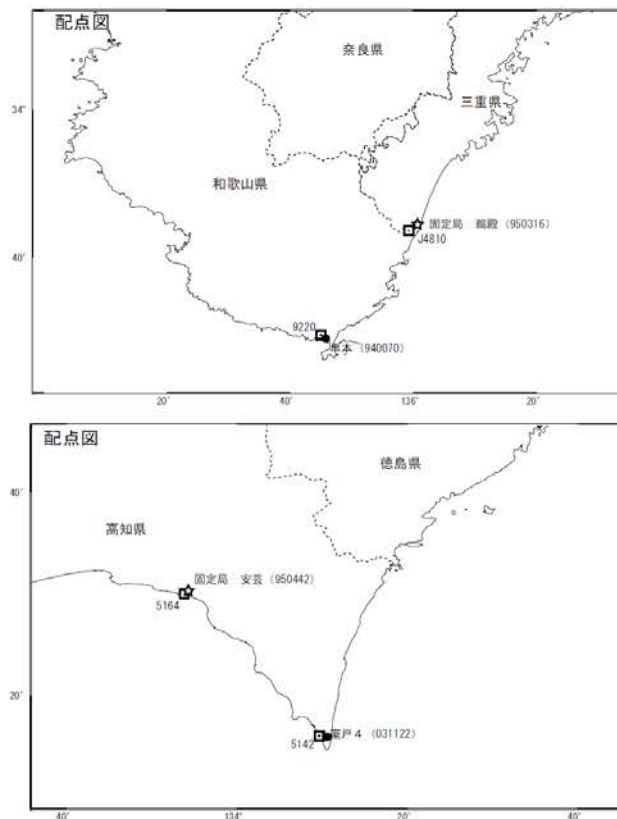
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

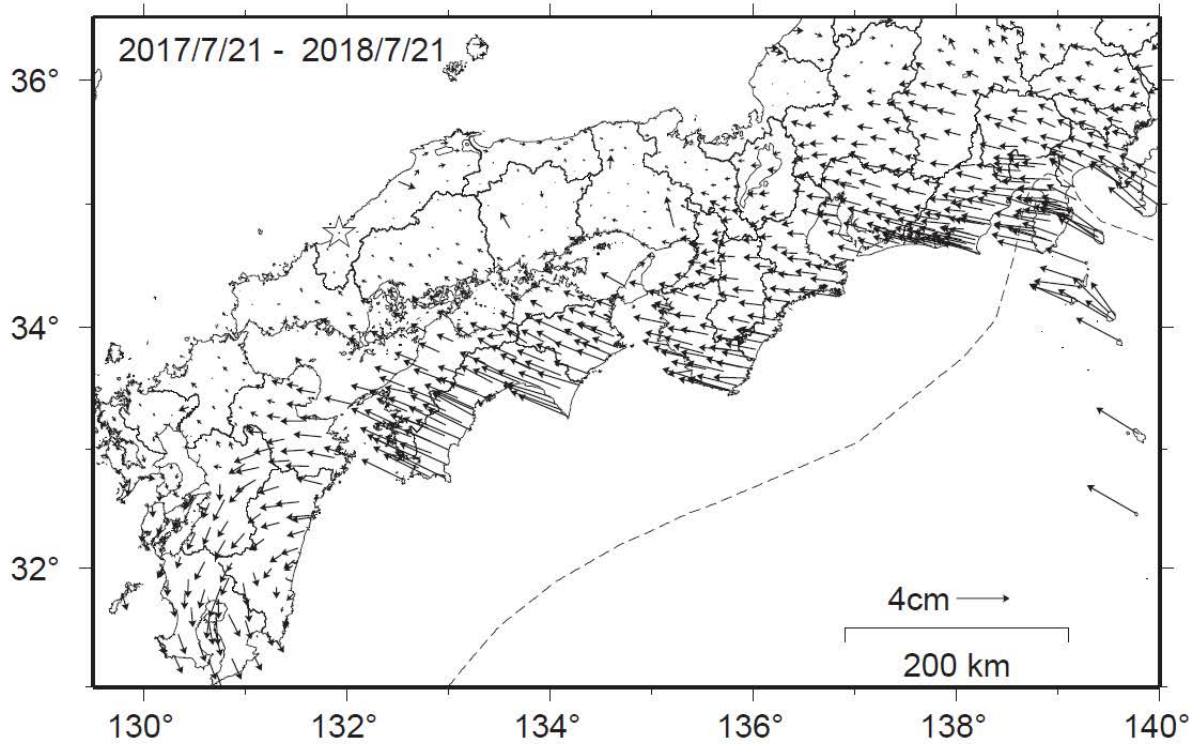


- ・ 最新のプロット点は 7/1～7/14 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

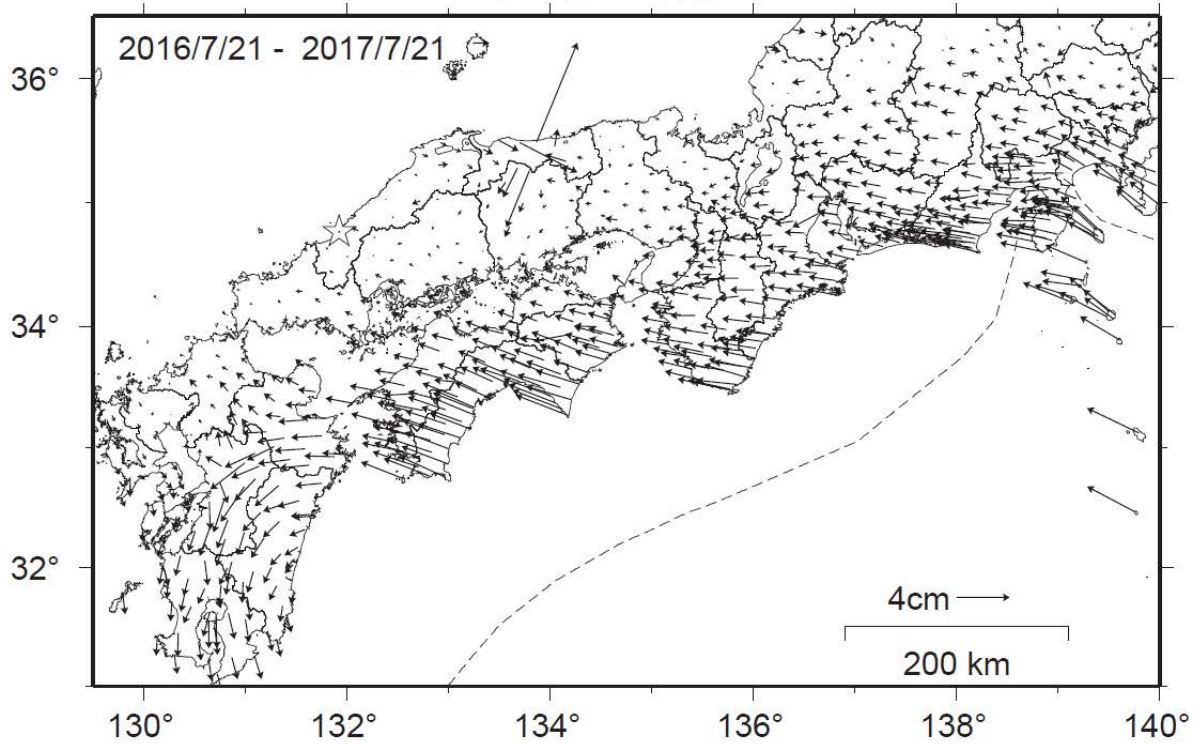


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

全国月間火山概況 (平成 30 年 7 月)

桜島の南岳山頂火口では、活発な噴火活動が継続しており、今後も南岳山頂火口を中心に引き続き噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

西之島では、12日に海上保安庁が上空から実施した観測で噴火が確認され、13日に海上保安庁及び第三管区海上保安本部が上空から実施した観測で活発な噴火活動と溶岩の流出が確認されました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、12日夜から西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域が認められました。これらのことから、13日に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

草津白根山（白根山（湯釜付近））では、湯釜付近を震源とする火山性地震の活動はやや低下しているものの、増減を繰り返しながら継続しており、6月下旬以降、振幅の小さな継続時間の短い火山性微動が時々発生しています。4月22日頃から観測されている地殻変動は、6月下旬頃から鈍化傾向がみられます。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山（本白根山）では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山鏡池付近から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山では、山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震はやや少ない状態ですが、時々振幅の大きな地震が発生しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、硫黄山の活発な噴気活動が続いています。GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6月上旬から伸びの傾向が続いています。

えびの高原の硫黄山から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（新燃岳）では、今期間噴火は観測されませんでした。火口直下を震源とする火山性地震は、概ね多い状態で経過しました。GNSS 連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね 2 km まで、火砕流が概ね 1 km まで達する噴火の可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では警戒してください。

口永良部島では、火山性地震はやや多い状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も2014年8月の噴火前の水準には低下しておらず、火山活動はやや高まった状態となっており、引き続き小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

諏訪之瀬島では、今期間噴火は観測されませんでした。

長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

十勝岳では、火山性地震の増加はありませんでしたが、継続時間の短い火山性微動が観測されています。

2006年以降の山体浅部の膨張が継続する中で、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象を観測していますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

表1 平成30年7月31日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	草津白根山 (白根山 (湯釜付近))、草津白根山 (本白根山)、浅間山、霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)、霧島山 (新燃岳)、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、箱根山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山 (御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆島、壱岐島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺、新燃岳及び御鉢以外)、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、折尾焼山、折尾阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

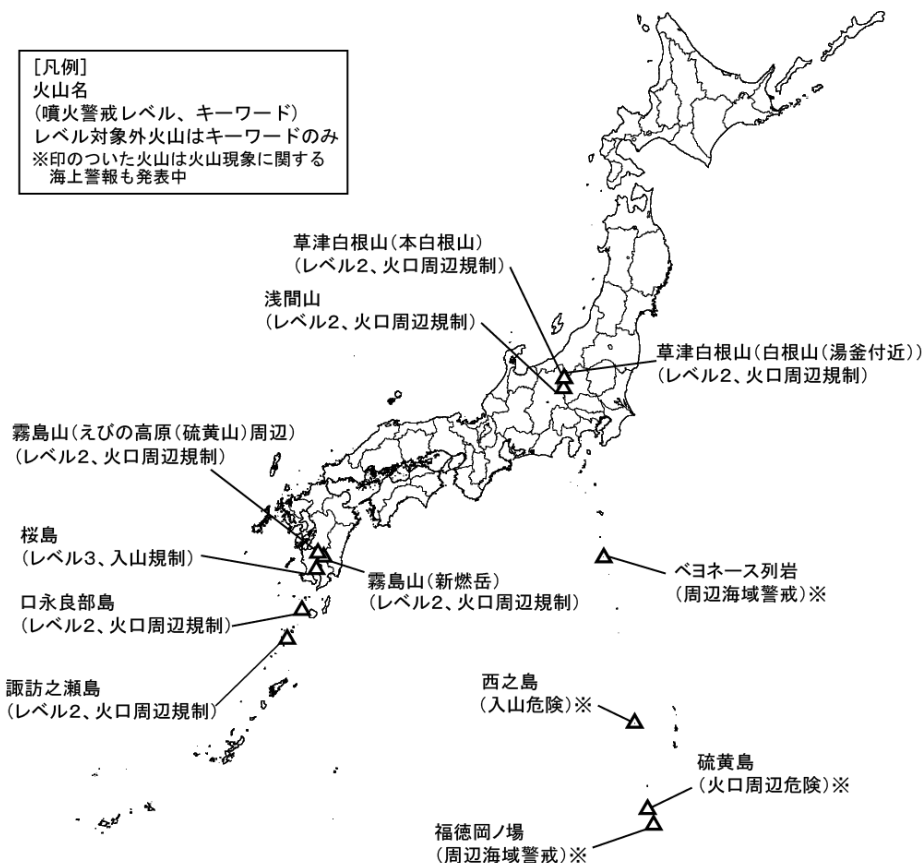


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震の増加はありませんでしたが、継続時間の短い火山性微動が観測されています。

十勝岳では、2006年以降の山体浅部の膨張が継続する中で、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象を観測していますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

4月21日頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加し、地震活動は、4月22日以降やや低下してはいるものの、増減を繰り返しながら継続しています。6月下旬以降、振幅の小さな継続時間の短い火山性微動が時々発生しています。また、地震活動開始とほぼ同時期の4月22日頃から湯釜周辺の傾斜計¹⁾で観測されている地殻変動は、6月下旬頃から変化に鈍化傾向がみられます。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が風に流されて降るため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震はやや少ない状態ですが、時々振幅の大きな地震が発生しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁が18日及び30日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕←13日に火口周辺警報（火口周辺危険）から火口周辺警報（入山危険）に引上げ、火山現象に関する海上警報を発表

12日に海上保安庁が上空から実施した観測で噴火が確認され、13日に海上保安庁及び第三管区海上保安本部が上空から実施した観測で活発な噴火活動と溶岩の流出が確認されました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、12日夜から西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域が認められました。これらのことから、13日に22時00分に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

その後、14日及び18日に海上保安庁及び第三管区海上保安本部が上空から実施した観測では、引き続き噴火活動がみられ、溶岩の流出も続いていました。しかし、30日に海上保安庁が上空から実施した観測では、噴火は認められませんでした。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS³⁾ 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

18日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、福德岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる変色水等は認められませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

硫黄山の南側の火孔では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山の西側500m付近では、5月下旬以降、噴気活動は弱まった状態が続いています。

硫黄山の南側では、引き続き湯だまりを確認しました。現地調査では、硫黄山周辺の沢の水は6月に透明になっていましたが、再び白濁していることを確認しました。

火山性地震は、概ね多い状態で経過しました。また、浅い所を震源とする低周波地震⁴⁾は引き続き時々発生しています。

GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6月上旬から伸びの傾向が続いています。霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

硫黄山では、火山活動がやや高まった状態が継続しており、ごく小規模な噴火の可能性もあります。えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁵⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

新燃岳では、今期間噴火は観測されませんでした。

火口直下を震源とする火山性地震は、概ね多い状態で経過しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。

また、新燃岳火口の北東側2.5km付近を震源とする火山性地震が引き続き発生しています。

GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流⁶⁾が概ね1kmまで達する噴火の可能性もあります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、引き続き噴火⁷⁾（爆発的噴火⁸⁾を含む）が発生しています。16日15時38分の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,600mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目（南岳山頂火口より1,300mから1,700m）まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁵⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

21日と31日に、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生しました。火山性地震はやや多い状態でした。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁹⁾はやや多い状態で経過しており、2014年8月の噴火前の水準には低下していません。以上のように、火山活動はやや高まった状態となっており、引き続き小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は活火山総覧（第4版）による）

- 1) 傾斜計とは、火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器です。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 μ rad（マイクロラジアン）は1km先が1mm上下するような変化量です。
- 2) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 4) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 5) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 6) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十kmから時速百km以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 7) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 8) 霧島山・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。
- 9) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ (平成30年7月31日現在)

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年9月29日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日噴火予報 (平常) 2008年11月17日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2015年7月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年12月16日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年10月1日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年6月9日噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	岩木山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
東北地方	秋田焼山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2013年7月25日噴火予報 (レベル1、平常)
	八甲田山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十和田	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年10月27日噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2018年3月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	栗駒山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年4月13日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年6月16日噴火予報 (活火山であることに留意) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年1月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年3月6日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年10月18日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2018年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年1月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2017年10月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年6月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2018年2月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年3月15日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報(レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・ 南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

平成30年7月 地震・火山月報(防災編)

(2) その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

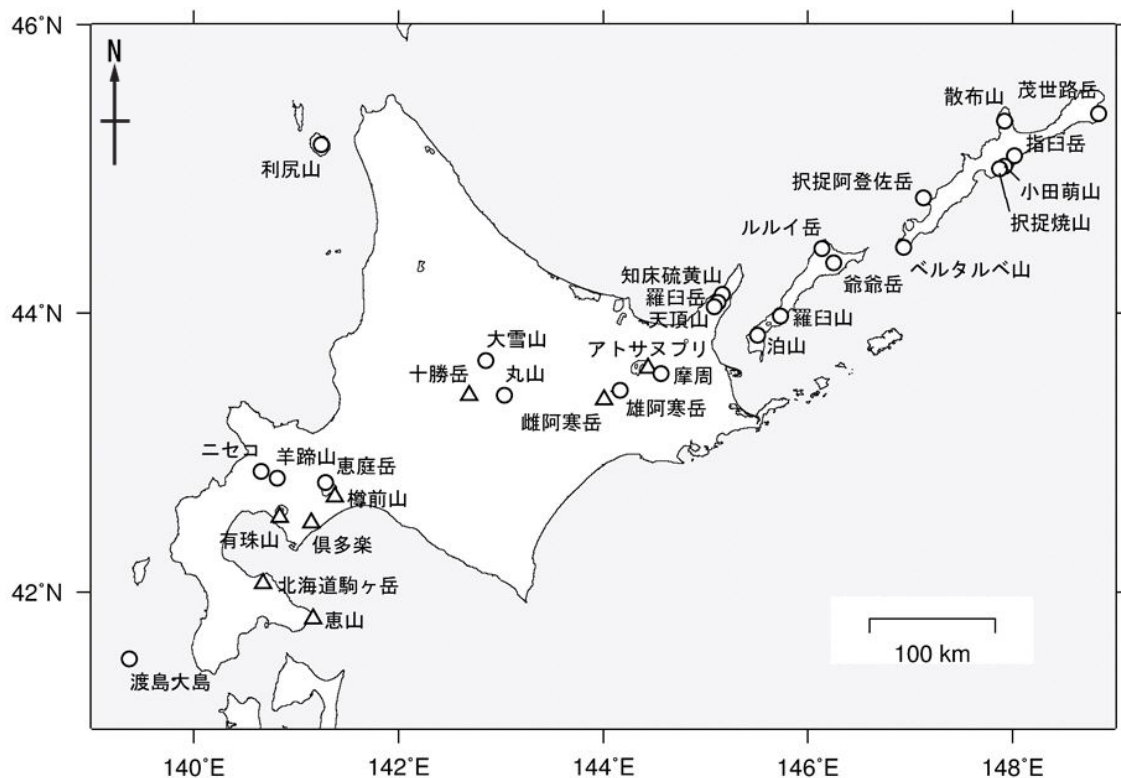
注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

管内月間火山概況 (平成30年7月)

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (7月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号 平29情使、第798号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

知床硫黄山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

羅臼岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

天頂山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雄阿寒岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震の増加はありませんでしたが、継続時間の短い火山性微動が観測されています。

十勝岳では、2006 年以降の山体浅部の膨張が継続する中で、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象を観測していますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

管内月間火山概況（平成 30 年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報事項の状況は以下のとおりで、予報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

秋田駒ヶ岳では、火山性地震の増加が時々みられ、2018年2月から4月にかけて火山性微動や低周波地震¹⁾が発生したことから、今後の火山活動の推移に注意してください。

また、女岳^{めだけ}では地熱活動が続いていますので、注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



栗駒山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013 年以降、火山性地震や火山性微動が時々発生し、地殻変動に変化がみられるなど、火山活動の高まりがみられることがありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

馬の背カルデラ内の丸山沢や振子沢では噴気や火山ガスの噴出等がみられます。異変を感じた際には速やかにカルデラから離れてください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

22 日に火山性微動が発生しました。浄土平観測点に設置された傾斜計²⁾では、火山性微動発生に対応して、北西（一切経山方向）上がりの地殻変動が観測されました。その後、西北西（大穴火口方向）上がりの変動が継続しています。23 日以降、火山性微動は観測されていません。

大穴火口や旧火口周辺、硫黄平橋周辺では、噴気や火山ガスの噴出等が見られます。また、大穴火口付近では噴出現象が突発的に発生する可能性があります。ヘルメットの携行や立ち入り規制等地元自治体の指示に従ってください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

1) 火山性地震のうち、P 波、S 波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に 1 ～ 3 Hz の低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。

2) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

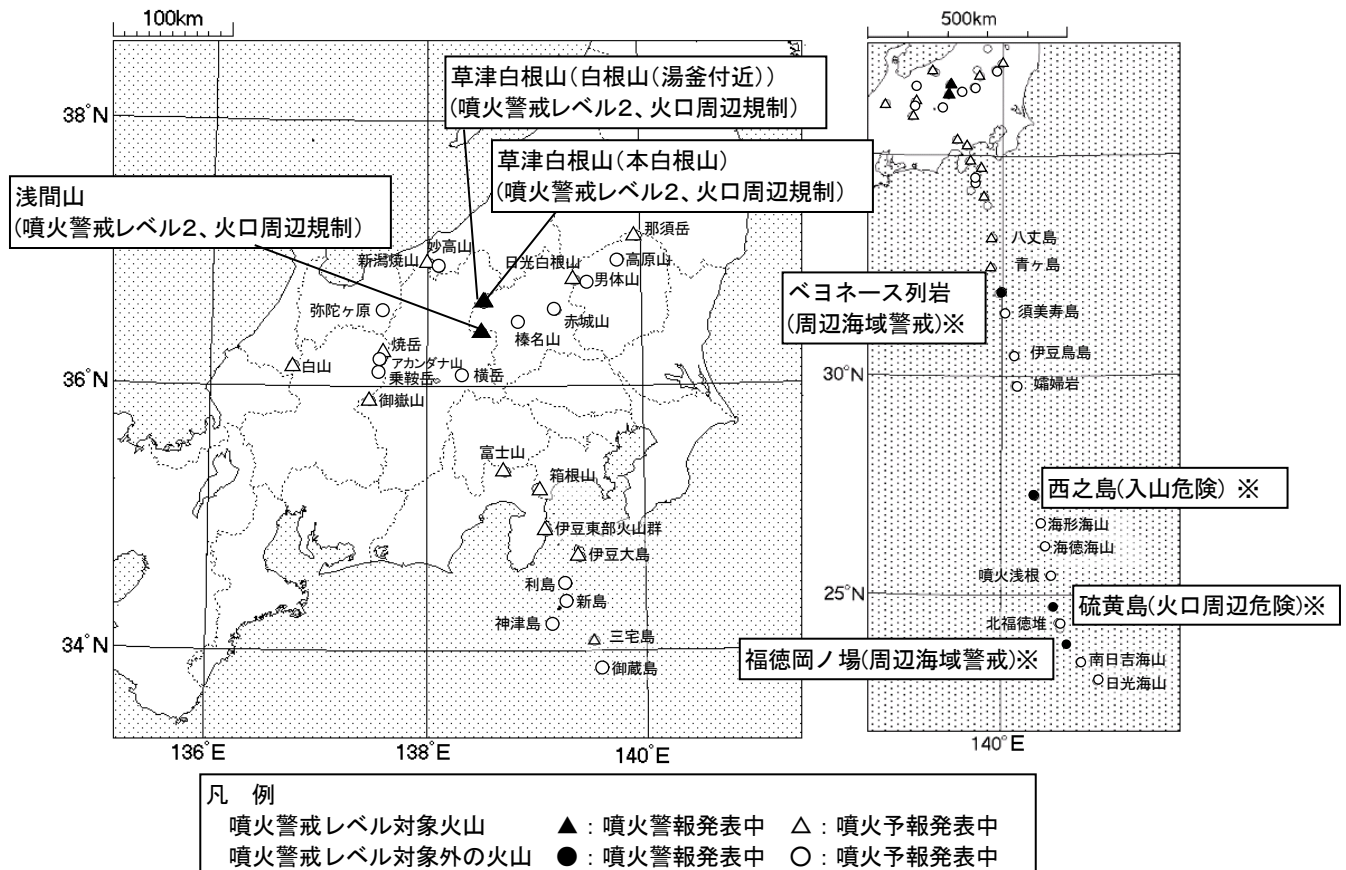
管内月間火山概況 (平成 30 年 7 月)

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (7月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	草津白根山 (白根山 (湯釜付近))、草津白根山 (本白根山)、浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。13日に西之島に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

4月21日頃から湯釜付近を震源とする火山性地震が増加し、地震活動は、4月22日以降やや低下してはいるものの、増減を繰り返しながら継続しています。6月下旬以降、振幅の小さな継続時間の短い火山性微動が時々発生しています。また、地震活動開始とほぼ同時期の4月22日頃から湯釜周辺の傾斜計¹⁾で観測されている地殻変動は、6月下旬頃から変化に鈍化傾向がみられます。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が風に流されて降るため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震はやや少ない状態ですが、時々振幅の大きな地震が発生しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移には注意してください。山頂から半径1km以内（想定火口内）では、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2017年8月上旬に、規模は小さいながらも浅部を震源とする低周波地震とともに噴気が観測されました。その後、低周波地震は観測されていませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

乗鞍岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

一方、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量³⁾は、2016 年 6 月以降は 1 日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁が 18 日及び 30 日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕 ←13 日に火口周辺警報（火口周辺危険）から火口周辺警報（入山危険）に引上げ、火山現象に関する海上警報を発表

12日に海上保安庁が上空から実施した観測で噴火が確認され、13日に海上保安庁及び第三管区海上保安本部が上空から実施した観測で活発な噴火活動と溶岩の流出が確認されました。また、気象衛星ひまわりの観測によると、12日夜から西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域が認められました。これらのことから、13日に22時00分に火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

その後、14日及び18日に海上保安庁及び第三管区海上保安本部が上空から実施した観測では、引き続き噴火活動がみられ、溶岩の流出も続いていました。しかし、30日に海上保安庁が上空から実施した観測では、噴火は認められませんでした。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS⁴⁾ 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

18日に海上保安庁が実施した上空からの観測で、福徳岡ノ場付近の海面で火山活動によるとみられる変色水等は認められませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1マイクロラジアンは1km先が1mm上下するような変化量です。
- 2) 噴石について、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 4) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

管内月間火山概況（平成 30 年 7 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

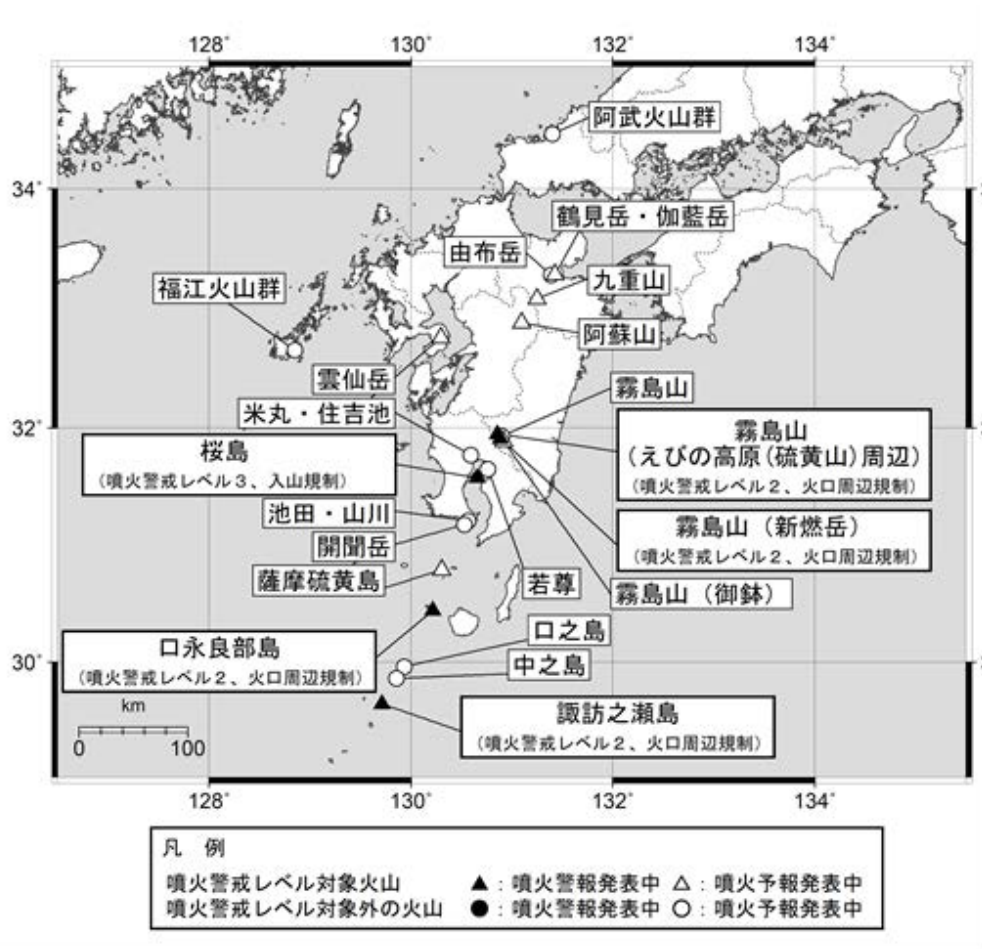
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

管内月間火山概況 (平成 30 年 7 月)

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (7月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	桜島
	レベル2 (火口周辺規制)	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)、 霧島山 (新燃岳)、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、 霧島山 (御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、 霧島山、米丸・住吉池、 若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2017年6月頃からB型地震¹⁾が時折発生しています。また、2014年以降、星生山北東側山腹の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力²⁾の変化がみられています。これらのことから、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震及び孤立型微動³⁾は多い状態で経過し、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁴⁾は概ねやや多い状態で経過しましたが、その他の観測データに火山活動の高まりは認められませんでした。

火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄山の南側の火孔では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山の西側500m付近では、5月下旬以降、噴気活動は弱まった状態が続いています。

硫黄山の南側では、引き続き湯だまりを確認しました。現地調査では、硫黄山周辺の沢の水は6月に透明になっていましたが、再び白濁していることを確認しました。

火山性地震は、概ね多い状態で経過しました。また、浅い所を震源とする低周波地震⁵⁾は引き続き時々発生しています。

GNSS⁶⁾連続観測では、硫黄山近傍の基線で、6月上旬から伸びの傾向が続いています。霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

硫黄山では、火山活動がやや高まった状態が継続しており、ごく小規模な噴火の可能性あります。えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁷⁾に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石⁷⁾（火山れき⁸⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

新燃岳では、今期間噴火は観測されませんでした。

火口直下を震源とする火山性地震は、概ね多い状態で経過しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が時々発生しました。

また、新燃岳火口の北東側2.5km付近を震源とする火山性地震が引き続き発生しています。

GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは緩やかに継続しており、火山活動の長期化やさらなる活発化の可能性もあります。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流⁹⁾が概ね1kmまで達する噴火の可能性あります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

霧島山 (御鉢) [噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

御鉢の火山活動に特段の変化はなく噴火の兆候は認められませんが、霧島山全体の火山活動が活発であることから、火口内で噴気や火山灰、火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)]

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、引き続き噴火¹⁰⁾ (爆発的噴火¹¹⁾を含む)が発生しています。16日15時38分の爆発的噴火では、多量の噴煙が火口縁上4,600mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目 (南岳山頂火口より1,300mから1,700m)まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石 (火山れき) が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩 硫黄島 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体の実施している立入規制等に留意してください。

口永良部島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

21日と31日に、振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が発生しました。火山性地震はやや多い状態でした。火山ガス (二酸化硫黄) の放出量はやや多い状態で経過しており、2014年8月の噴火前の水準には低下していません。以上のように、火山活動はやや高まった状態となっており、引き続き小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

諏訪之瀬島 [火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

御岳火口では、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられています。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。B型地震の増加は、山体浅部の火山活動の活発化を意味していることから発生状況には注意が必要です。
- 2) 火山体の南側で全磁力を観測した場合、全磁力値が減少すると火山体内部で温度上昇が、全磁力値が増加すると火山体内部で温度低下が生じていると推定されます。
- 3) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5～1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が $5 \mu\text{m/s}$ 以上のものを孤立型微動としています。通常、一日あたり 50～100 回発生しています。
- 4) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた二酸化硫黄、硫化水素や水蒸気など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマの蓄積の増加や浅部への上昇等でその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 5) 浅い場所を震源とする主に 1～3 Hz の低周波成分が卓越した火山性地震（B型地震）です。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 6) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 7) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 8) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 9) 火砕流とは、火山灰や岩塊、空気や水蒸気为一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 10) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 11) 新燃岳・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。

管内月間火山概況 (平成 30 年 7 月)

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

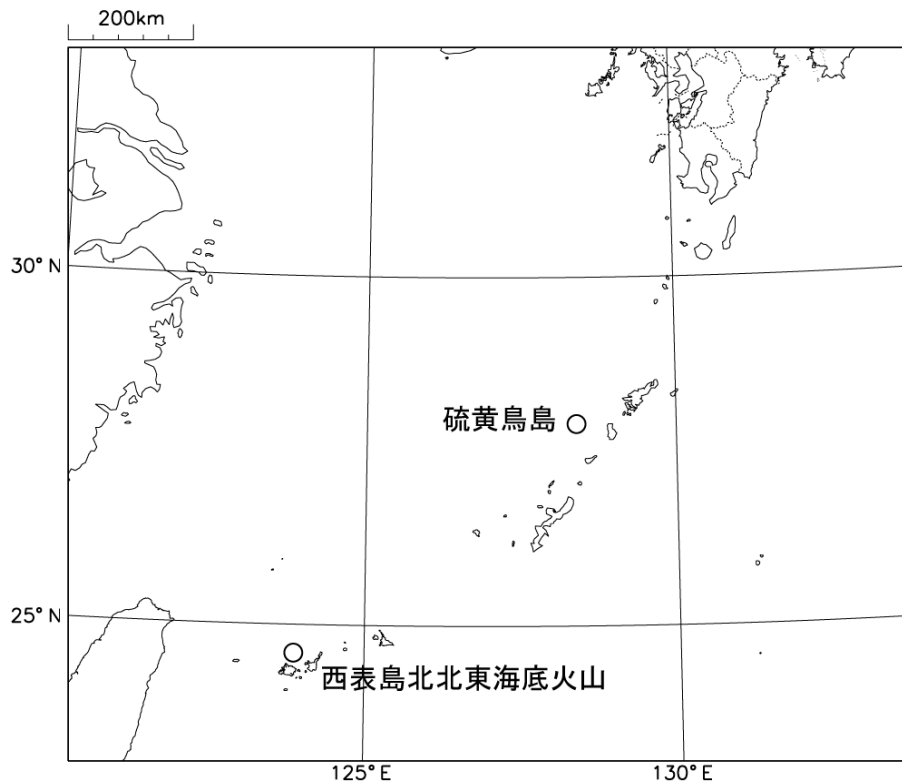
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

14日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側で弱い白色の噴気が認められました。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報 (活火山であることに留意)]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

表 平成30年7月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第52号～60号	2日、6日、9日、 13日、17日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	12日 06時39分 16日 15時56分 24日 21時51分 26日 21時49分 27日 18時46分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	12日 06時49分 16日 16時17分 16日 16時39分 16日 19時20分 24日 22時02分 26日 21時58分 27日 18時59分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
西之島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	解説情報 第1号～2号	12日 16時15分 13日 02時00分	12日に海上保安庁が実施した上空からの観測による噴火の状況。気象衛星ひまわりの観測による地表面温度の状況。
		火山活動解説資料	12日 16時30分 13日 10時00分	
	火口周辺警報 (入山危険)	火口周辺警報	13日 22時00分	13日に第三管区海上保安本部所属の航空機による上空からの観測で溶岩の流出が確認され、西之島では今後も噴火の規模が拡大する可能性があることから、火口周辺警報（火口周辺危険）から火口周辺警報（入山危険）に引上げ。
		火山現象に関する海上警報	13日 22時00分	噴火による影響が及ぶおそれ。 半径0.9海里以内の周辺海域警戒。
		火山活動解説資料	13日 23時00分	13日に第三管区海上保安本部所属の航空機による上空からの観測で溶岩の流出が確認され、西之島では今後も噴火の規模が拡大する可能性があることから、火口周辺警報（火口周辺危険）から火口周辺警報（入山危険）に引上げ。
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第91号～99号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	熱活動、火山性地震等火山活動の状況。
草津白根山 (本白根山)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第91号～99号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	火山性地震等火山活動の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第53号～61号	2日、6日、9日、 13日、16日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。
霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第59号～67号	2日、6日、9日、 13日、17日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による熱異常域や泥水等の状況。
		火山活動解説資料	13日 16時30分	

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第95号～103号	2日、6日、9日、 13日、17日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による温度の高い領域等の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第51号～59号	2日、6日、9日、 13日、17日、20日、 23日、27日、30日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第1号～3号	13日、20日、27日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
十勝岳	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	解説情報(臨時) 第15号～18号	2日、6日、9日、 13日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による62-2火口内及び振子沢噴気 孔群の状況。
		火山活動解説資料	13日 16時00分	
吾妻山	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	解説情報 第1号	22日 11時40分	22日に発生した火山性微動及び一時的に増 加した火山性地震の状況。
		火山活動解説資料	22日 14時00分	

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。草津白根山、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

● 世界の主な地震

平成30年(2018年)7月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

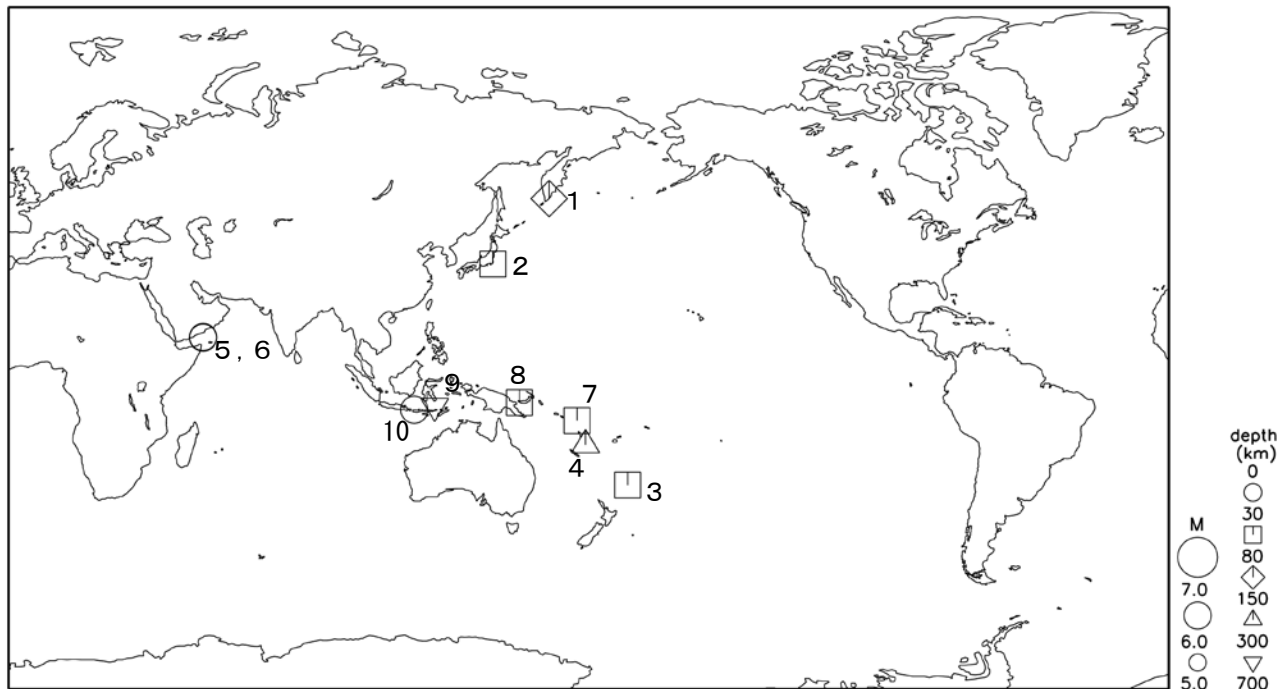


図1 平成30年(2018年)7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 平成30年(2018年)7月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	06日10時40分	N51° 36.8'	E157° 51.2'	80			6.1	カムチャツカ東部沿岸付近			
2	07日20時23分	N35° 09.9'	E140° 35.5'	57		6.0	(5.9)	千葉県東方沖			
3	08日06時33分	S30° 34.0'	W178° 4.3'	35			6.0	ニュージーランド・ケルマデック諸島			
4	13日18時46分	S18° 56.0'	E169° 1.3'	169			6.4	バヌアツ諸島			
5	15日10時57分	N14° 3.6'	E051° 43.5'	10			6.0	アデン湾東部			
6	15日22時09分	N13° 50.9'	E051° 43.0'	10			6.0	アデン湾東部			
7	17日16時02分	S11° 35.6'	E166° 25.9'	38			6.0	サンタクルーズ諸島			
8	20日03時30分	S06° 6.8'	E148° 43.8'	30			6.0	パプアニューギニアニューブリテン付近			
9	29日02時07分	S07° 7.3'	E122° 44.8'	577			6.0	フロレス海			
10	29日07時47分	S08° 16.4'	E116° 29.5'	6			6.4	インドネシア スンバワ島付近	死者17人以上		

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2018年8月2日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間=協定世界時+9時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

● 世界の主な火山活動

平成30年(2018年)7月に被害を伴った噴火が報告された主な火山(日本を除く)*は以下のとおり。

キラウエア(Kilauea) アメリカ(図中A) 標高1,222m

キラウエアでは噴火が継続しており、ハワイ郡市民防衛局によれば、16日早朝に海岸付近で発生した爆発的噴火による火砕物がツアーボートに直撃し、乗船していた23名が負傷した。

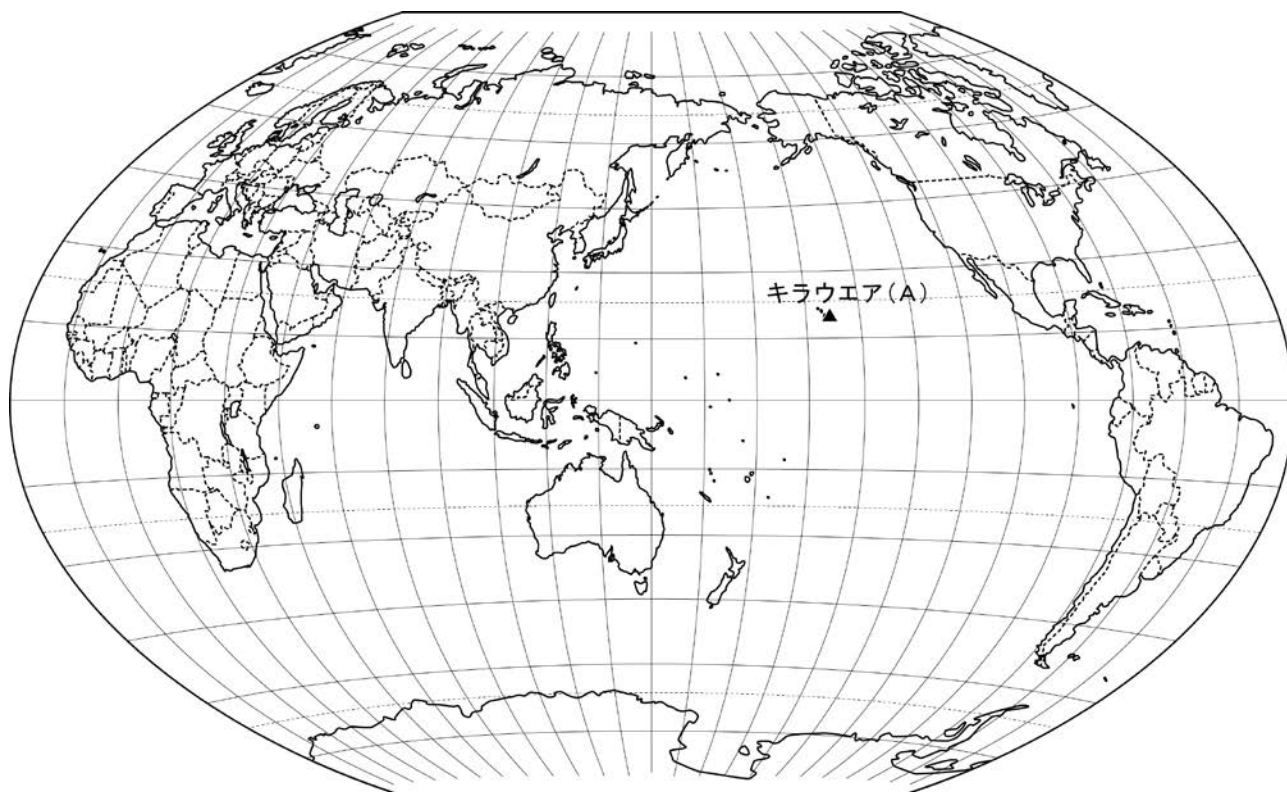


図 平成30年(2018年)7月に被害を伴った噴火が発生した主な火山(日本を除く)*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”(http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm)による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索〔気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>〕で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報(カタログ編)〔気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>〕に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「D」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 02	東京都23区 神奈川県 1 川崎中原区小杉町*=0.5	35° 40.0' N	139° 49.9' E	35km	M: 2.7
2	1 10 29	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.4	36° 38.6' N	140° 39.5' E	10km	M: 2.9
3	1 11 22	国後島付近 北海道 2 根室市厚床*=2.1 標茶町塘路*=1.7 1 別海町常盤=1.4 白糠町西1条*=1.3 浜中町霧多布*=1.3 別海町本別海*=1.1 根室市瑤瑤瑠*=1.0 標津町北2条*=0.9 釧路市阿寒町中央*=0.9 十勝大樹町生花*=0.8 厚岸町尾幌=0.8 根室市牧の内*=0.7 釧路市幸町=0.7 浜中町湯沸=0.5 厚岸町真栄*=0.5 鶴居村鶴居東*=0.5	43° 31.4' N	145° 16.9' E	131km	M: 4.3
4	1 12 42	大阪府北部 大阪府 3 枚方市大垣内*=2.5 2 島本町若山台*=2.1 交野市私部*=2.0 豊能町余野*=1.8 箕面市箕面=1.7 箕面市栗生外院*=1.7 高槻市立第2中学校*=1.6 寝屋川市役所*=1.6 茨木市東中条町*=1.5 大阪東淀川区北江口*=1.5 1 豊中市役所*=1.3 高槻市消防本部*=1.3 能勢町今西*=1.3 大阪東淀川区柴島*=1.3 高槻市桃園町=1.2 四條畷市中野*=1.2 大阪国際空港=1.2 摂津市三島*=1.1 豊中市曽根南町*=1.1 大阪都島区都島本通*=1.1 池田市城南*=1.1 吹田市内本町*=1.1 大阪北区茶屋町*=1.0 門真市中町*=0.9 大阪旭区大宮*=0.9 能勢町役場*=0.8 守口市京阪本通*=0.6 大東市新町*=0.6 大阪淀川区木川東*=0.5 大阪城東区放出西*=0.5 京都府 2 大山崎町円明寺*=2.3 八幡市八幡*=2.1 久御山町田井*=2.1 宇治市宇治琵琶=1.8 京都西京区大枝*=1.8 京都伏見区向島*=1.7 井手町井手*=1.6 城陽市寺田*=1.6 亀岡市余部町*=1.5 向日市寺戸町*=1.5 1 長岡京市開田*=1.4 京田辺市田辺*=1.2 南丹市園部町小桜町*=1.2 宇治市折居台*=1.2 精華町南稲八妻*=1.1 京都伏見区久我*=1.1 亀岡市安町=1.0 京都西京区樫原*=1.0 京都伏見区淀*=1.0 宇治田原町荒木*=1.0 京都中京区河原町御池*=0.9 京都伏見区醍醐*=0.8 南丹市八木町八木*=0.8 木津川市山城町上粕*=0.7 京都山科区安朱川向町*=0.6 京都伏見区竹田*=0.6 兵庫県 1 三田市下里*=1.2 川西市中央町*=1.1 宝塚市東洋町*=0.9 西宮市名塩*=0.7 伊丹市千僧*=0.6 西宮市宮前町=0.5 西宮市平木*=0.5 猪名川町紫合*=0.5 奈良県 1 大和郡山北郡山町*=1.4 生駒市東新町*=1.1 広陵町南郷*=1.1 御所市役所*=1.0 橿原市八木町*=0.8 平群町吉新*=0.8 三郷町勢野西*=0.8 奈良川西町結崎*=0.8 高取町観音寺*=0.8 斑鳩町法隆寺西*=0.7 香芝市本町*=0.7 田原本町役場*=0.7 安堵町東安堵*=0.6 上牧町上牧*=0.6 宇陀市大宇陀迫間*=0.6 天理市川原城町*=0.5 桜井市栗殿*=0.5 奈良市二条大路南*=0.5 河合町池部*=0.5	34° 51.4' N	135° 36.4' E	12km	M: 3.5
5	1 22 38	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.2 八戸市内丸*=0.7 八戸市湊町=0.6 岩手県 1 軽米町軽米*=0.6 岩手洋野町大野*=0.5	40° 22.8' N	142° 15.9' E	41km	M: 3.8
6	1 22 51	豊後水道 大分県 1 佐伯市鶴見*=0.9	32° 54.1' N	132° 09.5' E	40km	M: 2.9
7	1 23 03	東京都多摩西部 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.1 群馬県 1 渋川市吹屋*=0.5	35° 51.2' N	139° 06.3' E	125km	M: 3.5
8	2 02 25	石垣島近海 沖縄県 1 石垣市伊原間*=0.8	24° 53.7' N	123° 57.6' E	85km	M: 3.8
9	2 02 27	青森県東方沖 青森県 4 東通村砂子又沢内*=3.9 3 階上町道仏*=2.8 野辺地町田狭沢*=2.6 東通村砂子又蒲谷地=2.5 2 平内町小湊=2.2 八戸市湊町=2.0 野辺地町野辺地*=2.0 むつ市金曲=2.0 六ヶ所村尾駁=1.9 青森南部町苦米地*=1.9 青森南部町平*=1.9 むつ市金谷*=1.9 八戸市南郷*=1.8 東通村白糠*=1.8 横浜町林ノ脇*=1.7 八戸市内丸*=1.7 むつ市大畑町中島*=1.7 五戸町古館=1.6 五戸町倉石市中市*=1.6 七戸町森ノ上*=1.6 三沢市桜町*=1.5 外ヶ浜町蟹木*=1.5 横浜町寺下*=1.5 大間町大間*=1.5 東北町上北南*=1.5 1 東北町塔ノ沢山*=1.4 むつ市川内町*=1.4 東通村尻屋*=1.4 六ヶ所村出戸=1.3	41° 29.6' N	142° 03.8' E	64km	M: 4.9

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		三戸町在府小路町※=1.3 十和田市奥瀬※=1.2 七戸町七戸※=1.2 青森南部町沖田面※=1.2 おいらせ町中下田※=1.2 むつ市大畑町奥薬研=1.2 平内町東田沢※=1.1 青森市中央※=1.0 おいらせ町上明堂※=1.0 佐井村佐井※=1.0 青森市花園=0.9 藤崎町水木※=0.9 十和田市西二番町※=0.9 十和田市西十二番町※=0.9 六戸町犬落瀬※=0.9 むつ市脇野沢※=0.8 蓬田村蓬田※=0.8 風間浦村易国間※=0.8 佐井村長後※=0.8 八戸市島守=0.8 青森市浪岡※=0.8 五所川原市金木町※=0.7 黒石市市ノ町※=0.6 五所川原市敷島町※=0.5 北海道 3 函館市泊町※=2.5 2 むかわ町松風※=1.9 安平町早来北進※=1.8 函館市新浜町※=1.8 むかわ町穂別※=1.7 千歳市若草※=1.7 新千歳空港=1.6 苫小牧市旭町※=1.6 函館市日ノ浜町※=1.5 苫小牧市末広町=1.5 千歳市北栄=1.5 新冠町北星町※=1.5 厚真町鹿沼=1.5 1 渡島森町砂原※=1.4 南幌町栄町※=1.4 新ひだか町静内山手町=1.4 安平町追分柏が丘※=1.3 日高地方日高町門別※=1.3 恵庭市京町※=1.3 長沼町中央※=1.2 様似町栄町※=1.2 胆振伊達市大滝区本町※=1.2 厚真町京町※=1.2 千歳市支笏湖温泉※=1.2 江別市緑町※=1.2 平取町振内※=1.2 壮瞥町滝之町※=1.1 室蘭市寿町※=1.1 登別市桜木町※=1.1 函館市大森町※=1.0 登別市鉱山=1.0 新ひだか町静内御幸町※=1.0 新ひだか町三石旭町※=1.0 胆振伊達市梅本=1.0 えりも町えりも岬※=1.0 北広島市共栄※=0.9 函館市川汲町※=0.9 七飯町本町※=0.9 函館市美原=0.9 三笠市幸町※=0.9 浦河町潮見=0.9 浦河町築地※=0.9 七飯町桜町=0.8 福島町福島※=0.8 十勝大樹町東本通※=0.8 白老町大町=0.8 鹿部町宮浜※=0.8 帯広市東4条=0.7 渡島森町上台町※=0.7 浦河町野深=0.7 白老町緑丘※=0.7 木古内町木古内※=0.6 江別市高砂町=0.6 岩見沢市5条=0.5 長万部町平里※=0.5 渡島森町御幸町=0.5 函館市尾札部町=0.5 月形町円山公園※=0.5 夕張市若菜=0.5 岩手県 2 軽米町軽米※=1.5 1 岩手洋野町種市=1.2 盛岡市薮川※=1.2 八幡平市田頭※=1.0 宮古市田老※=0.9 岩手洋野町大野※=0.9 久慈市川崎町=0.8 九戸村伊保内※=0.8 二戸市福岡=0.7 宮古市区界※=0.7 盛岡市洪民※=0.6 二戸市石切所※=0.6 宮古市川井※=0.6 遠野市青笹町※=0.6 住田町世田米※=0.5 宮古市五月町※=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 久慈市長内町※=0.5				
10	2 05 45	オホーツク海南部 北海道 青森県 1 函館市新浜町※=1.3 1 階上町道仏※=1.2 東通村砂子又沢内※=0.7 むつ市大畑町中島※=0.6	46° 37.2' N	145° 01.2' E	423km	M: 5.6
11	2 08 40	長野県北部 長野県 1 須坂市須坂※=1.4 長野高山村高井※=1.4 長野市豊野町豊野※=1.0 千曲市上山田温泉※=0.6 千曲市杭瀬下※=0.6 小布施町小布施※=0.5 山ノ内町消防署※=0.5	36° 37.0' N	138° 22.0' E	2km	M: 2.8
12	2 09 43	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市伊良部長浜※=1.0 宮古島市伊良部国仲=0.6	24° 38.2' N	125° 08.6' E	34km	M: 3.3
13	2 16 01	滋賀県南部 滋賀県 1 甲賀市信楽町※=1.4	34° 52.0' N	136° 02.7' E	10km	M: 2.7
14	2 20 47	宮城県沖 岩手県 2 一関市大東町=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.4 大船渡市猪川町=1.2 一関市藤沢町※=1.2 一関市室根町※=1.1 陸前高田市高田町※=1.1 一関市千厩町※=1.0 釜石市中妻町※=1.0 遠野市青笹町※=0.9 住田町世田米※=0.9 花巻市大迫町=0.9 遠野市宮守町※=0.7 北上市相去町※=0.6 大船渡市盛町※=0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩=1.4 気仙沼市笹が陣※=1.3 気仙沼市唐桑町※=1.1 登米市東和町※=1.1 南三陸町志津川=1.1 大崎市田尻※=0.7 気仙沼市本吉町津谷※=0.6	38° 55.0' N	141° 55.9' E	51km	M: 3.9
15	2 20 53	青森県東方沖 青森県 3 東通村砂子又沢内※=3.0 青森南部町平※=2.7 七戸町森ノ上※=2.6 野辺地町野辺地※=2.5 むつ市川内町※=2.5 野辺地町田沢狭※=2.5 2 八戸市南郷※=2.4 平内町小湊=2.3 五戸町倉石中市※=2.3 青森南部町苦米地※=2.3 五戸町古館=2.2 階上町道仏※=2.1 東通村砂子又蒲谷地=2.1 むつ市金曲=2.0 むつ市金谷※=2.0 八戸市湊町=2.0 外ヶ浜町蟹田※=1.9 七戸町七戸※=1.9 東北町上北南※=1.9 東北町塔ノ沢山※=1.9 八戸市内丸※=1.9 青森南部町沖田面※=1.8 おいらせ町中下田※=1.8 三戸町在府小路町※=1.7 むつ市大畑町中島※=1.7 横浜町林ノ脇※=1.7 三沢市桜町※=1.6 おいらせ町上明堂※=1.6 横浜町寺下※=1.6 藤崎町西豊田※=1.5 六戸町犬落瀬※=1.5 青森市中央※=1.5 平内町東田沢※=1.5 青森市花園=1.5 佐井村長後※=1.5 1 五所川原市栄町=1.4 つがる市柏※=1.4 藤崎町水木※=1.4 むつ市脇野沢※=1.4 十和田市奥瀬※=1.3 六ヶ所村尾駈=1.3 つがる市車力町※=1.3 蓬田村蓬田※=1.3 十和田市西十二番町※=1.3 青森市浪岡※=1.2 田子町田子※=1.2 中泊町中里※=1.2 東通村白糠※=1.2 鶴田町鶴田※=1.2 十和田市西二番町※=1.2 つがる市市木造※=1.2 五所川原市敷島町※=1.2 田舎館村田舎館※=1.1 大間町大間※=1.1 つがる市稲垣町※=1.1 五所川原市金木町※=1.1 今別町今別※=1.0 新郷村戸来※=1.0 外ヶ浜町平館※=1.0 五所川原市相内※=1.0 黒石市市ノ町※=1.0 六ヶ所村出戸=1.0 むつ市大畑町奥薬研=0.9 板柳町板柳※=0.9 つがる市森田町※=0.9 東通村尻屋※=0.8 弘前市弥生=0.7 七戸町北大間館=0.7 鯉ヶ沢町本町=0.7 平川市猿賀※=0.7 八戸市島守=0.7 北海道 2 函館市泊町※=1.9 函館市新浜町※=1.8 様似町栄町※=1.5 1 厚真町鹿沼=1.1 新ひだか町静内山手町=1.1 千歳市若草※=1.0 函館市日ノ浜町※=1.0 えりも町えりも岬※=0.9 函館市美原=0.9 浦河町潮見=0.9 浦河町築地※=0.8 千歳市支笏湖温泉※=0.7 福島町福島※=0.7 胆振伊達市大滝区本町※=0.7 千歳市北栄=0.7 江別市緑町※=0.6 新ひだか町三石旭町※=0.6 苫小牧市末広町=0.6 木古内町木古内※=0.6 むかわ町穂別※=0.6 日高地方日高町門別※=0.6 七飯町桜町=0.5 七飯町本町※=0.5 新千歳空港=0.5 登別市桜木町※=0.5 岩手県 2 軽米町軽米※=2.0 盛岡市薮川※=1.9 一戸町高善寺※=1.9 盛岡市洪民※=1.8 八幡平市田頭※=1.8	41° 11.7' N	142° 42.0' E	39km	M: 5.0

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		八幡平市叭田＊=1.8 八幡平市野駄＊=1.6 矢巾町南矢幅＊=1.5 滝沢市鶴飼＊=1.5 1 野田村野田＊=1.4 岩手町五日市＊=1.4 二戸市福岡=1.3 八幡平市大更=1.3 久慈市枝成沢=1.2 普代村銅屋＊=1.2 盛岡市山王町=1.2 二戸市石切所＊=1.2 九戸村伊保内＊=1.1 紫波町紫波中央駅前＊=1.1 花巻市東和町＊=1.0 宮古市田老＊=0.9 花巻市石鳥谷町＊=0.9 岩手洋野町種＊=0.9 北上市柳原町=0.9 一関市千厩町＊=0.9 北上市相去町＊=0.8 花巻市大迫町=0.8 岩手洋野町大野＊=0.8 宮古市区界＊=0.8 盛岡市馬場町＊=0.7 遠野市青笹町＊=0.7 葛巻町葛巻元木=0.7 奥州市水沢佐倉河＊=0.6 宮古市川井＊=0.6 宮古市五月町＊=0.5 雫石町千刈田=0.5 宮城県 1 登米市迫町＊=1.1 石巻市桃生町＊=1.0 登米市登米町＊=0.9 登米市米山町＊=0.8 登米市中田町=0.6 秋田県 1 鹿角市花輪＊=1.0 井川町北川尻＊=0.8 大館市桜町＊=0.5 小坂町小坂砂森＊=0.5				
16	2 22 39	三重県南東沖 福島県 栃木県 1 浪江町幾世橋=0.5 1 宇都宮市明保野町=0.9	33° 45.8' N	137° 11.2' E	372km	M: 3.9
17	3 01 07	大阪府北部 京都府 1 八幡市八幡＊=0.6 久御山町田井＊=0.5	34° 51.4' N	135° 36.8' E	12km	M: 2.7
18	3 02 03	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏＊=1.3 八戸市湊町=0.5 1 八幡平市田頭＊=1.4 宮古市田老＊=1.1 田野畑村田野畑=0.5 盛岡市薮川＊=0.5 宮古市区界＊=0.5 遠野市宮守町＊=0.5	40° 01.0' N	142° 22.2' E	81km	M: 3.6
19	3 04 07	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市泉支所＊=0.5	32° 34.3' N	130° 42.7' E	8km	M: 2.5
20	3 04 58	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島 ＊=1.4	29° 06.0' N	129° 11.0' E	5km	M: 3.0
21	3 05 03	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島 ＊=0.7	29° 08.2' N	129° 09.8' E	8km	M: 2.7
22	3 12 23	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏 ＊=0.9	40° 54.4' N	142° 10.3' E	51km	M: 3.4
23	3 14 41	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原=0.9	24° 13.6' N	123° 50.2' E	15km	M: 3.1
24	3 20 38	日向灘 大分県 3 佐伯市蒲江蒲江浦=2.5 2 佐伯市米水津＊=1.8 佐伯市鶴見＊=1.7 佐伯市春日町＊=1.7 佐伯市上浦＊=1.6 佐伯市宇目＊=1.5 佐伯市蒲江猪串浦=1.5 佐伯市直川＊=1.5 1 佐伯市弥生＊=1.4 佐伯市役所＊=1.4 竹田市荻町＊=1.3 豊後大野市清川町＊=1.2 佐伯市本匠＊=1.0 津久見市宮本町＊=0.9 佐伯市堅田=0.8 竹田市会々 ＊=0.8 津久見市立花町＊=0.7 豊後大野市三重町=0.6 大分市新春日町＊=0.5 竹田市竹田小学校＊=0.5 宮崎県 3 延岡市北川町川内名白石 ＊=2.8 延岡市天神小路=2.6 2 延岡市北浦町古江 ＊=2.4 日向市大王谷運動公園=2.3 宮崎美郷町田代＊=2.2 門川町本町＊=1.8 延岡市東本小路＊=1.7 高千穂町三田井=1.6 延岡市北川町総合支所＊=1.5 1 延岡市北方町卯＊=1.3 日向市亀崎=1.3 宮崎都農町役場＊=1.2 日向市東郷町山陰＊=1.1 高千穂町寺迫＊=1.1 西都市上の宮＊=0.9 延岡市北方町末=0.8 川南町川南＊=0.8 宮崎美郷町宇納間＊=0.8 日向市富高＊=0.7 小林市真方=0.5 愛媛県 1 愛南町船越＊=0.5 高知県 1 宿毛市桜町＊=0.9 熊本県 1 熊本高森町高森＊=1.4 産山村山鹿 ＊=1.3 阿蘇市波野＊=1.1 熊本美里町永富 ＊=0.8 阿蘇市一の宮町＊=0.5	32° 37.5' N	132° 07.2' E	37km	M: 4.1
25	3 22 33	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校 ＊=1.5 1 東海村東海＊=1.2 茨城鹿嶋市宮中 ＊=1.0 鉾田市汲上 ＊=1.0 ひたちなか市南神敷台 ＊=0.9 土浦市常名=0.8 水戸市千波町 ＊=0.8 水戸市内原町 ＊=0.8 常陸大宮市上小瀬 ＊=0.7 日立市役所 ＊=0.7 大子町池田 ＊=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 笠間市石井 ＊=0.5 石岡市柿岡=0.5 牛久市城中町 ＊=0.5 笠間市下郷 ＊=0.5 水戸市金町=0.5 潮来市堀之内=0.5 鉾田市鉾田=0.5 鉾田市造谷 ＊=0.5 小美玉市上玉里 ＊=0.5	36° 14.7' N	141° 07.6' E	46km	M: 3.9
26	4 00 04	茨城県北部 福島県 茨城県 1 矢祭町戸塚＊=0.6 1 日立市助川小学校 ＊=0.7 高萩市安良川 ＊=0.7	36° 48.8' N	140° 34.0' E	8km	M: 3.4
27	4 01 52	長野県北部 長野県 1 飯山市飯山福寿町 ＊=0.7	36° 56.8' N	138° 24.9' E	8km	M: 2.4
28	4 06 28	千葉県北東部 千葉県 1 長南町長南 ＊=1.4 一宮町一宮=1.3 睦沢町下之郷 ＊=0.5 大網白里市大網 ＊=0.5	35° 21.1' N	140° 20.4' E	25km	M: 2.5

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
29	4 08 42	新島・神津島近海 東京都 1 新島村本村*=1.2	34° 23.0' N	139° 15.9' E	2km	M: 1.8
30	5 03 39	宮古島近海 沖縄県 1 宮古島市城辺福北=0.6	24° 56.4' N	125° 24.8' E	55km	M: 3.5
31	5 08 54	東京湾 栃木県 1 栃木市岩舟町静*=0.6 佐野市高砂町*=0.5 宇都宮市明保野町=0.5 埼玉県 1 熊谷市江南*=0.5 千葉県 1 千葉花見川区花島町*=0.9 八千代市大和田新田*=0.9 千葉中央区都町*=0.9 白井市復*=0.8 千葉稲毛区園生町*=0.7 千葉緑区おゆみ野*=0.7 市原市姉崎*=0.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.6 習志野市鷺沼*=0.6 千葉若葉区小倉台*=0.6 君津市久留里市場*=0.5 東京都 1 東京世田谷区成城*=0.8 東京中央区勝どき*=0.6 東京国際空港=0.6 東京千代田区大手町=0.5 東京千代田区富士見*=0.5 神奈川県 1 横浜鶴見区鶴見*=1.1 横浜神奈川区広台太田町*=1.1 横浜中区山手町=1.1 横浜神奈川区神大寺*=1.0 横浜鶴見区末広町*=0.8 三浦市城山町*=0.8 川崎中原区小杉町*=0.7	35° 36.8' N	139° 55.4' E	85km	M: 3.7
32	5 14 40	福島県沖 宮城県 2 岩沼市桜*=1.6 1 山元町浅生原*=1.0 石巻市桃生町*=1.0 蔵王町円田*=1.0 宮城川崎町前川*=0.9 大崎市古川三日町=0.7 名取市増田*=0.7 角田市角田*=0.7 色麻町四竈*=0.7 山形県 1 米沢市林泉寺*=0.6 福島県 1 福島伊達市霊山町*=1.1 双葉町両竹*=0.9 国見町藤田*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.5	37° 21.1' N	141° 30.5' E	23km	M: 4.2
33	5 17 43	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=1.3 浦河町潮見=0.8 新ひだか町静内山手町=0.7 浦河町築地*=0.6	42° 10.9' N	142° 36.9' E	21km	M: 3.5
34	5 20 18	徳島県南部 徳島県 1 那賀町和食*=0.7 勝浦町久国*=0.6 美馬市木屋平*=0.6	33° 52.6' N	134° 26.1' E	10km	M: 2.9
35	5 23 55	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 八代市坂本町*=2.1 芦北町芦北=1.8 上天草市姫戸町*=1.8 球磨村渡*=1.6 上天草市松島町*=1.6 天草市五和町*=1.5 水俣市牧ノ内*=1.5 熊本美里町永富*=1.5 1 水俣市陣内*=1.4 芦北町田浦町*=1.4 上天草市大矢野町=1.4 上天草市龍ヶ岳町*=1.4 五木村甲*=1.3 天草市有明町*=1.3 八代市平山新町=1.3 八代市千丁町*=1.1 津奈木町小津奈木*=1.1 天草市倉岳町*=1.1 宇城市豊野町*=1.0 熊本西区春日=1.0 あさぎり町須恵*=1.0 天草市栖本町*=1.0 天草市天草町*=0.9 宇城市松橋町=0.9 天草市河浦町*=0.9 あさぎり町免田東*=0.9 八代市鏡町*=0.9 氷川町島地*=0.8 湯前町役場*=0.8 天草市牛深町=0.8 八代市松江城町*=0.7 あさぎり町岡原*=0.7 宇土市新小路町=0.7 山江村山田*=0.6 天草市新和町*=0.6 宇城市三角町*=0.5 宇城市不知火町*=0.5 菊池市旭志*=0.5 多良木町上球磨消防署*=0.5 八代市泉支所*=0.5 玉名市中尾*=0.5 人吉市蟹作町*=0.5 鹿児島県 2 長島町伊唐島*=1.7 長島町鷹巣*=1.6 1 伊佐市大口山野=1.4 伊佐市大口鳥巣*=1.3 鹿児島出水市野田町*=1.2 長島町獅子島*=1.2 さつま町宮之城保健センタ*=1.1 阿久根市赤瀬川=0.9 阿久根市鶴見町*=0.8 鹿児島出水市緑町*=0.8 長島町指江*=0.8 さつま町神子*=0.7 霧島市横川町中ノ*=0.6 鹿児島出水市高尾野町*=0.6 薩摩川内市樋脇町*=0.5 長崎県 1 南島原市加津佐町*=1.1 雲仙市小浜町雲仙=1.1 南島原市口之津町*=1.0 雲仙市雲仙出張所*=0.8 長崎市元町*=0.8 大村市玖島*=0.7 諫早市多良見町*=0.7 宮崎県 1 椎葉村下福良*=0.8 西都市上の宮*=0.7 宮崎都農町役場*=0.6 椎葉村総合運動公園*=0.6	32° 27.3' N	130° 32.7' E	11km	M: 3.8
36	6 00 40	千葉県北西部 千葉県 1 千葉中央区都町*=0.8 千葉中央区中央港=0.6 千葉花見川区花島町*=0.6 千葉緑区おゆみ野*=0.5	35° 35.4' N	140° 06.2' E	68km	M: 3.2
37	6 10 36	神奈川県西部 神奈川県 1 箱根町湯本*=0.5	35° 10.7' N	139° 06.4' E	12km	M: 2.0
38	7 20 23	千葉県東方沖 千葉県 5弱 長南町長南*=4.8 4 館山市長須賀=4.2 勝浦市墨名=4.2 いすみ市国府台*=4.1 鴨川市横渚*=4.0 大多喜町大多喜*=4.0 勝浦市新宮*=4.0 いすみ市岬町長者*=3.8 市原市姉崎*=3.8 鴨川市八色=3.7 睦沢町下之郷*=3.7 長生村本郷*=3.7 長柄町桜谷*=3.7 大網白里市大網*=3.7 横芝光町栗山*=3.6 九十九里町片貝*=3.6 千葉中央区都町*=3.6 千葉若葉区小倉台*=3.6 白子町関*=3.6 東金市日吉台*=3.6 館山市北条*=3.6 一宮町一宮=3.5 茂原市道表*=3.5 君津市久留里市場*=3.5 木更津市富士見*=3.5 いすみ市大原*=3.5 山武市松尾町富士見台=3.5 山武市塩谷*=3.5 南房総市谷向*=3.5 3 東金市東新宿=3.4 東金市東岩崎*=3.4 横芝光町宮川*=3.4 山武市殿台*=3.4 千葉美浜区ひび野=3.4 長柄町大津倉=3.3 山武市松尾町五反田*=3.3 千葉中央区中央港=3.3 千葉中央区千葉市役所*=3.3 千葉花見川区花島町*=3.3 多古町多古=3.3 浦安市猫実*=3.3 四街道市鹿渡*=3.3 君津市久保*=3.3 御宿町須賀*=3.3 山武市蓮沼ハ*=3.2 山武市蓮沼ニ*=3.2 鴨川市内浦=3.2 千葉美浜区稲毛海岸*=3.2 鋸南町下佐久間*=3.2 成田国際空港=3.1 成田市松子*=3.1 千葉佐倉市海隣寺町*=3.1 市原市国分寺台中央*=3.1 浦安市日の出=3.1 芝山町小池*=3.1	35° 09.9' N	140° 35.5' E	57km	M: 6.0

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		木更津市太田*3.1 鴨川市天津*3.1 香取市羽根川*3.1 旭市南堀之内*3.1 南房総市岩糸*3.1 神崎町神崎本宿*3.1 千葉緑区おゆみ野*3.0 袖ヶ浦市坂戸市場*3.0 香取市役所*3.0 千葉稲毛区園生町*3.0 野田市鶴奉*2.9 八街市八街*2.9 印西市笠神*2.9 成田市中台*2.9 成田市役所*2.9 富津市下飯野*2.9 八千代市大和田新田*2.9 船橋市湊町*2.9 匝瑳市今泉*2.8 香取市佐原平田*2.8 香取市仁良*2.8 南房総市上堀*2.8 南房総市富浦町青木*2.8 南房総市和田町*2.8 習志野市鷺沼*2.8 流山市平和台*2.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.8 旭市萩園*2.8 旭市二*2.8 印西市大森*2.8 白井市復*2.8 富里市七栄*2.8 匝瑳市八日市場*2.8 松戸市西馬橋*2.7 南房総市白浜町白浜*2.6 香取市佐原諏訪台*2.6 市川市南八幡*2.6 野田市東宝珠花*2.6 旭市高生*2.6 成田市猿山*2.6 東庄町笹川*2.6 柏市旭町*2.6 柏市柏*2.6 印西市美瀬*2.5 栄町安食台*2.5 香取市岩部*2.5 銚子市若宮町*2.5 南房総市千倉町瀬戸*2.5 2 柏市大島田*2.4 酒々井町中央*2.4 銚子市川口町*2.3 我孫子市我孫子*2.3 松戸市根本*2.1 南房総市久枝*2.0 3 取手市藤代*3.3 稲敷市結佐*3.3 取手市井野*3.1 小美玉市上玉里*3.0 神栖市溝口*3.0 つくばみらい市加藤*2.9 河内町源清田*2.9 笠間市中央*2.8 つくばみらい市福田*2.8 稲敷市伊佐津*2.8 龍ヶ崎市役所*2.8 潮来市辻*2.8 常総市水海道諏訪町*2.8 坂東市岩井*2.7 稲敷市須賀津*2.7 筑西市舟生*2.7 茨城鹿嶋市鉢形*2.6 潮来市堀之内*2.6 取手市寺田*2.6 阿見町中央*2.6 石岡市柿岡*2.6 常総市新石下*2.6 笠間市石井*2.6 牛久市城中町*2.5 つくば市小笠*2.5 神栖市波崎*2.5 利根町布川*2.5 土浦市藤沢*2.5 稲敷市江戸崎甲*2.5 茨城町小堤*2.5 牛久市中央*2.5 美浦村受領*2.5 2 石岡市若宮*2.4 石岡市八郷*2.4 茨城鹿嶋市宮中*2.4 守谷市大柏*2.4 坂東市馬立*2.4 稲敷市役所*2.4 小美玉市小川*2.3 つくば市天王台*2.3 かすみがうら市大和田*2.3 行方市玉造*2.3 行方市麻生*2.3 桜川市真壁*2.3 つくば市研究学園*2.3 土浦市常名*2.3 境町旭町*2.3 常陸太田市金井町*2.3 五霞町小福田*2.2 かすみがうら市上土山*2.2 土浦市田中*2.2 行方市山田*2.2 茨城古河市仁連*2.2 下妻市鬼怒*2.2 坂東市山*2.2 坂東市役所*2.2 鉾田市汲上*2.1 笠間市下郷*2.1 小美玉市堅倉*2.1 茨城古河市下大野*2.0 笠間市笠間*2.0 鉾田市造谷*2.0 東海村東海*2.0 茨城古河市長谷町*2.0 下妻市本城町*2.0 鉾田市鉾田*1.9 結城市結城*1.9 城里町石塚*1.9 ひたちなか市南神敷台*1.9 筑西市門井*1.9 八千代町菅谷*1.9 ひたちなか市東石川*1.8 水戸市千波町*1.8 筑西市下中山*1.8 桜川市岩瀬*1.8 那珂市福田*1.8 水戸市内原町*1.8 水戸市金町*1.8 桜川市羽田*1.7 那珂市瓜連*1.6 日立市助川小学校*1.6 北茨城市中郷町*1.6 城里町阿波山*1.5 常陸大宮市野口*1.5 1 日立市十王町友部*1.4 常陸太田市高柿町*1.4 高萩市安良川*1.4 北茨城市磯原町*1.4 常陸大宮市北町*1.4 高萩市本町*1.3 城里町小勝*1.3 常陸大宮市山方*1.2 ひたちなか市山ノ上町*1.2 常陸大宮市中富町*1.2 大子町池田*1.0 日立市役所*0.9 常陸大宮市高部*0.9 常陸大宮市上小瀬*0.9 常陸太田市町屋町*0.6 3 高根沢町石末*2.5 2 真岡市石島*2.2 市貝町市塙*2.2 大田原市湯津上*2.1 真岡市田町*2.1 芳賀町祖母井*2.1 真岡市荒町*2.0 栃木市藤岡町藤岡*2.0 栃木市岩舟町静*2.0 小山市中央町*1.9 足利市大正町*1.9 野木町丸林*1.9 下野市田中*1.9 益子町益子*1.8 佐野市高砂町*1.8 鹿沼市晃望台*1.8 下野市笹原*1.7 佐野市葛生東*1.6 下野市石橋*1.6 佐野市田沼町*1.6 日光市芹沼*1.6 宇都宮市明保野町*1.6 上三川町しらさぎ*1.6 那須塩原市あたご町*1.5 栃木市大平町富田*1.5 壬生町通町*1.5 栃木さくら市氏家*1.5 那須烏山市中央*1.5 那須烏山市大金*1.5 1 日光市湯元*1.4 那須町寺子*1.4 鹿沼市今宮町*1.4 茂木町茂木*1.4 栃木さくら市喜連川*1.4 茂木町北高岡天矢場*1.3 栃木那珂川町小川*1.3 日光市瀬川*1.3 日光市今市本町*1.3 栃木市旭町*1.3 矢板市本町*1.2 那須塩原市塩原庁舎*1.2 宇都宮市塙田*1.2 栃木市万町*1.2 塩谷町玉生*1.1 栃木市西方町本城*1.1 日光市鬼怒川温泉大原*1.1 日光市藤原庁舎*1.1 鹿沼市口栗野*1.1 宇都宮市中里町*1.1 日光市足尾町中才*1.0 日光市日蔭*1.0 那須塩原市鍋掛*1.0 佐野市中町*0.9 大田原市黒羽田町*0.9 日光市中宮祠*0.9 那須塩原市藁沼*0.8 那須塩原市中塩原*0.5 3 吉川市きよみ野*3.2 宮代町笠原*3.1 加須市大利根*3.1 春日部市谷原新田*3.0 久喜市青葉*2.9 さいたま緑区中尾*2.9 春日部市金崎*2.9 杉戸町清地*2.8 春日部市粕壁*2.8 草加市高砂*2.8 越谷市越ヶ谷*2.8 幸手市東*2.8 さいたま南区別所*2.7 久喜市栗橋*2.7 志木市中宗岡*2.7 三郷市中央*2.7 鴻巣市吹上富士見*2.7 松伏町松伏*2.7 さいたま大宮区天沼町*2.7 さいたま中央区下落合*2.6 鴻巣市中央*2.6 八潮市中央*2.6 久喜市菖蒲*2.6 久喜市鷺宮*2.6 富士見市鶴馬*2.5 久喜市下早見*2.5 さいたま北区宮原*2.5 川口市中青木分室*2.5 さいたま大宮区大門*2.5 さいたま見沼区堀崎*2.5 白岡市千駄野*2.5 加須市三俣*2.5 加須市騎西*2.5 入間市豊岡*2.5 2 加須市北川辺*2.4 川口市青木*2.4 川口市三ツ和*2.4 川島町下八ツ林*2.4 さいたま浦和区高砂*2.4 さいたま岩槻区本丸*2.4 さいたま桜区道場*2.3 熊谷市大里*2.3 蕨市中央*2.3 戸田市上戸田*2.3 鴻巣市川里*2.2 所沢市北有楽町*2.2 狹山市入間川*2.2 和光市広沢*2.2 毛呂山町中央*2.2 さいたま西区指扇*2.2 行田市本丸*2.2 新座市野火止*2.1 埼玉三芳町藤久保*2.0 行田市南河原*2.0 羽生市東*2.0 吉見町下細谷*2.0 さいたま浦和区常盤*2.0 朝霞市本町*2.0 桶川市泉*2.0 上尾市本町*1.9 熊谷市桜町*1.9 蓮田市黒浜*1.9 鶴ヶ島市三ツ木*1.9 伊奈町小室*1.9 埼玉美里町木部*1.9 熊谷市宮町*1.8 熊谷市妻沼*1.8 北本市本町*1.8 坂戸市千代田*1.8 東松山市松葉町*1.8 日高市南平沢*1.8 川越市新宿町*1.8 川越市旭町*1.7 所沢市並木*1.7 本庄市児玉町*1.7 ふじみ野市福岡*1.7 東松山市市ノ川*1.7 熊谷市江南*1.6 飯能市双柳*1.6 深谷市仲町*1.6 深谷市花園*1.6 深谷市川本*1.5 1 鳩山町大豆戸*1.4 ときがわ町桃木*1.4 飯能市征矢町*1.4 ふじみ野市大井*1.4 秩父市近戸町*1.4 秩父市熊木町*1.4 飯能市名栗*1.3 越生町越生*1.3 秩父市上町*1.3 本庄市本庄*1.3 深谷市岡部*1.3 滑川町福田*1.3 嵐山町杉山*1.2 上里町七本木*1.2				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 横瀬町横瀬＊=1.2 秩父市荒川＊=1.1 小川町大塚＊=1.1 小鹿野町小鹿野＊=1.1 皆野町皆野＊=1.0 小鹿野町役場両神庁舎＊=1.0 東秩父村御堂＊=1.0 飯能市苅生=1.0 ときがわ町玉川＊=0.9 秩父市吉田＊=0.9 長瀬町野上郷＊=0.9 長瀬町本野上＊=0.9 寄居町寄居＊=0.8 埼玉神川町下阿久原＊=0.8 秩父市中津川＊=0.6 3 東京千代田区大手町＊=3.1 東京江戸川区船堀＊=3.0 町田市本町田＊=3.0 東京中央区勝どき＊=2.9 東京港区海岸=2.8 東京大田区多摩川＊=2.8 東京台東区千束＊=2.7 東京江東区森下＊=2.7 東京大田区本羽田＊=2.7 東京足立区神明南＊=2.7 東京江戸川区中央=2.7 調布市西つつじヶ丘＊=2.7 東京港区白金＊=2.6 東京江東区越中島＊=2.6 東京江東区東陽＊=2.6 東京江東区亀戸＊=2.6 東京江東区枝川＊=2.6 東京国際空港=2.6 東京世田谷区成城＊=2.6 東京足立区伊興＊=2.6 町田市忠生＊=2.6 東京新宿区上落合＊=2.5 東京墨田区吾妻橋＊=2.5 東京江東区青海=2.5 東京品川区北品川＊=2.5 東京品川区平塚＊=2.5 東京渋谷区宇田川町＊=2.5 東京渋谷区本町＊=2.5 東京北区神谷＊=2.5 東京荒川区荒川＊=2.5 東京荒川区東尾久＊=2.5 東京板橋区相生町＊=2.5 東京足立区千住中居町＊=2.5 東京葛飾区立石＊=2.5 八王子市堀之内＊=2.5 三宅村坪田=2.5 2 東京千代田区麹町＊=2.4 東京港区南青山＊=2.4 東京墨田区横川=2.4 東京大田区大森東＊=2.4 東京世田谷区三軒茶屋＊=2.4 東京中野区中野＊=2.4 東京板橋区高島平＊=2.4 東京練馬区豊玉北＊=2.4 東京練馬区東大泉＊=2.4 東京葛飾区金町＊=2.4 東京江戸川区鹿骨＊=2.4 小平市小川町＊=2.4 東村山市本町＊=2.4 伊豆大島町波浮港＊=2.4 八王子市石川町＊=2.3 東京府中市朝日町＊=2.3 国分寺市本多＊=2.3 狛江市和泉本町＊=2.3 東大和市中央＊=2.3 三宅村神着=2.3 東京中央区築地＊=2.3 東京新宿区西新宿=2.3 東京墨田区東向島＊=2.3 東京品川区広町＊=2.3 東京杉並区桃井＊=2.3 東京北区西ヶ原＊=2.3 日野市神明＊=2.2 国分寺市戸倉=2.2 西東京市中町＊=2.2 東京中央区日本橋兜町＊=2.2 多摩市関戸＊=2.2 東京利島村東山=2.2 新島村大原=2.2 東京文京区本郷＊=2.2 東京世田谷区世田谷＊=2.2 東京世田谷区中町＊=2.2 東京中野区中央＊=2.2 東京杉並区高井戸＊=2.2 東京板橋区板橋＊=2.2 三鷹市野崎＊=2.2 調布市小島町＊=2.2 小金井市本町＊=2.2 東京千代田区富士見＊=2.2 東京目黒区中央町＊=2.1 稲城市東長沼＊=2.1 伊豆大島町差木地=2.1 東京港区芝公園＊=2.1 新島村本村＊=2.1 東京新宿区百人町＊=2.1 東京文京区大塚＊=2.1 清瀬市中里＊=2.0 東京豊島区南池袋＊=2.0 神津島村金長=2.0 神津島村役場＊=2.0 伊豆大島町元町=2.0 東京足立区中央本町＊=2.0 東京台東区東上野＊=2.0 昭島市田中町＊=2.0 町田市森野＊=2.0 東京大田区蒲田＊=2.0 東京練馬区光が丘＊=1.9 武蔵村山市本町＊=1.9 瑞穂町箱根ヶ崎＊=1.9 東京中野区江古田＊=1.9 三宅村阿古＊=1.9 御蔵島村西川=1.9 八王子市大横町=1.8 東京杉並区阿佐谷=1.8 多摩市鶴牧＊=1.7 武蔵野市吉祥寺東町＊=1.7 青梅市日向和田＊=1.7 あきる野市伊奈＊=1.7 東京府中市寿町＊=1.7 立川市泉町＊=1.6 武蔵野市緑町＊=1.6 羽村市緑ヶ丘＊=1.6 新島村式根島=1.6 国立市富士見台＊=1.6 清瀬市中清戸＊=1.6 東久留米市本町＊=1.6 八丈町富士グラウンド＊=1.5 福生市福生＊=1.5 1 日の出町平井＊=1.4 八丈町三根=1.4 青梅市東青梅=1.2 青ヶ島村=1.2 檜原村本宿＊=0.9 八丈町樫立=0.7 神奈川県 3 横浜中区山下町＊=3.2 横浜神奈川区神大寺＊=3.1 横浜中区山手町=3.1 横浜港北区日吉本町＊=3.1 横浜戸塚区鳥が丘＊=3.1 三浦市城山町＊=3.1 横浜栄区小菅ヶ谷＊=3.0 横須賀市光の丘=3.0 厚木市中町＊=3.0 湯河原町中央=3.0 横浜中区山吹町＊=2.9 横浜鶴見区末広町＊=2.8 横浜神奈川区広台太田町＊=2.8 横浜西区浜松町＊=2.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=2.8 横浜港南区丸山台東部＊=2.8 川崎川崎区宮前町＊=2.8 川崎宮前区野川＊=2.8 藤沢市長後＊=2.8 大和市下鶴間＊=2.8 小田原市荻窪＊=2.8 横浜旭区川井宿町＊=2.7 川崎川崎区中島＊=2.7 川崎中原区小杉町＊=2.7 川崎宮前区宮前平＊=2.7 藤沢市打戻＊=2.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=2.7 海老名市大谷＊=2.7 寒川町宮山＊=2.7 二宮町中里＊=2.7 中井町比奈窪＊=2.7 横浜金沢区白帆＊=2.6 横浜金沢区釜利谷南＊=2.6 横浜戸塚区戸塚町＊=2.6 横浜旭区大池町＊=2.6 横浜緑区十日市場町＊=2.6 横浜緑区鴨居＊=2.6 横浜瀬谷区三ツ境＊=2.6 横浜青葉区榎が丘＊=2.6 横浜都筑区池辺町＊=2.6 藤沢市朝日町＊=2.6 逗子市桜山＊=2.6 厚木市下津古久＊=2.6 横浜中区日本大通＊=2.5 横浜磯子区磯子＊=2.5 横浜金沢区寺前＊=2.5 横浜港北区大倉山＊=2.5 横浜港北区綱島西＊=2.5 横浜港南区丸山台北部＊=2.5 横浜瀬谷区中屋敷＊=2.5 川崎川崎区千鳥町＊=2.5 鎌倉市御成町＊=2.5 藤沢市大庭＊=2.5 藤沢市辻堂東海岸＊=2.5 綾瀬市深谷＊=2.5 横浜鶴見区鶴見＊=2.5 神奈川大井町金子＊=2.5 相模原南区相模大野＊=2.5 横浜西区みなとみらい＊=2.5 2 横浜鶴見区馬場＊=2.4 横浜戸塚区平戸町＊=2.4 横浜栄区桂台南＊=2.4 横浜泉区和泉町＊=2.4 横浜青葉区市ヶ尾町＊=2.4 川崎幸区戸手本町＊=2.4 川崎中原区小杉陣屋町=2.4 平塚市浅間町＊=2.4 座間市相武台＊=2.4 葉山町堀内＊=2.4 秦野市曾屋=2.4 清川村煤ヶ谷＊=2.4 相模原緑区橋本＊=2.4 横浜旭区上白根町＊=2.3 横浜泉区岡津町＊=2.3 横須賀市坂本町＊=2.3 松田町松田惣領＊=2.3 愛川町角田＊=2.3 横浜南区大岡＊=2.2 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=2.2 横浜旭区今宿東町＊=2.2 横浜都筑区茅ヶ崎＊=2.2 川崎高津区下作延＊=2.2 川崎麻生区片平＊=2.2 相模原中央区中央=2.2 相模原中央区上溝＊=2.2 相模原緑区久保沢＊=2.2 箱根町湯本＊=2.1 真鶴町岩＊=2.1 相模原中央区水郷田名＊=2.1 横浜青葉区美しが丘＊=2.1 横浜南区六ツ川＊=2.1 川崎多摩区登戸＊=2.0 伊勢原市伊勢原＊=2.0 相模原南区磯部＊=2.0 相模原緑区中野＊=2.0 相模原緑区大島＊=1.9 小田原市久野=1.9 秦野市平沢＊=1.9 南足柄市関本＊=1.9 山北町山北＊=1.9 川崎麻生区万福寺＊=1.8 大磯町月京＊=1.8 開成町延沢＊=1.6 山梨県 1 相模原緑区小淵＊=1.4 相模原緑区与瀬＊=1.4 相模原緑区若柳=1.0 3 富士川町鯉沢＊=2.7 富士河口湖町長浜＊=2.5 2 山中湖村山中＊=2.4 西桂町小沼＊=2.3 山梨北杜市長坂町＊=2.0 富士吉田市下吉田＊=1.9 南アルプス市寺部＊=1.8 笛吹市役所＊=1.8 中央市大鳥居＊=1.8 中央市成島＊=1.8 大月市御太刀＊=1.8 上野原市役所＊=1.8 富士吉田市上吉田＊=1.7 都留市上谷＊=1.7 富士河口湖町船津=1.7 甲斐市下今井＊=1.7 山梨北杜市高根町＊=1.7 道志村役場＊=1.6 甲府市相生＊=1.6 甲府市下曽根町＊=1.6 昭和町押越＊=1.6 笛吹市境川町藤岱＊=1.6 中央市臼井阿原＊=1.6 笛吹市春日居町寺本＊=1.5 山梨北杜市明野町＊=1.5 山梨北杜市大泉町＊=1.5 市川三郷町六郷支所＊=1.5 甲州市塩山上於曽＊=1.5 甲州市役所＊=1.5 甲州市勝沼町勝沼＊=1.5 鳴沢村役場＊=1.5 身延町役場＊=1.5 南アルプス市鮎沢＊=1.5 笛吹市八代町南＊=1.5 1 甲府市古閑町＊=1.4 富士川町天神中条＊=1.4 大月市大月=1.4 山梨市牧丘町窪平＊=1.3 山梨北杜市健康ランド須玉＊=1.3 甲州市塩山下於曽=1.3 大月市役所＊=1.3 富士河口湖町勝山＊=1.3				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		静岡県				山梨南部町富士＊=1.2 甲斐市島上条＊=1.2 笛吹市一宮町末木＊=1.2 山梨北杜市小淵沢町＊=1.2 富士河口湖町本栖＊=1.2 富士河口湖町役場＊=1.2 小菅村小菅小学校＊=1.1 早川町葉袋＊=1.1 身延町大磯小磯=1.1 山梨南部町栄小学校＊=1.1 山梨北杜市役所＊=1.1 上野原市秋山＊=1.1 甲州市大和町初鹿野＊=1.0 丹波山村丹波＊=0.9 山梨市小原西＊=0.9 笛吹市御坂町夏目原＊=0.9 伊豆市中伊豆グラウンド=3.1 東伊豆町奈良本＊=2.9 伊豆の国市長岡＊=2.6 河津町田中＊=2.5 富士宮市野中＊=2.5
		宮城県				2 函南町平井＊=2.4 富士宮市弓沢町=2.4 富士市吉永＊=2.3 熱海市網代=2.2 西伊豆町宇久須＊=2.2 伊豆の国市四日町＊=2.2 三島市東本町=2.1 伊東市大原=2.0 東伊豆町稲取＊=2.0 御殿場市萩原=2.0 長泉町中土狩＊=1.9 西伊豆町仁科＊=1.8 伊豆の国市田京＊=1.8 沼津市高島本町＊=1.8 藤枝市岡部町岡部＊=1.8 沼津市戸田＊=1.7 三島市大社町＊=1.7 富士市永田町＊=1.7 富士市大淵＊=1.7 静岡清水町堂庭＊=1.7 静岡清水区蒲原新栄＊=1.7 熱海市泉＊=1.6 松崎町江奈＊=1.6 伊豆市八幡＊=1.6 御殿場市茱萸沢＊=1.6 牧之原市静波＊=1.6 熱海市中央町＊=1.5 南伊豆町下賀茂＊=1.5 富士市本市場＊=1.5 富士市岩渕＊=1.5 裾野市佐野＊=1.5 静岡清水区由比北田＊=1.5
		福島県				1 下田市中＊=1.4 富士宮市長貫＊=1.4 小山市藤曲＊=1.4 静岡葵区駒形通＊=1.4 静岡菊川市赤土＊=1.4 沼津市御幸町＊=1.3 富士市富士総合運動公園=1.3 静岡清水区千歳町=1.3 静岡駿河区曲金=1.2 下田市加増野=1.1 裾野市石脇＊=1.1 袋井市浅名＊=1.1 伊豆市湯ヶ島＊=1.0 伊豆市小立野＊=1.0 藤枝市岡出山＊=1.0 静岡葵区追手町県庁＊=1.0 静岡葵区追手町市役所＊=1.0 袋井市新屋=1.0 焼津市宗高＊=0.9 南伊豆町石廊崎=0.8 南伊豆町入間＊=0.8 吉田町住吉＊=0.8 牧之原市鬼女新田=0.8 磐田市福田＊=0.8 西伊豆町一色＊=0.7 川根本町東藤川＊=0.7 静岡葵区梅ヶ島＊=0.6 掛川市長谷＊=0.6 御前崎市池新田＊=0.6 島田市中央町=0.5 浜松天竜区佐久間町＊=0.5
		群馬県				2 丸森町鳥屋＊=1.6
		群馬県				1 角田市角田＊=1.4 大河原町新南＊=1.3 岩沼市桜＊=1.2 石巻市大街道南＊=1.0 蔵王町円田＊=0.9 登米市迫町＊=0.9 山元町浅生原＊=0.9 宮城美里町木間塚＊=0.9 松島町高城=0.8 登米市登米町＊=0.8 宮城川崎町前川＊=0.8 大崎市古川三日町=0.8 大崎市田尻＊=0.8 石巻市桃生町＊=0.8 名取市増田＊=0.7 大崎市松山＊=0.7 亙理町下小路＊=0.7 登米市中田町=0.6
		群馬県				2 猪苗代町千代田＊=1.7 玉川村小高＊=1.7 郡山市湖南町＊=1.6 いわき市小名浜=1.6 国見町藤田＊=1.5 会津坂下町市中三番甲＊=1.5 双葉町両竹＊=1.5
		群馬県				1 白河市東＊=1.4 須賀川市八幡山＊=1.4 鏡石町不時沼＊=1.4 矢吹町一本木＊=1.4 いわき市錦町＊=1.4 いわき市平梅本＊=1.4 古殿町松川新桑原＊=1.3 須賀川市八幡町＊=1.3 泉崎村泉崎＊=1.3 白河市郭内=1.3 郡山市朝日=1.2 須賀川市岩瀬支所＊=1.2 浅川町浅川＊=1.2 白河市新白河＊=1.2 田村市大越町＊=1.2 田村市滝根町＊=1.2 浪江町幾世橋=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.0 天栄村下松本＊=1.0 相馬市中村＊=1.0 福島市松木町=1.0 猪苗代町城南=1.0 檜葉町北田＊=0.9 新地町谷地小屋＊=0.9 南会津町田島=0.9 矢祭町東館＊=0.9 矢祭町戸塚＊=0.8 福島市桜木町＊=0.8 二本松市針道＊=0.8 大玉村南小屋=0.8 田村市都路町＊=0.8 川内村上川内早渡＊=0.7 大熊町野上＊=0.7 いわき市三和町=0.7 いわき市平四ツ波＊=0.7 南相馬市原町区高見町＊=0.7 田村市常葉町＊=0.7 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.7 二本松市油井＊=0.6 田村市船引町=0.6 川俣町五百田＊=0.6 南相馬市原町区三島町=0.5 小野町中通＊=0.5 小野町小野新町＊=0.5 飯館村伊丹沢＊=0.5
		群馬県				2 渋川市赤城町＊=2.2 群馬明和町新里＊=2.2 邑楽町中野＊=2.1 千代田町赤岩＊=2.0 太田市西本町＊=1.9 大泉町日の出＊=1.8 沼田市白沢町＊=1.8 太田市粕川町＊=1.8 館林市城町＊=1.8 前橋市堀越町＊=1.7 前橋市粕川町＊=1.7 前橋市鼻毛石町＊=1.7 桐生市元宿町＊=1.7 伊勢崎市境＊=1.7 館林市美園町＊=1.7 沼田市西倉内町=1.7 安中市安中＊=1.7 板倉町板倉=1.7 太田市浜町＊=1.6 太田市新田金井町＊=1.6 渋川市吹屋＊=1.5 前橋市富士見町＊=1.5 高崎市新町＊=1.5 伊勢崎市西久保町＊=1.5
		群馬県				1 桐生市黒保根町＊=1.4 桐生市新里町＊=1.4 伊勢崎市今泉町＊=1.4 富岡市妙義町＊=1.4 安中市松井田町＊=1.4 玉村町下新田＊=1.4 みどり市大間々町＊=1.4 沼田市下久屋町＊=1.3 片品村東小川=1.3 高崎市高松町＊=1.3 桐生市織姫町=1.3 伊勢崎市東町＊=1.3 太田市大原町＊=1.3 渋川市伊香保町＊=1.3 みどり市笠懸町＊=1.3 吉岡町下野田＊=1.2 甘楽町小幡＊=1.2 前橋市駒形町＊=1.2 前橋市大手町＊=1.2 高崎市吉井町吉井川＊=1.2 渋川市北橋町＊=1.2 富岡市七日市=1.1 渋川市有馬＊=1.1 高崎市足門町＊=1.1 みどり市東町＊=1.0 沼田市利根町＊=1.0 群馬昭和村糸井＊=1.0 高崎市箕郷町＊=1.0 榛東村新井＊=1.0 前橋市昭和町=0.9 高崎山下室田＊=0.9 群馬高山村中山＊=0.9 渋川市石原＊=0.9 みなかみ町後閑＊=0.8 東吾妻町奥田＊=0.8 渋川市村上＊=0.8 藤岡市鬼石＊=0.7 東吾妻町原町=0.7 神流町神ヶ原＊=0.7 神流町生利＊=0.6 川場村谷地＊=0.6 群馬上野村川和＊=0.6 高崎市倉沢町＊=0.6 中之条町中之条町＊=0.6 東吾妻町本宿＊=0.5 片品村鎌田＊=0.5
		新潟県				2 南魚沼市六日町=1.9 刈羽村割町新田＊=1.6
		長野県				1 長岡市小島谷＊=1.4 見附市昭和町＊=1.3 南魚沼市塩沢庁舎＊=1.2 燕市分水桜町＊=1.1 三条市新堀＊=1.1 加茂市幸町＊=1.1 阿賀野市姥ヶ橋＊=1.0 上越市頸城区百間町＊=1.0 長岡市中之島＊=1.0 南魚沼市塩沢小学校＊=1.0 燕市秋葉町＊=1.0 長岡市山古志竹沢＊=0.9 田上町原ヶ崎新田＊=0.9 十日町市松之山＊=0.8 新潟西蒲区役所=0.8 小千谷市城内=0.6
		長野県				2 長野南牧村海ノ口＊=2.4 茅野市葛井公園＊=2.2 佐久市中込＊=2.1 諏訪市湖岸通り=1.9 諏訪市高島＊=1.8 軽井沢町追分=1.7 御代田町役場＊=1.7 立科町芦田＊=1.6 佐久穂町畑＊=1.6
		長野県				1 上田市上田古戦場公園=1.4 上田市役所＊=1.4 軽井沢町長倉＊=1.4 泰阜村役場＊=1.4 佐久市白田＊=1.3 小諸市小諸消防署＊=1.2 小諸市文化センター＊=1.2 長野川上村大深山＊=1.2 原村役場＊=1.2 泰阜村梨久保=1.2 木曽町開田高原西野＊=1.2 坂城町坂城＊=1.1 塩尻市櫛川保育園＊=1.1 佐久市下小田切=1.1 佐久市甲＊=1.1 小海町豊里＊=1.1 木曽町日義＊=1.1 塩尻市木曽平沢＊=1.0 富士見町落合＊=1.0 佐久穂町高野町＊=1.0 飯田市高羽町=1.0 飯田市大久保町＊=1.0 飯島町飯島=1.0 王滝村役場＊=1.0 木曽町三岳＊=1.0 東御市大日向＊=0.9 飯田市南信濃＊=0.9 箕輪町中箕輪＊=0.9 南箕輪村役場＊=0.9 長野高森町下市田＊=0.9 下諏訪町役場＊=0.9 佐久市望月＊=0.8 長野市大岡＊=0.8 辰野町中央=0.8 松本市丸の内＊=0.8 阿南町東条＊=0.8 松本市寿＊=0.7 安曇野市豊科＊=0.7 筑北村坂井=0.7 上田市上武石＊=0.7 飯田市上郷黒田＊=0.7 伊那市高遠町荊口=0.7 中川村大草＊=0.7 天龍村平岡＊=0.7 木祖村藪原＊=0.7

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		北相木村役場※=0.7 松本市奈川※=0.7 岡谷市幸町※=0.6 麻績村麻※=0.6 東御市県※=0.6 南木曾町読書小学校※=0.6 山形県 1 中山町長崎※=1.4 岐阜県 1 恵那市長島町※=0.8 中津川市かやの木町=0.7 中津川市付知町※=0.5				
39	7 20 45	千葉県東方沖 千葉県 1 勝浦市墨名=0.5	35° 04.5' N	140° 37.1' E	58km	M: 3.2
40	7 22 17	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町長南※=1.1 一宮町一宮=0.7 大網白里市大網※=0.7 千葉中央区都町※=0.7 勝浦市墨名=0.7 勝浦市新官※=0.6 東金市日吉台※=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町※=0.5	35° 10.9' N	140° 33.3' E	58km	M: 3.6
41	7 23 22	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町長南※=1.1 勝浦市墨名=0.7 勝浦市新官※=0.6	35° 09.0' N	140° 34.4' E	57km	M: 3.2
42	7 23 49	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町長南※=1.1 勝浦市墨名=0.7 勝浦市新官※=0.7 館山市長須賀=0.5	35° 09.7' N	140° 35.2' E	55km	M: 3.3
43	8 10 51	千葉県南東沖 千葉県 1 長南町長南※=1.1	35° 03.7' N	140° 37.2' E	58km	M: 3.4
44	8 15 45	大阪府北部 京都府 2 大山崎町円明寺※=2.2 京都西京区大枝※=2.1 京都伏見区向島※=2.0 八幡市八幡※=2.0 京都伏見区醍醐※=1.9 久御山町田井※=1.8 向日市寺戸町※=1.8 長岡京市開田※=1.6 京都中京区河原町御池※=1.6 京都西京区樫原※=1.6 亀岡市余部町※=1.5 京都伏見区久我※=1.5 京田辺市田辺※=1.5 井手町井手※=1.5 1 京都伏見区淀※=1.4 精華町南稲八妻※=1.4 南丹市園部町小椋町※=1.4 亀岡市安町=1.3 京都伏見区竹田※=1.3 宇治市宇治琵琶=1.3 京都下京区河原町塩小路※=1.2 京丹波町蒲生※=1.2 京都山科区安朱川向町※=1.1 京都南区西九条※=1.1 南丹市八木町八木※=1.1 木津川市山城町上狛※=1.0 京都中京区西ノ京=1.0 城陽市寺田※=1.0 京都右京区太秦※=1.0 宇治市折居台※=0.9 京都左京区田中※=0.9 京都右京区嵯峨※=0.9 京都左京区大原※=0.8 木津川市加茂町里※=0.8 京都東山区清水※=0.8 木津川市木津※=0.7 京都山科区西野※=0.7 宇治田原町荒木※=0.6 南丹市日吉町保野田※=0.5 京丹波町橋爪※=0.5 京都上京区藪ノ内町※=0.5 大阪府 2 大阪北区茶屋町※=2.4 枚方市大垣内※=2.4 大阪東淀川区北江口※=2.3 交野市私部※=2.3 箕面市箕面=2.2 大阪都島区都島本通※=2.1 茨木市東中条町※=2.0 寝屋川市役所※=2.0 吹田市内本町※=2.0 島本町若山台※=2.0 箕面市栗生外院※=1.9 高槻市桃園町=1.9 高槻市立第2中学校※=1.9 大阪旭区大宮※=1.7 摂津市三島※=1.7 高槻市消防本部※=1.7 豊中市曾根南町※=1.7 豊能町余野※=1.7 四條畷市中野※=1.6 大阪此花区春日出北※=1.6 豊中市役所※=1.6 大阪東淀川区柴島※=1.6 1 大阪福島区福島※=1.4 大阪西淀川区千舟※=1.4 大阪淀川区木川東※=1.4 能勢町今西※=1.4 大阪国際空港=1.3 池田市城南※=1.3 守口市京阪本通※=1.3 大阪中央区大手前=1.3 能勢町役場※=1.2 大阪生野区舍利寺※=1.2 大阪城東区放出西※=1.2 大阪西成区岸里※=1.2 大阪港区築港※=1.1 八尾市本町※=1.1 大東市新町※=1.1 大阪東成区東中本※=1.1 大阪平野区平野南※=1.0 門真市中町※=1.0 大阪大正区泉尾※=1.0 大阪住之江区御崎※=0.9 大阪鶴見区横堤※=0.8 大阪東住吉区杭全※=0.8 泉大津市東雲町※=0.7 東大阪市荒本北※=0.7 大阪西区九条南※=0.7 大阪阿倍野区松崎町※=0.6 大阪浪速区元町※=0.6 松原市阿保※=0.5 大阪天王寺区上本町※=0.5 兵庫県 2 西宮市宮前町=1.5 1 尼崎市昭和通※=1.4 西宮市平木※=1.3 三田市下里※=1.2 宝塚市東洋町※=1.1 淡路市久留麻※=1.0 神戸東灘区住吉東町※=1.0 川西市中央町※=1.0 伊丹市千僧※=0.9 篠山市北新町=0.9 明石市中崎=0.9 篠山市杉※=0.8 芦屋市精道町※=0.8 明石市相生※=0.8 神戸長田区神楽町※=0.7 朝来市生野町※=0.6 西宮市名塩※=0.6 篠山市宮田※=0.5 神戸北区藤原台南町※=0.5 神戸中央区脇浜=0.5 朝来市和田山町枚田=0.5 奈良県 2 桜井市初瀬=1.7 高取町観覧寺※=1.6 大和郡山市北郡山町※=1.5 広陵町南郷※=1.5 1 天理市川原城町※=1.4 宇陀市大宇陀迫間※=1.4 生駒市東新町※=1.3 斑鳩町法隆寺西※=1.3 奈良市二条大路南※=1.2 橿原市八木町※=1.1 御所市役所※=1.1 奈良川西町結崎※=1.1 桜井市栗殿※=0.9 平群町吉新※=0.9 三郷町勢野西※=0.9 安堵町東安堵※=0.9 田原本町役場※=0.9 上牧町上牧※=0.9 王寺町王寺※=0.9 河合町池部※=0.8 香芝市本町※=0.8 大和高田市大中※=0.5 大淀町桧垣本=0.5 宇陀市室生大野※=0.5 山添村大西※=0.5 滋賀県 1 大津市南郷※=1.4 大津市国分※=1.2 野洲市西河原※=0.7 草津市草津※=0.7 湖南市石部中央西庁舎※=0.6 近江八幡市出町※=0.6 大津市御陵町=0.6 栗東市安養寺※=0.6 近江八幡市桜宮町=0.6 湖南市中央森北公園※=0.6 岡山県 1 美作市太田※=0.6				
45	8 18 38	十勝地方中部 北海道 1 本別町向陽町※=0.7 豊頃町茂岩本町※=0.6 十勝大樹町生花※=0.5	42° 52.3' N	143° 21.7' E	117km	M: 3.5
46	8 19 36	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.5	36° 42.8' N	140° 36.6' E	7km	M: 2.7
47	9 00 23	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町※=0.7	32° 37.8' N	130° 41.0' E	7km	M: 2.1

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
48	9 01 00	千葉県東方沖 千葉県	35° 12.1' N	140° 32.1' E	57km	M: 3.7
		2 長南町長南*=1.5 1 勝浦市墨名=1.3 勝浦市新官*=1.2 大網白里市大網*=1.0 茂原市道表*=1.0 横芝光町栗山*=1.0 山武市松尾町富士見台=0.9 睦沢町下之郷*=0.9 市原市姉崎*=0.8 鴨川市横渚*=0.8 東金市日吉台*=0.7 山武市蓮沼*=0.7 館山市長須賀=0.7 千葉中央区都町*=0.6 一宮町一宮=0.6 鴨川市八色=0.6 千葉中央区中央港=0.6 東金市東新宿=0.5 千葉緑区おゆみ野*=0.5				
49	9 02 40	佐賀県南部 福岡県	33° 25.9' N	130° 22.7' E	14km	M: 3.5
		2 福岡早良区板屋=2.0 1 久留米市小森野町*=1.4 福岡中央区大濠=1.3 福岡城南区神松寺*=1.3 福岡空港=1.3 久留米市津福本町=1.2 福岡那珂川町西隈*=1.2 久留米市北野町*=1.2 糸島市志摩初=1.1 福岡早良区百道浜*=1.1 久留米市三潆町*=1.0 福岡南区塩原*=1.0 糸島市二丈深江*=0.9 福岡西区今宿*=0.9 大牟田市昭和町*=0.8 春日市原町*=0.7 糸島市前原東*=0.7 八女市吉田*=0.7 福岡広川町新代*=0.7 小都市小郡*=0.6 新宮町緑ヶ浜*=0.6 みやま市山川町*=0.6 糸島市前原西*=0.5 佐賀県 2 神埼市脊振*=1.9 佐賀市三瀬*=1.8 佐賀市富士町*=1.6 1 佐賀市駅前中央=1.0 佐賀市栄町*=0.9 佐賀市大和*=0.8 鳥栖市宿町*=0.8 みやき町中原*=0.7 吉野ヶ里町三田川*=0.7				
50	9 03 02	秋田県内陸南部 秋田県	39° 29.5' N	140° 25.2' E	10km	M: 0.6
		1 大仙市神宮寺*=0.8				
51	9 03 53	佐賀県南部 福岡県	33° 25.9' N	130° 22.7' E	14km	M: 4.2
		3 久留米市北野町*=3.0 福岡早良区板屋=2.9 久留米市小森野町*=2.9 久留米市津福本町=2.8 福岡中央区大濠=2.5 2 福岡早良区百道浜*=2.4 糸島市志摩初=2.4 小都市小郡*=2.4 福岡西区今宿*=2.3 福岡空港=2.3 大刀洗町富多*=2.2 筑前町下高場=2.2 糸島市前原東*=2.2 福岡城南区神松寺*=2.1 福岡那珂川町西隈*=2.1 糸島市二丈深江*=2.1 直方市新町*=2.1 久留米市三潆町*=2.1 八女市吉田*=2.1 飯塚市長尾*=2.0 糸島市前原西*=1.9 みやま市山川町*=1.9 新宮町緑ヶ浜*=1.9 八女市黒木町今*=1.9 飯塚市立岩*=1.9 福岡南区塩原*=1.9 福岡広川町新代*=1.9 久留米市城島町*=1.8 筑後市山ノ井*=1.7 福岡古賀市駅東*=1.7 宗像市東郷*=1.7 福岡中央区天神*=1.7 大野城市曙町*=1.7 筑前町新町*=1.7 志免町志免*=1.6 飯塚市川島=1.6 春日市原町*=1.6 筑紫野市二日市西*=1.6 小竹町勝野*=1.6 宮若市宮田*=1.6 嘉麻市上臼井*=1.6 久山町久原*=1.6 筑前町篠隈*=1.6 北九州八幡東区大谷*=1.6 みやま市高田町*=1.6 大牟田市有明町*=1.5 大木町八町牟田*=1.5 久留米市城南町*=1.5 みやこ町勝山上田*=1.5 飯塚市忠隈*=1.5 粕屋町仲原*=1.5 朝倉市杷木池田*=1.5 須恵町須恵*=1.5 八女市立花町*=1.5 福智町金田*=1.5 大川市酒見*=1.5 福岡中央区舞鶴*=1.5 1 福岡博多区博多駅前*=1.4 宗像市江口神原*=1.4 宗像市神湊*=1.4 太宰府市観音寺*=1.4 福津市津屋崎*=1.4 北九州八幡西区相生町*=1.4 桂川町土居*=1.4 糸田町役場*=1.4 大牟田市笹林=1.4 大牟田市昭和町*=1.4 久留米市田主丸町*=1.4 八女市本町*=1.4 朝倉市堤*=1.4 朝倉市菩提寺*=1.4 朝倉市宮野*=1.4 みやま市瀬高町*=1.4 柳川市本町*=1.3 八女市矢部村*=1.3 遠賀町今古賀*=1.3 うきは市吉井町*=1.3 福岡東区千早*=1.3 行橋市今井*=1.2 八女市黒木町北木屋=1.2 宮若市福丸*=1.2 八女市上陽町*=1.2 鞍手町中山*=1.2 うきは市浮羽町*=1.2 東峰村小石原*=1.2 福津市中央*=1.2 宇美町宇美*=1.1 北九州小倉北区大手町*=1.1 北九州八幡東区桃園=1.1 篠栗町篠栗*=1.1 嘉麻市岩崎*=1.0 福津市手光=1.0 柳川市大和町*=1.0 柳川市三橋町*=1.0 北九州若松区桜町*=1.0 大任町大行事*=1.0 行橋市中央*=1.0 嘉麻市上山田*=1.0 荻田町京町*=0.9 嘉麻市大隈町*=0.9 八女市星野村*=0.9 福智町弁城*=0.9 飯塚市綱分*=0.8 北九州小倉南区横代東町*=0.8 中間市長津*=0.8 福智町赤池*=0.8 赤村内田*=0.7 岡垣町野間*=0.7 東峰村宝珠山*=0.6 みやこ町豊津*=0.6 福岡川崎町田原*=0.6 佐賀県 3 神埼市脊振*=3.2 佐賀市三瀬*=2.9 佐賀市大和*=2.8 佐賀市富士町*=2.7 佐賀市駅前中央=2.7 佐賀市久保田*=2.6 佐賀市栄町*=2.6 鳥栖市宿町*=2.5 2 神埼市神埼*=2.3 佐賀市東与賀*=2.2 吉野ヶ里町東脊振*=2.2 みやき町北茂安*=2.1 小城市芦刈*=2.1 江北町山口*=2.0 みやき町中原*=2.0 みやき町三根*=2.0 佐賀市川副*=2.0 基山町宮浦*=2.0 上峰町坊所*=2.0 小城市三日月*=1.9 吉野ヶ里町三田川*=1.9 白石町有明*=1.9 神埼市千代田*=1.8 白石町福富*=1.8 白石町福田*=1.7 嬉野市塩田*=1.7 小城市小城*=1.7 唐津市七山*=1.6 多久市北多久町*=1.6 大町町大町*=1.6 唐津市西城内=1.5 唐津市竹木場*=1.5 1 唐津市相知*=1.4 唐津市厳木町*=1.3 唐津市浜玉*=1.2 唐津市北波多*=1.2 唐津市肥前*=1.2 伊万里市立花町*=1.2 佐賀市諸富*=1.2 武雄市武雄町武雄*=1.2 佐賀鹿島市納富分*=1.1 嬉野市下宿乙*=1.0 武雄市山内*=0.9 有田町本町*=0.8 有田町立部*=0.8 太良町多良=0.8 唐津市呼子*=0.7 玄海町諸浦*=0.7 長崎県 2 諫早市多良見町*=1.8 1 松浦市志佐町*=1.3 佐世保市鹿町町*=1.2 壱岐市芦辺町芦辺*=1.0 川棚町中組*=0.9 平戸市岩の上町=0.8 大村市玖島*=0.8 雲仙市国見町=0.8 長崎対馬市厳原町国分*=0.8 壱岐市郷ノ浦町*=0.8 壱岐市石田町*=0.8 松浦市福島町*=0.7 平戸市鏡川町*=0.6 雲仙市小浜町雲仙=0.5 平戸市志々伎町*=0.5 熊本県 2 山鹿市鹿本町*=2.0 和水町江田*=2.0 山鹿市菊鹿町*=1.7 和水町板橋*=1.7 熊本北区植木町*=1.7 菊池市旭志*=1.6 玉東町木葉*=1.6 南関町関町*=1.6 玉名市中尾*=1.5 1 大津町引水*=1.4 山鹿市老人福祉センター*=1.3 山鹿市鹿史町*=1.3 玉名市岱明町*=1.2 山鹿市鹿北町*=1.2 山鹿市山鹿*=1.2 菊池市隈府*=1.2 上天草市大矢野町=1.2 阿蘇市内牧*=1.1 西原村小森*=1.1 熊本美里町永富*=1.1 荒尾市宮内出目*=1.1 玉名市横島町*=1.0 産山村山鹿*=0.9 菊池市七城町*=0.8 阿蘇市一の宮町*=0.8 益城町惣領=0.7 宇城市松橋町=0.7 山都町浜町*=0.7 熊本西区春日=0.6				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模	
		山口県 大分県	1 防府市西浦※=1.2 下関市豊浦町川棚=1.1 下関市竹崎=1.0 下関市清末陣屋※=1.0 山口市阿知須※=0.7 下関市豊浦町浄水場※=0.6 山口市秋穂東※=0.5 宇部市船木※=0.5 1 日田市前津江町※=1.1 竹田市荻町※=0.9 日田市大山町※=0.6				
52	9 10 03	紀伊水道 和歌山県	34° 13.3' N	135° 08.4' E	8km	M: 2.1 1 和歌山市一番丁※=0.5	
53	9 22 54	千葉県東方沖 千葉県	35° 12.1' N	140° 32.4' E	58km	M: 3.6 2 長南町長南※=1.6 1 勝浦市新宮※=1.1 いすみ市国府台※=1.1 山武市松尾町五反田※=1.0 勝浦市墨名=1.0 館山市長須賀=0.9 山武市松尾町富士見台=0.9 大網白里市大網※=0.8 鴨川市横渚※=0.7 鴨川市八色=0.7 市原市姉崎※=0.6 君津市久留里市場※=0.6 東金市日吉台※=0.5 東金市東新宿=0.5 千葉若葉区小倉台※=0.5 山武市蓮沼ニ※=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町※=0.7	
54	10 04 14	薩摩半島西方沖 長崎県 鹿児島県	31° 48.1' N	128° 53.6' E	28km	M: 3.9 1 五島市岐宿町※=0.7 1 鹿児島市喜入町※=0.7 薩摩川内市下甕町手打※=0.6	
55	10 04 27	岩手県沖 宮城県	39° 15.8' N	142° 35.3' E	29km	M: 3.9 1 南三陸町志津川=0.5	
56	10 05 24	岩手県沿岸南部 岩手県	39° 02.3' N	141° 45.0' E	8km	M: 2.8 1 大船渡市大船渡町=1.0	
57	10 13 55	青森県東方沖 青森県	41° 32.9' N	142° 04.4' E	68km	M: 4.9 3 階上町道仏※=3.0 東通村砂子又沢内※=3.0 東通村砂子又蒲谷地=2.6 2 八戸市南郷※=2.2 むつ市金曲=2.2 野辺地町田狭沢※=2.0 野辺地町野辺地※=1.9 八戸市湊町=1.7 むつ市金谷※=1.7 むつ市大畑町中島※=1.7 六ヶ所村尾駈=1.6 青森南部町苦米地※=1.6 青森南部町平※=1.6 八戸市内丸※=1.6 七戸町森ノ上※=1.6 五戸町古館=1.5 おいらせ町中下田※=1.5 東北町上北南※=1.5 三沢市桜町※=1.5 1 平内町小湊=1.4 外ヶ浜町蟹田※=1.4 六戸町犬落瀬※=1.4 五戸町倉石中市※=1.4 東通村白糠※=1.4 横浜町林ノ脇※=1.3 大間町大間※=1.3 六ヶ所村出戸=1.2 おいらせ町上明堂※=1.2 むつ市川内町※=1.2 東通村尻屋※=1.2 七戸町七戸※=1.1 東北町塔ノ沢山※=1.1 横浜町寺下※=1.0 十和田市西十二番町※=1.0 三戸町在府小路町※=0.9 平内町東田沢※=0.9 十和田市西二番町※=0.9 藤崎町水木※=0.8 佐井村佐井※=0.8 青森南部町沖田面※=0.8 青森市中央※=0.7 田舎館村田舎館※=0.7 青森市浪岡※=0.7 十和田市奥瀬※=0.7 青森市花園=0.6 中泊町中里※=0.6 むつ市大畑町奥薬研=0.6 北海道 2 函館市泊町※=1.9 千歳市若草※=1.6 函館市新浜町※=1.5 厚真町鹿沼=1.5 浦河町潮見=1.5 1 えりも町えりも岬※=1.4 安平町早来北進※=1.3 様似町栄町※=1.3 新ひだか町三石旭町※=1.2 浦河町築地※=1.2 新千歳空港=1.2 新ひだか町静内山手町=1.2 千歳市北栄=1.1 平取町振内※=1.1 新冠町北星町※=1.1 恵庭市京町※=1.1 苫小牧市旭町※=1.1 登別市鉾山=1.1 むかわ町穂別※=1.0 日高地方日高町門別※=1.0 登別市桜木町※=1.0 函館市日ノ浜町※=1.0 室蘭市寿町※=0.9 新ひだか町静内御幸町※=0.9 幕別町忠類錦町※=0.9 安平町追分柏が丘※=0.9 千歳市支笏湖温泉※=0.9 浦河町野深=0.8 胆振伊達市大滝区本町※=0.8 壮瞥町滝之町※=0.8 木古内町木古内※=0.8 苫小牧市末広町=0.8 十勝大樹町東本通※=0.8 胆振伊達市梅本=0.7 広尾町並木通=0.7 網走市台町=0.7 標津町北2条※=0.6 函館市川汲町※=0.6 鹿部町宮浜※=0.6 江別市緑町※=0.5 函館市美原=0.5 十勝大樹町生花※=0.5 七飯町本町※=0.5 広尾町白樺通=0.5 岩手県 2 久慈市枝成沢=1.5 盛岡市薮川※=1.5 1 軽米町軽米※=1.3 岩手洋野町種市=0.9 八幡平市田頭※=0.9 宮古市区界※=0.8 宮古市田老※=0.8 岩手洋野町大野※=0.8 久慈市川崎町=0.7 九戸村伊保内※=0.7 久慈市長内町※=0.5 盛岡市山王町=0.5 二戸市福岡=0.5 宮古市五月町※=0.5 宮古市川井※=0.5 遠野市青笹町※=0.5	
58	10 14 23	茨城県沖 福島県 茨城県	36° 13.1' N	141° 34.2' E	60km	M: 4.8 1 郡山市湖南町※=0.8 白河市新白河※=0.7 天栄村下松本※=0.6 1 東海村東海※=1.2 日立市助川小学校※=1.1 水戸市内原町※=1.1 大子町池田※=0.9 笠間市石井※=0.8 鉾田市汲上※=0.8 ひたちなか市南神敷台※=0.8 土浦市常名=0.7 水戸市金町=0.7 水戸市千波町※=0.5 石岡市柿岡=0.5 栃木県 1 益子町益子=1.1	
59	10 14 46	茨城県沖 茨城県	36° 15.0' N	141° 43.7' E	35km	M: 4.2 1 東海村東海※=1.0 水戸市内原町※=0.9 ひたちなか市南神敷台※=0.6 笠間市石井※=0.5 土浦市常名=0.5	
60	10 21 41	北海道西方沖 北海道	44° 17.5' N	141° 35.0' E	9km	M: 1.6 1 苫前町旭※=0.8	
61	11 12 49	千葉県北西部 千葉県	35° 35.0' N	140° 07.6' E	69km	M: 3.2 1 千葉中央区都町※=0.9 千葉花見川区花島町※=0.8 千葉中央区中央港=0.6 千葉緑区おゆみ野※=0.5	
62	11 13 28	宮古島近海 沖縄県	24° 44.4' N	125° 24.6' E	46km	M: 3.3 1 宮古島市下地※=0.7	

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
63	11 19 09	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡※=0.9	32° 19.1' N	130° 27.6' E	10km	M: 2.4
64	12 01 22	長野県北部 長野県 1 須坂市須坂※=0.6	36° 37.1' N	138° 22.0' E	2km	M: 2.5
65	12 12 07	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=1.0	32° 48.0' N	130° 42.4' E	7km	M: 2.1
66	12 13 46	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏※=1.2 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸※=0.5 1 盛岡市薮川※=0.7 盛岡市洪民※=0.7 宮古市田老※=0.6 宮古市鵜ヶ崎=0.6 宮古市五月町※=0.6	40° 07.2' N	142° 28.4' E	36km	M: 4.1
67	12 17 39	宮城県沖 宮城県 3 石巻市桃生町※=2.8 南三陸町志津川=2.5 2 涌谷町新町裏=2.4 登米市豊里町※=2.3 登米市米山町※=2.2 宮城川崎町前川※=2.2 東松島市矢本※=2.2 女川町女川浜※=2.2 石巻市北上町※=2.1 名取市増田※=2.0 岩沼市桜※=2.0 石巻市大街道南※=2.0 石巻市前谷地※=2.0 大崎市古川三日町=2.0 松島町高城=2.0 大崎市田尻※=2.0 東松島市小野※=1.9 石巻市鮎川浜※=1.9 大崎市古川大崎=1.9 蔵王町円田※=1.9 塩竈市旭町※=1.8 登米市迫町※=1.8 宮城美里町木間塚※=1.8 登米市中田町=1.8 大崎市古川北町※=1.8 気仙沼市赤岩=1.8 登米市東和町※=1.7 栗原市瀬峰※=1.7 山元町浅生原※=1.7 仙台青葉区作並※=1.7 石巻市泉町=1.7 気仙沼市笹が陣※=1.7 大崎市松山※=1.7 南三陸町歌津※=1.7 宮城美里町北浦※=1.7 大崎市鹿島台※=1.6 仙台若林区遠見塚※=1.6 大郷町粕川※=1.6 大衡村大衡※=1.6 気仙沼市唐桑町※=1.6 栗原市栗駒=1.6 亘理町下小路※=1.6 栗原市高清水※=1.6 栗原市若柳※=1.5 仙台宮城野区五輪=1.5 登米市登米町※=1.5 仙台区将監※=1.5 大河原町新南※=1.5 七ヶ浜町東宮浜※=1.5 登米市津山町※=1.5 石巻市相野谷※=1.5 1 気仙沼市本吉町西川内=1.4 宮城加美町中新田※=1.4 栗原市築館※=1.4 栗原市志波姫※=1.4 栗原市一迫※=1.4 大崎市鳴子※=1.4 仙台空港=1.4 角田市角田※=1.4 仙台青葉区大倉=1.4 利府町利府※=1.4 石巻市雄勝町※=1.3 色麻町四竈※=1.3 仙台宮城野区苦竹※=1.3 村田町村田※=1.2 柴田町船岡=1.2 栗原市金成※=1.2 気仙沼市本吉町津谷※=1.2 登米市石越町※=1.2 仙台太白区山田※=1.1 白石市亘理町※=1.1 栗原市花山※=1.0 仙台青葉区雨宮※=1.0 仙台青葉区落合※=1.0 石巻市大瓜=1.0 大和町吉岡※=1.0 栗原市鶯沢※=1.0 宮城加美町小野田※=0.9 富谷市富谷※=0.9 丸森町鳥屋※=0.9 大崎市岩出山※=0.9 七ヶ宿町関※=0.9 多賀城市中央※=0.9 大崎市三本木※=0.8 丸森町上滝=0.7 岩手県 2 一関市大東町=2.1 一関市室根町※=2.0 釜石市中妻町※=2.0 一関市藤沢町※=1.9 住田町世田米※=1.9 一関市千厩町※=1.8 奥州市衣川※=1.8 大船渡市大船渡町=1.7 盛岡市薮川※=1.6 矢巾町南矢幅※=1.6 北上市相去町※=1.6 釜石市只越町=1.5 一関市東山町※=1.5 1 一関市花泉町※=1.4 北上市柳原町=1.3 花巻市東和町※=1.3 平泉町平泉※=1.3 奥州市前沢※=1.3 盛岡市洪民※=1.2 大船渡市猪川町=1.2 奥州市胆沢※=1.2 陸前高田市高田町※=1.1 遠野市宮守町※=1.1 宮古市田老※=1.1 花巻市石鳥谷町※=1.1 奥州市江刺※=1.1 宮古市区界※=1.1 八幡平市田頭※=1.0 遠野市青笹町※=1.0 花巻市大迫町=1.0 一関市竹山町※=1.0 盛岡市山王町=1.0 金ヶ崎町西根※=1.0 花巻市材木町※=1.0 一関市川崎町※=0.9 奥州市水沢佐倉河※=0.8 山田町大沢※=0.8 宮古市川井※=0.7 大船渡市盛町※=0.7 宮古市五月町※=0.7 大槌町小鎚※=0.7 久慈市枝成沢=0.6 奥州市水沢大鐘町=0.6 盛岡市馬場町※=0.6 宮古市鵜ヶ崎=0.6 八幡平市大更=0.5 山田町八幡町=0.5 宮古市茂市※=0.5 福島県 2 相馬市中村※=2.0 新地町谷地小屋※=2.0 飯館村伊丹沢※=2.0 川俣町五百田※=1.8 南相馬市鹿島区西町※=1.8 福島伊達市霊山町※=1.7 二本松市油井※=1.6 国見町藤田※=1.6 玉川村小高※=1.6 田村市船引町=1.6 田村市大越町※=1.6 田村市滝根町※=1.5 本宮市本宮※=1.5 檜葉町北田※=1.5 双葉町両竹※=1.5 南相馬市原町区高見町※=1.5 1 郡山市朝日=1.4 郡山市開成※=1.4 天栄村下松本※=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 南相馬市鹿島区栢塚=1.4 郡山市湖南町※=1.3 須賀川市八幡山※=1.3 二本松市針道※=1.3 桑折町東大隅※=1.3 泉崎村泉崎※=1.3 田村市常葉町※=1.3 福島伊達市梁川町※=1.3 いわき市三和町=1.3 福島広野町下北迫大谷地原※=1.3 猪苗代町千代田※=1.3 白河市新白河※=1.2 須賀川市岩瀬支所※=1.2 須賀川市八幡町※=1.2 鏡石町不時沼※=1.2 平田村永田※=1.2 田村市都路町※=1.2 福島市松木町=1.2 福島伊達市月館町※=1.2 本宮市白岩※=1.2 福島市飯野町※=1.2 福島市五老内町※=1.2 富岡町本岡※=1.2 川内村上川内早渡※=1.2 浪江町幾世橋=1.2 福島市桜木町※=1.1 福島伊達市保原町※=1.1 大玉村南小屋=1.1 川内村下川内=1.1 葛尾村落合落合※=1.1 小野町中通※=1.1 小野町小野新町※=1.1 福島伊達市前川原※=1.0 白河市東※=1.0 福島広野町下北迫苗代替※=1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 浅川町浅川※=1.0 南相馬市原町区本町※=1.0 南相馬市小高区※=1.0 古殿町松川新桑原※=1.0 二本松市金色※=0.9 白河市郭内=0.9 大玉村玉井※=0.9 白河市大信※=0.9 石川町長久保※=0.9 川内村上川内小山平※=0.8 いわき市平四ツ波※=0.7 大熊町野上※=0.7 いわき市錦町※=0.6 三春町大町※=0.5 青森県 1 階上町道仏※=1.2 八戸市南郷※=1.0 青森南部町苦米地※=0.8 青森南部町平※=0.7 五戸町古館=0.5 八戸市内丸※=0.5 八戸市湊町=0.5 秋田県 1 由利本荘市前郷※=0.7 山形県 1 東根市中央※=0.8 河北町谷地=0.8 尾花沢市若葉町※=0.8 米沢市林泉寺※=0.8 中山町長崎※=0.7 河北町役場※=0.5 天童市老野森※=0.5 茨城県 1 笠間市石井※=0.9 大子町池田※=0.9 日立市助川小学校※=0.8 東海村東海※=0.7 常陸大宮市山方※=0.7 水戸市内原町※=0.6 土浦市常名=0.5 栃木県 1 那須烏山市中央=0.7 宇都宮市明保野町=0.6	38° 15.8' N 142° 09.4' E 39km M: 4.9			
68	13 04 52	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.6	37° 30.8' N	141° 19.2' E	53km	M: 3.1

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
69	13 07 18	京都府南部 京都府 大阪府	34° 58.8' N	135° 32.1' E	13km	M: 2.6
		1 亀岡市安町*=0.9 1 能勢町役場*=0.8 能勢町今西*=0.6				
70	13 17 19	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 47.9' N	128° 53.5' E	28km	M: 4.3
		2 南さつま市大浦町*=1.9 1 鹿児島市喜入町*=1.4 南さつま市金峰町尾下*=1.3 薩摩川内市上飯町*=1.1 薩摩川内市下飯町手打*=1.1 薩摩川内市鹿島町*=1.1 枕崎市高見町=0.9 鹿児島市東郡元=0.8 南九州市穎娃町牧之内*=0.7 薩摩川内市中郷=0.7 いちき串木野市緑町*=0.5 鹿児島市下福元=0.5				
		長崎県 1 五島市富江町富江*=1.2 五島市上大津町*=0.8				
71	14 02 48	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.2' N	135° 15.7' E	5km	M: 2.1
		1 紀美野町下佐々*=0.8				
72	14 07 34	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 14.1' N	130° 25.6' E	3km	M: 1.7
		1 水俣市陣内*=0.7				
73	14 18 13	宮城県沖 岩手県	38° 53.2' N	141° 58.3' E	49km	M: 4.0
		2 一関市千厩町*=1.8 大船渡市猪川町=1.7 一関市室根町*=1.5 1 一関市藤沢町*=1.4 大船渡市大船渡町=1.2 一関市東山町*=1.1 住田町世田米*=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 一関市大東町=0.8 一関市花泉町*=0.8 遠野市青笹町*=0.7 平泉町平泉*=0.6 一関市川崎町*=0.6 釜石市只越町=0.5				
		宮城県 2 気仙沼市笹が陣*=1.9 登米市東和町*=1.9 気仙沼市赤岩=1.6 1 気仙沼市唐桑町*=1.4 石巻市桃生町*=1.2 南三陸町志津川=1.1 大崎市田尻*=1.1 石巻市北上町*=1.1 石巻市泉町=1.0 南三陸町歌津*=0.9 登米市豊里町*=0.9 登米市津山町*=0.8 涌谷町新町裏=0.7 栗原市栗駒=0.7 登米市中田町=0.7 石巻市大街道南*=0.6 大崎市古川大崎=0.6 東松島市小野*=0.6 登米市石越町*=0.5 栗原市金成*=0.5 気仙沼市本吉町西川内=0.5				
74	14 19 09	釧路地方中南部 北海道	43° 13.4' N	144° 21.4' E	131km	M: 3.9
		1 十勝大樹町生花*=0.9 標茶町塘路*=0.7 鶴居村鶴居東*=0.6				
75	15 01 59	大阪府北部 京都府	34° 49.5' N	135° 35.2' E	11km	M: 3.4
		2 久御山町田井*=2.0 宇治市宇治琵琶=1.7 八幡市八幡*=1.6 京都伏見区向島*=1.5 1 大山崎町円明寺*=1.4 京都伏見区醍醐*=1.1 宇治市折居台*=1.1 京都中京区河原町御池*=1.1 宇治市原町荒木*=0.9 亀岡市余部町*=0.9 京都西京区大枝*=0.9 城陽市寺田*=0.8 長岡京市開田*=0.8 亀岡市安町=0.8 京都伏見区久我*=0.7 向日市寺戸町*=0.7 南丹市園部町小松町*=0.7 井手町井手*=0.6 京都西京区檜原*=0.5 精華町南稲八妻*=0.5 京都伏見区竹田*=0.5 京都左京区田中*=0.5 京都下京区河原町塩小路*=0.5 京都山科区安朱川向町*=0.5				
		滋賀県 1 大津市南郷*=0.8 大津市国分*=0.7				
		大阪府 1 寝屋川市役所*=1.3 交野市私部*=1.3 四條畷市中野*=1.2 島本町若山台*=1.1 吹田市内本町*=1.0 枚方市大垣内*=0.9 豊能町余野*=0.9 高槻市立第2中学校*=0.8 大阪都島区都島本通*=0.7 大阪東淀川区北江口*=0.7 大阪北区茶屋町*=0.6 豊中市曾根南町*=0.5 高槻市桃園町=0.5 箕面市箕面=0.5 大阪東淀川区柴島*=0.5				
		兵庫県 1 三田市下里*=0.5				
		奈良県 1 高取町観覚寺*=1.0 宇陀市大宇陀迫間*=0.9 奈良市二条大路南*=0.8 桜井市粟殿*=0.8 奈良市月ヶ瀬尾山*=0.7 桜井市初瀬=0.7 広陵町南郷*=0.7 吉野町上市*=0.7 大和郡山口市北郡山町*=0.6 天理市川原城町*=0.5 橿原市八木町*=0.5				
76	15 14 01	千葉県東方沖 千葉県	35° 10.0' N	140° 34.3' E	54km	M: 3.1
		1 長南町長南*=0.9				
77	15 15 23	千葉県北東部 千葉県	35° 43.0' N	140° 51.7' E	17km	M: 3.3
		1 香取市仁良*=0.9 芝山町小池*=0.8 旭市高生*=0.7 旭市二*=0.5				
78	15 18 34	大阪府北部 大阪府	34° 49.5' N	135° 37.3' E	11km	M: 3.1
		1 高槻市立第2中学校*=1.4 箕面市箕面=1.3 交野市私部*=1.3 寝屋川市役所*=1.2 高槻市桃園町=1.2 枚方市大垣内*=1.2 茨木市東中条町*=1.0 四條畷市中野*=1.0 高槻市消防本部*=1.0 大阪都島区都島本通*=0.8 箕面市栗生外院*=0.8 大阪北区茶屋町*=0.7 大阪東淀川区柴島*=0.6 大阪東淀川区北江口*=0.5				
79	16 01 10	島根県東部 鳥取県	35° 23.7' N	133° 17.6' E	10km	M: 3.1
		2 米子市東町*=2.3 米子市博労町=1.8 鳥取南部町天萬*=1.7 1 日吉津村日吉津*=1.4 伯耆町吉長*=1.3 鳥取南部町法勝寺*=1.2 境港市東本町=1.0 米子市淀江町*=0.9 鳥取日野町根雨*=0.6				
		島根県 2 安来市伯太町東母里*=1.5 1 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁*=0.8				
80	16 02 13	日高地方東部 北海道	42° 19.2' N	142° 59.8' E	55km	M: 4.9
		4 幕別町忠類錦町*=3.6 浦河町潮見=3.5 3 浦河町築地*=3.3 浦幌町桜町*=3.3 様似町栄町*=2.9 十勝大樹町生花*=2.9 十勝大樹町東本通*=2.6 浦河町野深=2.6 更別村更別*=2.5				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 えりも町目黒※=2.4 えりも町えりも岬※=2.4 広尾町並木通=2.4 広尾町白樺通=2.4 十勝池田町西1条※=2.3 帯広市東6条※=2.1 豊頃町茂岩本町※=2.1 新冠町北星町※=2.0 本別町向陽町※=2.0 芽室町東2条※=2.0 新ひだか町静内山手町=2.0 幕別町忠類明和=1.9 幕別町本町※=1.9 鹿追町東町※=1.9 帯広市東4条=1.9 新ひだか町静内御幸町※=1.9 音更町元町※=1.9 新ひだか町三石旭町※=1.9 釧路市阿寒町中央※=1.9 釧路市音別町中園※=1.9 釧路市黒金町※=1.8 平取町振内※=1.8 中札内村東2条※=1.8 えりも町本町=1.7 白糠町西1条※=1.7 足寄町南1条※=1.6 本別町北2丁目=1.6 千歳市若草※=1.6 函館市新浜町※=1.6 むかわ町穂別※=1.6 安平町早来北進※=1.5 新得町2条※=1.5 1 千歳市支笏湖温泉※=1.4 厚真町鹿沼=1.4 安平町追分柏が丘※=1.4 新ひだか町静内御園=1.4 上士幌町上士幌※=1.4 十勝清水町南4条=1.4 日高地方日高町門別※=1.3 函館市泊町※=1.3 釧路市音別町尺別=1.3 釧路町別保※=1.3 標茶町塘路※=1.3 標津町北2条※=1.3 別海町常盤=1.3 士幌町士幌※=1.2 胆振伊達市大滝区本町※=1.2 釧路市幸町=1.2 別海町本別海※=1.2 新ひだか町静内農屋※=1.2 恵庭市京町※=1.2 厚真町京町※=1.1 三笠市幸町※=1.1 千歳市北栄=1.1 室蘭市寿町※=1.1 江別市緑町※=1.1 上士幌町清水谷※=1.1 南富良野町役場※=1.0 足寄町上螺湾=1.0 登別市桜木町※=1.0 栗山町松風※=1.0 弟子屈町弟子屈※=1.0 余市町浜中町※=0.9 新千歳空港=0.9 厚岸町尾幌=0.9 札幌北区太平※=0.9 鶴居村鶴居東※=0.9 鹿部町宮浜※=0.9 北広島市共栄※=0.8 小樽市勝納町=0.8 日高地方日高町日高※=0.8 函館市川汲町※=0.8 置戸町拓殖※=0.8 厚岸町真栄※=0.7 占冠村中央※=0.7 苫小牧市末広町=0.7 平取町仁世字=0.7 根室市落石東※=0.6 中標津町養老牛=0.6 標茶町川上※=0.6 北見市南仲町※=0.6 浜中町霧多布※=0.6 江別市高砂町=0.5 弟子屈町美里=0.5 根室市瑤瑤瑠※=0.5 白老町大町=0.5 陸別町陸別※=0.5 平取町本町※=0.5 1 階上町道仏※=1.3 東通村砂子又沢内※=1.3 八戸市南郷※=1.1 青森南部町苔米地※=0.8 むつ市大畑町中島※=0.8 青森南部町平※=0.7 むつ市金曲=0.7 大間町大間※=0.7 東通村砂子又蒲谷地=0.7 八戸市湊町=0.6 八戸市内丸※=0.5 五戸町古館=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川※=1.0				
81	16 02 44	島根県東部 35° 23.7' N 133° 17.6' E 10km M: 2.4 鳥取県 1 米子市東町※=0.9 米子市博労町=0.6				
82	16 04 43	鹿児島湾 31° 24.5' N 130° 37.1' E 7km M: 2.0 鹿児島県 1 鹿児島市喜入町※=1.0				
83	16 10 59	熊本県熊本地方 32° 37.0' N 130° 57.7' E 5km M: 2.0 熊本県 1 山都町浜町※=0.5				
84	16 11 51	千葉県東方沖 35° 33.8' N 141° 05.9' E 38km M: 4.6 千葉県 1 銚子市若宮町※=1.4 旭市高生※=1.1 旭市萩園※=1.1 香取市仁良※=1.1 銚子市川口町=0.9 多古町多古=0.5 東金市日吉台※=0.5 山武市蓮沼二※=0.5				
85	16 13 54	千葉県南部 35° 08.9' N 140° 15.1' E 13km M: 2.9 千葉県 1 勝浦市新官※=1.2 勝浦市墨名=1.0 鴨川市内浦=0.8 鴨川市天津※=0.6				
86	16 14 57	新島・神津島近海 34° 13.9' N 139° 10.8' E 10km M: 2.2 東京都 1 新島村式根島=0.9 神津島村役場※=0.7 神津島村金長=0.7				
87	16 16 43	千葉県北西部 35° 40.9' N 140° 02.1' E 67km M: 3.5 埼玉県 1 狭山市入間川※=0.5 さいたま浦和区高砂=0.5 千葉県 1 千葉中央区中央港=0.9 千葉花見川区花島町※=0.8 千葉中央区都町※=0.7 千葉稲毛区園生町※=0.6 八千代市大和田新田※=0.6 東京都 1 東京渋谷区本町※=1.2 調布市西つつじヶ丘※=1.0 東京練馬区豊玉北※=1.0 西東京市中町※=0.9 小平市小川町※=0.8 東京渋谷区宇田川町※=0.7 東京世田谷区成城※=0.7 東京足立区神明南※=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京中野区中野※=0.6 東京北区西ヶ原※=0.6 東京千代田区富士見※=0.6 東京中央区勝どき※=0.6 東京葛飾区立石※=0.6 東京新宿区上落合※=0.6 八王子市堀之内※=0.6 東京新宿区百人町※=0.6 小金井市本町※=0.6 東京目黒区中央町※=0.6 東京千代田区大手町=0.6 狛江市和泉本町※=0.5 東大和市中央※=0.5 町田市森野※=0.5 東京杉並区桃井※=0.5 東京品川区北品川※=0.5 神奈川県 1 横浜青葉区市ヶ尾町※=1.2 川崎川崎区宮前町※=0.9 横浜鶴見区末広町※=0.6 川崎中原区小杉町※=0.5 大和市下鶴間※=0.5 相模原中央区上溝※=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.6				
88	16 21 39	北海道東方沖 43° 35.1' N 146° 55.3' E 29km M: 3.9 北海道 1 根室市落石東※=0.5				
89	16 23 22	大阪府北部 34° 51.7' N 135° 37.3' E 12km M: 2.7 京都府 1 大山崎町円明寺※=1.1 長岡京市開田※=1.0 八幡市八幡※=1.0 久御山町田井※=0.7 京都中京区河原町御池※=0.5 大阪府 1 枚方市大垣内※=1.2 島本町若山台※=1.0 交野市私部※=0.5				
90	17 02 03	石川県能登地方 37° 27.2' N 137° 15.8' E 13km M: 2.5 石川県 1 珠洲市正院町※=0.5				
91	17 04 34	茨城県沖 36° 25.8' N 140° 41.5' E 52km M: 4.8 茨城県 4 日立市十王町友部※=3.6 水戸市千波町※=3.5 水戸市金町=3.5 常陸太田市高柿町※=3.5 茨城町小堤※=3.5 鉾田市汲上※=3.5				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		3 ひたちなか市南神敷台※=3.4 東海村東海※=3.4 那珂市瓜連※=3.4 常陸太田市金井町※=3.3 那珂市福田※=3.3 日立市助川小学校※=3.3 鉾田市鉾田=3.3 常陸大宮市野口※=3.2 笠間市石井※=3.2 桜川市真壁※=3.1 茨城鹿嶋市宮中※=3.1 小美玉市堅倉※=3.0 石岡市柿岡=3.0 石岡市八郷※=3.0 茨城鹿嶋市鉾形=3.0 ひたちなか市東石川※=3.0 行方市山田※=3.0 常陸大宮市北町※=3.0 常陸大宮市小瀬※=3.0 土浦市藤沢※=2.9 ひたちなか市山ノ上町=2.9 水戸市内原町※=2.9 土浦市常名=2.9 鉾田市造谷※=2.9 つくば市研究学園※=2.8 小美玉市上玉里※=2.8 行方市麻生※=2.8 大洗町磯浜町※=2.7 かすみがうら市上土田※=2.7 高萩市安良川※=2.7 常陸大宮市中富町=2.7 小美玉市小川※=2.7 笠間市下郷※=2.7 笠間市笠間※=2.7 常陸大宮市山方※=2.6 城里町石塚※=2.6 桜川市羽田※=2.6 かすみがうら市大和田※=2.6 石岡市若宮※=2.6 筑西市門井※=2.5 桜川市岩瀬※=2.5 潮来市堀之内=2.5 美浦村受領※=2.5 稲敷市江戸崎甲※=2.5 行方市玉造※=2.5 2 日立市役所※=2.4 常陸太田市町田町※=2.4 高萩市本町※=2.4 土浦市田中※=2.4 龍ヶ崎市役所※=2.4 つくば市天王台※=2.4 稲敷市結佐※=2.4 常総市新石下※=2.4 潮来市辻※=2.3 坂東市馬立※=2.3 常陸太田市町屋町=2.3 筑西市舟生=2.3 筑西市下中山※=2.3 笠間市中央※=2.3 大子町池田※=2.3 下妻市鬼怒※=2.2 坂東市山※=2.2 稲敷市伊佐津※=2.2 取手市井野※=2.2 稲敷市須賀津※=2.2 北茨城市中郷町※=2.2 下妻市本城町※=2.2 阿見町中央※=2.2 稲敷市役所※=2.1 常陸太田市大中町※=2.1 つくば市小基※=2.1 城里町阿波山※=2.1 取手市寺田※=2.1 常総市水海道諏訪町※=2.1 つくばみらい市加藤※=2.1 つくばみらい市福田※=2.0 利根町布川=2.0 神栖市溝口※=2.0 牛久市中央※=1.9 河内町源清田※=1.9 五霞町小福田※=1.9 茨城古河市仁連※=1.8 坂東市役所※=1.8 守谷市大柏※=1.8 北茨城市磯原町※=1.7 八千代町菅谷※=1.7 取手市藤代※=1.7 結城市結城※=1.7 境町旭町※=1.6 坂東市岩井=1.6 常陸大宮市高部※=1.6 神栖市波崎※=1.5 1 茨城古河市下大野※=1.4 3 真岡市石島※=2.5 2 小山市神鳥谷※=2.3 真岡市田町※=2.3 市貝町市塙※=2.3 益子町益子=2.2 真岡市荒町※=2.1 那須烏山市中央=2.1 下野市田中※=2.1 大田原市湯津上※=2.1 茂木町茂木※=2.0 芳賀町祖母井※=1.8 高根沢町石末※=1.8 栃木那珂川町小川※=1.7 栃木那珂川町馬頭※=1.7 宇都宮市明保野町=1.6 宇都宮市中里町※=1.6 下野市笹原※=1.6 茂木町北高岡天矢場※=1.6 栃木市岩舟町静※=1.5 那須町寺子※=1.5 栃木さくら市氏家※=1.5 栃木さくら市喜連川※=1.5 那須烏山市大金※=1.5 那須烏山市役所※=1.5 1 日光市鬼怒川温泉大原※=1.4 足利市大正町※=1.4 佐野市高砂町※=1.4 鹿沼市晃望台※=1.4 小山市中央町※=1.4 野木町丸林※=1.4 日光市今市本町※=1.3 大田原市本町※=1.3 那須塩原市あたご町※=1.2 栃木市藤岡町藤岡※=1.2 上三川町しらさぎ※=1.2 那須塩原市鍋掛※=1.2 塩谷町玉生※=1.1 鹿沼市今宮町※=1.1 日光市芹沼※=1.1 栃木市旭町=1.1 日光市藤原庁舎※=1.1 鹿沼市口栗野※=1.0 那須塩原市塩原庁舎※=0.9 宇都宮市旭※=0.9 日光市足尾町中才※=0.9 栃木市大平町富田※=0.9 佐野市葛生東※=0.9 大田原市黒羽田町=0.9 那須塩原市共豊社※=0.8 壬生町通町※=0.8 栃木市万町※=0.8 日光市日蔭※=0.8 日光市瀬川=0.8 栃木市西方町本城※=0.7 佐野市田沼町※=0.7 宇都宮市塙田※=0.7 日光市御幸町※=0.6 佐野市中町※=0.6 日光市足尾町通洞※=0.6 3 印西市大森※=2.5 2 野田市鶴奉※=2.4 香取市役所※=2.3 成田市名古屋=2.3 印西市笠神※=2.3 白井市復※=2.3 香取市仁良※=2.2 神崎町神崎本宿※=2.1 香取市佐原平田=2.1 成田国際空港=2.1 香取市佐原諏訪台※=2.0 香取市羽根川※=2.0 成田市松子※=2.0 栄町安食台※=2.0 成田市中台※=1.9 千葉佐倉市海隣寺町※=1.9 柏市柏※=1.9 八千代市大和田新田※=1.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=1.9 八街市八街※=1.9 成田市役所※=1.8 習志野市鷺沼※=1.8 浦安市日の出=1.8 千葉美浜区ひび野=1.8 印西市美瀬※=1.8 富里市七栄※=1.8 多古町多古=1.7 芝山町小池※=1.7 柏市旭町=1.7 山武市埴谷※=1.7 千葉中央区都町※=1.7 千葉若葉区小倉台※=1.7 野田市東宝珠花※=1.7 東金市日吉台※=1.6 千葉花見川区花島町※=1.6 船橋市湊町※=1.5 旭市南堀之内※=1.5 旭市二※=1.5 香取市岩部※=1.5 山武市松尾町富士見台=1.5 1 旭市高生※=1.4 匝瑳市八日市場ハ※=1.4 松戸市西馬橋※=1.4 我孫子市我孫子※=1.4 四街道市鹿渡※=1.4 銚子市若宮町※=1.3 東金市東新宿=1.3 旭市萩園※=1.3 山武市蓮沼ニ※=1.3 千葉稲毛区園生町※=1.3 松戸市根本※=1.3 成田市猿山※=1.3 柏市大島田※=1.3 東金市東岩崎※=1.2 東庄町笹川※=1.2 九十九里町片貝※=1.2 横芝光町宮川※=1.2 千葉中央区中央港=1.2 千葉中央区千葉市役所※=1.2 千葉美浜区稲毛海岸※=1.2 市川市南八幡※=1.2 流山市平和台※=1.2 浦安市猫実※=1.2 酒々井町中央台※=1.2 山武市松尾町五反田※=1.1 銚子市川口町=1.1 横芝光町栗山※=1.1 千葉緑区おゆみ野※=1.0 市原市姉崎※=1.0 一宮町一宮=0.9 山武市殿台※=0.9 山武市蓮沼ハ※=0.9 匝瑳市今泉※=0.8 2 いわき市錦町※=2.1 浅川町浅川※=2.1 中島村滑津※=2.0 泉崎村泉崎※=2.0 田村市滝根町※=2.0 古殿町松川新桑原※=1.9 白河市東※=1.8 白河市表郷※=1.8 矢祭町戸塚※=1.7 矢祭町東館※=1.7 いわき市平梅本※=1.7 田村市大越町※=1.7 平田村永田※=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 須賀川市八幡山※=1.6 鏡石町不時沼※=1.6 石川町長久保※=1.6 いわき市小名浜=1.6 玉川村小高※=1.5 いわき市三和町=1.5 須賀川市八幡町※=1.5 1 白河市新白河※=1.4 矢吹町一本木※=1.4 檜枝岐村上河原※=1.4 天栄村下松本※=1.3 郡山市湖南町※=1.3 田村市都路町※=1.3 福島広野町下北迫苗代替※=1.3 郡山市朝日=1.3 白河市大信※=1.2 須賀川市岩瀬支所※=1.2 福島広野町下北迫大谷地原※=1.2 郡山市開成※=1.2 檜葉町北田※=1.2 いわき市平四ツ波※=1.1 塙町塙※=1.1 福島市五老内町※=1.1 小野町中通※=1.0 田村市船引町=1.0 川内村上川内早渡※=1.0 双葉町両竹※=1.0 田村市常葉町※=1.0 白河市八幡小路※=1.0 白河市郭内=1.0 古殿町松川横川=1.0 小野町小野新町※=0.9 棚倉町棚倉ヶ丘※=0.9 二本松市油井※=0.9 本宮市白岩※=0.9 浪江町幾世橋=0.9 川内村上川内小山平※=0.8 鮫川村赤坂中野※=0.8 二本松市針道※=0.8 富岡町本岡※=0.8 福島市松木町=0.7 川俣町五百田※=0.7 本宮市本宮※=0.7 大玉村南小屋=0.7 福島市桜木町※=0.7 葛尾村落合落合※=0.7 川内村下川内=0.6 福島伊達市霊山町※=0.6 天栄村湯本支所※=0.6 飯館村伊丹沢※=0.6 二本松市金色※=0.5 大玉村玉井※=0.5 2 渋川市赤城町※=1.8 桐生市元宿町※=1.7 桐生市黒保根町※=1.6 邑楽町中野※=1.5 1 沼田市白沢町※=1.4 千代田町赤岩※=1.4 大泉町日の出※=1.4 桐生市新里町※=1.2				
		栃木県				
		千葉県				
		福島県				
		群馬県				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		沼田市西倉内町=1.2 沼田市利根町*=1.2 前橋市富士見町*=1.1 桐生市織姫町=1.1 伊勢崎市今泉町*=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.1 太田市西本町*=1.1 群馬明和町新里*=1.1 前橋市粕川町*=1.1 館林市城町*=1.0 渋川市吹屋*=1.0 片品村東小川=1.0 館林市美園町*=1.0 伊勢崎市境*=0.9 太田市浜町*=0.9 太田市粕川町*=0.9 太田市大原町*=0.9 板倉町板倉=0.9 沼田市下久屋町*=0.8 みどり市笠懸町*=0.8 片品村鎌田*=0.8 安中市安中*=0.7 伊勢崎市東町*=0.7 太田市新田金井町*=0.7 東吾妻町原町=0.7 東吾妻町本宿*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 渋川市伊香保町*=0.7 前橋市駒形町*=0.6 吉岡町下野田*=0.6 前橋市鼻毛石町*=0.6 高崎市高松町*=0.6 高崎市箕郷町*=0.6 みどり市大間々町*=0.5 前橋市昭和町=0.5 高崎市足門町*=0.5 玉村町下新田*=0.5 2 春日部市粕壁*=2.0 春日部市金崎*=1.8 宮代町笠原*=1.8 春日部市谷原新田*=1.6 幸手市東*=1.5 熊谷市江南*=1.5 加須市大利根*=1.5 久喜市下早見=1.5 久喜市青葉*=1.5 1 本庄市児玉町=1.4 羽生市東*=1.4 吉川市きよみ野*=1.4 さいたま見沼区堀崎*=1.4 川口市中青木分室*=1.3 八潮市中央*=1.3 東松山市松葉町*=1.3 久喜市鷲宮*=1.3 嵐山町杉山*=1.3 行田市南河原*=1.2 深谷市川本*=1.2 吉見町下細谷*=1.2 埼玉美里町木部*=1.2 草加市高砂*=1.2 三郷市中央*=1.2 さいたま北区宮原*=1.2 白岡市千駄野*=1.2 川島町下八ツ林*=1.1 さいたま大宮区天沼町*=1.1 熊谷市大里*=1.1 さいたま中央区下落合*=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 加須市三俣*=1.1 加須市騎西*=1.1 加須市北川辺*=1.1 深谷市花園*=1.1 久喜市栗橋*=1.1 鴻巣市吹上富士見*=1.0 久喜市菖蒲*=1.0 滑川町福田*=1.0 行田市本丸*=1.0 川口市青木*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 和光市広沢*=1.0 富士見市鶴馬*=1.0 松伏町松伏*=1.0 さいたま西区指扇*=1.0 鴻巣市中央*=1.0 鴻巣市川里*=1.0 新座市野火止*=0.9 桶川市泉*=0.9 北本市本町*=0.9 さいたま浦和区高砂=0.9 熊谷市妻沼*=0.9 上尾市本町*=0.9 越谷市越ヶ谷*=0.9 東松山市市ノ川*=0.8 蓮田市黒浜*=0.8 蕨市中央*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 埼玉三芳町藤久保*=0.7 ときがわ町桃木*=0.7 川越市旭町=0.7 狭山市入間川*=0.7 さいたま南区別所*=0.7 皆野町皆野*=0.7 長瀬町野上下郷*=0.7 朝霞市本町*=0.7 毛呂山町中央*=0.6 さいたま大宮区大門*=0.6 熊谷市桜町=0.6 横瀬町横瀬*=0.6 川口市三ツ和*=0.6 熊谷市宮町*=0.6 鶴ヶ島市三ツ木*=0.6 伊奈町小室*=0.6 さいたま桜区道場*=0.5 深谷市仲町*=0.5 秩父市上町=0.5 秩父市近戸町*=0.5 坂戸市千代田*=0.5 小川町大塚*=0.5 長瀬町本野上*=0.5 2 東京千代田区大手町=1.5 東京渋谷区本町*=1.5 東京杉並区高井戸*=1.5 東京足立区神明南*=1.5 東京葛飾区立石*=1.5 東京葛飾区金町*=1.5 1 東京荒川区東尾久*=1.4 東京江戸川区中央=1.4 東京江戸川区船堀*=1.4 東京江東区森下*=1.3 東京中野区江古田*=1.3 東京北区西ヶ原*=1.3 東京荒川区荒川*=1.3 東京中央区勝どき*=1.2 東京文京区大塚*=1.2 東京北区神谷*=1.2 東京足立区千住中居町*=1.2 調布市西つじヶ丘*=1.2 東京千代田区麹町*=1.1 東京墨田区東向島*=1.1 東京江東区越中島*=1.1 東京中野区中野*=1.1 東京杉並区桃井*=1.1 東京足立区伊興*=1.1 東京江戸川区鹿骨*=1.1 東京千代田区富士見*=1.0 東京中央区築地*=1.0 東京新宿区上落合*=1.0 東京台東区千束*=1.0 東京江東区東陽*=1.0 東京練馬区豊玉北*=1.0 三鷹市野崎*=1.0 東京中央区日本橋兜町*=0.9 東京江東区枝川*=0.9 東京品川区北品川*=0.9 東京品川区平塚*=0.9 東京国際空港=0.9 東京渋谷区宇田川町*=0.9 東京板橋区高島平*=0.9 小平市小川町*=0.9 東京港区海岸=0.8 東京新宿区百人町*=0.8 東京練馬区東大泉*=0.8 東京練馬区光が丘*=0.8 東京墨田区横川=0.8 東京墨田区吾妻橋*=0.8 武蔵野市吉祥寺東町*=0.8 国分寺市戸倉=0.8 東大和市中央*=0.8 東京大田区本羽田*=0.8 東京豊島区南池袋*=0.7 東京板橋区板橋*=0.7 東京新宿区西新宿=0.7 西東京市中町*=0.7 東京江東区亀戸*=0.7 東京世田谷区成城*=0.7 東京足立区中央本町*=0.6 東京目黒区中央町*=0.6 武蔵野市緑町*=0.6 東京大田区多摩川*=0.6 東京世田谷区中町*=0.6 東京港区白金*=0.6 東京品川区広町*=0.5 東京府中市朝日町*=0.5 日野市神明*=0.5 東京世田谷区世田谷*=0.5 1 岩沼市桜*=0.9 丸森町鳥屋*=0.9 大河原町新南*=0.7 蔵王町円田*=0.7 1 横浜神奈川区神大寺*=1.2 横浜港北区日吉本町*=1.1 川崎宮前区宮前平*=1.1 横浜中区山手町=1.0 川崎中原区小杉町*=0.8 相模原緑区中野*=0.8 川崎中原区小杉陣屋町=0.5				
92	17 04 42	茨城県沖 茨城県 3 日立市助川小学校*=2.8 日立市十王町友部*=2.6 常陸太田市高柿町*=2.6 2 水戸市金町=2.4 ひたちなか市南神敷台*=2.4 東海村東海*=2.4 那珂市瓜連*=2.4 水戸市千波町*=2.3 日立市役所*=2.2 常陸太田市金井町*=2.2 笠間市石井*=2.2 土浦市常名=2.2 鉾田市汲上*=2.2 茨城町小堤*=2.1 那珂市福田*=2.0 高萩市安良川*=2.0 常陸大宮市北町*=2.0 常陸大宮市上小瀬*=2.0 ひたちなか市東石川*=1.9 常陸大宮市野口*=1.9 笠間市笠間*=1.9 ひたちなか市山ノ上町=1.9 小美玉市堅倉*=1.9 水戸市内原町*=1.9 桜川市真壁*=1.9 常陸大宮市山方*=1.9 小美玉市小川*=1.8 笠間市下郷*=1.7 大子町池田*=1.7 土浦市藤沢*=1.7 石岡市柿岡=1.7 石岡市若宮*=1.7 かすみがうら市上土田*=1.7 城里町石塚*=1.7 鉾田市鉾田=1.7 大洗町磯浜町*=1.7 石岡市八郷*=1.6 美浦村受領*=1.6 土浦市田中*=1.6 かすみがうら市大和田*=1.6 行方市麻生*=1.6 常陸太田市町屋町=1.6 桜川市羽田*=1.6 小美玉市上玉里*=1.6 常陸大宮市中富町=1.6 桜川市岩瀬*=1.5 稲敷市江戸崎甲*=1.5 高萩市本町*=1.5 つくば市研究学園*=1.5 鉾田市造谷*=1.5 北茨城市巾着町*=1.5 1 常陸太田市町田町*=1.4 筑西市門井*=1.4 行方市山田*=1.4 茨城鹿嶋市宮中*=1.3 行方市玉造*=1.3 取手市寺田*=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 稲敷市伊佐津*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 常陸太田市大中町*=1.2 北茨城市磯原町*=1.2 笠間市中央*=1.2 城里町阿波山*=1.2 つくば市小茎*=1.2 常総市新石下*=1.1 潮来市堀之内=1.0 つくば市天王台*=1.0 潮来市辻*=0.9 阿見町中央*=0.9 常陸大宮市高部*=0.9 筑西市舟生=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.9 常総市水海道諏訪町*=0.8 稲敷市役所*=0.8 下妻市本城町*=0.8 下妻市鬼怒*=0.8 稲敷市須賀津*=0.8 牛久市中央*=0.7 筑西市下山*=0.7 守谷市大柏*=0.5 利根町布川=0.5 神栖市溝口*=0.5 宮城県 福島県 1 岩沼市桜*=0.5 1 田村市大越町*=1.4 浅川町浅川*=1.2 田村市滝根町*=1.2 いわき市錦町*=1.1 白河市東*=1.1 泉崎村泉崎*=1.0 古殿町松川新桑原*=1.0 いわき市小名浜=1.0 石川町長久保*=0.9	36° 26.0' N	140° 41.0' E	52km	M: 4.1

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		鏡石町不時沼※=0.8 玉川村小高※=0.8 いわき市三和町=0.8 須賀川市八幡山※=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 矢祭町東館※=0.8 田村市常葉町※=0.8 田村市都路町※=0.8 白河市新白河※=0.7 檜葉町北田※=0.7 檜枝岐村上河原※=0.7 小野町中通※=0.7 小野町小野新町※=0.7 浪江町幾世橋=0.6 天栄村下松本※=0.6 福島広野町下北迫大谷地原※=0.6 二本松市油井※=0.6 田村市船引町=0.5 矢祭町戸塚※=0.5 栃木県 1 真岡市石島※=1.4 益子町益子=1.3 那須烏山市中央=1.3 真岡市田町※=1.2 市貝町市塙※=1.2 茂木町茂木※=1.1 大田原市湯津上※=1.1 真岡市荒町※=0.8 茂木町北高岡天矢場※=0.8 芳賀町祖母井※=0.8 下野市田中※=0.8 那須烏山市役所※=0.7 栃木那珂川町馬頭※=0.7 栃木那珂川町小川※=0.6 栃木さくら市喜連川※=0.6 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁※=0.7 千葉県 1 野田市鶴奉※=1.0 白井市復※=1.0 香取市役所※=0.9 成田市名古屋=0.9 印西市大森※=0.9 習志野市鷺沼※=0.8 八千代市大和田新田※=0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=0.8 栄町安食台※=0.8 香取市佐原平田=0.7 香取市佐原諏訪台※=0.7 香取市仁良※=0.7 富里市七栄※=0.7 柏市旭町=0.6 成田国際空港=0.6 成田市松子※=0.5 神崎町神崎本宿※=0.5 芝山町小池※=0.5				
93	17 05 44	大阪府北部 京都府 大阪府	34° 51.5′ N	135° 37.6′ E	8km	M: 2.7
		1 大山崎町円明寺※=0.6 1 枚方市大垣内※=1.0 高槻市桃園町=0.9 高槻市立第2中学校※=0.8 高槻市消防本部※=0.7 島本町若山台※=0.5				
94	17 06 23	長野県南部 長野県	35° 50.7′ N	137° 33.7′ E	5km	M: 2.5
		1 王滝村役場※=1.2 木曽町三岳※=1.0 王滝村鈴ヶ沢※=0.6				
95	17 16 17	秋田県内陸南部 秋田県	39° 30.5′ N	140° 25.4′ E	8km	M: 2.3
		1 大仙市神宮寺※=1.4 大仙市刈和野※=0.6				
96	18 03 42	薩摩半島西方沖 長崎県	31° 19.5′ N	128° 05.8′ E	5km	M: 4.6
		2 五島市岐宿町※=1.5				
97	18 08 26	茨城県南部 茨城県	36° 08.0′ N	139° 49.6′ E	50km	M: 3.4
		1 城里町小勝※=1.4 桜川市羽田※=1.4 筑西市舟生=1.3 常陸大宮市北町※=1.2 笠間市笠間※=1.1 常陸大宮市小瀬※=1.0 筑西市門井※=0.9 土浦市常名=0.9 笠間市石井※=0.7 水戸市内原町※=0.7 水戸市金町=0.6 桜川市岩瀬※=0.6 笠間市下郷※=0.6 筑西市下中山※=0.6 常陸大宮市山方※=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.0 下野市田中※=1.0 下野市笹原※=0.8 佐野市高砂町※=0.7 宇都宮市中里町※=0.6 佐野市中町※=0.5 埼玉県 1 久喜市下早見=0.7 加須市大利根※=0.5 宮代町笠原※=0.5 千葉県 1 野田市鶴奉※=0.7				
98	18 08 44	西表島付近 沖縄県	24° 13.8′ N	123° 51.2′ E	17km	M: 3.4
		1 竹富町大原=1.2				
99	18 11 00	茨城県北部 茨城県	36° 39.6′ N	140° 40.8′ E	8km	M: 2.4
		1 日立市助川小学校※=0.7 高萩市安良川※=0.7				
100	18 16 44	茨城県沖 茨城県	35° 53.1′ N	141° 18.4′ E	39km	M: 4.5
		2 神栖市溝口※=1.9 潮来市辻※=1.5 1 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 茨城鹿嶋市宮中※=1.4 稲敷市結佐※=1.1 神栖市波崎※=1.0 笠間市石井※=0.9 鉢田市汲上※=0.9 水戸市金町=0.9 鉢田市造谷※=0.8 稲敷市須賀津※=0.8 潮来市堀之内=0.8 稲敷市江戸崎甲※=0.7 水戸市内原町※=0.7 日立市助川小学校※=0.7 鉢田市鉢田=0.6 土浦市常名=0.6 石岡市柿岡=0.5 千葉県 2 香取市羽根川※=1.6 1 銚子市若宮町※=1.4 旭市南堀之内※=1.4 旭市高生※=1.3 旭市萩園※=1.3 香取市役所※=1.3 旭市二※=1.2 香取市仁良※=1.2 多古町多古=1.1 銚子市川口町=1.1 香取市佐原平田=1.0 東金市日吉台※=1.0 山武市蓮沼二※=1.0 山武市蓮沼ハ※=1.0 香取市佐原諏訪台※=0.7 市原市姉崎※=0.7 山武市松尾町富士見台=0.6 東金市東新宿=0.6 千葉中央区都町※=0.6 成田市名古屋=0.6 栃木県 1 益子町益子=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町※=0.6 神奈川県 1 大和市下鶴間※=0.7				
101	19 02 10	長崎県南西部 長崎県	32° 56.6′ N	129° 52.9′ E	10km	M: 2.2
		1 大村市玖島※=0.8 東彼杵町蔵本※=0.5				
102	19 17 43	大阪府北部 京都府 大阪府	34° 50.0′ N	135° 36.3′ E	10km	M: 2.8
		1 久御山町田井※=0.7 八幡市八幡※=0.5 1 箕面市箕面=1.4 枚方市大垣内※=1.3 高槻市立第2中学校※=1.3 寝屋川市役所※=1.1 茨木市東中条町※=1.0 箕面市栗生外院※=1.0 交野市私部※=1.0 高槻市桃園町=0.9 高槻市消防本部※=0.8 四條畷市中野※=0.6 大阪東淀川区北江口※=0.5				
103	19 20 52	福島県沖 宮城県	37° 04.7′ N	141° 11.0′ E	52km	M: 4.4
		2 山元町浅生原※=1.6 岩沼市桜※=1.5 1 蔵王町円田※=1.4 宮城川崎町前川※=1.4 丸森町鳥屋※=1.2 亘理町下小路※=1.2 角田市角田※=1.2				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		福島県 白石市亘理町*=1.2 大河原町新南*=1.2 名取市増田*=1.2 村田町村田*=1.0 柴田町船岡=1.0 大崎市田尻*=0.8 仙台空港=0.8 仙台泉区将監*=0.7 丸森町上滝=0.7 宮城加美町中新田*=0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 大崎市古川三日町=0.5 松島町高城=0.5 2 白河市新白河*=2.2 玉川村小高*=2.2 川内村上川内早渡*=2.1 郡山市開成*=1.9 飯館村伊丹沢*=1.9 郡山市朝日=1.8 小野町小野新町*=1.8 白河市表郷*=1.8 川俣町五百田*=1.8 川内村下川内=1.7 白河市郭内=1.7 郡山市湖南町*=1.7 中島村滑津*=1.6 石川町長久保*=1.6 須賀川市八幡山*=1.6 小野町中通*=1.6 須賀川市岩瀬支所*=1.6 田村市大越町*=1.6 田村市都路町*=1.6 田村市滝根町*=1.6 いわき市錦町*=1.6 檜葉町北田*=1.6 二本松市針道*=1.6 西郷村熊倉*=1.6 大玉村南小屋=1.5 本宮市本宮*=1.5 いわき市三和町=1.5 泉崎村泉崎*=1.5 国見町藤田*=1.5 田村市常葉町*=1.5 須賀川市八幡町*=1.5 1 白河市東*=1.4 二本松市金色*=1.4 二本松市油井*=1.4 天栄村下松本*=1.4 矢祭町戸塚*=1.4 浅川町浅川*=1.4 田村市船引町=1.4 福島伊達市梁川町*=1.4 双葉町両竹*=1.4 葛尾村落合落合*=1.4 相馬市中村*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 川内村上川内小山平*=1.3 鏡石町不時沼*=1.3 福島市飯野町*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 いわき市平梅本*=1.2 大玉村玉井*=1.2 富岡町本岡*=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 浪江町幾世橋=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 南相馬市小高区*=1.2 矢祭町東館*=1.2 平田村永田*=1.2 白河市大信*=1.2 本宮市白岩*=1.2 いわき市小名浜=1.2 福島市松木町=1.1 福島市五老内町*=1.1 福島伊達市保原町*=1.1 古殿町松川新桑原*=1.1 桑折町東大隅*=1.0 猪苗代町千代田*=1.0 大熊町野上*=1.0 天栄村湯本支所*=1.0 三春町大町*=1.0 南相馬市原町区高見町*=1.0 南相馬市鹿島区西町*=0.9 南相馬市原町区三島町=0.9 白河市八幡小路*=0.9 福島市桜木町*=0.8 福島伊達市月舘町*=0.7 鮫川村赤坂中野*=0.7 福島広野町下北迫苗代替*=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 南相馬市鹿島区栢窪=0.7 猪苗代町城南=0.6 古殿町松川横川=0.6 茨城県 2 北茨城市磯原町*=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 1 城里町小勝*=1.4 水戸市内原町*=1.3 日立市助川小学校*=1.3 日立市十王町友部*=1.3 常陸太田市高柿町*=1.3 笠間市石井*=1.3 常陸大宮市上小瀬*=1.3 常陸大宮市山方*=1.2 東海村東海*=1.1 大子町池田*=1.1 城里町石塚*=1.1 日立市役所*=1.1 笠間市笠間*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 土浦市常名=1.0 常陸太田市町田町*=1.0 筑西市門井*=0.9 笠間市中央*=0.9 高萩市安良川*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.8 北茨城市中郷町*=0.8 桜川市羽田*=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 水戸市金町=0.8 笠間市下郷*=0.8 那珂市福田*=0.8 那珂市瓜連*=0.8 桜川市岩瀬*=0.7 鉾田市汲上*=0.7 城里町阿波山*=0.7 石岡市柿岡=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 小美玉市小川*=0.6 小美玉市堅倉*=0.6 常陸大宮市高部*=0.6 高萩市本町*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 筑西市舟生=0.5 小美玉市上玉里*=0.5 かすみがうら市上土田*=0.5 桜川市真壁*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 取手市寺田*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=1.3 大田原市湯津上*=1.1 宇都宮市明保野町=1.1 栃木那珂川町小川*=1.0 市貝町市塙*=0.9 那須烏山市中央=0.9 日光市今市本町*=0.8 大田原市黒羽田町=0.7 真岡市石島*=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 茂木町茂木*=0.5 栃木那珂川町馬頭*=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=0.6				
104	19 21 31	和歌山県北部 和歌山県	34° 04.0' N	135° 22.4' E	8km	M: 3.5
		2 紀美野町下佐々*=2.2 紀美野町神野市場*=2.0 有田川町清水*=1.5 1 紀の川市貴志川町神戸*=1.3 紀の川市桃山町元*=1.1 高野町高野山中学校=1.0 和歌山広川町広*=0.9 和歌山市男野芝丁=0.9 湯浅町青木*=0.9 かつらぎ町花園梁瀬*=0.8 かつらぎ町丁ノ町*=0.8 紀の川市西大井*=0.8 橋本市東家*=0.7 和歌山市一番丁*=0.5 高野町役場*=0.5 紀の川市粉河=0.5 岩出市西野*=0.5				
105	19 23 40	島根県東部 島根県	35° 06.9' N	132° 45.7' E	6km	M: 3.0
		2 飯南町頓原*=2.1 雲南市掛合町掛合*=1.5 1 雲南市吉田町吉田*=0.7				
106	20 05 07	岩手県沖 青森県 岩手県	40° 21.1' N	142° 05.1' E	50km	M: 3.8
		2 階上町道仏*=1.8 1 青森南部町苦米地*=0.9 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸*=0.7 1 九戸村伊保内*=1.4 軽米町軽米*=0.6 岩手洋野町大野*=0.6 久慈市川崎町=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 久慈市枝成沢=0.5 岩手洋野町種市=0.5				
107	20 12 43	大阪府北部 京都府 大阪府	34° 52.5' N	135° 38.4' E	11km	M: 2.6
		1 八幡市八幡*=0.6 久御山町田井*=0.5 1 島本町若山台*=0.7				
108	20 13 41	新潟県中越地方 新潟県	37° 16.5' N	139° 08.0' E	2km	M: 2.6
		1 魚沼市須原*=0.8				
109	20 20 27	千葉県北西部 東京都 神奈川県	35° 39.3' N	140° 02.5' E	69km	M: 3.2
		1 調布市西つつじヶ丘*=0.8 東京練馬区豊玉北*=0.8 東京渋谷区本町*=0.6 1 川崎川崎区宮前町*=0.9 横浜鶴見区馬場*=0.6 横浜青葉区市ケ尾町*=0.6				
110	20 21 34	徳島県北部 徳島県	34° 04.8' N	134° 29.5' E	9km	M: 3.1
		1 石井町高川原*=1.1 徳島市大和町=1.0 小松島市横須町*=0.9 美馬市木屋平*=0.8 徳島市新蔵町*=0.7 阿南市山口町*=0.7 吉野川市川島町*=0.6 吉野川市鴨島町=0.5				
111	20 22 29	宮城県沖 宮城県	38° 09.4' N	141° 46.8' E	54km	M: 3.8
		2 石巻市桃生町*=1.8 1 女川町女川浜*=1.2 大崎市田尻*=1.0 宮城川崎町前川*=0.8 登米市東和町*=0.8 岩沼市桜*=0.7				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		涌谷町新町裏*0.7 石巻市鮎川浜*0.7 石巻市大街道南*0.7 名取市増田*0.6 宮城美里町北浦*0.6 気仙沼市唐桑町*0.5 石巻市北上町*0.5 松島町高城*0.5 石巻市泉町*0.5 岩手県 1 一関市東山町*0.8 一関市室根町*0.7 一関市千厩町*0.7 一関市藤沢町*0.5				
112	20 22 56	安芸灘 広島県 1 呉市倉橋町蔦ヶ巣=1.4 呉市二河町*0.5 愛媛県 1 松山市中島大浦*0.7 山口県 1 岩国市横山*0.6	34° 01.3' N	132° 28.9' E	15km	M: 3.2
113	21 02 33	北海道南西沖 北海道 1 八雲町熊石雲石町*1.4 せたな町瀬棚区北島歌*1.4 今金町今金*1.2 長万部町平里*1.1 岩内町清住*1.0 島牧村江ノ島=0.8 島牧村泊*0.6 黒松内町黒松内*0.5 せたな町瀬棚区本町*0.5	42° 28.1' N	139° 21.8' E	19km	M: 4.0
114	21 06 36	大阪府北部 大阪府 1 高槻市桃園町=0.8 島本町若山台*0.8 高槻市消防本部*0.6	34° 52.5' N	135° 38.4' E	11km	M: 2.6
115	21 21 13	長野県北部 新潟県 1 上越市安塚区安塚*1.1 長野県 1 栄村北信*1.3	36° 59.6' N	138° 33.2' E	8km	M: 2.6
116	22 02 48	島根県東部 島根県 1 飯南町頓原*0.9	35° 06.8' N	132° 45.8' E	6km	M: 2.3
117	22 06 46	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原*1.8	37° 03.5' N	139° 28.6' E	9km	M: 2.7
118	22 13 01	長野県南部 長野県 1 木曽町新開*0.8 木曽町福島*0.8 上松町駅前通り*0.5	35° 49.0' N	137° 43.3' E	6km	M: 2.2
119	22 16 53	新潟県下越地方 新潟県 1 関川村下関*0.9	38° 02.8' N	139° 32.7' E	14km	M: 2.5
120	22 19 09	福島県沖 福島県 2 田村市大越町*1.6 玉川村小高*1.5 1 いわき市三和町=1.4 福島広野町下北迫大谷地原*1.4 大熊町野上*1.3 双葉町両竹*1.3 白河市新白河*1.2 檜葉町北田*1.2 大玉村南小屋=1.1 田村市船引町=1.1 川内村下川内=1.1 川内村上川内早渡*1.1 本宮市本宮*1.1 郡山市湖南町*1.1 田村市常葉町*1.0 田村市滝根町*1.0 川内村上川内小山平*0.9 天栄村下松本*0.9 小野町小野新町*0.9 田村市都路町*0.9 葛尾村落合落合*0.9 いわき市平四ツ波*0.8 石川町長久保*0.8 浪江町幾世橋=0.8 大玉村玉井*0.8 二本松市油井*0.7 川俣町五百田*0.7 福島伊達市靈山町*0.7 富岡町本岡*0.7 二本松市金色*0.7 白河市郭内=0.6 須賀川市八幡山*0.6 小野町中通*0.5 飯館村伊丹沢*0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 南相馬市鹿島区栃窪=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*0.7	37° 14.7' N	141° 31.4' E	46km	M: 4.2
121	23 02 40	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.6	28° 38.9' N	129° 15.1' E	66km	M: 3.9
122	23 17 30	沖縄本島近海 鹿児島県 2 知名町瀬利寛=2.0 知名町知名*1.8 天城町平土野*1.5 与論町茶花*1.5 1 和泊町和泊*1.2 伊仙町伊仙*1.1 和泊町国頭=1.0 沖縄県 1 国頭村奥=0.9 国頭村辺土名*0.9 伊平屋村役場*0.7	27° 17.6' N	128° 27.2' E	48km	M: 3.9
123	23 17 38	茨城県沖 茨城県 2 高萩市安良川*1.7 1 日立市助川小学校*1.2 笠間市石井*1.0 大子町池田*1.0 小美玉市堅倉*1.0 土浦市常名=1.0 日立市十王町友部*0.9 城里町小勝*0.9 高萩市本町*0.9 鉾田市汲上*0.9 ひたちなか市南神敷台*0.8 水戸市内原町*0.8 笠間市笠間*0.8 東海村東海*0.7 石岡市柿岡=0.7 北茨城市磯原町*0.6 北茨城市中郷町*0.6 小美玉市小川*0.6 福島県 1 浅川町浅川*0.9 棚倉町棚倉中居野=0.7 白河市新白河*0.6 いわき市錦町*0.5	36° 31.9' N	140° 58.0' E	20km	M: 4.1
124	23 22 51	渡島地方東部 北海道 2 函館市川汲町*1.7	41° 55.5' N	140° 57.2' E	11km	M: 2.5
125	24 02 52	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*1.7 一関市室根町*1.6 1 住田町世田米*1.2 一関市大東町=1.1 一関市花泉町*1.0 陸前高田市高田町*1.0 一関市東山町*0.8 北上市相去町*0.8 一関市藤沢町*0.7 大船渡市猪川町=0.7 大船渡市大船渡町=0.5 宮城県 2 気仙沼市唐桑町*1.5 石巻市桃生町*1.5 1 登米市中田町=1.3 気仙沼市赤岩=1.1 登米市東和町*1.1 南三陸町志津川=1.0 栗原市瀬峰*0.8 気仙沼市笹が陣*0.8 涌谷町新町裏=0.7 登米市豊里町*0.7 石巻市北上町*0.7	38° 43.6' N	141° 55.1' E	53km	M: 3.9

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		登米市石越町* =0.6 栗原市栗駒=0.5 大崎市古川大崎=0.5				
126	24 06 37	択捉島南東沖 北海道 2 別海町常盤=1.6 根室市落石東* =1.6 1 標津町北2条* =1.4 根室市瑤瑤瑠* =1.3 別海町本別海* =0.9 標茶町塘路* =0.9 根室市牧の内* =0.8	44° 39.1' N	148° 19.9' E	150km	M: 5.0
127	24 07 24	岩手県内陸北部 岩手県 1 八幡平市叭田* =0.7	40° 05.3' N	141° 09.1' E	4km	M: 2.7
128	24 10 40	千葉県東方沖 千葉県 1 香取市仁良* =1.0	35° 24.7' N	140° 59.4' E	23km	M: 3.2
129	24 22 22	長野県南部 長野県 1 木曽町三岳* =0.9	35° 52.1' N	137° 35.5' E	7km	M: 2.5
130	25 07 31	熊本県熊本地方 熊本県 4 嘉島町上島* =4.4 益城町惣領=4.1 御船町御船* =3.7 3 熊本西区春日=3.3 熊本南市区城南町* =3.0 熊本南区富合町* =3.0 熊本美里町永富* =2.9 宇城市松橋町=2.9 熊本東区佐土原* =2.9 宇城市豊野町* =2.8 西原村小森* =2.7 宇城市不知火町* =2.7 宇土市浦田町* =2.7 合志市竹迫* =2.7 菊池市旭志* =2.5 熊本中央区大江* =2.5 2 菊陽町久保田* =2.4 熊本北区植木町* =2.4 熊本美里町馬場* =2.3 和水町江田* =2.2 甲佐町豊内* =2.0 山都町大平* =2.0 合志市御代志* =1.9 熊本高森町高森* =1.9 玉名市横島町* =1.9 上天草市松島町* =1.9 山都町今* =1.8 上天草市大矢野町=1.7 氷川町島地* =1.7 天草市五和町* =1.7 八代市千丁町* =1.7 大津町引水* =1.6 八代市鏡町* =1.6 南阿蘇村吉田* =1.6 八代市松江城町* =1.5 1 南阿蘇村河陽* =1.4 玉名市岱明町* =1.4 菊池市隈府* =1.3 菊池市泗水町* =1.3 玉東町木葉* =1.3 上天草市姫戸町* =1.3 八代市平山新町=1.3 菊池市七城町* =1.2 南阿蘇村河陰* =1.2 宇城市三角町* =1.2 玉名市中尾* =1.2 山鹿市鹿央町* =1.2 八代市坂本町* =1.1 南阿蘇村中松=1.0 氷川町宮原* =1.0 芦北町芦北=1.0 山鹿市老人福祉センター* =0.9 山鹿市鹿本町* =0.9 芦北町田浦町* =0.7 八代市泉支所* =0.7 人吉市蟹作町* =0.6 水俣市牧ノ内* =0.6 八代市泉町=0.5 長崎県 2 南島原市深江町* =1.5 雲仙市小浜町雲仙=1.5 1 南島原市北有馬町* =1.3 諫早市多良見町* =1.3 島原市有明町* =1.2 雲仙市国見町=1.2 南島原市加津佐町* =1.1 雲仙市小浜町北本町* =1.0 南島原市布津町* =0.9 南島原市口之津町* =0.9 南島原市西有家町* =0.8 大村市玖島* =0.8 雲仙市雲仙出張所* =0.7 雲仙市瑞穂町* =0.7 島原市下折橋町* =0.6 宮崎県 2 宮崎美郷町田代* =1.9 椎葉村下福良* =1.7 高千穂町三田井=1.6 1 延岡市北川町川内名白石* =1.4 延岡市北方町卯* =1.4 高千穂町寺迫* =1.3 椎葉村総合運動公園* =1.0 川南町川南* =0.8 宮崎都農町役場* =0.8 小林市真方=0.8 延岡市北方町末=0.7 日向市東郷町山陰* =0.5 山口県 1 下関市竹崎=0.5 福岡県 1 みやま市高田町* =1.2 柳川市本町* =1.2 みやこ町犀川本庄* =0.9 久留米市津福本町=0.9 大牟田市昭和町* =0.7 大牟田市笹林=0.6 佐賀県 1 佐賀市川副* =1.0 上峰町坊所* =0.8 白石町有明* =0.8 佐賀市東与賀* =0.7 佐賀市久保田* =0.6 佐賀市駅前中央=0.6 みやき町三根* =0.6 嬉野市塩田* =0.6 嬉野市下宿乙* =0.5 大分県 1 津久見市宮本町* =1.2 日田市前津江町* =1.0 津久見市立花町* =0.7 佐伯市蒲江蒲江浦=0.7 鹿児島県 1 阿久根市鶴見町* =0.7	32° 43.3' N	130° 47.8' E	5km	M: 4.4
131	25 10 02	島根県東部 島根県 1 飯南町頓原* =0.9	35° 06.8' N	132° 45.8' E	5km	M: 2.3
132	25 16 30	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校* =0.6	36° 48.0' N	140° 32.7' E	9km	M: 2.8
133	26 02 46	福島県沖 宮城県 2 山元町浅生原* =1.7 岩沼市桜* =1.6 1 角田市角田* =1.4 丸森町上滝=1.3 石巻市桃生町* =1.3 宮城川崎町前川* =1.2 亘理町下小路* =1.1 名取市増田* =1.1 大崎市田尻* =0.9 柴田町船岡=0.9 塩竈市旭町* =0.9 石巻市大街道南* =0.8 登米市中田町=0.8 女川町女川浜* =0.8 仙台空港=0.8 東松島市小野* =0.7 大崎市松山* =0.7 登米市東和町* =0.6 登米市迫町* =0.6 気仙沼市赤岩=0.6 大崎市鹿島台* =0.6 気仙沼市笹が陣* =0.6 石巻市鮎川浜* =0.5 南三陸町志津川=0.5 白石市亘理町* =0.5 大崎市古川三日町=0.5 福島県 2 相馬市中村* =2.4 双葉町両竹* =2.2 浪江町幾世橋=2.2 新地町谷地小屋* =2.2 南相馬市原町区高見町* =2.2 南相馬市原町区三島町=2.1 葛尾村落合落合* =2.0 川内村下川内=1.9 檜葉町北田* =1.8 富岡町本岡* =1.8 田村市船引町=1.8 南相馬市原町区本町* =1.8 川内村上川内早渡* =1.6 飯館村伊丹沢* =1.6 田村市滝根町* =1.5 浅川町浅川* =1.5 南相馬市鹿島区栴蓑=1.5 川俣町五百田* =1.5 大熊町野上* =1.5 南相馬市小高区* =1.5 1 田村市都路町* =1.4 いわき市三和町=1.4 福島広野町下北迫大谷地原* =1.4 本宮市白岩* =1.3 田村市常葉町* =1.3 泉崎村泉崎* =1.2 いわき市平梅本* =1.2 福島伊達市霊山町* =1.2 南相馬市鹿島区西町* =1.2 二本松市油井* =1.1 福島伊達市月館町* =1.1 天栄村下松本* =1.1 いわき市平四ツ波* =1.1 田村市大越町* =1.1 福島市飯野町* =1.1 二本松市針道* =1.0 国見町藤田* =1.0 川内村上川内小山平* =1.0 須賀川市岩瀬支所* =1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 石川町長久保* =0.9 玉川村小高* =0.9 白河市新白河* =0.9 福島伊達市梁川町* =0.9 郡山市湖南町* =0.8 本宮市本宮* =0.8 小野町中通* =0.8 小野町小野新町* =0.8 福島広野町下北迫苗代替* =0.8 鏡石町不時沼* =0.8 郡山市朝日=0.8 福島伊達市保原町* =0.7	37° 32.0' N	141° 23.2' E	51km	M: 4.5

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		桑折町東大隅*=0.7 二本松市金色*=0.7 福島伊達市前川原*=0.7 いわき市小名浜=0.6 大玉村南小屋=0.6 いわき市錦町*=0.6 須賀川市八幡山*=0.6 福島市桜木町*=0.6 福島市五老内町*=0.6 福島市松木町=0.5 大玉村玉井*=0.5 岩手県 1 一関市室根町*=0.8 一関市藤沢町*=0.7 一関市千厩町*=0.6 住田町世田米*=0.5 一関市東山町*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.9 笠間市石井*=0.8 北茨城市磯原町*=0.7 水戸市内原町*=0.6 東海村東海*=0.6 日立市役所*=0.5 城里町小勝*=0.5				
134	26 04 50	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*=0.5	34° 02.3' N	135° 14.4' E	8km	M: 2.2
135	26 08 03	橘湾 長崎県 1 長崎市元町*=0.6	32° 37.0' N	130° 01.7' E	16km	M: 2.4
136	26 10 07	千葉県南部 千葉県 1 睦沢町下之郷*=0.7 勝浦市新官*=0.7	35° 13.9' N	140° 14.3' E	20km	M: 2.6
137	26 11 10	熊本県阿蘇地方 熊本県 2 阿蘇市一の宮町*=1.9 南阿蘇村中松=1.8 阿蘇市内牧*=1.6 西原村小森*=1.6 1 菊池市旭志*=1.3 阿蘇市波野*=1.1 大津町引水*=1.1 産山村山鹿*=1.0 大分県 1 由布市庄内町*=0.5	32° 56.4' N	131° 01.8' E	8km	M: 3.2
138	26 14 36	渡島地方東部 北海道 2 函館市川汲町*=1.5 1 七飯町本町*=0.5	41° 55.4' N	140° 56.7' E	10km	M: 2.3
139	26 20 35	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.8	36° 57.0' N	141° 03.4' E	51km	M: 3.2
140	27 06 31	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木*=1.2	34° 02.1' N	135° 15.2' E	4km	M: 1.9
141	27 13 54	択捉島付近 北海道 1 根室市落石東*=1.1 別海町常盤=0.8 標津町北2条*=0.5	44° 58.0' N	148° 08.4' E	154km	M: 4.8
142	27 15 24	岩手県沿岸北部 青森県 2 階上町道仏*=2.3 青森南部町苫米地*=1.8 八戸市内丸*=1.6 1 八戸市南郷*=1.4 八戸市湊町=1.2 青森南部町平*=1.1 三戸町在府小路町*=1.0 五戸町古館=0.9 八戸市島守=0.8 東北町上北南*=0.7 三沢市桜町*=0.6 十和田市西二番町*=0.5 岩手県 2 遠野市青笹町*=2.0 普代村銅屋*=1.9 盛岡市蕨川*=1.8 葛巻町葛巻元木=1.8 八幡平市田頭*=1.7 宮古市区界*=1.7 盛岡市渋民*=1.6 野田村野田*=1.5 久慈市枝成沢=1.5 1 宮古市川井*=1.4 久慈市川崎町=1.4 花巻市大迫総合支所*=1.4 花巻市東和町*=1.4 遠野市宮守町*=1.4 岩手洋野町種市=1.2 二戸市浄法寺町*=1.2 葛巻町消防分署*=1.2 葛巻町役場*=1.2 一戸町南善寺*=1.2 矢巾町南矢幅*=1.2 紫波町紫波中央駅前*=1.2 花巻市大迫町=1.2 宮古市茂市*=1.2 田野畑村田野畑=1.2 一関市千厩町*=1.2 軽米町軽米*=1.1 宮古市田老*=1.1 岩手洋野町大野*=1.1 滝沢市鶴飼*=1.0 八幡平市大更=1.0 八幡平市叭田*=1.0 盛岡市山王町=1.0 岩泉町大川*=1.0 一関市室根町*=1.0 花巻市材木町*=0.9 岩手町五日市*=0.9 北上市柳原町=0.9 九戸村伊保内*=0.9 久慈市長内町*=0.9 北上市相去町*=0.8 花巻市石鳥谷町*=0.8 盛岡市馬場町*=0.8 田野畑村役場*=0.7 岩泉町岩泉*=0.7 住田町世田米*=0.7 釜石市只越町=0.6 山田町大沢*=0.5 大船渡市大船渡町=0.5 大船渡市猪川町=0.5 久慈市山形町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5 秋田県 1 大仙市高梨*=0.7	39° 45.5' N	141° 50.4' E	59km	M: 4.1
143	28 02 57	千葉県東方沖 千葉県 2 長南町長南*=2.0 勝浦市新官*=1.5 1 勝浦市墨名=1.4 市原市姉崎*=1.3 大多喜町大多喜*=1.3 大網白里市大網*=1.2 いすみ市国府台*=1.2 君津市久留里市場*=1.1 東金市日吉台*=1.0 一宮町一宮=1.0 山武市松尾町富士見台=0.9 館山市長須賀=0.9 館山市北条*=0.9 山武市埴谷*=0.9 鴨川市横渚*=0.9 東金市東新宿=0.9 千葉中央区都町*=0.9 千葉若葉区小倉台*=0.9 山武市殿台*=0.8 鴨川市八色=0.7 山武市蓮沼二*=0.7 東金市東岩崎*=0.7 千葉緑区おゆみ野*=0.7 千葉美浜区ひび野=0.7 多古町多古=0.6 芝山町小池*=0.6 千葉中央区中央港=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.7 大和市下鶴間*=0.6 湯河原町中央=0.5	35° 08.3' N	140° 34.7' E	59km	M: 4.2
144	28 04 52	大阪府北部 京都府 1 大山崎町円明寺*=1.3 八幡市八幡*=1.1 久御山町田井*=1.0 宇治市宇治琵琶=0.9 京都伏見区向島*=0.5 大阪府 1 島本町若山台*=1.2 枚方市大垣内*=1.1 高槻市立第2中学校*=0.8 豊能町余野*=0.7 交野市私部*=0.6 高槻市消防本部*=0.6 箕面市栗生外院*=0.6 茨木市東中条町*=0.5 高槻市桃園町=0.5	34° 52.2' N	135° 35.4' E	11km	M: 3.0

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
145	28 14 09	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁	34° 15.4' N	135° 14.1' E	6km	M: 2.4
146	28 14 57	青森県下北地方 北海道 1 函館市泊町 青森県 1 野辺地町野辺地	41° 15.7' N	141° 16.6' E	94km	M: 3.6
147	28 23 20	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町長南	35° 11.7' N	140° 32.8' E	57km	M: 3.4
148	29 06 49	浦河沖 北海道 1 安平町追分柏が丘	41° 55.8' N	142° 20.4' E	70km	M: 3.5
149	29 09 58	栃木県北部 福島県 福島県 栃木県 埼玉県 東京都 新潟県 茨城県 群馬県 千葉県 神奈川県	36° 57.2' N	139° 40.5' E	7km	M: 4.5
150	29 15 21	茨城県南部 茨城県	36° 07.2' N	139° 50.8' E	49km	M: 3.6

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
151	29 15 33	坂東市役所*0.9 桜川市真壁*0.8 笠間市下郷*0.8 稲敷市江戸崎甲*0.8 小美玉市小川*0.7 つくば市小荳*0.7 五霞町小福田*0.7 坂東市山*0.7 城里町石塚*0.6 石岡市柿岡*0.6 結城市結城*0.6 下妻市本城町*0.6 下妻市鬼怒*0.6 日立市助川小学校*0.6 水戸市金町*0.6 境町旭町*0.6 小美玉市上玉里*0.6 つくば市天王台*0.5 土浦市藤沢*0.5	36° 36.2' N	140° 58.1' E	48km	M: 4.0
		栃木県 2 下野市笹原*1.7 佐野市高砂町*1.5 1 宇都宮市明保野町*1.4 佐野市中町*1.3 下野市田中*1.0 宇都宮市中里町*1.0 栃木市西方町本城*1.0 佐野市葛生東*0.9 栃木市岩舟町静*0.9 栃木市旭町*0.8 鹿沼市晃望台*0.8 小山市中央町*0.8 真岡市石島*0.8 上三川町しらさぎ*0.8 野木町丸林*0.7 日光市今市本町*0.7 日光市藤原庁舎*0.7 佐野市田沼町*0.7 足利市大正町*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.7 芳賀町祖母井*0.7 宇都宮市塙田*0.5 壬生町通町*0.5 宇都宮市旭*0.5 日光市鬼怒川温泉大原*0.5				
		群馬県 1 大泉町日の出*1.1 桐生市元宿町*0.9 館林市美園町*0.8 邑楽町中野*0.7 板倉町板倉*0.6 桐生市新里町*0.5				
		埼玉県 1 久喜市下早見*1.4 加須市騎西*1.2 加須市大利根*1.1 熊谷市江南*1.0 東松山市松葉町*0.9 宮代町笠原*0.8 加須市北川辺*0.7 春日部市粕壁*0.7 北本市本町*0.7 久喜市青葉*0.6 埼玉美里町木部*0.6 滑川町福田*0.5 熊谷市宮町*0.5 春日部市金崎*0.5				
		千葉県 1 野田市鶴奉*0.6				
		茨城県沖 茨城県 3 日立市助川小学校*2.5 2 高萩市安良川*2.4 東海村東海*2.2 高萩市本町*2.1 日立市十王町友部*1.9 笠間市笠間*1.7 笠間市石井*1.6 常陸太田市町屋町*1.6 ひたちなか市南神敷台*1.6 北茨城市中郷町*1.6 那珂市瓜連*1.5 桜川市岩瀬*1.5 日立市役所*1.5				
		1 北茨城市磯原町*1.4 大子町池田*1.4 常陸大宮市北町*1.4 常陸大宮市上小瀬*1.4 水戸市内原町*1.3 常陸太田市高柿町*1.3 笠間市中央*1.1 城里町石塚*1.1 ひたちなか市東石川*1.0 常陸太田市金井町*1.0 城里町小勝*1.0 小美玉市堅倉*1.0 土浦市常名*1.0 水戸市金町*1.0 常陸大宮市野口*0.9 常陸大宮市山方*0.9 常陸太田市町田町*0.8 那珂市福田*0.8 筑西市門井*0.8 茨城町小堤*0.8 ひたちなか市山ノ上町*0.8 大洗町磯浜町*0.7 桜川市羽田*0.7 鉾田市汲上*0.6 小美玉市小川*0.6 常陸大宮市中富町*0.6 城里町阿波山*0.6 鉾田市造谷*0.6 鉾田市鉾田*0.5 石岡市柿岡*0.5 常陸大宮市高部*0.5				
		栃木県 2 真岡市石島*1.6 1 市貝町市塙*1.1 那須烏山市中央*1.0 大田原市湯津上*0.8 真岡市田町*0.8 益子町益子*0.8 茂木町茂木*0.8 栃木那珂川町馬頭*0.6				
		福島県 1 矢祭町東館*1.3 矢祭町戸塚*1.2 泉崎村泉崎*1.2 玉川村小高*1.2 浅川町浅川*1.1 白河市東*1.1 白河市新白河*0.9 天栄村下松本*0.9 いわき市錦町*0.7 鏡石町不時沼*0.7 棚倉町棚倉中居野*0.7 郡山市湖南町*0.7 須賀川市八幡山*0.6 いわき市平四ツ波*0.6 古殿町松川横川*0.5				
		群馬県 1 渋川市赤城町*0.6				
152	29 18 43	大阪府北部 大阪府 2 枚方市大垣内*1.6 1 島本町若山台*1.3 交野市私部*1.1 寝屋川市役所*1.0 高槻市桃園町*0.8 大阪東淀川区北江口*0.7 高槻市立第2中学校*0.7 高槻市消防本部*0.7 箕面市栗生外院*0.6 四條畷市中野*0.5 吹田市内本町*0.5 京都府 1 大山崎町円明寺*0.9 八幡市八幡*0.8 久御山町田井*0.7 奈良県 1 桜井市初瀬*0.9 生駒市東新町*0.5	34° 51.2' N	135° 35.6' E	10km	M: 3.1
153	29 20 21	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校*1.3 日立市十王町友部*1.0 常陸太田市町屋町*0.8 日立市役所*0.5 常陸大宮市山方*0.5 常陸大宮市上小瀬*0.5	36° 42.9' N	140° 36.6' E	7km	M: 3.1
154	30 16 49	大阪府北部 京都府 大阪府 1 大山崎町円明寺*0.5 1 島本町若山台*0.7	34° 52.1' N	135° 37.5' E	11km	M: 2.3
155	30 16 53	福島県沖 福島県 1 田村市都路町*1.0 浪江町幾世橋*0.6	37° 27.8' N	141° 28.3' E	41km	M: 3.7
156	30 18 31	伊勢湾 愛知県 三重県 1 愛知美浜町河和*0.7 中部国際空港*0.5 1 鈴鹿市西条*0.6	34° 47.0' N	136° 48.4' E	13km	M: 2.9
157	31 14 53	長野県北部 長野県 3 須坂市須坂*2.9 2 長野市豊野町豊野*2.4 上田市真田町長*2.2 坂城町坂城*2.0 千曲市上山田温泉*1.9 千曲市杭瀬下*1.9 山ノ内町消防署*1.9 上田市上田古戦場公園*1.7 千曲市戸倉*1.7 立科町芦田*1.7 信濃町柏原東裏*1.6 上田市役所*1.6 飯綱町芋川*1.6 筑北村坂井*1.6 小川村高府*1.5 上田市上武石*1.5 飯綱町牟礼*1.5 長野市箱清水*1.5 青木村田沢青木*1.5 小布施町小布施*1.5 1 長野市鶴賀緑町*1.4 松本市丸の内*1.4 東御市県*1.4 山ノ内町平穏*1.3 中野市豊津*1.2 東御市大日向*1.2 長野市中条*1.1 上田市上丸子*1.1 小諸市文化センター*1.1 麻績村麻*1.1 長野市松代*1.1 長野市信州新町新町*1.1 筑北村西条*1.1 長野市戸隠*0.9	36° 37.1' N	138° 22.0' E	0km	M: 3.7

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐久市甲＊=0.9 軽井沢町長倉＊=0.9 佐久市望月＊=0.8 飯山市飯山福寿町＊=0.8 茅野市葛井公園＊=0.7 諏訪市湖岸通り=0.6 安曇野市穂高支所=0.6 安曇野市明科＊=0.6 松本市美須々＊=0.6 筑北村坂北＊=0.6 小海町豊里＊=0.5 松本市沢村=0.5 群馬県 2 中之条町日影=1.6 1 長野原町長野原＊=1.2 嬭恋村大前＊=0.9 草津町草津＊=0.7 安中市松井田町＊=0.5				
158	31 15 15	長野県北部 長野県 1 長野高山村高井＊=0.7	36° 36.7' N	138° 21.7' E	2km	M: 2.0
159	31 17 42	福島県沖 宮城県 4 大崎市田尻＊=4.1 大崎市松山＊=3.7 大崎市古川三日町=3.7 東松島市矢本＊=3.6 涌谷町新町裏=3.6 宮城加美町中新田＊=3.6 岩沼市桜＊=3.5 色麻町四竈＊=3.5 3 宮城美里町木間塚＊=3.4 登米市米山町＊=3.3 大崎市古川北町＊=3.3 大崎市古川北町＊=3.3 亙理町下小路＊=3.3 山元町浅生原＊=3.3 石巻市前谷地＊=3.3 石巻市桃生町＊=3.3 大崎市三本木＊=3.2 名取市増田＊=3.2 蔵王町円田＊=3.2 宮城川崎町前川＊=3.2 宮城美里町北浦＊=3.2 登米市迫町＊=3.2 栗原市築館＊=3.1 角田市角田＊=3.1 塩竈市旭町＊=3.1 仙台青葉区作並＊=3.1 松島町高城=3.0 石巻市大街道南＊=3.0 栗原市高清水＊=3.0 仙台太白区山田＊=2.9 東松島市小野＊=2.9 大崎市鹿島台＊=2.9 大衡村大衡＊=2.9 登米市中田町=2.8 仙台泉区将監＊=2.8 大河原町新南＊=2.8 栗原市瀬峰＊=2.8 丸森町鳥屋＊=2.8 仙台空港=2.8 栗原市若柳＊=2.8 南三陸町志津川=2.8 利府町利府＊=2.8 仙台青葉区雨宮＊=2.8 仙台若林区遠見塚＊=2.8 白石市亙理町＊=2.7 村田町村田＊=2.7 仙台宮城野区苫竹＊=2.7 栗原市一迫＊=2.7 栗原市志波姫＊=2.7 大郷町粕川＊=2.7 石巻市相野谷＊=2.6 七ヶ宿町関＊=2.6 仙台青葉区落合＊=2.6 仙台宮城野区五輪=2.6 登米市豊里町＊=2.6 登米市登米町＊=2.5 大崎市岩出山＊=2.5 仙台青葉区大倉=2.5 富谷市富谷＊=2.5 丸森町上滝=2.5 宮城加美町小野田＊=2.5 2 栗原市金成＊=2.4 柴田町船岡=2.4 石巻市泉町=2.4 七ヶ浜町東宮浜＊=2.4 大和町吉岡＊=2.4 石巻市北上町＊=2.3 宮城加美町宮崎＊=2.3 登米市東和町＊=2.2 登米市石越町＊=2.2 大崎市鳴子＊=2.2 栗原市栗駒=2.2 栗原市花山＊=2.2 気仙沼市笹が陣＊=2.1 気仙沼市赤岩=2.1 女川町女川浜＊=2.0 気仙沼市唐桑町＊=2.0 栗原市鶯沢＊=1.9 多賀城市中央＊=1.9 登米市津山町＊=1.9 1 気仙沼市本吉町津谷＊=1.4 南三陸町歌津＊=1.4 石巻市大瓜=1.4 石巻市鮎川浜＊=1.4 石巻市雄勝町＊=1.3 気仙沼市本吉町西川内=1.1 4 相馬市中村＊=4.1 南相馬市鹿島区西町＊=3.8 天栄村下松本＊=3.5 双葉町両竹＊=3.5 新地町谷地小屋＊=3.5 3 郡山市湖南町＊=3.3 白河市新白河＊=3.3 檜葉町北田＊=3.3 白河市東＊=3.2 国見町藤田＊=3.2 玉川村小高＊=3.2 古殿町松川新桑原＊=3.2 川内村上川内早渡＊=3.2 西会津町登世島＊=3.2 会津美里町新鶴庁舎＊=3.2 鏡石町不時沼＊=3.1 棚倉町棚倉中居野=3.1 田村市大越町＊=3.1 福島広野町下北迫大谷地原＊=3.1 浪江町幾世橋=3.1 須賀川市岩瀬支所＊=3.1 湯川村清水田＊=3.1 南相馬市鹿島区柵窪=3.0 南相馬市原町区高見町＊=3.0 泉崎村泉崎＊=3.0 浅川町浅川＊=2.9 白河市郭内=2.9 田村市滝根町＊=2.9 いわき市三和町=2.9 白河市表郷＊=2.9 桑折町東大隅＊=2.9 飯館村伊丹沢＊=2.9 大玉村南小屋=2.9 南相馬市小高区＊=2.9 猪苗代町千代田＊=2.9 会津坂下町市中三番甲＊=2.9 柳津町柳津＊=2.9 福島伊達市霊山町＊=2.8 白河市大信＊=2.8 富岡町本岡＊=2.8 川内村上川内小山平＊=2.8 大熊町野上＊=2.8 南相馬市原町区三島町=2.8 中島村滑津＊=2.8 喜多方市高郷町＊=2.8 喜多方市塩川町＊=2.8 磐梯町磐梯＊=2.8 田村市都路町＊=2.8 川俣町五百田＊=2.7 郡山市開成＊=2.7 南相馬市原町区本町＊=2.7 会津若松市東栄町＊=2.7 西会津町野沢=2.7 福島伊達市梁川町＊=2.7 須賀川市八幡山＊=2.7 本宮市本宮＊=2.7 二本松市油井＊=2.7 福島広野町下北迫苗代替＊=2.7 本宮市白岩＊=2.6 いわき市小名浜=2.6 会津若松市北会津町＊=2.6 小野町小野新町＊=2.6 田村市船引町=2.6 郡山市朝日=2.6 猪苗代町城南=2.6 西郷村熊倉＊=2.6 葛尾村落合落合＊=2.6 福島伊達市保原町＊=2.6 二本松市金色＊=2.6 会津若松市材木町=2.5 いわき市平梅本＊=2.5 小野町中通＊=2.5 田村市常葉町＊=2.5 福島市五老内町＊=2.5 福島伊達市前川原＊=2.5 須賀川市長沼支所＊=2.5 矢吹町一本木＊=2.5 須賀川市八幡町＊=2.5 2 福島市松木町=2.4 白河市八幡小路＊=2.4 二本松市針道＊=2.4 石川町長久保＊=2.4 平田村永田＊=2.4 いわき市平四ツ波＊=2.4 いわき市錦町＊=2.4 川内村下川内=2.4 古殿町松川横川=2.3 喜多方市山都町＊=2.3 福島市桜木町＊=2.3 大玉村玉井＊=2.3 下郷町高陸＊=2.2 下郷町塩生＊=2.2 会津美里町本郷庁舎＊=2.2 福島伊達市月館町＊=2.1 天栄村湯本支所＊=2.1 喜多方市御清水＊=2.1 矢祭町東館＊=2.1 会津美里町高田庁舎＊=2.1 棚倉町棚倉館ヶ丘＊=2.0 矢祭町戸塚＊=2.0 塙町塙＊=2.0 福島市飯野町＊=2.0 三春町大町＊=1.9 会津若松市河東町＊=1.9 鮫川村赤坂中野＊=1.8 南会津町田島=1.6 喜多方市松山町＊=1.6 北塩原村北山＊=1.6 只見町只見＊=1.5 福島昭和村下中津川＊=1.5 1 三島町宮下＊=1.4 南会津町滝原＊=1.4 二本松市小浜＊=1.3 喜多方市熱塩加納町＊=1.3 只見町黒谷＊=1.3 柳津町大成沢=1.3 南会津町界＊=1.3 福島金山町川口＊=1.0 3 一関市花泉町＊=2.7 一関市千厩町＊=2.7 矢巾町南矢幅＊=2.5 2 平泉町平泉＊=2.4 奥州市前沢＊=2.3 奥州市衣川＊=2.3 一関市室根町＊=2.3 北上市相去町＊=2.2 盛岡市薮川＊=2.2 一関市藤沢＊=2.1 野田村野田＊=2.1 奥州市胆沢＊=2.0 花巻市東和町＊=2.0 釜石市中妻町＊=2.0 普代村銅屋＊=2.0 一関市竹山町＊=1.9 奥州市江刺＊=1.9 北上市柳原町=1.9 花巻市材木町＊=1.9 金ヶ崎町西根＊=1.9 花巻市石鳥谷町＊=1.8 遠野市青笹町＊=1.8 奥州市水沢佐倉河＊=1.8 大船渡市大船渡町=1.8 宮古市田老＊=1.7 住田町世田米＊=1.7 一関市東山町＊=1.7 奥州市水沢大鐘町=1.7 盛岡市山王町=1.7 紫波町紫波中央駅前＊=1.6 一戸町高善寺＊=1.6 滝沢市鶴飼＊=1.5 1 久慈市川崎町=1.4 陸前高田市高田町＊=1.4 盛岡市洪民＊=1.4 八幡平市田頭＊=1.4 花巻市大迫町=1.4 一関市川崎町＊=1.4 一関市大東町=1.3 山田町大沢＊=1.3 宮古市五月町＊=1.3 久慈市枝成沢=1.3 遠野市宮守町＊=1.3 八幡平市野駄＊=1.2 久慈市長内町＊=1.2 山田町八幡町=1.2 二戸市浄法寺町＊=1.2 岩手町五日市＊=1.1 八幡平市大更=1.1 宮古市川井＊=1.1 雫石町千刈田=1.1	37° 09.3' N	141° 13.7' E	21km	M: 5.8
		福島県				
		岩手県				

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		山形県	宮古市区界※=1.0 岩手洋野町種子=1.0 宮古市鉏ヶ崎=0.9 大船渡市盛町※=0.9 花巻市大迫総合支所※=0.9 釜石市只越町=0.9 二戸市福岡=0.8 西和賀町沢内川舟※=0.8 大船渡市猪川町=0.8 盛岡市馬場町※=0.8 西和賀町川尻※=0.7 雫石町西根上駒木野=0.7 宮古市長沢=0.7 葛巻町消防分署※=0.5 田野畑村田野畑=0.5 葛巻町葛巻元木=0.5 3 上山市河崎※=3.3 米沢市林泉寺※=3.2 米沢市アルカディア=3.1 中山町長崎※=3.0 天童市老野森※=2.9 東根市中央※=2.9 西川町大井沢※=2.9 山形朝日町宿宮※=2.9 村山市中央※=2.8 米沢市駅前=2.7 米沢市金池※=2.7 南陽市三間通※=2.7 高畠町高畠※=2.7 山辺町緑ヶ丘※=2.7 大石町緑町※=2.6 山形川西町上小松※=2.5			
		栃木県	2 河北町谷地=2.4 河北町役場※=2.3 尾花沢市若葉町※=2.3 舟形町舟形※=2.2 大蔵村肘折※=2.2 寒河江市中央※=2.1 白鷹町黒鴨=2.0 山形市薬師町※=2.0 大江町左沢※=1.9 最上町向町※=1.9 大蔵村清水※=1.8 寒河江市西根※=1.8 酒田市飛鳥※=1.8 遊佐町舞鶴※=1.8 新庄市東谷地田町=1.8 長井市ままの上※=1.8 山形小国町岩井沢=1.8 山形小国町小国小坂町※=1.8 新庄市沖の町※=1.7 鶴岡市藤島※=1.7 山形市緑町=1.7 庄内町狩川※=1.7 飯豊町椿※=1.7 西川町海味※=1.6 酒田市山田※=1.6 三川町横山※=1.6 鮭川村佐渡※=1.6 鶴岡市温海川=1.6 新庄市堀端町※=1.6 酒田市亀ヶ崎=1.6 遊佐町遊佐=1.5 山形市旅籠町※=1.5 真室川町新町※=1.5 庄内町余目※=1.5 鶴岡市道田町※=1.5 1 戸沢村古口※=1.4 酒田市本町※=1.2 飯豊町上原※=1.2 鶴岡市馬場町=1.2 鶴岡市上山添※=1.1 鶴岡市下名川※=0.9 鶴岡市羽黒町※=0.9 酒田市観音寺※=0.8 山形金山町金山※=0.8 山形金山町中田=0.6 3 大田原市湯津上※=2.5 那須町寺子※=2.5			
		新潟県	2 那須塩原市塩原庁舎※=2.4 那須塩原市あたご町※=2.3 那須塩原市中塩原※=2.2 大田原市本町※=2.1 宇都宮市明保野町=2.1 那須塩原市共懇社※=2.0 高根沢町石末※=2.0 日光市今市本町※=2.0 矢板市本町※=1.9 日光市鬼怒川温泉大原※=1.9 鹿沼市晃望台※=1.8 市貝町市埜※=1.8 栃木那珂川町小川※=1.8 那須塩原市鍋掛※=1.8 日光市瀬川=1.7 日光市芹沼※=1.7 宇都宮市中岡本町※=1.7 那須烏山市中央=1.7 塩谷町玉生※=1.6 真岡市石島※=1.6 芳賀町祖母井※=1.6 那須塩原市藁沼=1.5 宇都宮市中里町※=1.5 益子町益子=1.5 大田原市黒羽田町=1.5 1 鹿沼市今宮町※=1.4 真岡市田町※=1.4 真岡市荒町※=1.4 栃木さくら市喜連川※=1.4 栃木那珂川町馬頭※=1.4 那須烏山市大金※=1.3 下野市田中※=1.3 鹿沼市口栗野※=1.2 茂木町茂木※=1.2 日光市藤原庁舎※=1.1 栃木市岩舟町静※=1.1 佐野市葛生東※=1.1 栃木さくら市氏家※=1.1 下野市石橋※=1.0 下野市笹原※=1.0 日光市日蔭※=0.9 日光市御幸町※=0.9 那須烏山市役所※=0.8 日光市足尾町中才※=0.8 宇都宮市旭※=0.8 足利市大正町※=0.8 佐野市中町※=0.7 日光市湯元※=0.7 宇都宮市塙田※=0.7 栃木市旭町=0.7 茂木町北高岡天矢場※=0.6 日光市中宮祠=0.6 3 阿賀町鹿瀬中学校※=2.7 五泉市太田※=2.5			
		青森県	2 阿賀野市岡山町※=2.4 阿賀町鹿瀬支所※=2.4 阿賀町津川※=2.4 阿賀町豊川※=2.3 新潟秋葉区新津東町※=2.3 加茂市幸町※=2.2 新発田市住田※=2.2 阿賀野市かびやき※=2.2 見附市昭和町※=2.1 新発田市中央町※=2.1 村上市岩船駅前※=2.1 新発田市本町※=2.0 阿賀野市姥ヶ橋※=2.0 燕市秋葉町※=1.9 阿賀野市山崎※=1.9 新潟南区白根※=1.9 田上町原ヶ崎新田※=1.8 五泉市村松乙=1.8 阿賀町白崎※=1.8 新潟秋葉区程島=1.8 新潟西区寺尾東※=1.8 長岡市小島谷※=1.7 新発田市乙次※=1.7 聖籠町諏訪山※=1.7 弥彦村矢作※=1.7 三条市新堀※=1.6 村上市山口※=1.6 五泉市愛宕甲※=1.6 関川村下関※=1.6 新発田市真野原外※=1.5 胎内市新和町=1.5 新潟江南区泉町※=1.5 長岡市中之島※=1.5 1 長岡市上岩井※=1.4 三条市西裏館※=1.4 村上市府屋※=1.4 燕市吉田西太田※=1.4 魚沼市須原※=1.3 南魚沼市六日町=1.3 村上市片町※=1.3 燕市分水桜町※=1.3 胎内市大川町※=1.3 胎内市黒川※=1.3 新潟空港=1.3 新潟中央区美咲町=1.3 長岡市山古志竹沢※=1.2 長岡市寺泊敦ヶ曽根※=1.2 刈羽村割町新田※=1.2 村上市岩沢※=1.2 新潟北区葛塚※=1.2 新潟東区下木戸※=1.2 長岡市与板町与板※=1.1 出雲崎町米田=1.1 新潟西蒲区役所=1.1 三上市荻堀※=1.0 村上市三之町※=1.0 阿賀野市畑江=1.0 新潟中央区新潟市役所※=1.0 出雲崎町川西※=0.8 新潟西蒲区巻甲※=0.8 長岡市小国町法坂※=0.7 南魚沼市塩沢庁舎※=0.7 村上市塩町=0.7 村上市寒川※=0.7 長岡市寺泊一里塚※=0.6 長岡市浦※=0.6 長岡市東川口※=0.6			
		秋田県	2 八戸市南郷※=1.8 陸上町道仏※=1.8 おいらせ町中下田※=1.6 六戸町大落瀬※=1.5 五戸町古館=1.5 1 おいらせ町上明堂※=1.3 東北町上北南※=1.3 青森南部町平※=1.2 七戸町森ノ上※=1.2 七戸町七戸※=1.2 青森南部町苦米地※=1.2 十和田市西十二番町※=1.1 十和田市西二番町※=1.1 五戸町倉石中市※=1.0 八戸市内丸※=1.0 田子町田子※=0.9 平川市猿賀※=0.9 三戸町在府小路町※=0.8 三沢市桜町※=0.8 東通村砂子又沢内※=0.6 藤崎町水木※=0.6 2 由利本荘市前郷※=1.6			
		茨城県	1 由利本荘市西目町沼田※=1.4 大仙市高梨※=1.4 大仙市刈和野※=1.3 井川町北川尻※=1.3 秋田市河辺和田※=1.3 にかほ市平沢※=1.2 横手市大雄※=1.2 湯沢市横堀※=1.2 仙北市西木町上桧木内※=1.0 湯沢市沖鶴=1.0 湯沢市川連町※=1.0 三種町豊岡※=1.0 大仙市大曲花園町※=1.0 秋田市雄和新波※=1.0 横手市雄物川町今宿=0.9 秋田市雄和女米木=0.9 羽後町西馬音内※=0.9 由利本荘市島海町伏見※=0.9 由利本荘市岩城内道川※=0.9 由利本荘市矢島町矢島町※=0.9 東成瀬村椿川※=0.8 秋田美郷町土崎※=0.8 横手市中央町※=0.8 秋田市山王=0.8 大仙市南外※=0.7 由利本荘市岩谷町※=0.7 大仙市神宮寺※=0.7 東成瀬村田子内※=0.7 仙北市田沢湖生保内宮ノ後※=0.7 大仙市北長野※=0.7 秋田美郷町六郷東根=0.6 由利本荘市石脇=0.5 仙北市田沢湖生保内上清水※=0.5 2 笠間市石井※=2.4 東海村東海※=2.1 大子町池田※=2.1 高萩市安良川※=2.1 北茨城市中郷町※=2.1 日立市助川小学校※=2.0 日立市十王町友部※=2.0 笠間市笠間※=2.0 常陸太田市大中町※=1.9 常陸太田市金井町※=1.9 高萩市本町※=1.9 北茨城市磯原町※=1.9 笠間市中央※=1.9 筑西市舟生=1.9 那珂市福田※=1.8 桜川市岩瀬※=1.8 桜川市真壁※=1.8 常陸太田市高柿町※=1.8 水戸市内原町※=1.7 日立市役所※=1.7 常陸大宮市山方※=1.7 常陸大宮市上小瀬※=1.7 土浦市常名=1.7 石岡市柿岡=1.7 稲敷市結佐※=1.7 鉾田市汲上※=1.6 ひたちなか市南神敷台※=1.6 常陸大宮市野口※=1.6 那珂市瓜連※=1.6 城里町小勝※=1.6 小美玉市上玉里※=1.6 石岡市八郷※=1.5 茨城鹿嶋市鉢形=1.5			

平成30年7月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		筑西市門井*=1.5 常陸大宮市北町*=1.5 常総市新石下*=1.5 常総市水海道諏訪町*=1.5 水戸市千波町*=1.5 笠間市下郷*=1.5 1 水戸市金町=1.4 ひたちなか市東石川*=1.4 茨城町小堤*=1.4 城里町石塚*=1.4 小美玉市小川*=1.4 小美玉市堅倉*=1.4 土浦市藤沢*=1.4 石岡市若宮*=1.4 茨城鹿嶋市宮中*=1.4 潮来市堀之内=1.4 潮来市辻*=1.4 坂東市山*=1.4 桜川市羽田*=1.4 つくば市天王台*=1.3 稲敷市江戸崎甲*=1.3 かすみがうら市上土田*=1.3 行方市麻生*=1.3 常陸大宮市中富町=1.3 下妻市鬼怒*=1.2 取手市寺田*=1.2 つくば市研究学園*=1.2 美浦村受領*=1.2 常陸太田市町屋町*=1.2 神栖市溝口*=1.2 行方市山田*=1.2 鉾田市鉾田=1.2 行方市玉造*=1.1 取手市井野*=1.1 常陸大宮市高部*=1.1 鉾田市造谷*=1.1 つくば市小基*=1.1 城里町阿波山*=1.1 五霞町小福田*=1.1 稲敷市伊佐津*=1.1 稲敷市須賀津*=1.1 筑西市下中山*=1.1 龍ヶ崎市役所*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 土浦市田中*=1.0 阿見町中央*=1.0 つくばみらい市福田*=1.0 坂東市岩井=1.0 茨城古河市仁連*=1.0 常陸太田市町屋町=1.0 境町旭町*=0.9 茨城古河市下大野*=0.9 坂東市役所*=0.9 結城市結城*=0.9 下妻市本城町*=0.9 ひたちなか市山ノ上町=0.9 稲敷市役所*=0.8 牛久市中央*=0.8 大洗町磯浜町*=0.6 利根町布川=0.5 2 沼田市白沢町*=1.5 渋川市赤城町*=1.5 1 邑楽町中野*=1.3 前橋市粕川町*=1.2 桐生市黒保根町*=1.2 桐生市元宿町*=1.1 伊勢崎市西久保町*=1.1 沼田市西倉内町=1.0 前橋市富士見町*=1.0 渋川市吹屋*=1.0 沼田市下久屋町*=0.9 前橋市堀越町*=0.9 前橋市鼻毛石町*=0.9 高崎市高松町*=0.9 安中市安中*=0.9 みどり市笠懸町*=0.8 沼田市利根町*=0.8 館林市城町*=0.8 渋川市伊香保町*=0.8 千代田町赤岩*=0.8 群馬明和町新里*=0.7 伊勢崎市今泉町*=0.6 伊勢崎市東町*=0.6 館林市美園町*=0.6 吉岡町下野田*=0.6 太田市粕川町*=0.5 桐生市織姫町=0.5 桐生市新里町*=0.5 板倉町板倉=0.5 伊勢崎市境*=0.5 太田市浜町*=0.5 2 香取市役所*=1.6 1 香取市佐原平田=1.4 印西市笠神*=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.2 野田市鶴奉*=1.2 香取市仁良*=1.1 野田市東宝珠花*=1.1 印西市大森*=1.1 成田国際空港=1.0 白井市復*=1.0 神崎町神崎本宿*=1.0 千葉中央区都町*=1.0 千葉美浜区ひび野=0.9 成田市名古屋=0.9 柏市旭町=0.9 八千代市大和田新田*=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 旭市南堀之内*=0.9 多古町多古=0.9 八街市八街*=0.8 栄町安食台*=0.8 東金市日吉台*=0.8 芝山町小池*=0.8 山武市塩谷*=0.8 千葉花見川区花島町*=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.8 山武市松尾町富士見台=0.7 千葉稲毛区園生町*=0.7 成田市松子*=0.7 習志野市鷺沼*=0.7 浦安市日の出=0.7 富里市七栄*=0.7 千葉中央区中央港=0.6 山武市蓮沼ニ*=0.5 1 宮代町笠原*=1.3 加須市大利根*=1.2 春日部市粕壁*=1.2 春日部市金崎*=1.2 春日部市谷原新田*=1.2 久喜市下早見=1.1 久喜市栗橋*=1.1 久喜市青葉*=1.0 久喜市鷺宮*=0.9 幸手市東*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 白岡市千駄野*=0.9 熊谷市大里*=0.8 行田市南河原*=0.8 加須市北川辺*=0.8 さいたま大宮区天沼町*=0.8 さいたま見沼区堀崎*=0.8 行田市本丸*=0.7 さいたま緑区中尾*=0.7 加須市三俣*=0.7 加須市騎西*=0.7 鴻巣市吹上富士見*=0.7 羽生市東*=0.6 鴻巣市中央*=0.6 鴻巣市川里*=0.6 熊谷市妻沼*=0.6 吉川市きよみ野*=0.6 松伏町松伏*=0.6 さいたま北区宮原*=0.6 本庄市児玉町=0.6 東松山市松葉町*=0.6 熊谷市江南*=0.5 吉見町下細谷*=0.5 埼玉美里町木部*=0.5 本庄市本庄*=0.5 川島町下八ツ林*=0.5 1 東京都 1 東京千代田区大手町=0.7 東京渋谷区本町*=0.7 三鷹市野崎*=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.5				

● 付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成29年 (2017年) 8 月～平成30年 (2018年) 7 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成29年 (2017年)											
8 月	136	56	15	3						210	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:19回) 鹿児島湾の地震活動 (震度 1 以上合計:21回) 茨城県北部の地震活動 (震度 1 以上合計:13回)
9 月	118	52	13	4		1				188	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:20回) 8 日 秋田県内陸南部 (震度 5 強) 地震活動 (震度 5 強: 1 回、震度 4: 1 回、震度 3: 2 回、 震度 2: 12回、震度 1: 33回)
10 月	92	41	9		1					143	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:22回) 6 日 福島県沖 (震度 5 弱) 福島県中通りから茨城県北部にかけての地震活動 (震度 1 以上合計:13回)
11 月	95	34	11	4						144	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:15回) 鹿児島湾の地震活動 (震度 1 以上合計:10回)
12 月	96	34	9	3						142	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:14回)
平成30年 (2018年)											
1 月	80	37	11	3						131	
2 月	72	24	8	3						107	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:11回)
3 月	108	46	12	2	1					169	1 日 西表島付近 (震度 5 弱) 地震活動 (震度 5 弱: 1 回、震度 3: 3 回、震度 2: 8 回、 震度 1: 29回)
4 月	111	48	14	6	1	1				181	9 日 島根県西部 (震度 5 強) 地震活動 (震度 5 強: 1 回、震度 4: 4 回、震度 3: 4 回、 震度 2: 14回、震度 1: 24回) 14 日 根室半島南東沖 (震度 5 弱) トカラ列島近海の地震活動 (震度 1 以上合計:19回)
5 月	100	42	12	5	1	1				161	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 4: 1 回、震度 2: 3 回、震度 1: 10回) 12 日 長野県北部 (震度 5 弱) 地震活動 (震度 5 弱: 1 回、震度 3: 3 回、震度 2: 2 回、 震度 1: 5 回) 25 日 長野県北部 (震度 5 強) 地震活動 (震度 5 強: 1 回、震度 3: 1 回、震度 2: 6 回、 震度 1: 10回)
6 月	127	49	17	5	1		1			200	「平成28年 (2016年) 熊本地震」の地震活動 (震度 1 以上合計:12回) 千葉県東方沖から千葉県北東部及び南部付近にかけての地震 活動 (震度 4: 2 回、震度 3: 6 回、震度 2: 8 回、震度 1: 10回) 17 日 群馬県南部 (震度 5 弱) 18 日 大阪府北部 (震度 6 弱) ※ 1 地震活動 (震度 6 弱: 1 回、震度 4: 1 回、震度 3: 4 回、 震度 2: 11回、震度 1: 25回)
7 月	109	34	10	5	1					159	大阪府北部の地震活動 (※ 1 の周辺) (震度 3: 1 回、震度 2: 3 回、震度 1: 9 回) 7 日 千葉県東方沖 (震度 5 弱) 地震活動 (震度 5 弱: 1 回、震度 2: 3 回、震度 1: 7 回)
平成30年計	707	280	84	29	5	2	1	0	0	1108	
過去 1 年計	1244	497	141	43	6	3	1	0	0	1935	(平成29年 8 月～平成30年 7 月)

注) 「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <平成29年 (2017年) 8月～平成30年 (2018年) 7月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成29年 (2017年)								
8月	371	54	8			433	62	
9月	388	63	13	3		467	79	8日 小笠原諸島西方沖 (M6.1) 21日 三陸沖 (M6.3) 27日 岩手県沖 (M6.1)
10月	415	76	7	1		499	84	6日 福島県沖 (M6.3)
11月	395	72	10	2		479	84	13日 三陸沖 (M6.0) 16日 八丈島東方沖 (M6.0)
12月	354	79	10	1		444	90	21日 鳥島近海 (M6.0)
平成30年 (2018年)								
1月	385	80	9	1		475	90	24日 青森県東方沖 (M6.3)
2月	436	85	18	4		543	107	4日 台湾付近 (M6.5) 7日 台湾付近 (M6.7) 7日 台湾付近 (M6.1) 8日 台湾付近 (M6.2)
3月	344	63	11			418	74	
4月	349	72	11	1		433	84	9日 島根県西部 (M6.1)
5月	339	56	11			406	67	
6月	357	68	5	1		431	74	18日 大阪府北部 (M6.1)
7月	328	72	14	1		415	87	7日 千葉県東方沖 (M6.0)
平成30年計	2538	496	79	8	0	3121	583	
過去1年計	4461	840	127	15	0	5443	982	(平成29年8月～平成30年7月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 緊急地震速報の提供状況

平成30年7月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は55回であった。

平成30年7月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成30年07月07日20時23分	千葉県東方沖	6.0	5弱	5弱	13.5

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

平成19年10月～平成30年7月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)						9(458)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 平成30年7月7日20時23分 千葉県東方沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成30年07月07日 20時23分48.9秒	千葉県東方沖	35° 09.9′	140° 35.5′	57km	6.0	5弱

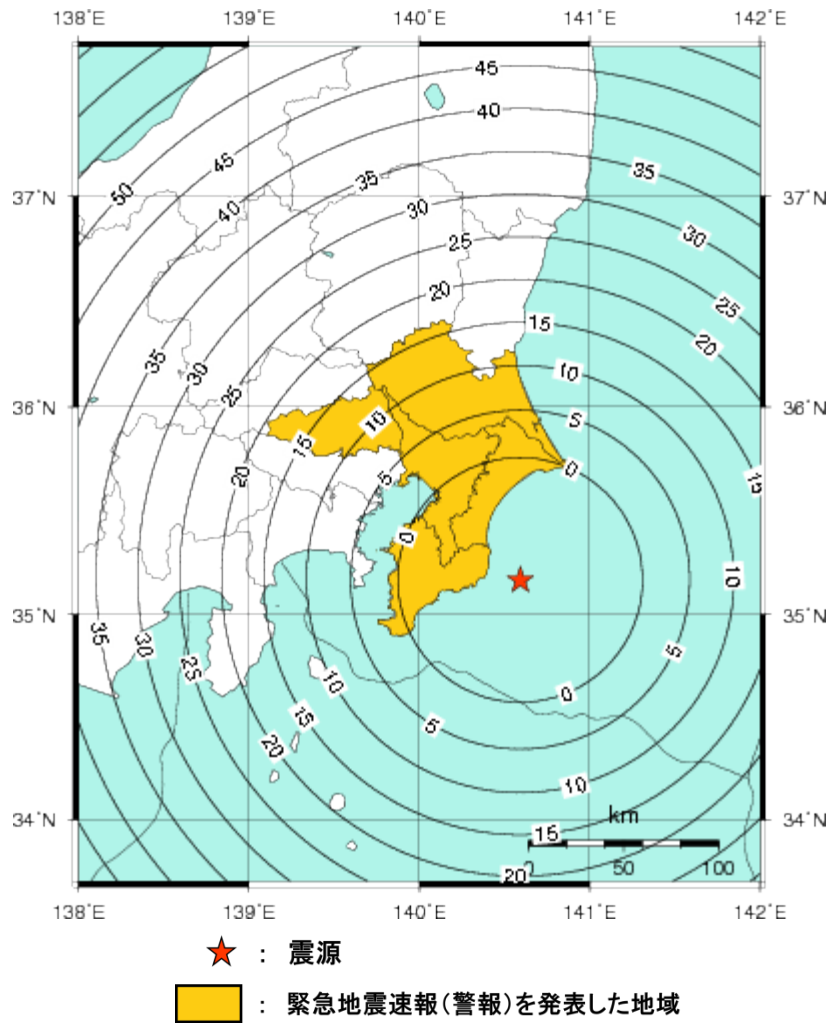
緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	20時24分01.3秒	3.8	千葉県東方沖	35.3	140.7	10km	5.7	※1
第2報	20時24分01.5秒	4.0	千葉県東方沖	35.3	140.8	10km	5.7	※2
第3報	20時24分02.0秒	4.5	千葉県東方沖	35.2	140.7	10km	5.7	※2
第4報	20時24分03.1秒	5.6	千葉県東方沖	35.2	140.5	30km	5.4	※3
第5報	20時24分04.3秒	6.8	千葉県東方沖	35.2	140.5	20km	5.7	※4
第6報	20時24分04.8秒	7.3	千葉県東方沖	35.2	140.6	50km	5.7	※4
第7報	20時24分07.1秒	9.6	千葉県東方沖	35.2	140.6	50km	5.8	※5
第8報	20時24分07.9秒	10.4	千葉県東方沖	35.2	140.6	50km	5.8	※5
第9報	20時24分11.0秒	13.5	千葉県東方沖	35.2	140.6	50km	5.8	※6
第10報	20時24分12.0秒	14.5	千葉県東方沖	35.2	140.6	60km	5.9	※7
第11報	20時24分12.9秒	15.4	千葉県東方沖	35.2	140.6	60km	6.1	※8
第12報	20時24分13.9秒	16.4	千葉県東方沖	35.2	140.6	60km	6.2	※9
第13報	20時24分14.9秒	17.4	千葉県東方沖	35.2	140.6	60km	6.2	※9
第14報	20時24分27.9秒	30.4	千葉県東方沖	35.2	140.6	50km	6.2	※9
第15報	20時24分45.6秒	48.1	千葉県東方沖	35.2	140.6	40km	6.1	※10
第16報	20時25分05.1秒	67.6	千葉県東方沖	35.1	140.7	40km	6.2	※10
第17報	20時25分20.7秒	83.2	千葉県東方沖	35.1	140.7	40km	6.2	※10

- ※1 震度4程度以上 千葉県南部、千葉県北東部、千葉県北西部、茨城県南部
- ※2 震度4程度 千葉県南部、千葉県北東部、茨城県南部
- ※3 震度4程度 千葉県南部、千葉県北東部
- ※4 震度4程度 千葉県北東部、千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部
- ※5 震度4程度 千葉県北東部、千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部
震度3から4程度 埼玉県南部
- ※6 震度5弱程度 千葉県北東部
震度4程度 千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部
震度3から4程度 埼玉県南部
- ※7 震度5弱程度 千葉県北東部
震度4程度 千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部、東京都23区、神奈川県東部、茨城県北部、埼玉県南部、栃木県南部
- ※8 震度5弱程度 千葉県北東部
震度4程度 千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部、東京都23区、神奈川県東部、茨城県北部、埼玉県南部、埼玉県北部、栃木県南部
- ※9 震度5弱程度 千葉県北東部
震度4程度 千葉県南部、千葉県北西部、茨城県南部、東京都23区、神奈川県東部、茨城県北部、埼玉県南部、埼玉県北部、栃木県南部
震度3から4程度 東京都多摩東部

- ※10 震度 5 弱程度 千葉県北東部
 震度 4 程度 千葉県南部、千葉県北西部、東京都 2 3 区、茨城県南部、神奈川県東部、
 茨城県北部、埼玉県南部、栃木県南部
 震度 3 から 4 程度 埼玉県北部

警報第 1 報発表から主要動到達までの
 時間及び警報発表対象地域の分布図



● 付録5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

平成30年7月に、長周期地震動階級※1以上を観測した地震の回数は2回であった。

平成25年3月～平成30年7月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
(平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報(試行)※※の提供開始以降)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2						8

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成29年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報(試行)に関する詳細は、地震・火山月報(防災編)平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報(試行)について」を参照。

1. 平成30年7月7日20時23分 千葉県東方沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2018年7月7日20時23分 千葉県東方沖 北緯35度9.9分 東経140度35.5分 深さ57km M6.0			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
茨城県	茨城県南部	土浦市常名	1
千葉県	千葉県北西部	浦安市日の出	1

長周期地震動階級1以上が観測された地域



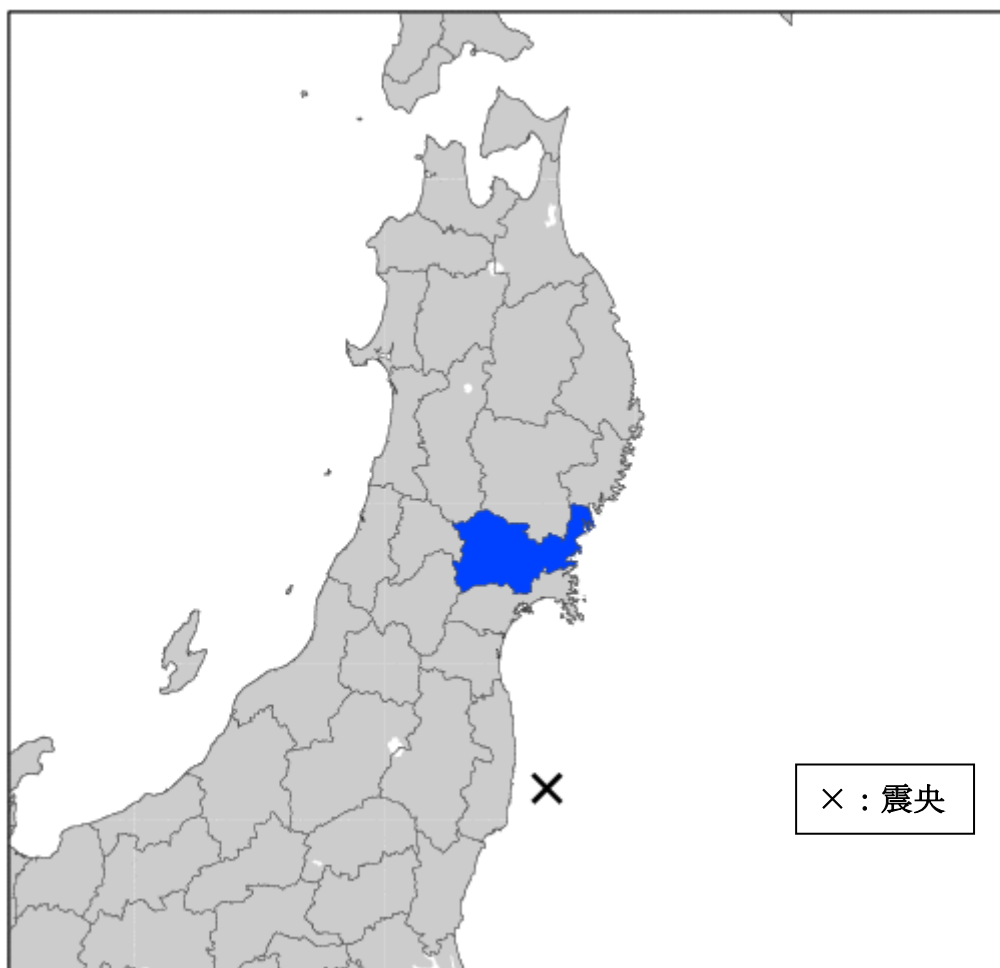
長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

2. 平成 30 年 7 月 31 日 17 時 42 分 福島県沖の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2018 年 7 月 31 日 17 時 42 分 福島県沖 北緯 37 度 9.3 分 東経 141 度 13.7 分 深さ 21km M5.8			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
宮城県	宮城県北部	大崎市古川大崎	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4